

立川市高齢者福祉介護計画改定事前調査

報 告 書

【概要版】

令和5（2023）年5月



立 川 市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 回収状況	1
4 報告書の見方	2
第2章 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果概要	3
1 回答者属性	3
2 リスク判定	4
3 家族や生活状況について	8
4 からだを動かすことについて	12
5 食べることについて	15
6 毎日の生活について	15
7 地域での活動について	16
8 たすけあいについて	18
9 健康について	22
10 かかりつけ医について	27
11 住まいについて	30
12 ご近所づきあい	32
13 普段の外出について	34
14 就労について	37
15 生活の心配や相談先について	39
16 今後の暮らしについて	44
17 認知症の支援について	48
18 介護保険制度について	55
第3章 在宅介護実態調査結果概要	63
1 調査対象者について	63
2 主な介護者の方について	78
第4章 介護保険事業所向けアンケート調査結果概要	90
1 回答事業所の属性	90
2 サービス提供体制について	96

3	事業所の取り組みについて	101
4	近年の制度改正の影響や職員処遇について	105
5	介護人材の確保・育成について	112
6	介護保険サービスの経営状況について	116
7	新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響について	120
8	居宅介護支援事業者について	122
9	事業所について	125
第5章 アンケート調査結果から見た課題		132
第5-1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【課題】		132
1	転倒に対する不安	132
2	外出の回数	133
3	誰かと食事をともにする機会	133
4	趣味があるか	134
5	生きがいがあるか	134
6	社会参加の状況	135
7	地域づくりに企画・運営として参加したいか	135
8	1年以内に立川市のサービスや施設で利用したもの	136
9	社会的な孤立と健康状態	137
10	見守りボランティアへの協力意向	137
11	認知症高齢者が生活するために地域住民の協力は必要だと思うか	138
12	介護予防に関する事業への参加状況	139
13	高齢者福祉サービスの利用状況	139
14	介護保険制度をよりよくするため市に期待すること	140
15	介護をする家族への支援として市が取り組むべきこと	141
第5-2章 在宅介護実態調査【課題】		142
1	訪問診療の利用状況	142
2	介護保険サービスの利用料をどのように感じているか	142
3	介護保険サービスを利用する上で困っていること	143
4	現在の介護保険サービスに満足しているか	144
5	介護保険制度をよりよくするために立川市に期待すること	145
6	主な介護者の勤務形態	146
7	介護をするにあたって働き方の調整等をしているか	146
8	介護者の介護についての相談先	147

第5－3章 介護保険事業所向けアンケート調査【課題】	148
1 過去1か月間の苦情受付件数	148
2 サービスの質の向上のために力を入れている取り組み	149
3 サービスの質の向上のために最も力を入れている取り組み	150
4 ボランティアの受け入れ状況	151
5 時間外勤務時間の増減の有無	151
6 「転職者」を雇用する際の壁（支障）	152
7 経営状況	153
8 赤字の主な理由	154
9 新型コロナウイルス感染症による影響	155
10 物価高騰による影響	156
11 ケアプラン作成時の問題・課題	157
12 介護保険サービスを実施する上での課題や改善が必要なこと	158
第6章 自由意見	159
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	159
2 在宅介護実態調査	177
3 介護保険事業所向けアンケート調査	188
参考資料	193
1 調査票	193

第1章 調査の概要

1 調査の目的

次期高齢者福祉介護計画策定の基礎資料として、高齢者やその家族、介護サービス事業者の状況やニーズ等を把握し、計画に反映することを目的としています。

2 調査の設計

(1) 調査対象

図表 1-2-1 調査対象

調査の種類	対象者数
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	令和4(2022)年10月1日現在、立川市に在住する65歳以上の方のうち、要介護認定を受けていない方及び要支援1・2の方から3,000人を層化無作為抽出
② 在宅介護実態調査	令和4(2022)年10月1日現在、立川市に在住する要介護・要支援認定を受けている在宅の65歳以上の方から1,500人を無作為抽出
③ 介護保険事業所向けアンケート調査	令和4(2022)年10月1日現在、介護保険サービスを提供する立川市内の250事業者及び立川市外の50事業者を選定

(2) 調査期間

令和4(2022)年11月15日(火)から令和4(2022)年12月13日(火)まで

(3) 調査方法

郵送による調査票の配布及び返信用封筒による回収又はインターネットによる回答

3 回収状況

図表 1-3-1 回収状況

調査の種類	配付数	有効回答数	有効回答率
		(うちインターネット回答数)	
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,000件	1,790件(37件)	59.7%
② 在宅介護実態調査	1,500件	628件(19件)	41.9%
③ 介護保険事業所向けアンケート調査	300件	251件(86件)	83.7%

4 報告書の見方

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 集計は、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。また、複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 本市では、立川市高齢者福祉介護計画(第8次高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画)において、下記の6つの地区を日常生活圏域として設定しています。

図表 1-4-1 日常生活圏域

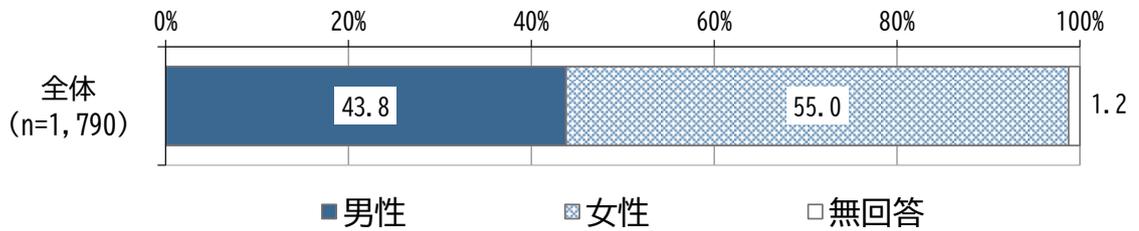
圏域	町名	図表での表記
南部西地区	富士見町、柴崎町	南部西
南部東地区	錦町、羽衣町	南部東
中部地区	曙町、高松町、緑町	中部
北部東地区	栄町、若葉町	北部東
北部中地区	幸町、柏町、泉町、砂川町	北部中
北部西地区	上砂町、一番町、西砂町	北部西

- 「② 在宅介護実態調査」については、令和元(2019)年度に実施した調査と対象者の抽出方法が異なるため、一部の設問のみ令和元(2019)年度調査結果と比較をしています。
- 「③ 介護保険事業所向けアンケート調査」の有効回答の中には、立川市外の事業所を含んでおり、今回の分析では、立川市内の介護保険サービス事業所の実態把握を主としているため、立川市外の介護保険サービス事業所を除く220事業所を回答数の母数とし、集計を行っています。

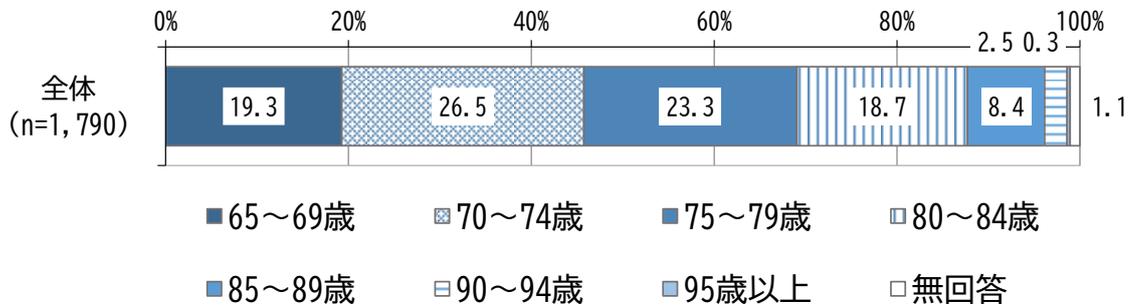
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果概要

1 回答者属性

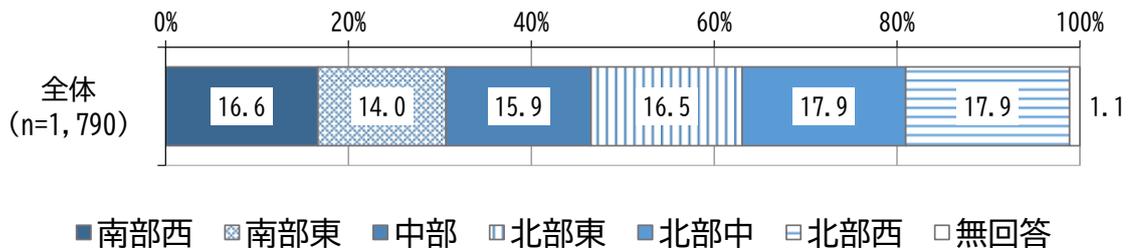
(1) 性別



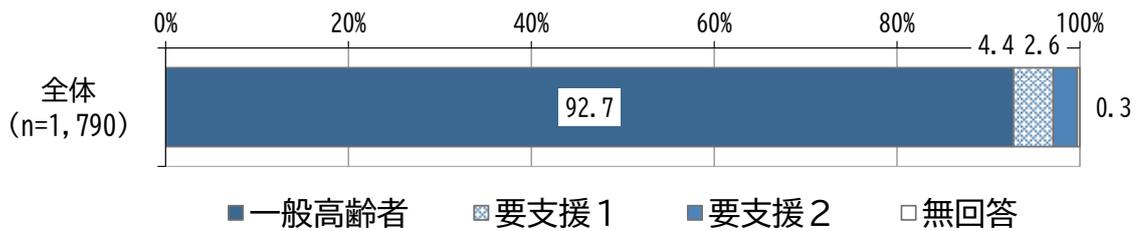
(2) 年齢



(3) 居住地区



(4) 要介護認定の状況



2 リスク判定

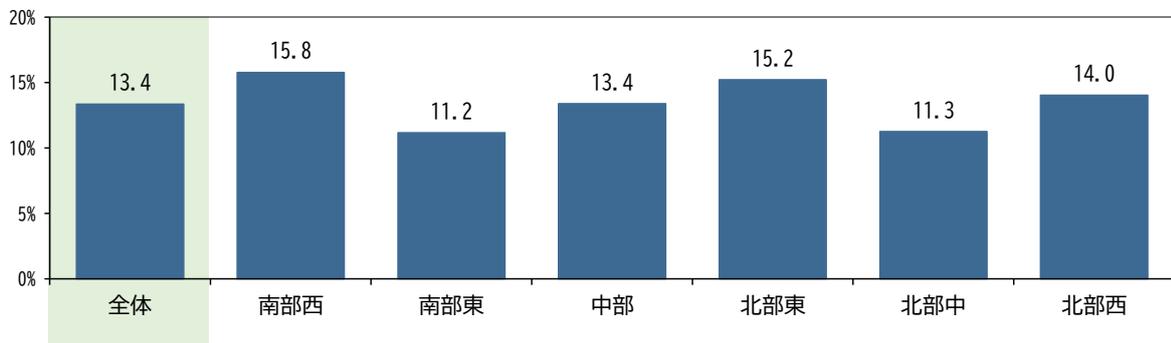
「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」は、要介護状態になる前の高齢者について、要介護状態になるリスクの発生状況と、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題を特定することを目的に実施しています。

ここでは、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を使用し、各種リスクの判定を行っています。

(1) 運動器機能の低下

運動器機能の低下している高齢者は、全体で13.4%となっています。

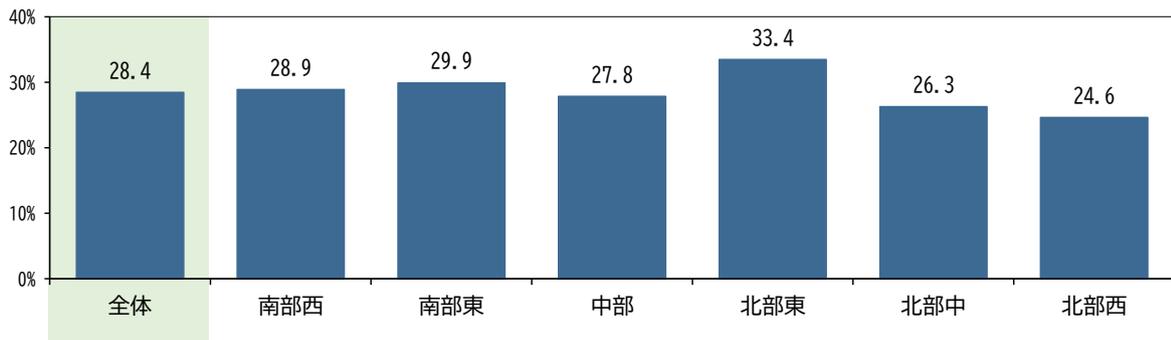
圏域別で見ると、南部西地区が15.8%で最も高くなっています。



(2) 転倒リスク

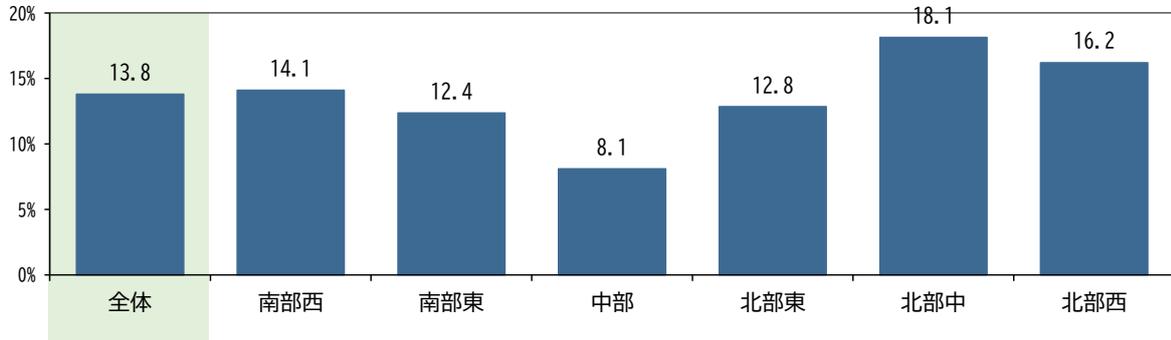
転倒リスクのある高齢者の割合は、全体で28.4%となっています。

圏域別で見ると、北部東地区が33.4%で最も高くなっています。



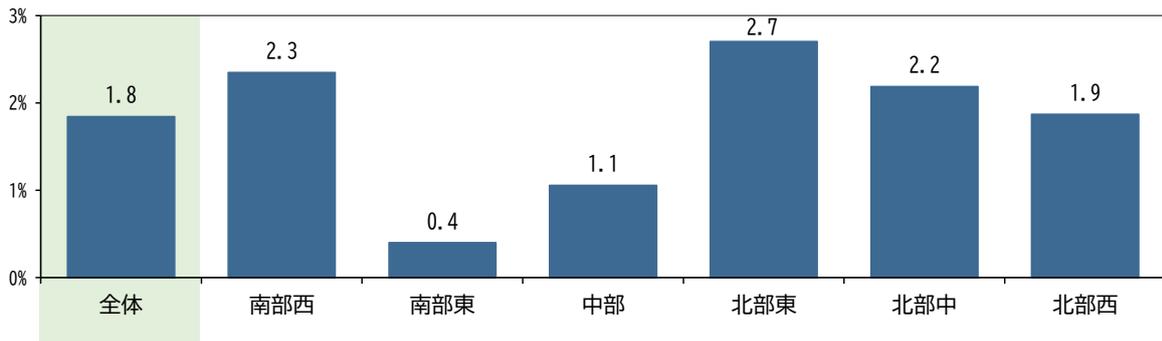
(3) 閉じこもり傾向

閉じこもり傾向の高齢者の割合は、全体で13.8%となっています。
圏域別でみると、北部中地区が18.1%で最も高くなっています。



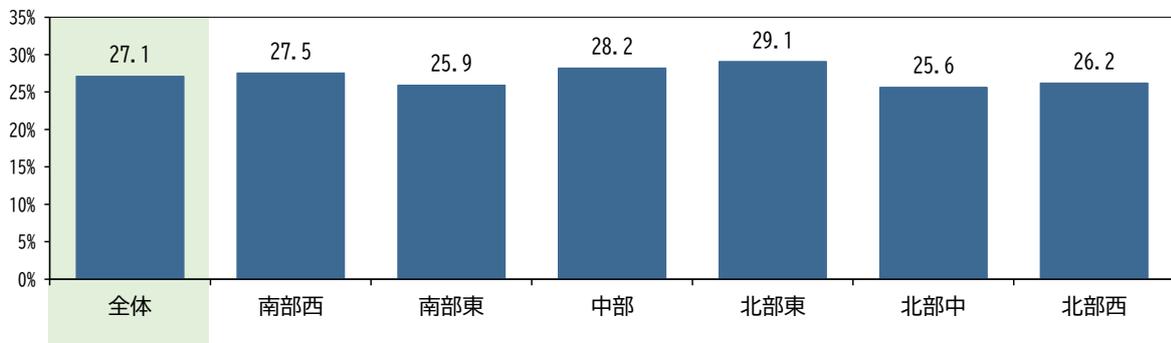
(4) 低栄養状態

低栄養状態にある高齢者の割合は、全体で1.8%となっています。
圏域別でみると、北部東地区が2.7%で最も高くなっています。



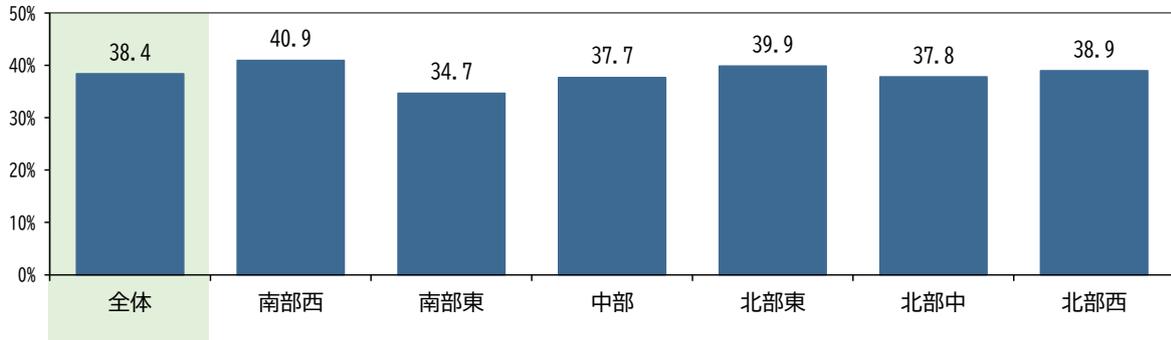
(5) 口腔機能の低下

口腔機能の低下している高齢者の割合は、全体で27.1%となっています。
圏域別でみると、北部東地区が29.1%で最も高くなっています。



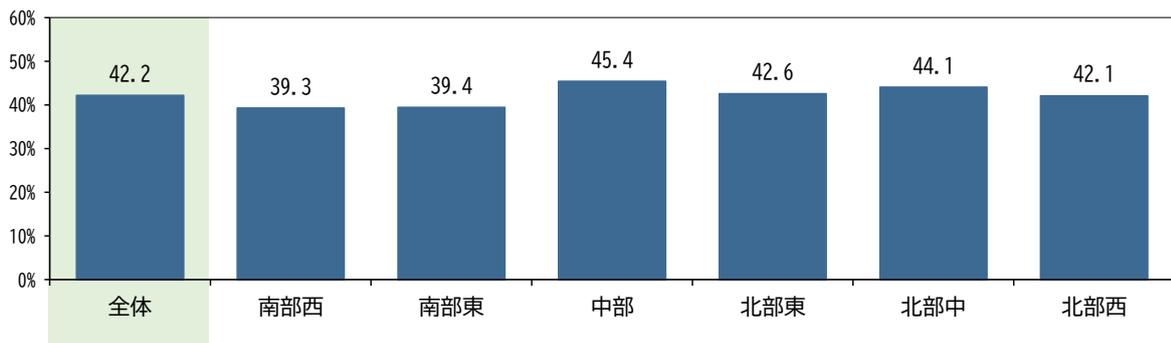
(6) 認知機能の低下がみられる高齢者

認知機能の低下がみられる高齢者の割合は、全体で38.4%となっています。
圏域別でみると、南部西地区が40.9%で最も高くなっています。



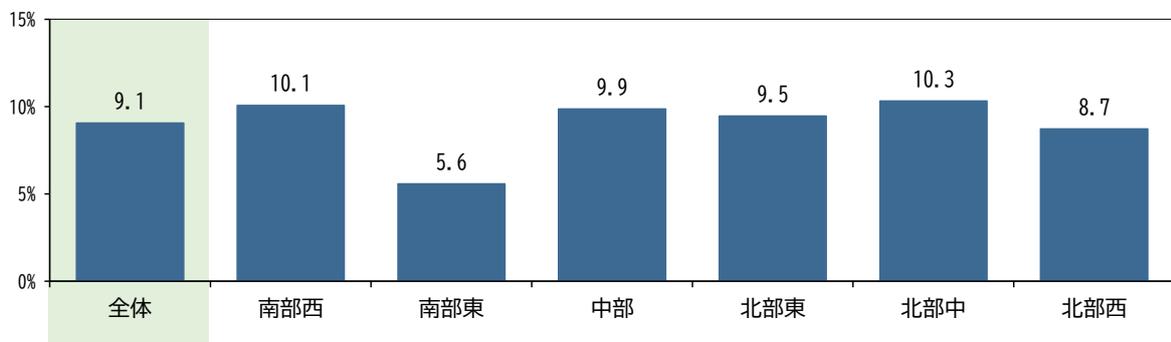
(7) うつ傾向

うつ傾向の高齢者の割合は、全体で42.2%となっています。
圏域別でみると、中部地区が45.4%で最も高くなっています。



(8) IADL (手段的自立度) の低下

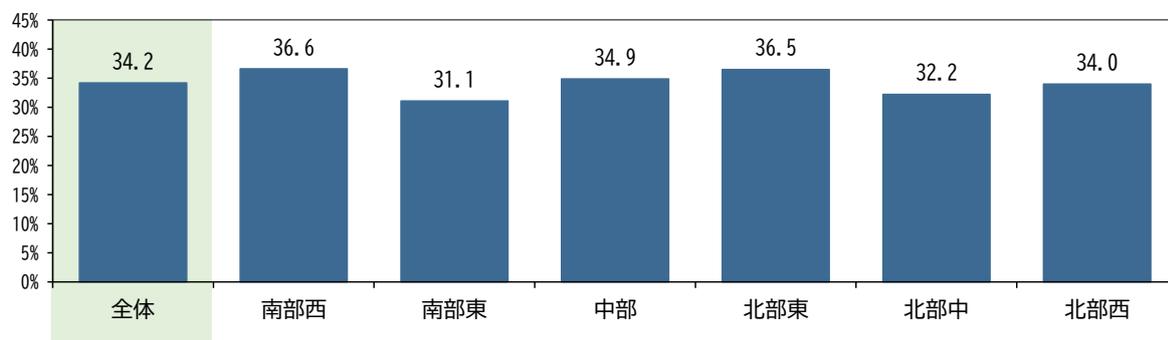
IADLが低下している高齢者の割合は、全体で9.1%となっています。
圏域別でみると、北部中地区が10.3%で最も高くなっています。



(9) 事業対象者

事業対象者の割合は、全体で34.2%となっています。

圏域別で見ると、南部西地区が36.6%で最も高くなっています。



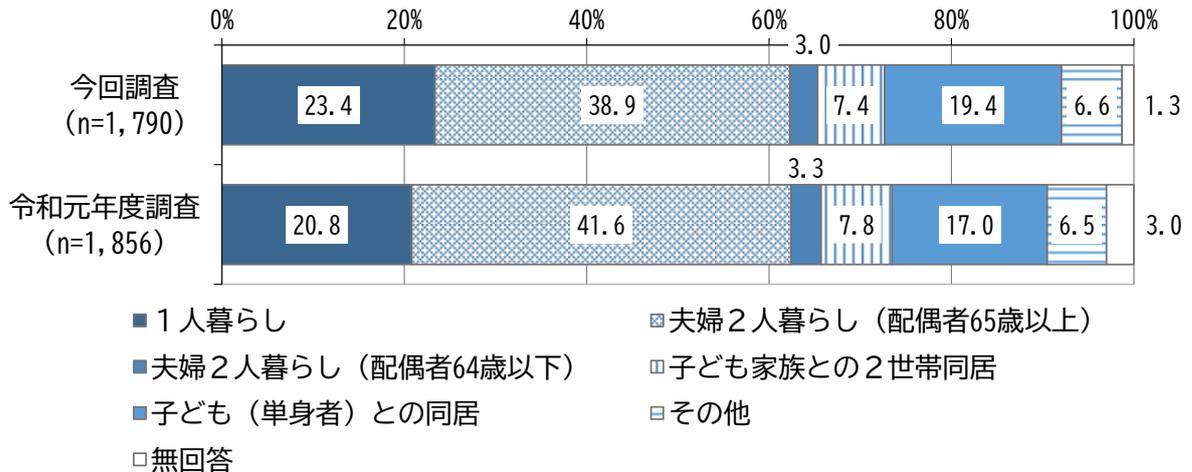
3 家族や生活状況について

(1) 家族構成

問3 (1) 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が38.9%で最も高く、次いで「1人暮らし」が23.4%、「子ども(単身者)との同居」が19.4%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

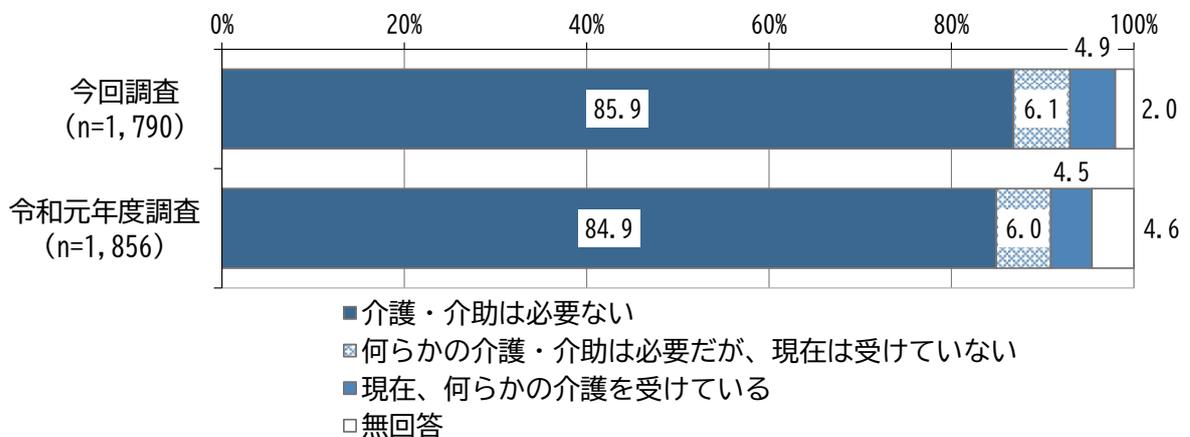


(2) 介護・介助の必要性

問3 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇は1つ)

介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が85.9%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.1%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.9%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



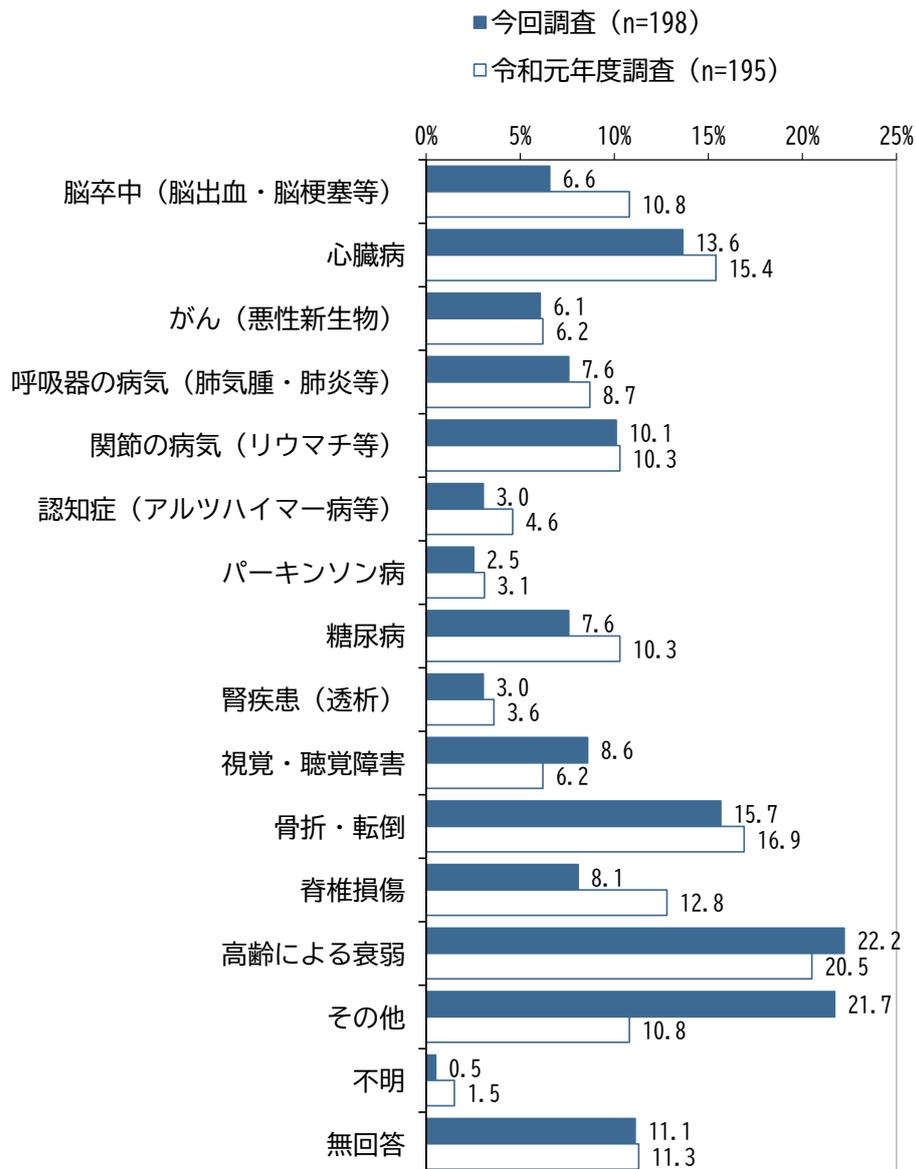
(3) 介護・介助が必要になった主な原因

【問3-(2)で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」とお答えになった方におたずねします。】

問3 (2) ①介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が22.2%で最も高く、次いで「その他」が21.7%、「骨折・転倒」が15.7%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「脊椎損傷」(8.1%)では、令和元(2019)年度調査(12.8%)より4.7ポイント減少し、最も減少した項目となっています。



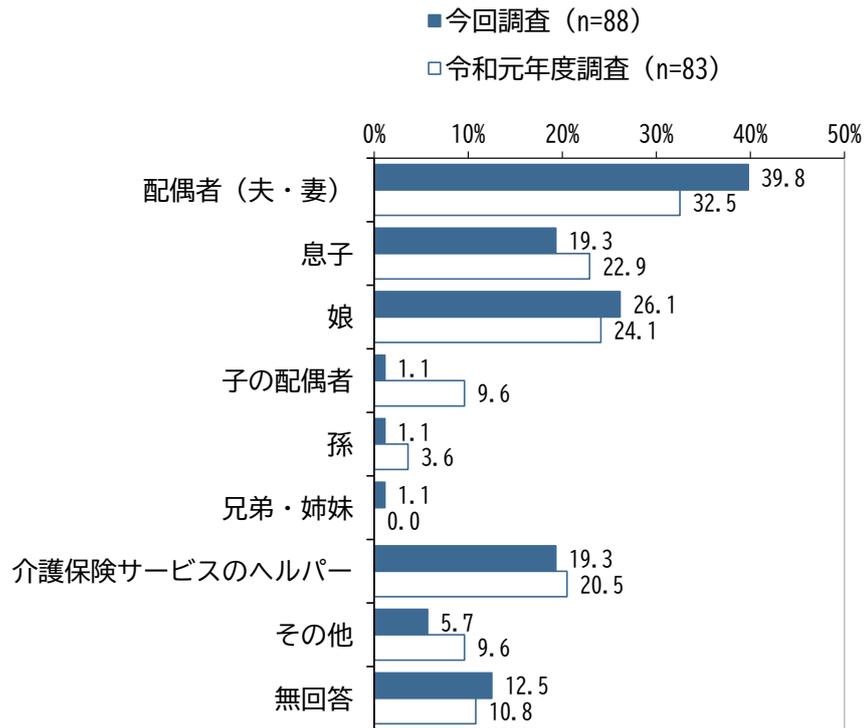
(4) 誰の介護・介助を受けているか

【問3-(2)で「現在、何らかの介護を受けている」とお答えになった方におたずねします。】

問3 (2) ②主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

誰の介護・介助を受けているかについては、「配偶者(夫・妻)」が39.8%で最も高く、次いで「娘」が26.1%、「息子」が19.3%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「配偶者(夫・妻)」(39.8%)では、令和元(2019)年度調査(32.5%)より7.3ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

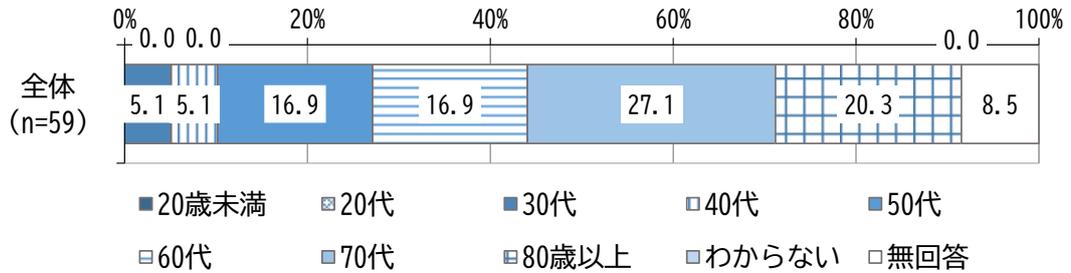


(5) 主な介護者の年齢

【問3-(2)②で「配偶者(夫・妻)」～「兄弟・姉妹」とお答えになった方におたずねします。】

問3(2) ③主な介護者の方の年齢をお答えください。(○は1つ)

主な介護者の年齢については、「70代」が27.1%で最も高く、次いで「80歳以上」が20.3%、「50代」が16.9%と続いています。

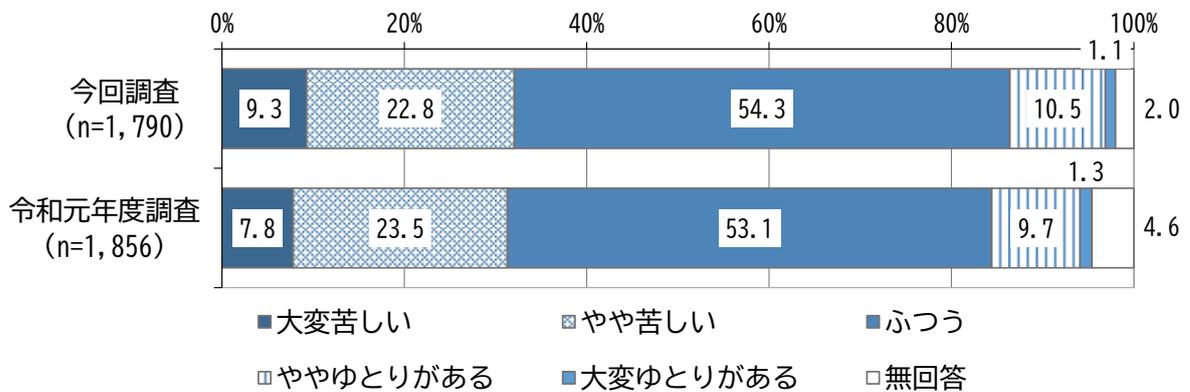


(6) 経済的にみた現在の暮らしの状況

問3(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

経済的にみた現在の暮らしの状況については、「ふつう」が54.3%で最も高く、次いで「やや苦しい」が22.8%、「ややゆとりがある」が10.5%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



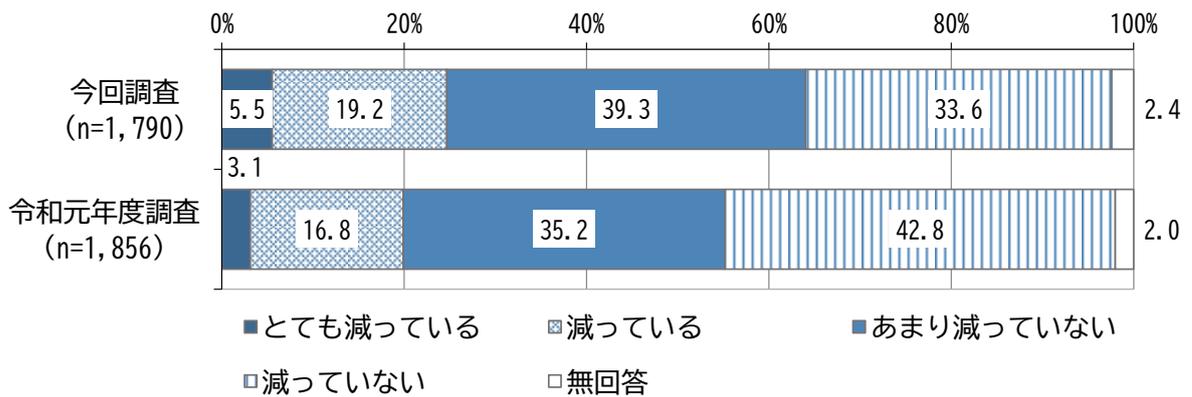
4 からだを動かすことについて

(1) 昨年と比べて外出の回数が減っているか

問4 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「あまり減っていない」が39.3%で最も高く、次いで「減っていない」が33.6%、「減っている」が19.2%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、『減っている』(「とても減っている」と「減っている」の合計)(24.7%)では、令和元(2019)年度調査(19.9%)より4.8ポイント増加しています。



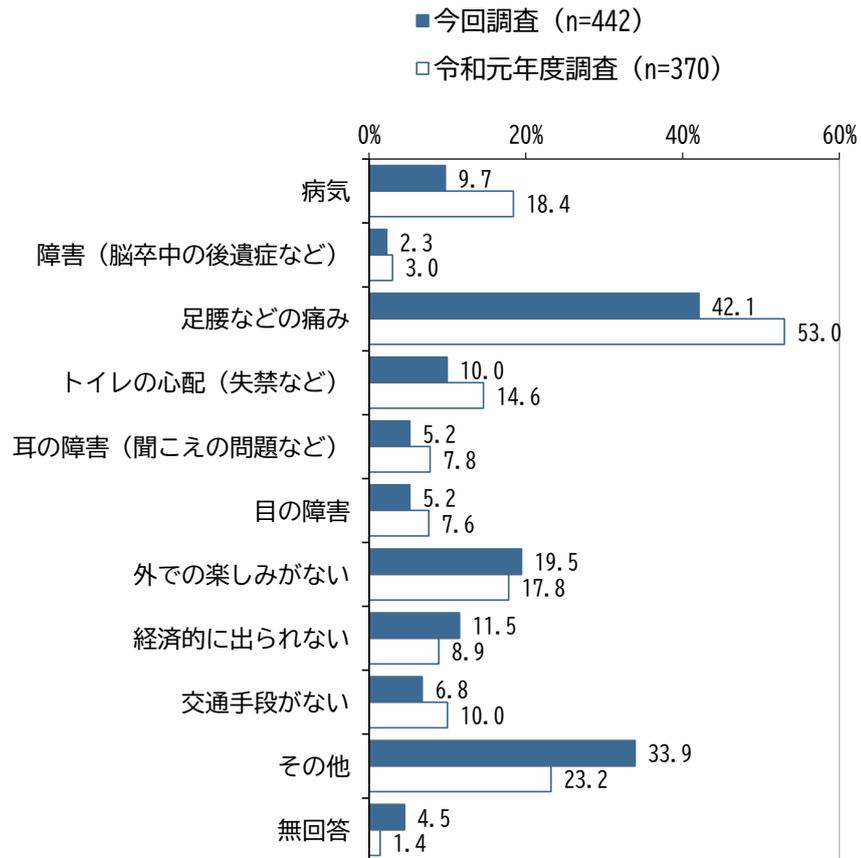
(2) 外出の回数が減っている理由

【問4-(7)で「とても減っている」「減っている」とお答えになった方におたずねします。】

問4 (7) ①外出の回数が減っている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

外出の回数が減っている理由については、「足腰などの痛み」が42.1%で最も高く、次いで「その他」が33.9%、「外での楽しみがない」が19.5%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「足腰などの痛み」(42.1%)では、令和元(2019)年度調査(53.0%)より10.9ポイント減少し、最も減少した項目となっています。



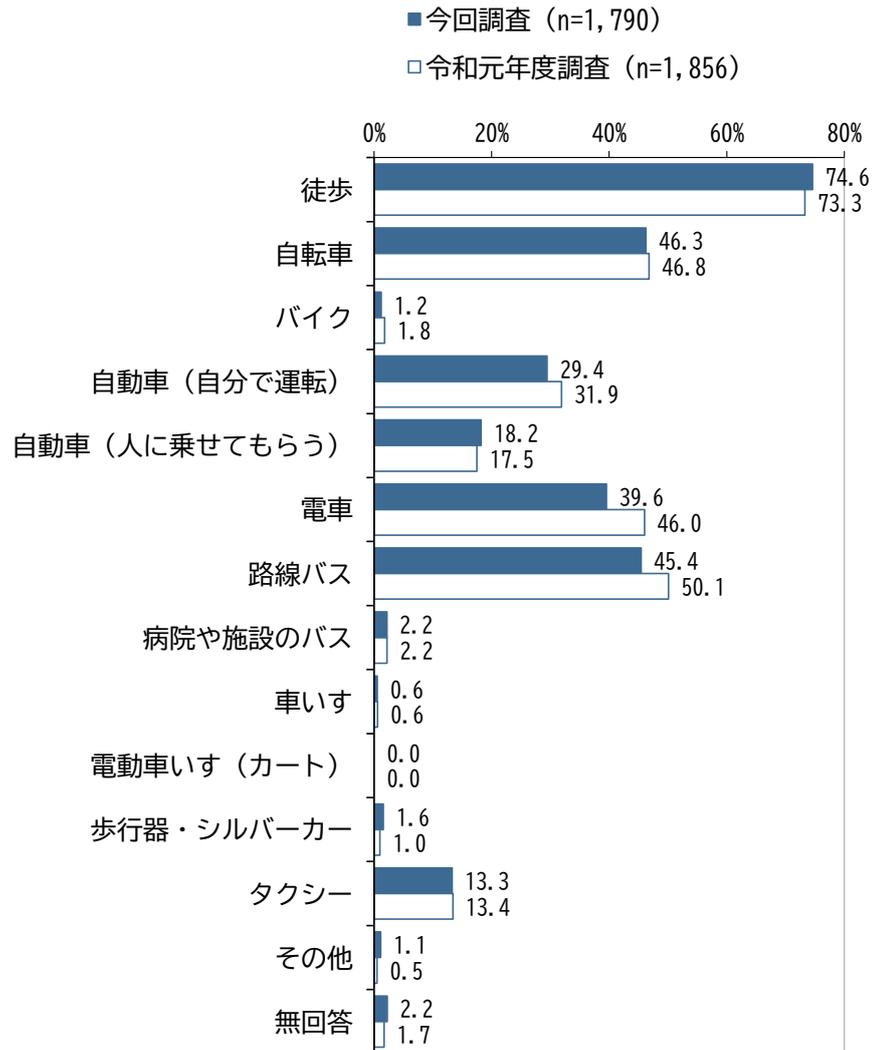
(補足) その他の自由記述：新型コロナウイルス感染症、退職、等

(3) 外出する際の移動手段

問4 (8) 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

外出する際の移動手段については、「徒歩」が74.6%で最も高く、次いで「自転車」が46.3%、「路線バス」が45.4%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「電車」(39.6%)では、令和元(2019)年度調査(46.0%)より6.4ポイント減少し、最も減少した項目となっています。



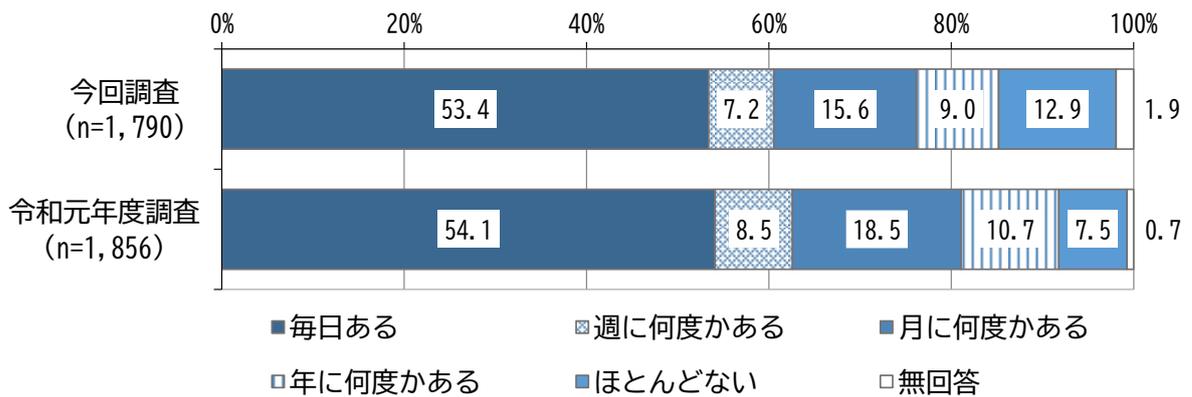
5 食べることについて

(1) 誰かと食事をとる機会があるか

問5 (7) どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

誰かと食事をとる機会があるかについては、「毎日ある」が53.4%で最も高く、次いで「月に何度かある」が15.6%、「ほとんどない」が12.9%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「ほとんどない」(12.9%)では、令和元(2019)年度調査(7.5%)より5.4ポイント増加しています。



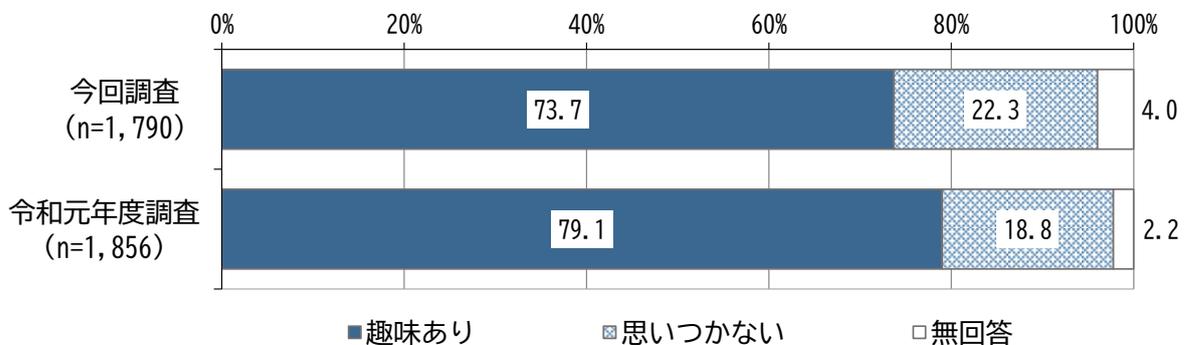
6 毎日の生活について

(1) 趣味があるか

問6 (9) 趣味はありますか。(○は1つ)

趣味があるかについては、「趣味あり」が73.7%、「思いつかない」が22.3%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「思いつかない」(22.3%)では、令和元(2019)年度調査(18.8%)より3.5ポイント増加しています。

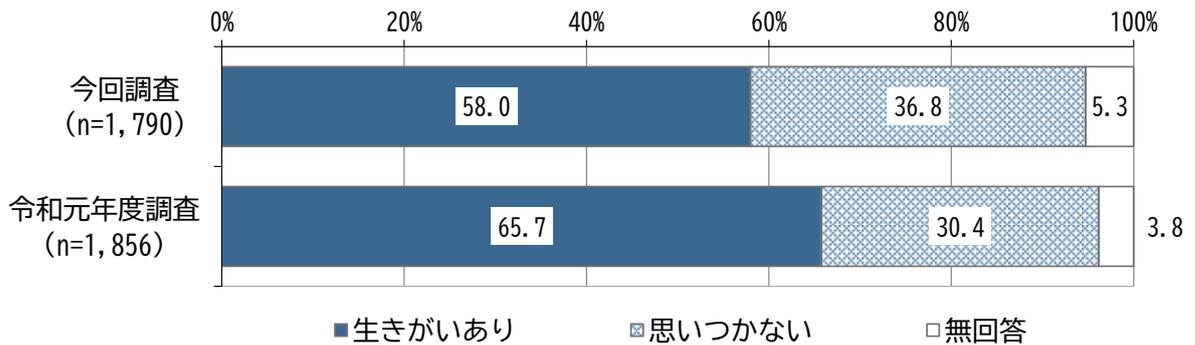


(2) 生きがいがあるか

問6 (10) 生きがいはありますか。(○は1つ)

生きがいがあるかについては、「生きがいあり」が58.0%、「思いつかない」が36.8%となっています。

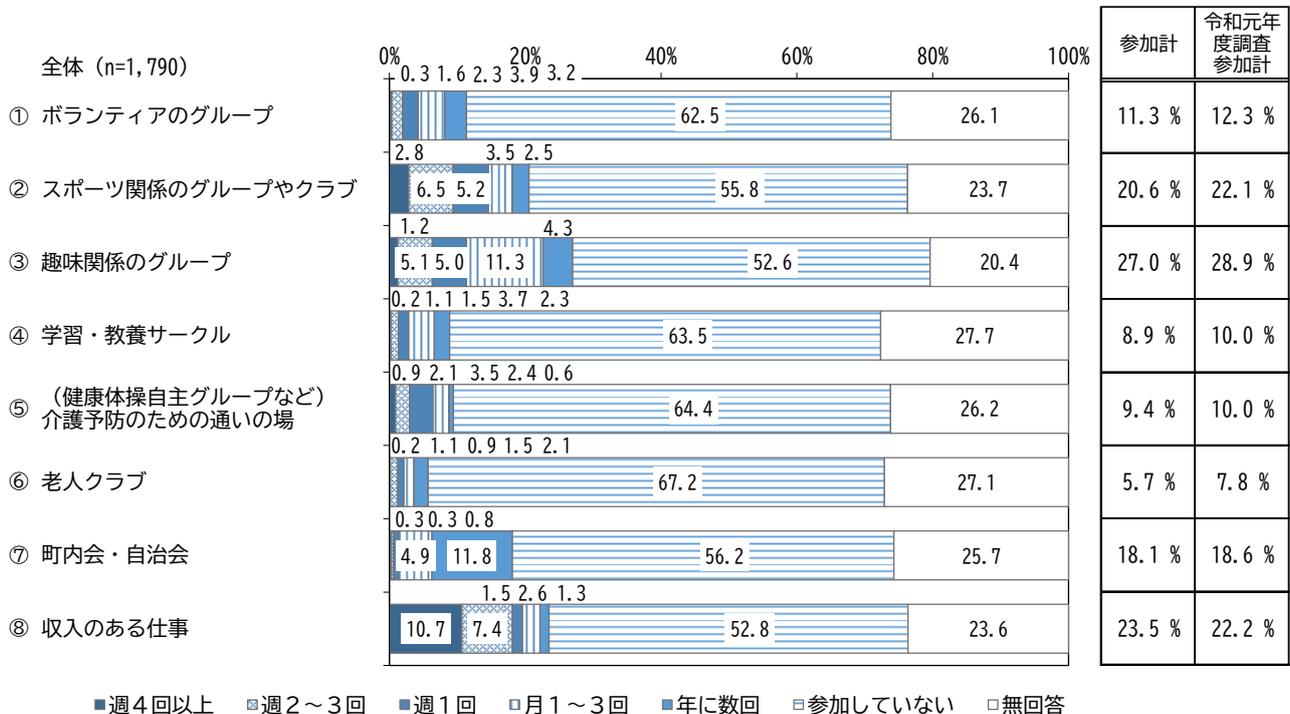
令和元(2019)年度調査と比較すると、「思いつかない」(36.8%)では、令和元(2019)年度調査(30.4%)より6.4ポイント増加しています。



7 地域での活動について

(1) 社会参加の状況

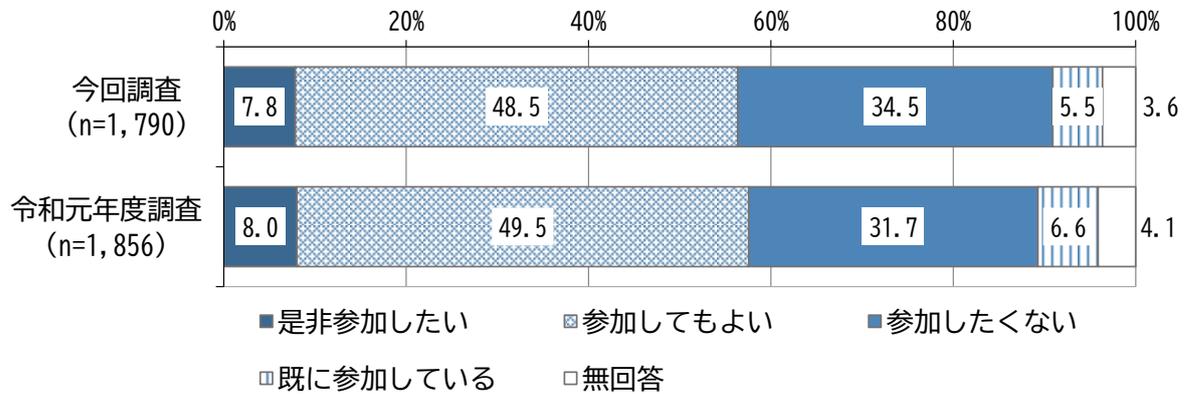
令和元(2019)年度調査と比較すると、『参加している』では、「⑧ 収入のある仕事」を除く全ての項目で割合が減少しています。



※ 参加計…「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計

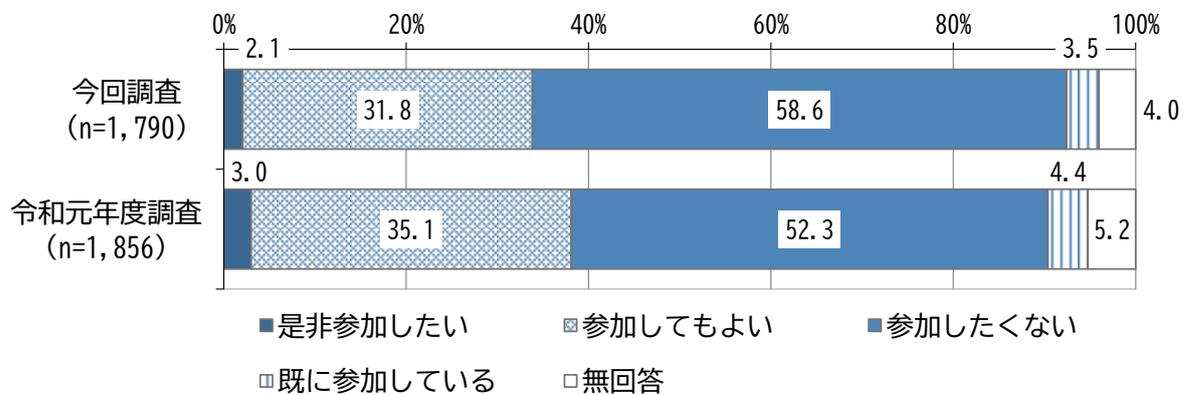
(2) 地域住民のグループ活動による地域づくりに参加者として参加したいか

地域住民のグループ活動による地域づくりに参加者として参加したいかについては、「参加してもよい」が48.5%で最も高く、次いで「参加したくない」が34.5%、「是非参加したい」が7.8%と続いています。



(3) 地域住民のグループ活動による地域づくりに企画・運営として参加したいか

令和元（2019）年度調査と比較すると、「参加したくない」（58.6%）では、令和元（2019）年度調査（52.3%）より6.3ポイント増加しています。



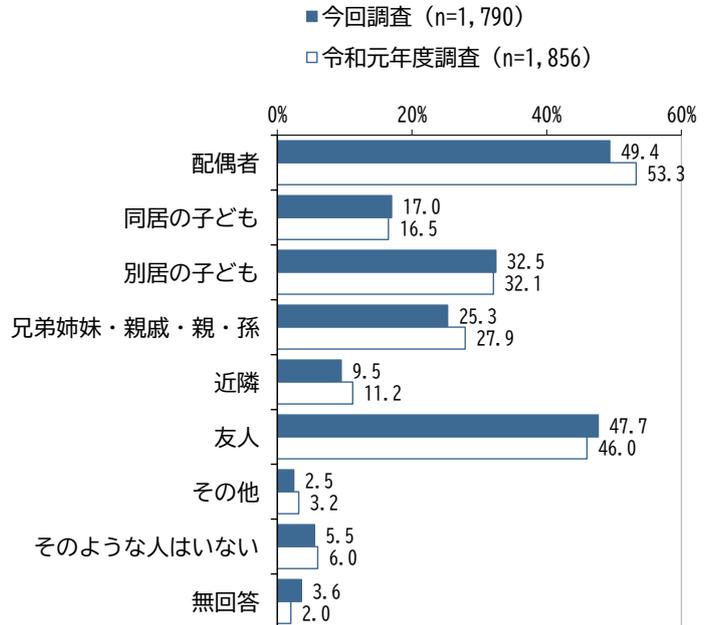
8 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問8 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は誰ですか。(〇はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が49.4%で最も高く、次いで「友人」が47.7%、「別居の子ども」が32.5%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「配偶者」(49.4%)では、令和元(2019)年度調査(53.3%)より3.9ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

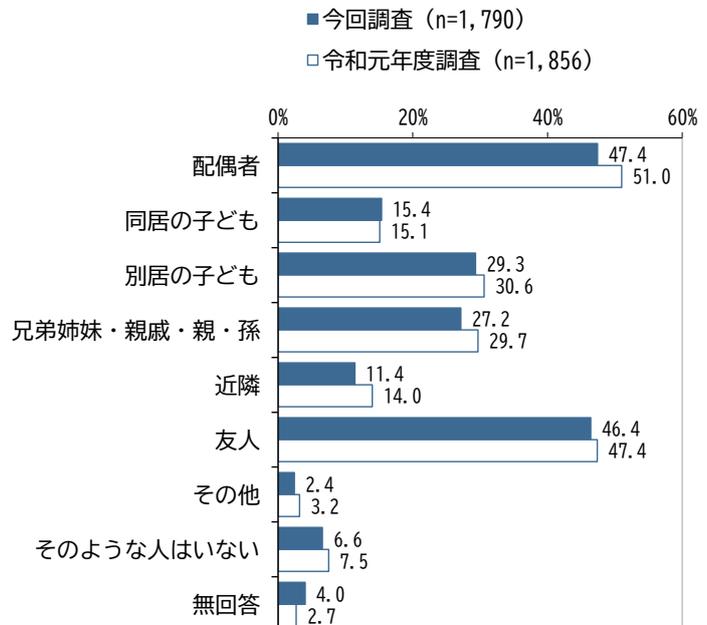


(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問8 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は誰ですか。(〇はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が47.4%で最も高く、次いで「友人」が46.4%、「別居の子ども」が29.3%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「配偶者」(47.4%)では、令和元(2019)年度調査(51.0%)より3.6ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

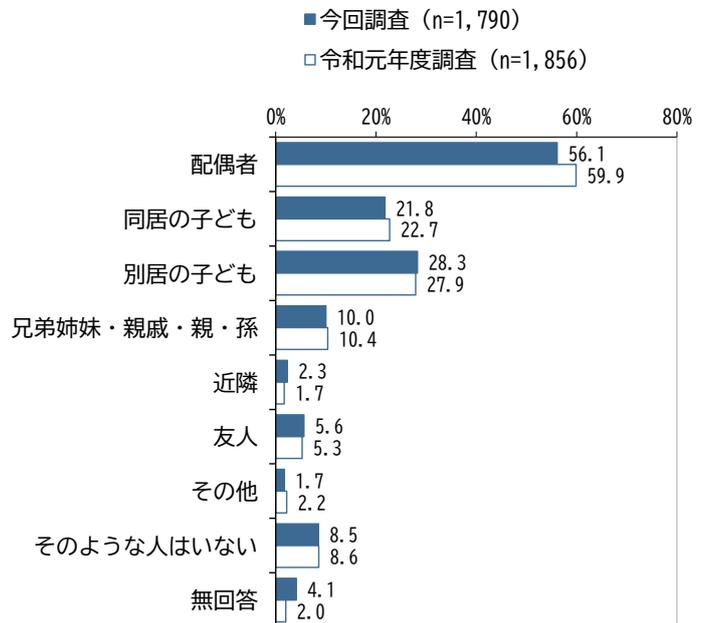


(3) 看病や世話をしてくれる相手（家族・友人・知人）

問8 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。
(〇はいくつでも)

病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が56.1%で最も高く、次いで「別居の子ども」が28.3%、「同居の子ども」が21.8%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「配偶者」（56.1%）では、令和元（2019）年度調査（59.9%）より3.8ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

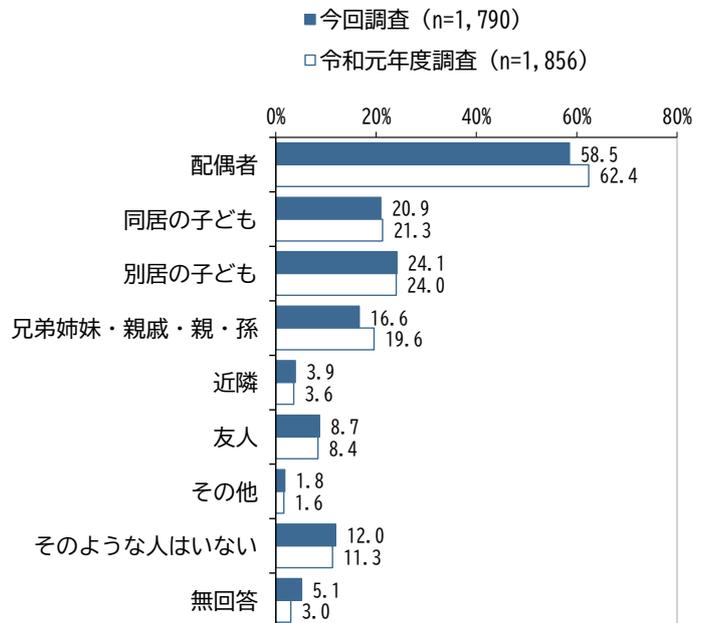


(4) 看病や世話をしてあげる人

問8 (4) 反対に、（あなたが）看病や世話をしてあげる人は誰ですか。(〇はいくつでも)

看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が58.5%で最も高く、次いで「別居の子ども」が24.1%、「同居の子ども」が20.9%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「配偶者」（58.5%）では、令和元（2019）年度調査（62.4%）より3.9ポイント減少し、最も減少した項目となっています。



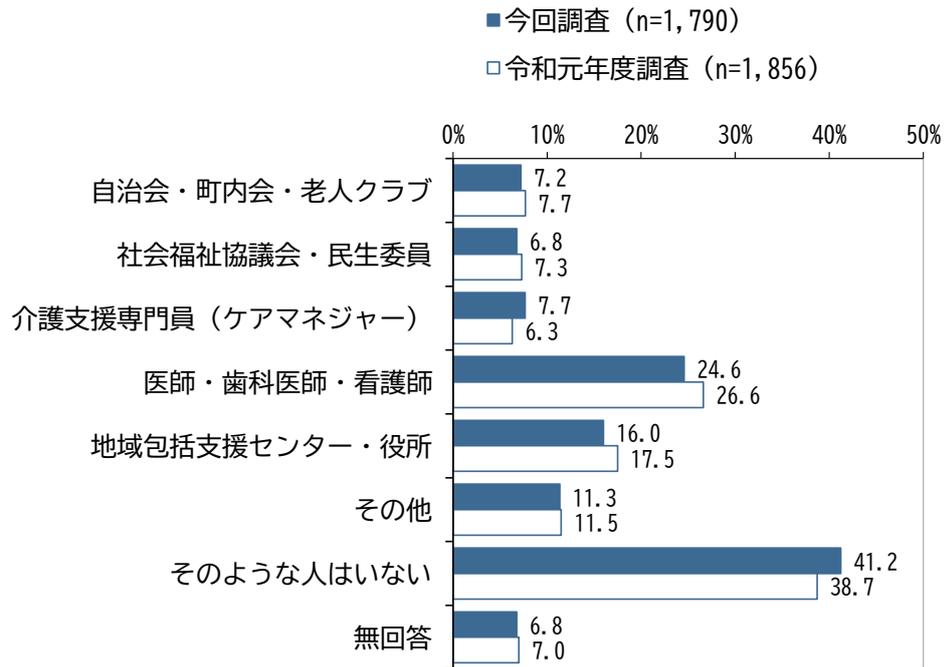
(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手

問8 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(〇はいくつでも)

家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手については、「そのような人はいない」が41.2%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が24.6%、「地域包括支援センター・役所」が16.0%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

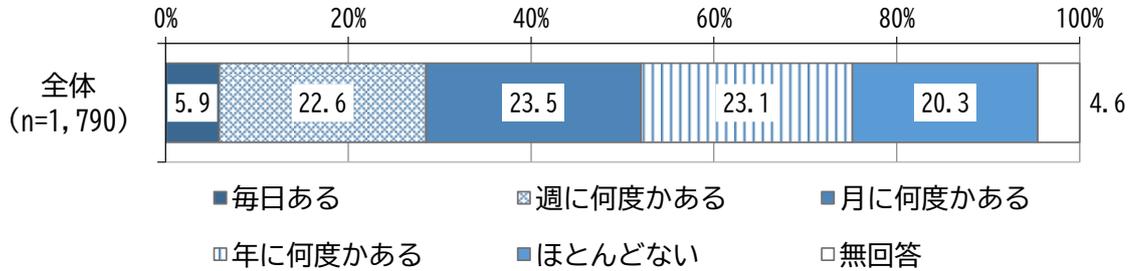
図表 2-8-9 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手



(6) 友人・知人と会う頻度

問8 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が23.5%で最も高く、次いで「年に何度かある」が23.1%、「週に何度かある」が22.6%と続いています。

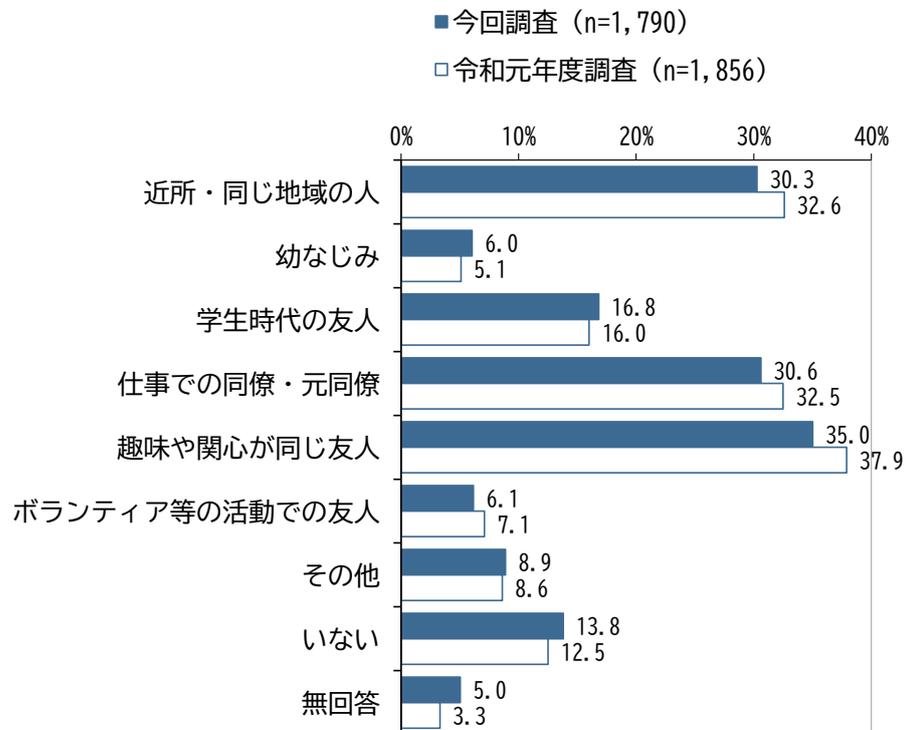


(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人か

問8 (7) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)

よく会う友人・知人はどんな関係の人かについては、「趣味や関心が同じ友人」が35.0%で最も高く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が30.6%、「近所・同じ地域の人」が30.3%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



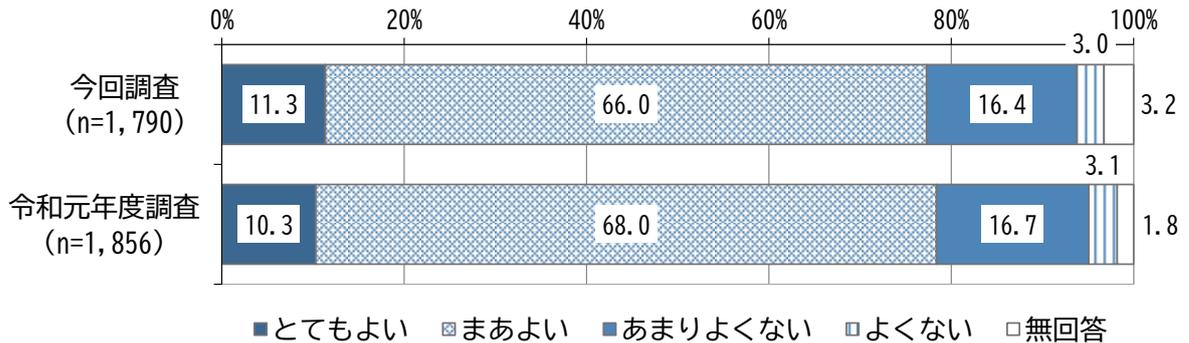
9 健康について

(1) 現在の健康状態

問9 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

現在の健康状態については、「まあよい」が66.0%で最も高く、次いで「あまりよくない」が16.4%、「とてもよい」が11.3%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

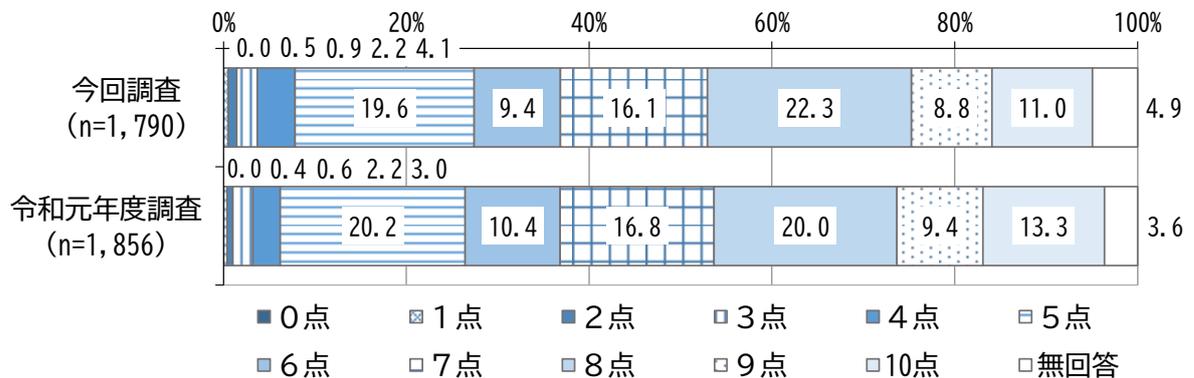


(2) 現在どの程度幸せか

問9 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○をお付けください。)(○は1つ)

現在どの程度幸せかについては、「8点」が22.3%で最も高く、次いで「5点」が19.6%、「7点」が16.1%と続いております、平均点は6.95点となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、平均点(6.95点)は、令和元(2019)年度調査(7.05点)より0.1点低くなっています。

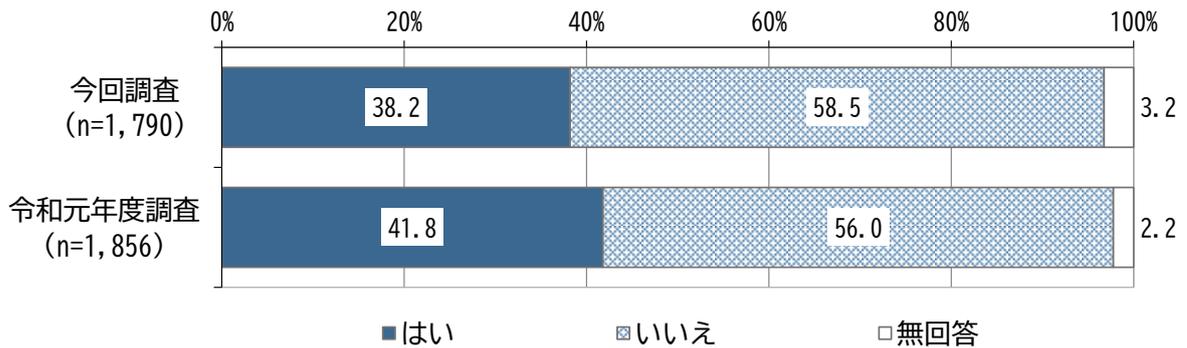


(3) 直近1か月間で気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがあったか

問9 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(○は1つ)

直近1か月間で気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがあったかについては、「はい」が38.2%、「いいえ」が58.5%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「はい」(38.2%)では、令和元(2019)年度調査(41.8%)より3.6ポイント減少しています。

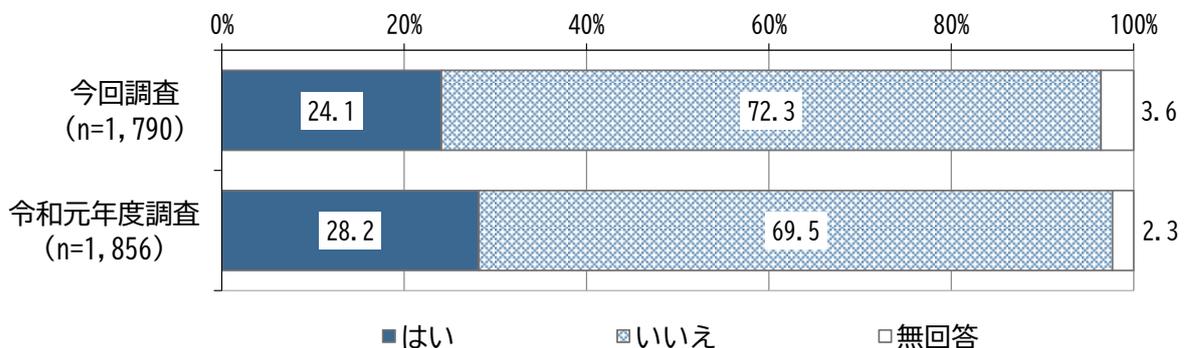


(4) 直近1か月間、物事に興味がわからない、心から楽しめない感じがあったか

問9 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

直近1か月間、物事に興味がわからない、心から楽しめない感じがあったかについては、「はい」が24.1%、「いいえ」が72.3%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「はい」(24.1%)では、令和元(2019)年度調査(28.2%)より4.1ポイント減少しています。

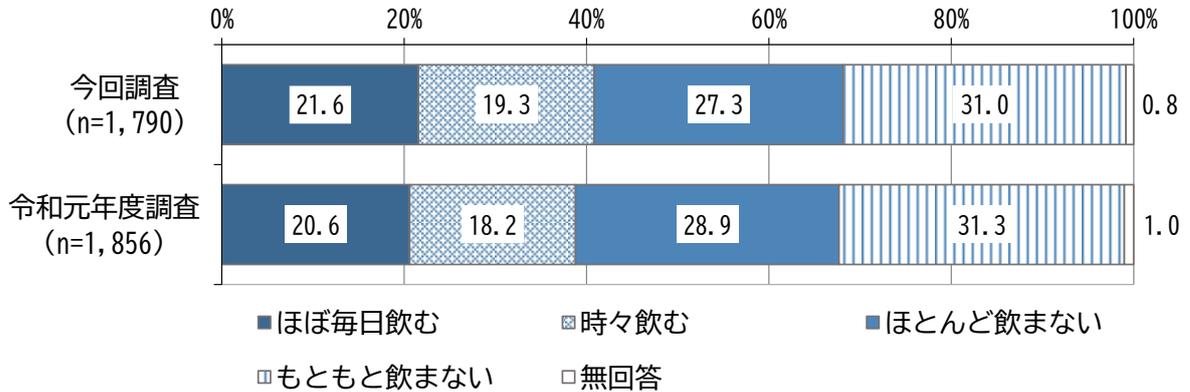


(5) お酒を飲んでいるか

問9 (5) お酒は飲みますか。(○は1つ)

お酒を飲んでいるかについては、「もともと飲まない」が31.0%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が27.3%、「ほぼ毎日飲む」が21.6%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

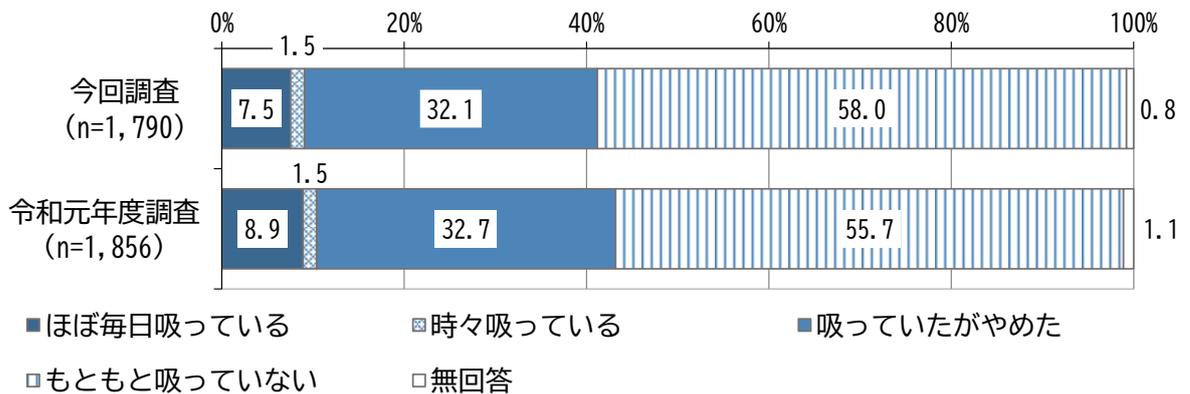


(6) タバコを吸っているか

問9 (6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

タバコを吸っているかについては、「もともと吸っていない」が58.0%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が32.1%、「ほぼ毎日吸っている」が7.5%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

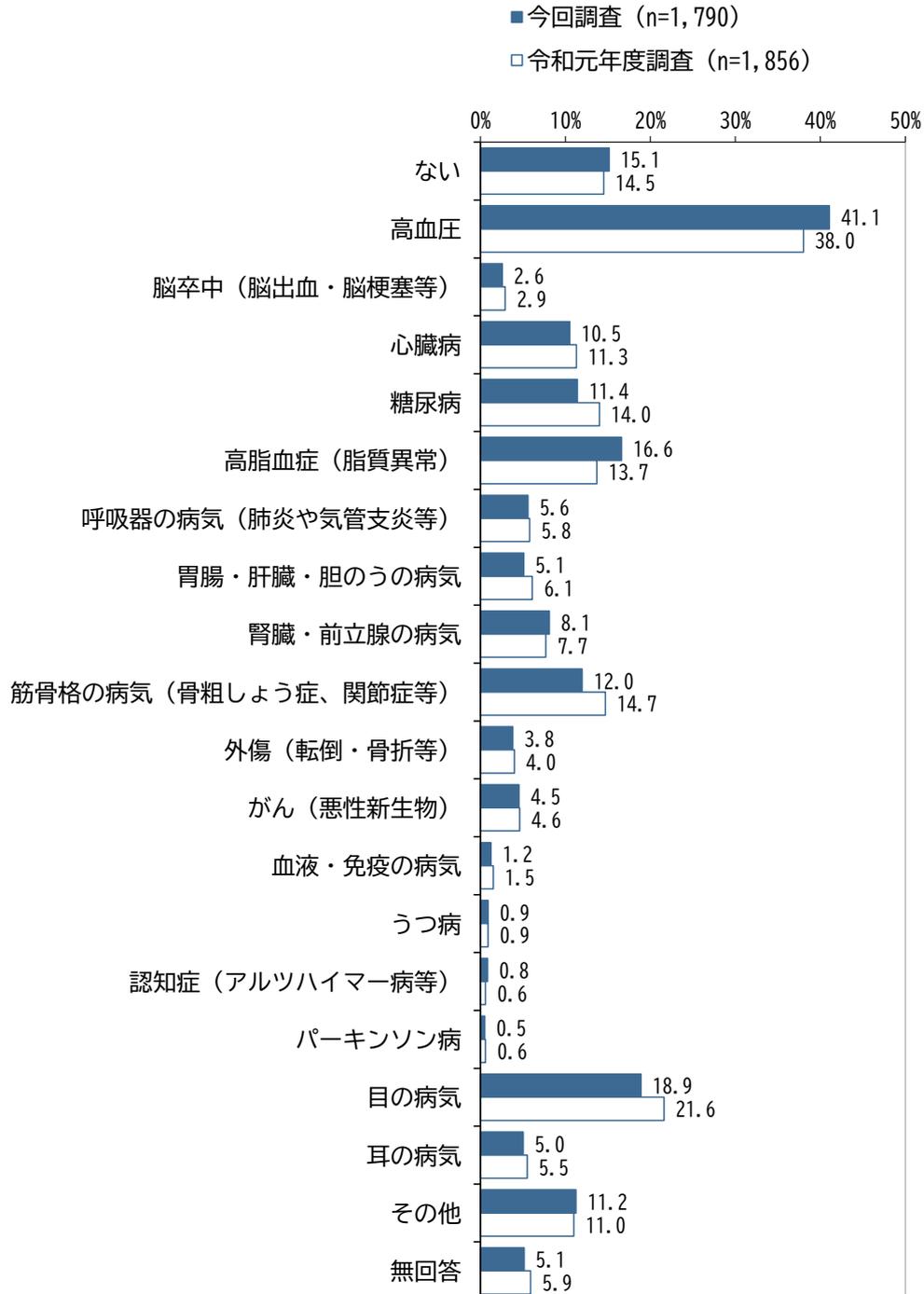


(7) 現在治療中または後遺症のある病気はあるか

問9 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

現在治療中または後遺症のある病気はあるかについては、「高血圧」が41.1%で最も高く、次いで「目の病気」が18.9%、「高脂血症（脂質異常）」が16.6%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「高血圧」(41.1%)では、令和元(2019)年度調査(38.0%)より3.1ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

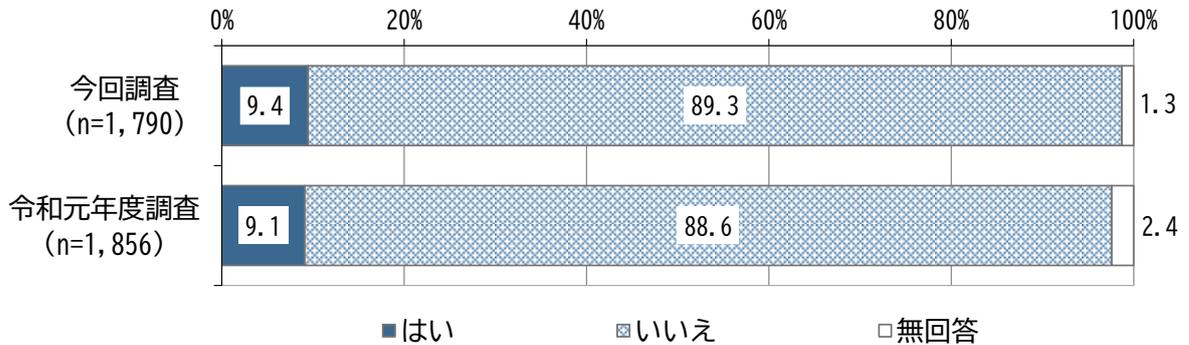


(8) 認知症の症状があるか・家族に認知症の症状がある人がいるか

問10(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

認知症の症状があるか・家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「はい」が9.4%、「いいえ」が89.3%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

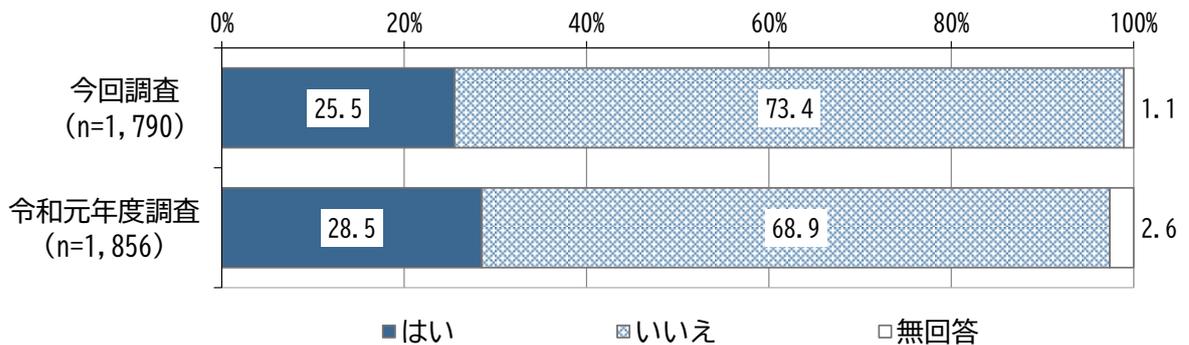


(9) 認知症に関する相談窓口を知っているか

問10(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が25.5%、「いいえ」が73.4%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「いいえ」(73.4%)では、令和元(2019)年度調査(68.9%)より4.5ポイント増加しています。

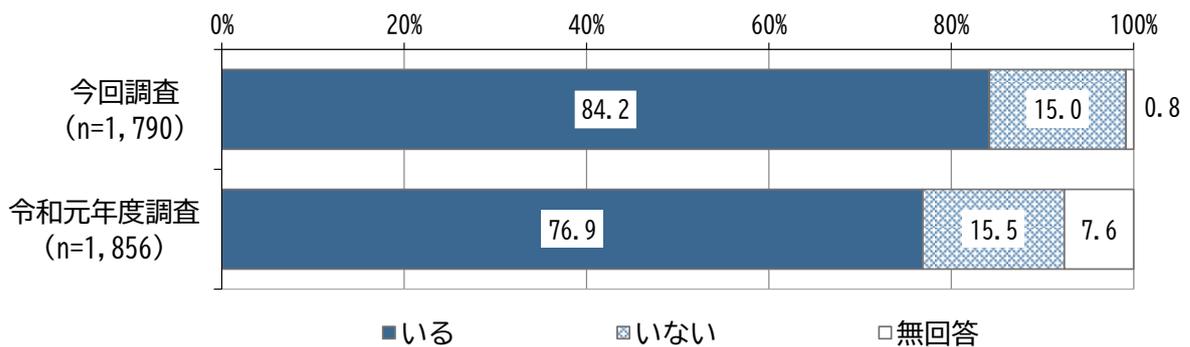


10 かかりつけ医について

(1) かかりつけ医がいるか

問11 普段から治療を受けたり、日常の健康について相談できる「かかりつけ医」がいますか。
(○は1つ)

かかりつけ医がいるかについては、「いる」が84.2%、「いない」が15.0%となっています。
令和元(2019)年度調査と比較すると、「いる」(84.2%)では、令和元(2019)年度調査(76.9%)より7.3ポイント増加しています。



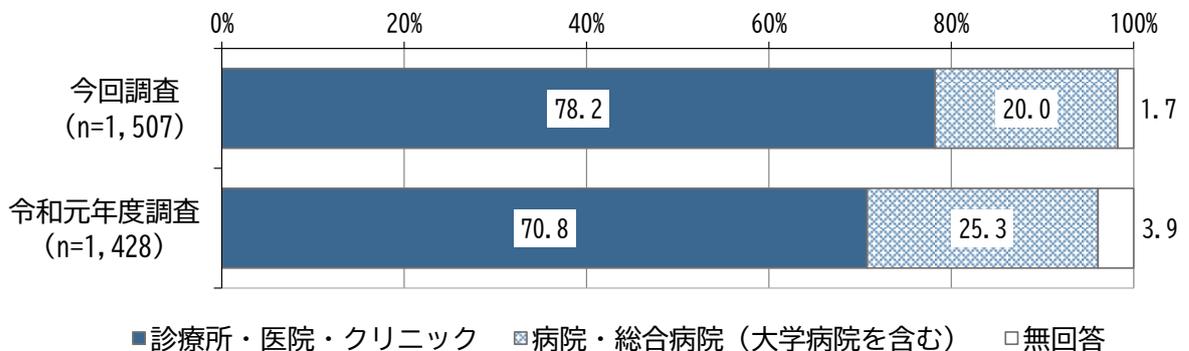
(2) かかりつけ医の医療機関

【問11で「いる」とお答えになった方におたずねします。】

問11(1) かかりつけ医の医療機関は次のうちのどれですか。(○は1つ)

かかりつけ医の医療機関については、「診療所・医院・クリニック」が78.2%、「病院・総合病院(大学病院を含む)」が20.0%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「診療所・医院・クリニック」(78.2%)では、令和元(2019)年度調査(70.8%)より7.4ポイント増加しています。

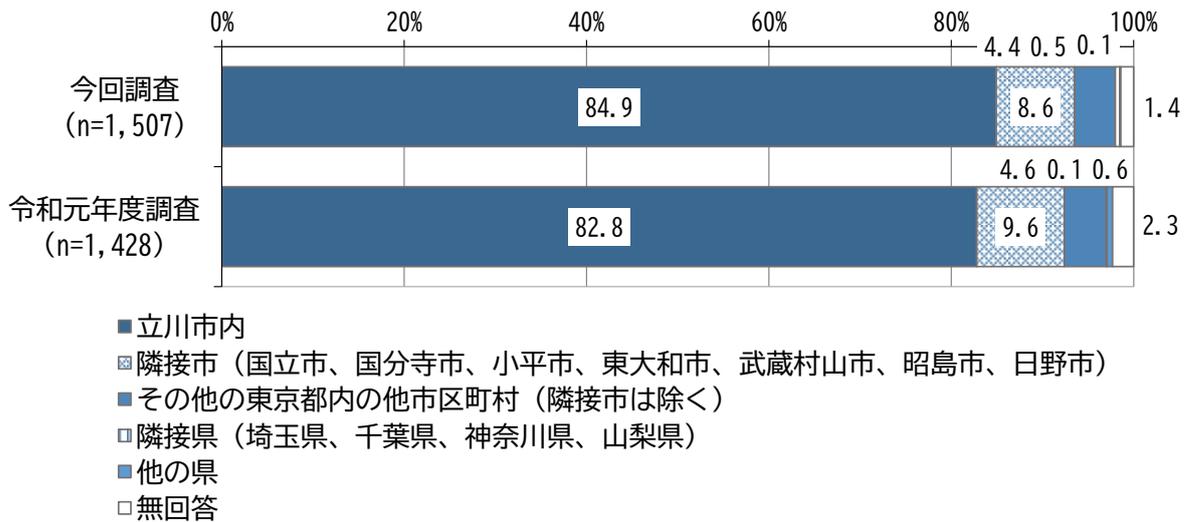


(3) かかりつけ医の所在地

問11(2) その所在地は、どちらですか。(○は1つ)

かかりつけ医の所在地については、「立川市内」が84.9%で最も高く、次いで「隣接市(国立市、国分寺市、小平市、東大和市、武蔵村山市、昭島市、日野市)」が8.6%、「その他の東京都内の他市区町村(隣接市は除く)」が4.4%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

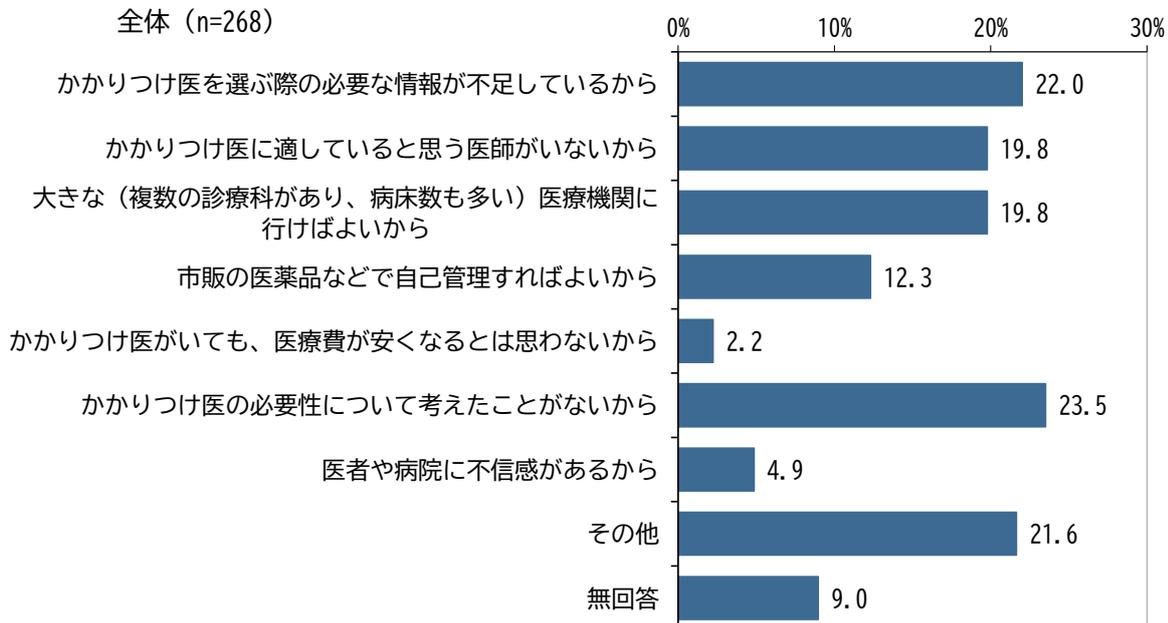


(4) かかりつけ医がない理由

【問11で「いない」とお答えになった方におたずねします。】

問11(3) 「かかりつけ医」がない理由は何ですか。(○はいくつでも)

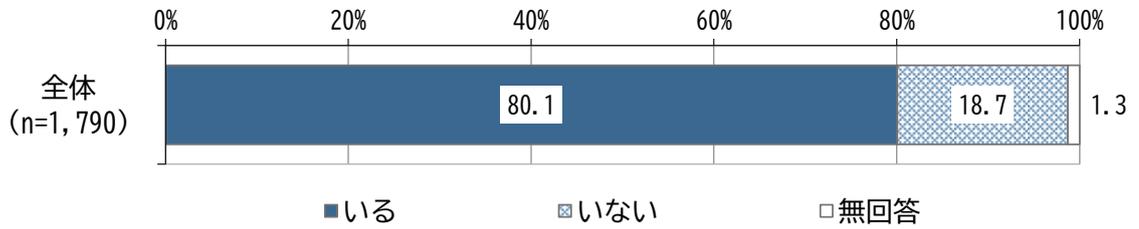
かかりつけ医がない理由については、「かかりつけ医の必要性について考えたことがないから」が23.5%で最も高く、次いで「かかりつけ医を選ぶ際の必要な情報が不足しているから」が22.0%、「その他」が21.6%と続いています。



(5) かかりつけ歯科医がいるか

問12 かかりつけ歯科医はいますか。(○は1つ)

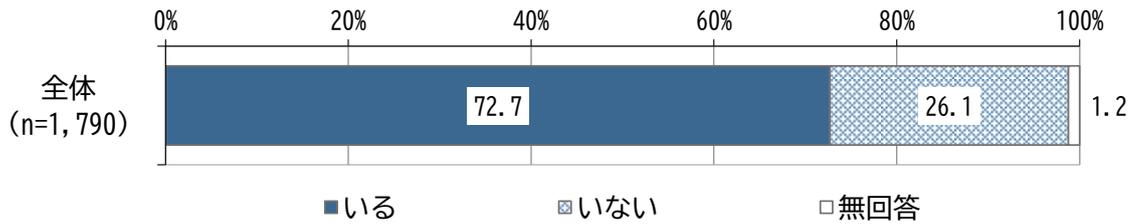
かかりつけ歯科医がいるかについては、「いる」が80.1%、「いない」が18.7%となっています。



(6) かかりつけ薬剤師・薬局を持っているか

問13 かかりつけ薬剤師・薬局を持っていますか。(○は1つ)

かかりつけ薬剤師・薬局を持っているかについては、「いる」が72.7%、「いない」が26.1%となっています。



11 住まいについて

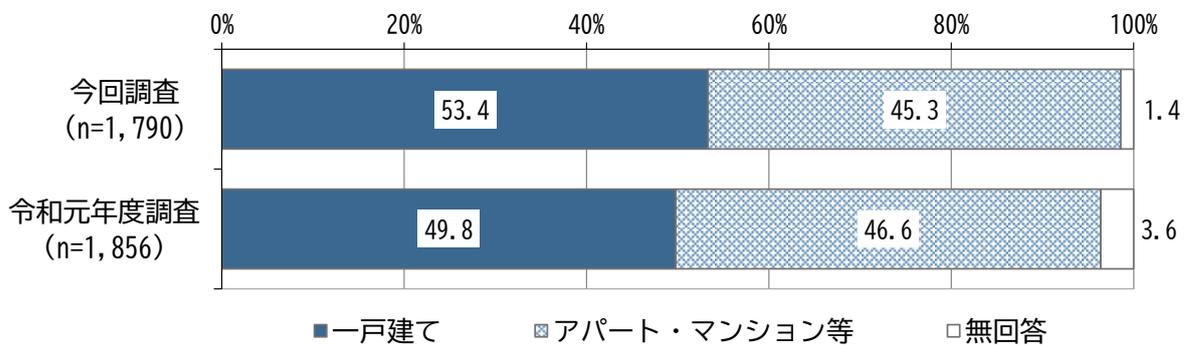
(1) 現在の住まい

問14 あなたは現在、お住まい（アパート・マンション等も含む）の何階で生活していますか。
（〇および数値記入）

① 現在の住まいの種類

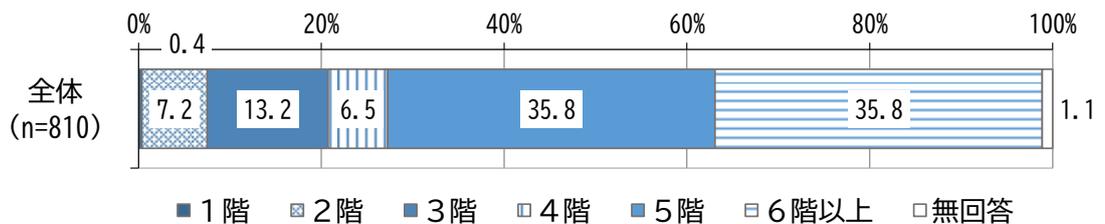
現在の住まいの種類については、「一戸建て」が53.4%、「アパート・マンション等」が45.3%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「一戸建て」(53.4%)では、令和元(2019)年度調査(49.8%)より3.6ポイント増加しています。



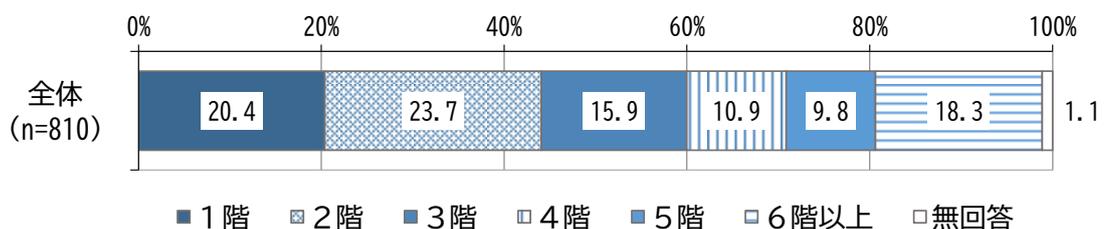
② 何階建てか（アパート・マンション等）

アパート・マンション等に住んでいると回答した方の、住まいが何階建てかについては、「5階」、「6階以上」がいずれも35.8%で最も高くなっています。



③ 住んでいる階層（アパート・マンション等）

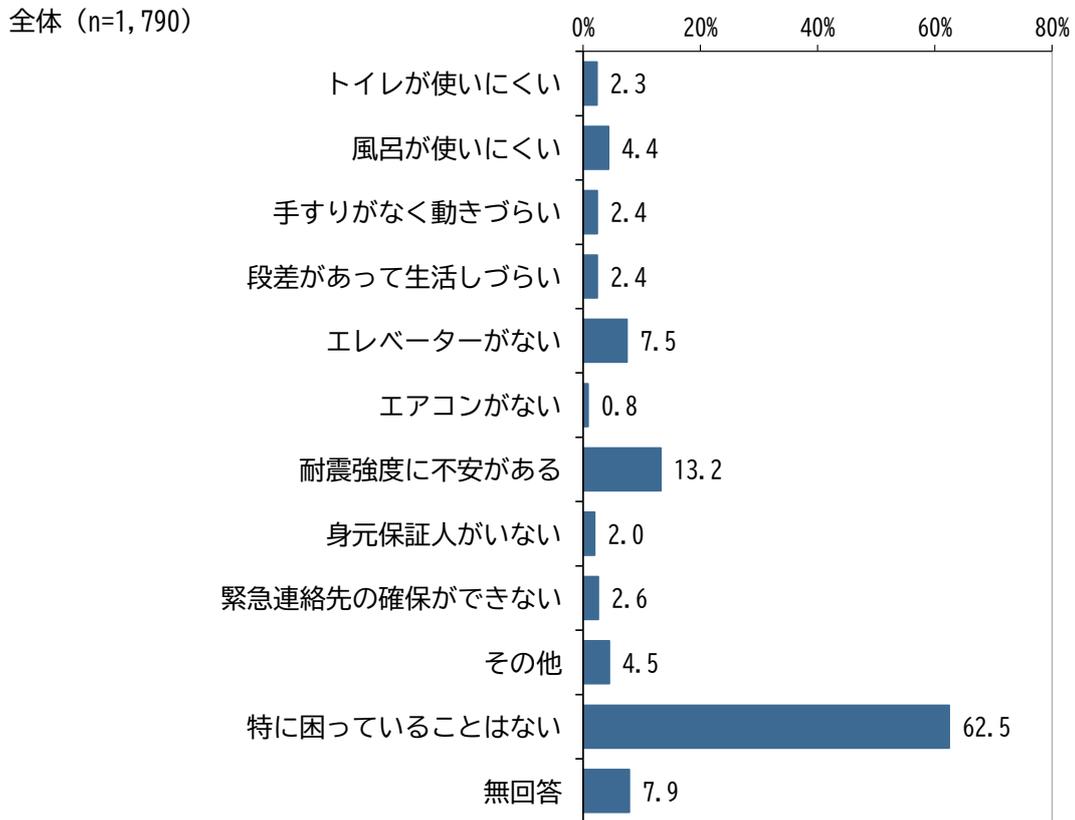
アパート・マンション等に住んでいると回答した方の、住んでいる階層については、「2階」が23.7%で最も高く、次いで「1階」が20.4%、「6階以上」が18.3%と続いています。



(2) 住まいについて困っていること

問15 現在、お住まいの状況についてお困りのことはありますか。(〇はいくつでも)

住まいについて困っていることについては、「特に困っていることはない」が62.5%で最も高く、次いで「耐震強度に不安がある」が13.2%、「エレベーターがない」が7.5%と続いています。



性別で見ると、「特に困っていることはない」では、男性が66.6%で、女性(59.6%)より7.0ポイント高くなっています。

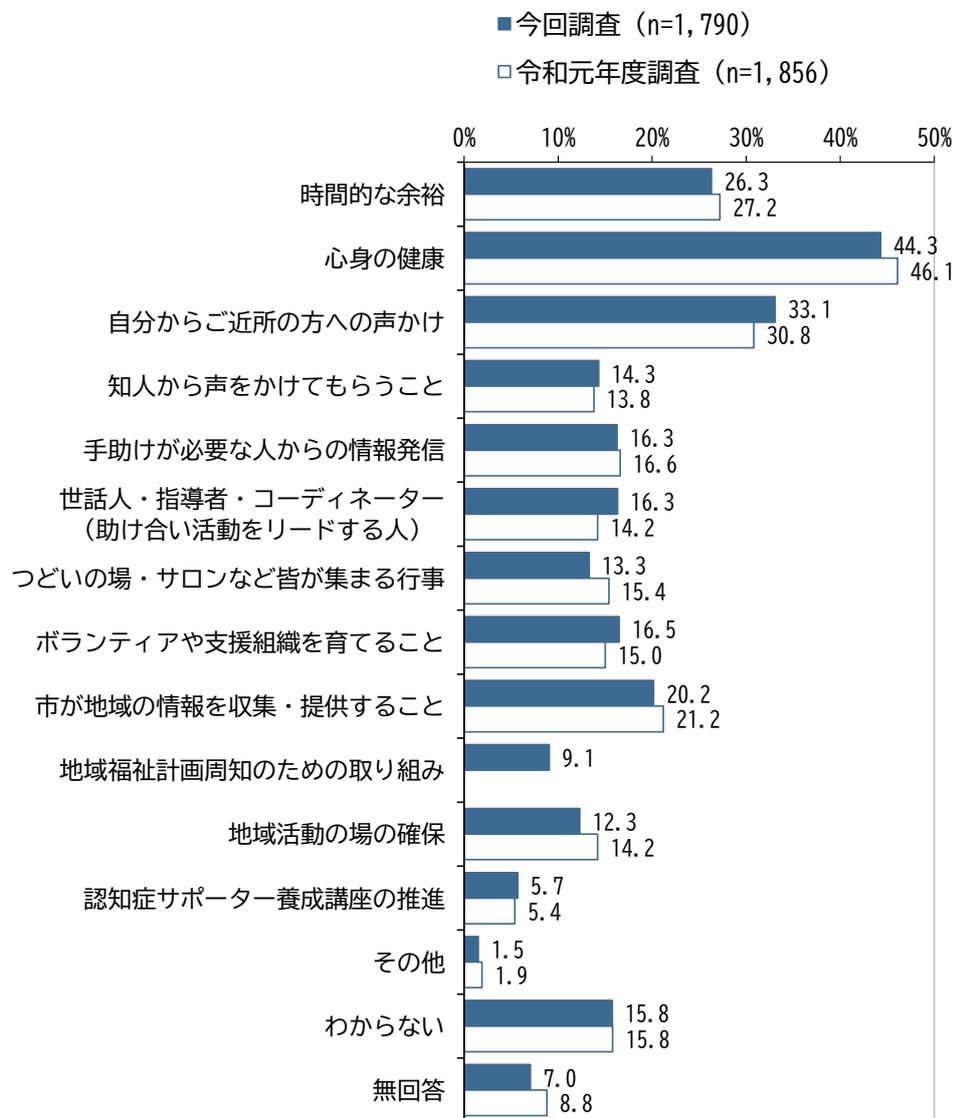
12 ご近所づきあい

(1) ご近所での見守り・助け合い活動を広げるために必要なこと

問 16 ご近所での見守りやお世話など助けあいの活動を広げるために、必要なことは何ですか
(〇はいくつでも)

ご近所での見守り・助け合い活動を広げるために必要なことについては、「心身の健康」が44.3%で最も高く、次いで「自分からご近所の方への声かけ」が33.1%、「時間的な余裕」が26.3%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較できる項目で比較すると、大きな差はみられません。



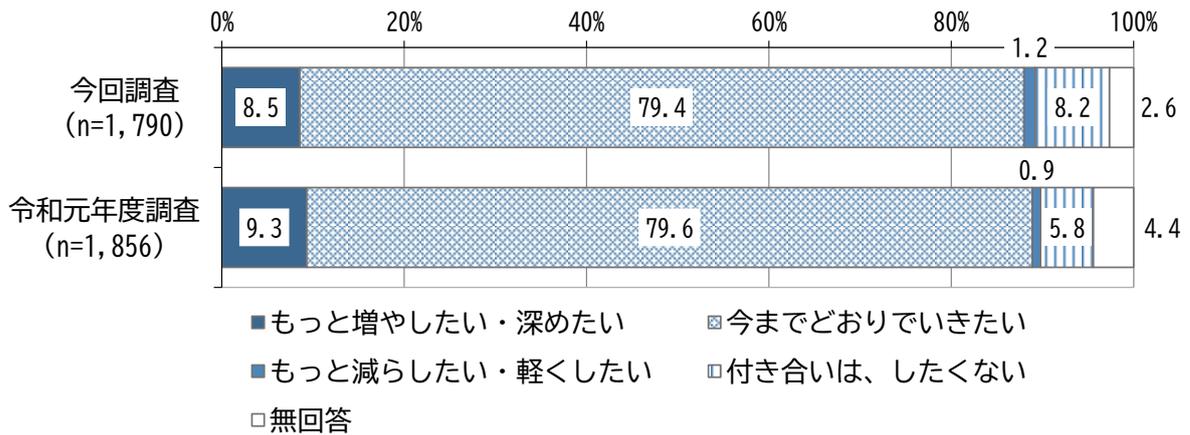
※ 「地域福祉計画周知のための取り組み」は今回調査からの選択肢

(2) ご近所の方々との今後のお付き合いについてどう思うか

問 17 ご近所の方々との今後のお付き合いについて、どのように思いますか。(○は1つ)

ご近所の方々との今後のお付き合いについてどう思うかについては、「今までどおりでいきたい」が79.4%で最も高く、次いで「もっと増やしたい・深めたい」が8.5%、「付き合いは、したくない」が8.2%と続いています。

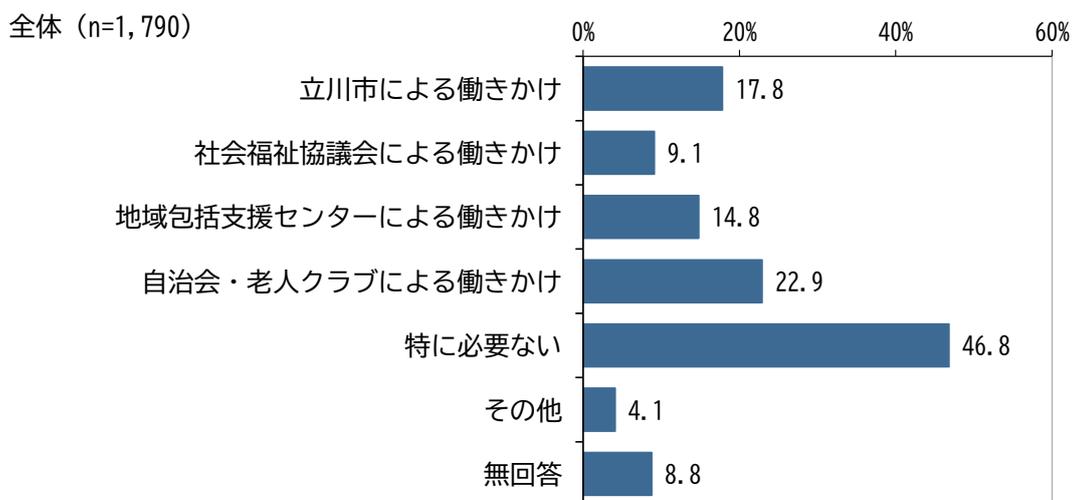
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



(3) ご近所付き合いの取り組みに必要なこと

問 18 どのような取り組みがあれば、ご近所付き合いができますか。(○はいくつでも)

ご近所付き合いの取り組みに必要なことについては、「特に必要ない」が46.8%で最も高く、次いで「自治会・老人クラブによる働きかけ」が22.9%、「立川市による働きかけ」が17.8%と続いています。



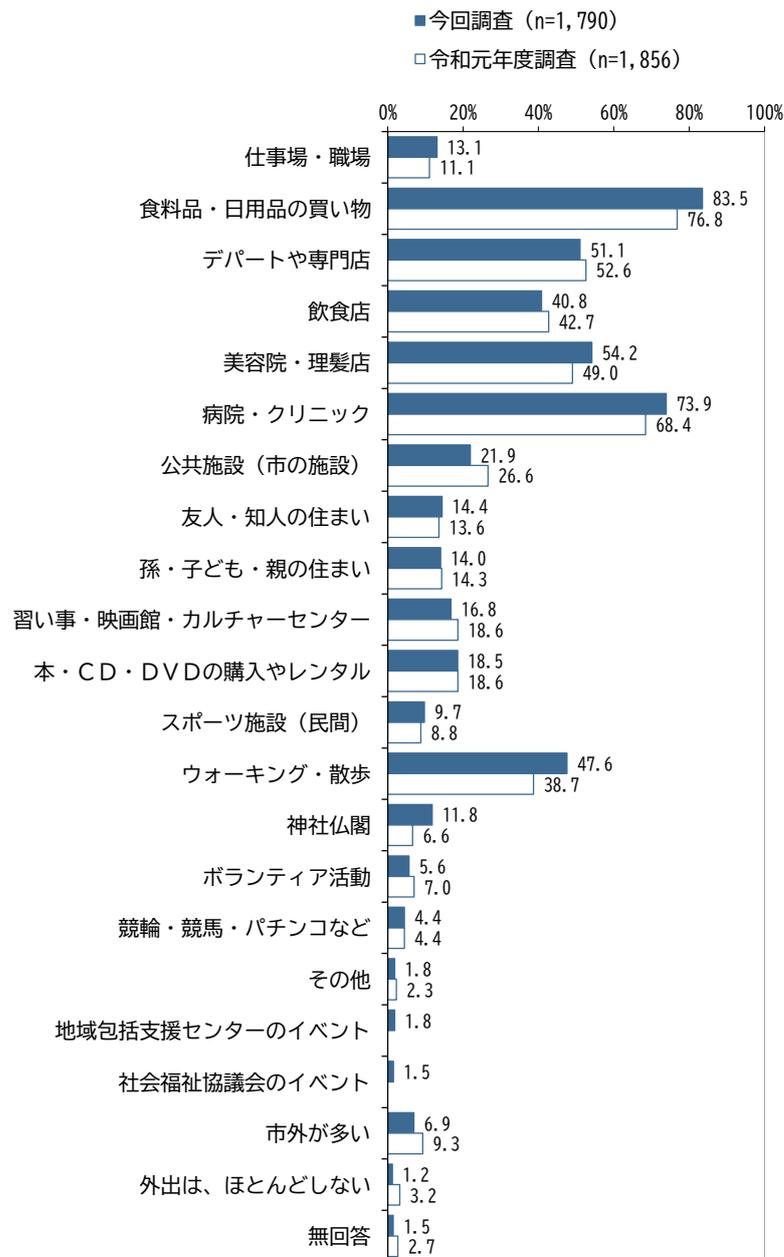
13 普段の外出について

(1) 立川市内の外出先

問19 立川市内へのお出かけは、どのような場所へ行かれますか。(〇はいくつでも)

立川市内の外出先については、「食料品・日用品の買い物」が83.5%で最も高く、次いで「病院・クリニック」が73.9%、「美容院・理髪店」が54.2%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較できる項目で比較すると、「ウォーキング・散歩」(47.6%)では、令和元(2019)年度調査(38.7%)より8.9ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

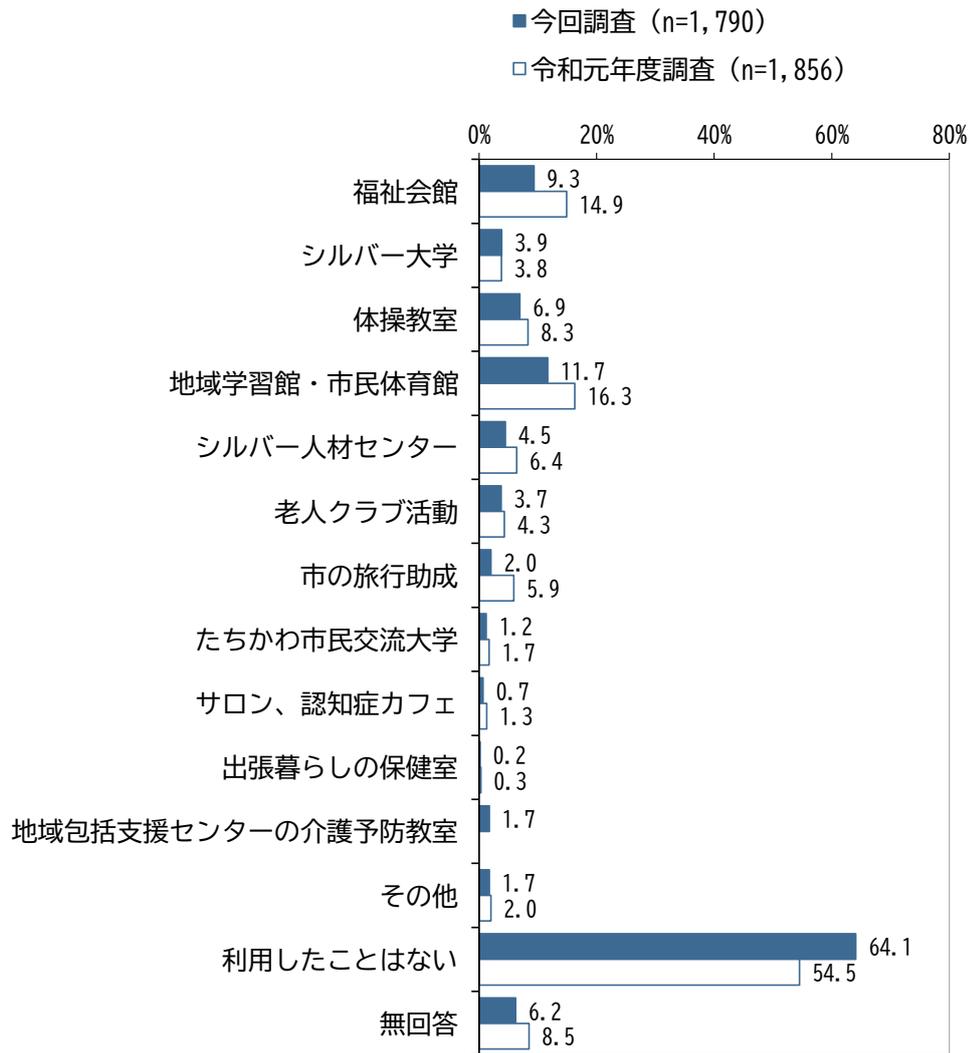


※ 「地域包括支援センターのイベント」「社会福祉協議会のイベント」は今回調査からの選択肢

(2) 1年以内に立川市のサービスや施設で利用したもの

問20 立川市では、高齢者の皆さんの生きがいくりの支援や健康増進及び介護予防、見守り等のために、次のようなサービスや施設があります。1年以内に利用したことがあるものに、○を付けてください。(○はいくつでも)

1年以内に立川市のサービスや施設で利用したものについては、「利用したことはない」が64.1%で最も高く、次いで「地域学習館・市民体育館」が11.7%、「福社会館」が9.3%と続いています。令和元(2019)年度調査と比較すると、「利用したことはない」(64.1%)では、令和元(2019)年度調査(54.5%)より9.6ポイント増加し、最も増加した項目となっています。



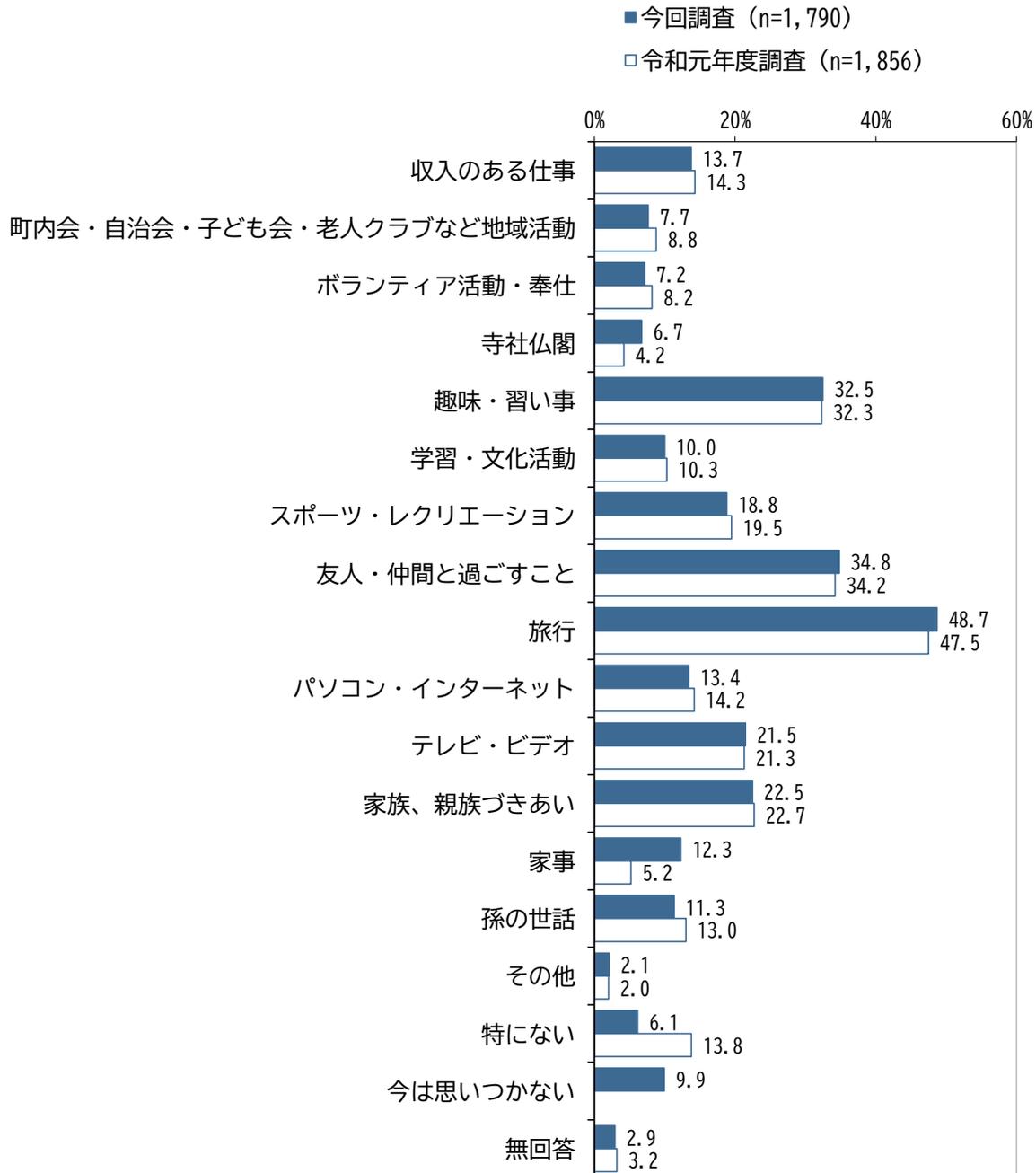
※ 「地域包括支援センターの介護予防教室」は今回調査からの選択肢

(3) 新たに生きがいや楽しみにしていきたいこと

問21 これから新たに生きがいや楽しみにしていきたいことは何ですか。(〇はいくつでも)

新たに生きがいや楽しみにしていきたいことについては、「旅行」が48.7%で最も高く、次いで「友人・仲間と過ごすこと」が34.8%、「趣味・習い事」が32.5%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較できる項目で比較すると、「家事」(12.3%)では、令和元(2019)年度調査(5.2%)より7.1ポイント増加し、最も増加した項目となっています。



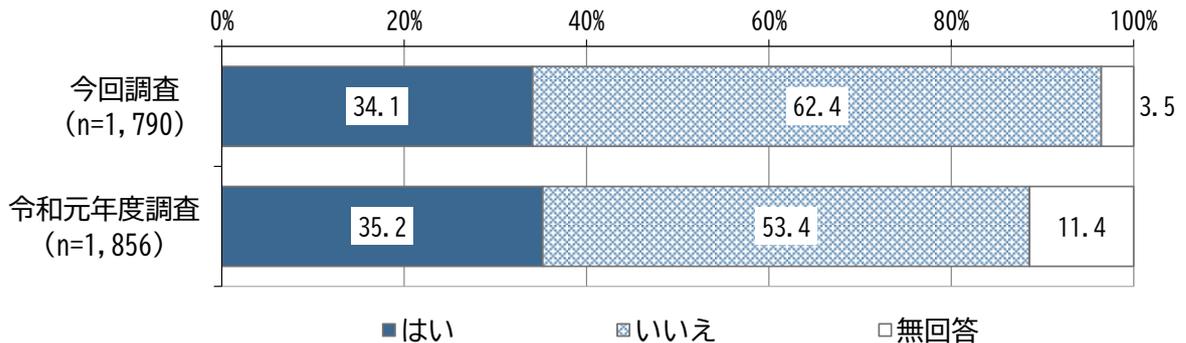
※ 「今は思いつかない」は今回調査からの選択肢

14 就労について

(1) 仕事をしたい・続けたいか

問22 現在、仕事をしたい又は続けたいお気持ちがありますか。(○は1つ)

仕事をしたい・続けたいかについては、「はい」が34.1%、「いいえ」が62.4%となっています。令和元(2019)年度調査と比較すると、「いいえ」(62.4%)では、令和元(2019)年度調査(53.4%)より9.1ポイント増加しています。



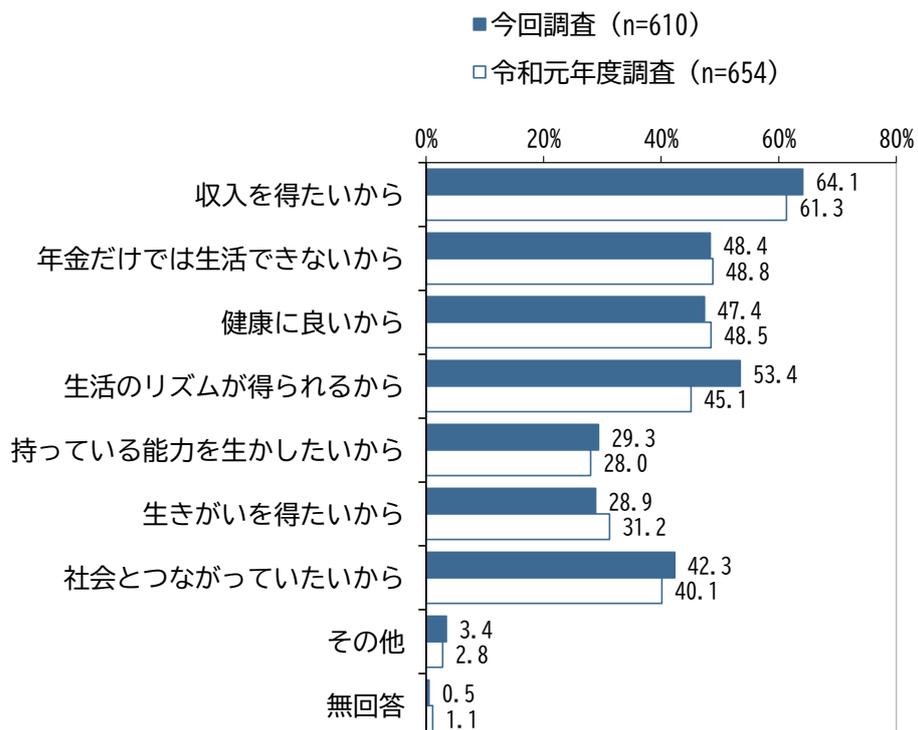
(2) 仕事をしたい・続けたい理由

【問22で「はい」とお答えになった方におたずねします。】

問22(1) その理由は何ですか。(○はいくつでも)

仕事をしたい・続けたい理由については、「収入を得たいから」が64.1%で最も高く、次いで「生活のリズムが得られるから」が53.4%、「年金だけでは生活できないから」が48.4%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「生活のリズムが得られるから」(53.4%)では、令和元(2019)年度調査(45.1%)より8.3ポイント増加し、最も増加した項目となっています。



(3) 就労先をどこで探すか

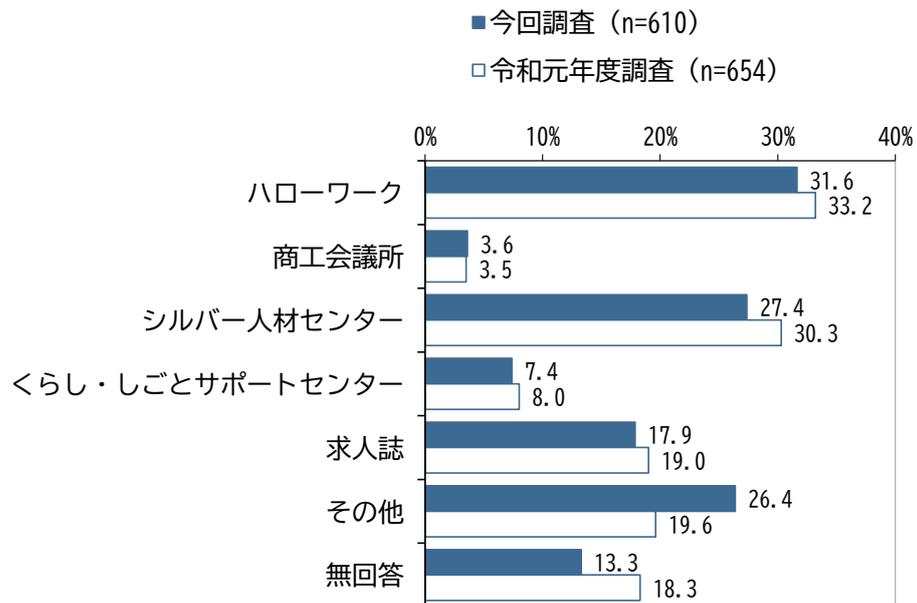
【問22で「はい」とお答えになった方におたずねします。】

問22(2) 就労先を探すとしたら、どこで探しますか。(〇はいくつでも)

就労先をどこで探すかについては、「ハローワーク」が31.6%で最も高く、次いで「シルバー人材センター」が27.4%、「その他」が26.4%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「その他」(26.4%)では、令和元(2019)年度調査(19.6%)より6.8ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-14-7 就労先をどこで探すか



(補足) その他の自由記述：インターネット、友人・知人の紹介、等

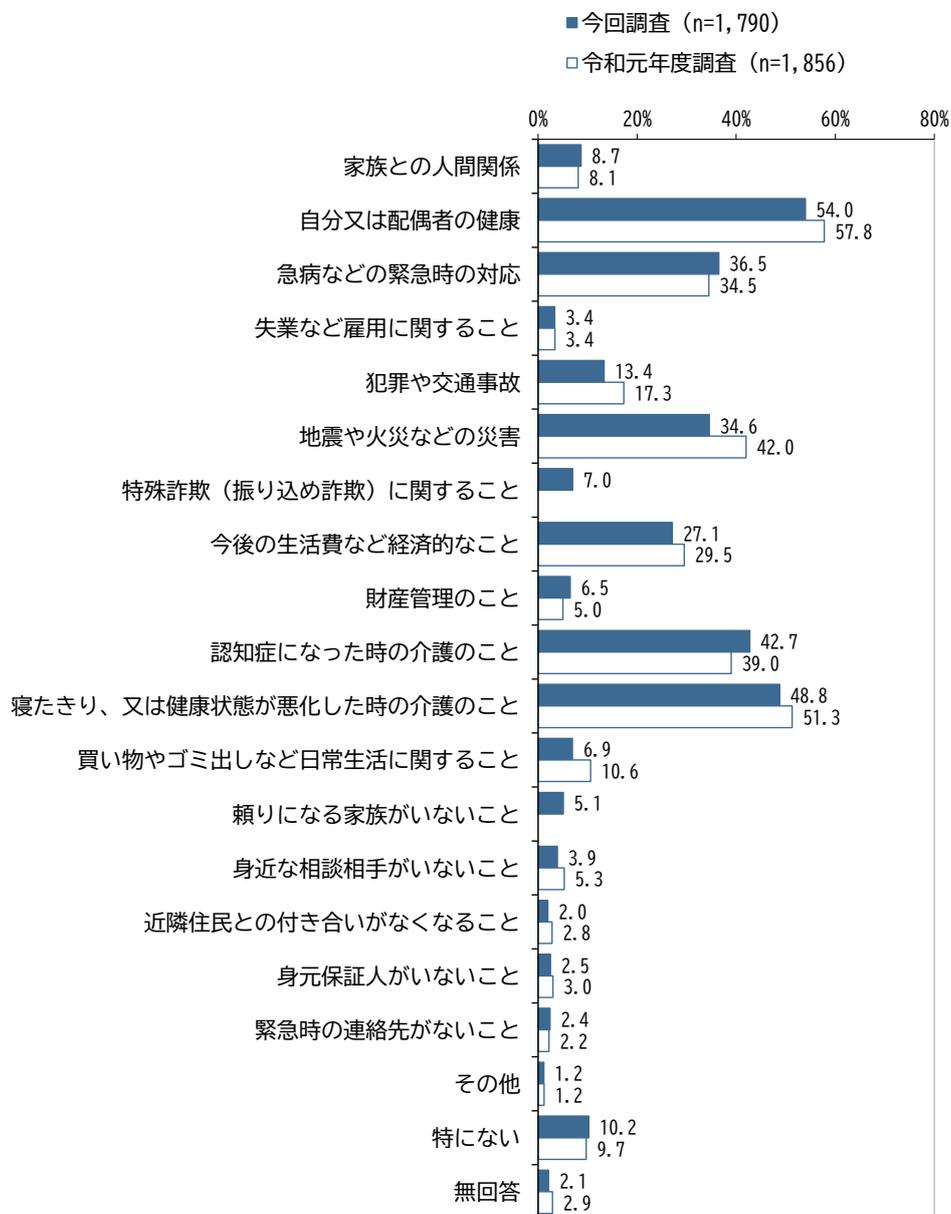
15 生活の心配や相談先について

(1) 今後の暮らしで不安に感じていること

問23 今後の暮らしについて不安に感じていることはありますか。(〇はいくつでも)

今後の暮らしで不安に感じていることについては、「自分又は配偶者の健康」が54.0%で最も高く、次いで「寝たきり、又は健康状態が悪化した時の介護のこと」が48.8%、「認知症になった時の介護のこと」が42.7%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較できる項目で比較すると、「認知症になった時の介護のこと」(42.7%)では、令和元(2019)年度調査(39.0%)より3.7ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

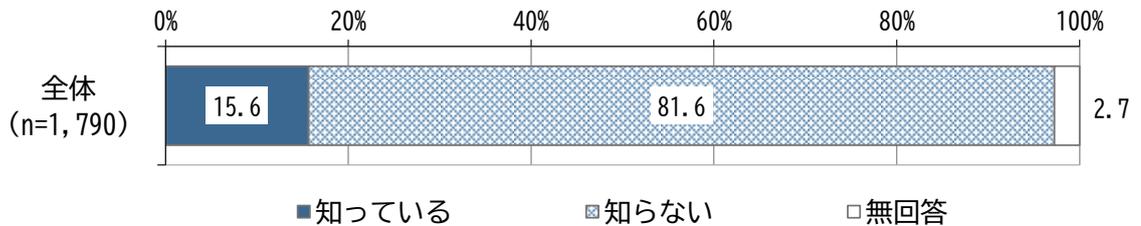


※ 「特殊詐欺(振り込め詐欺)に関すること」「頼りになる家族がないこと」は今回調査からの選択肢

(2) 地域支え合いネットワーク事業を知っているか

問 24 地域支え合いネットワーク事業を知っていますか。(○は1つ)

地域支え合いネットワーク事業を知っているかについては、「知っている」が15.6%、「知らない」が81.6%となっています。

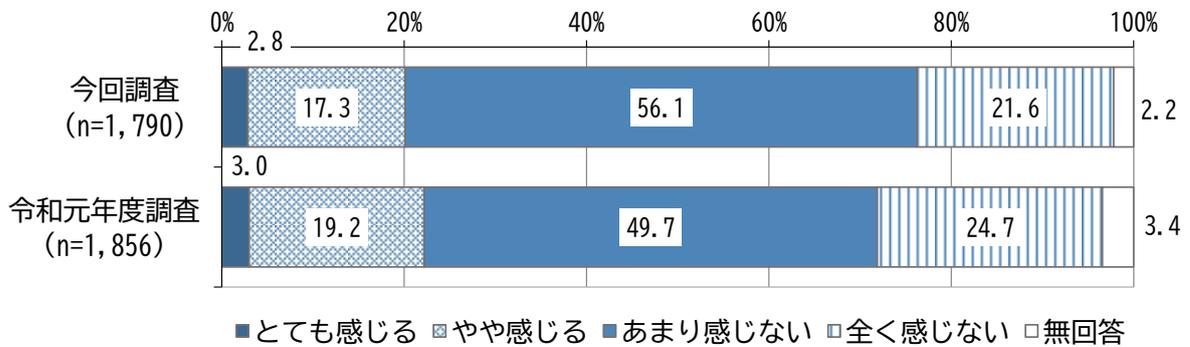


(3) 社会的な孤立を感じているか

問 25 あなたは、社会的な孤立を身近に感じますか。(○は1つ)

社会的な孤立を感じているかについては、「あまり感じない」が56.1%で最も高く、次いで「全く感じない」が21.6%、「やや感じる」が17.3%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「全く感じない」(21.6%)では、令和元(2019)年度調査(24.7%)より3.1ポイント減少しています。

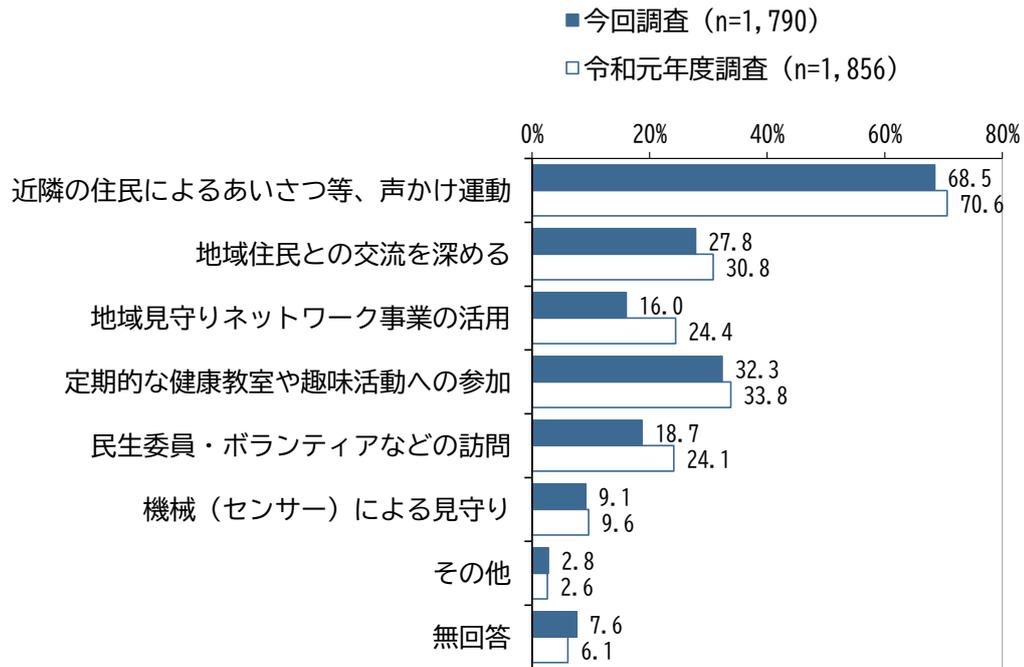


(4) 社会的孤立を防ぐために必要なこと

問 26 社会的な孤立を防ぐのに必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

社会的孤立を防ぐために必要なことについては、「近隣の住民によるあいさつ等、声かけ運動」が68.5%で最も高く、次いで「定期的な健康教室や趣味活動への参加」が32.3%、「地域住民との交流を深める」が27.8%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「その他」を除く全ての項目で割合が減少しています。

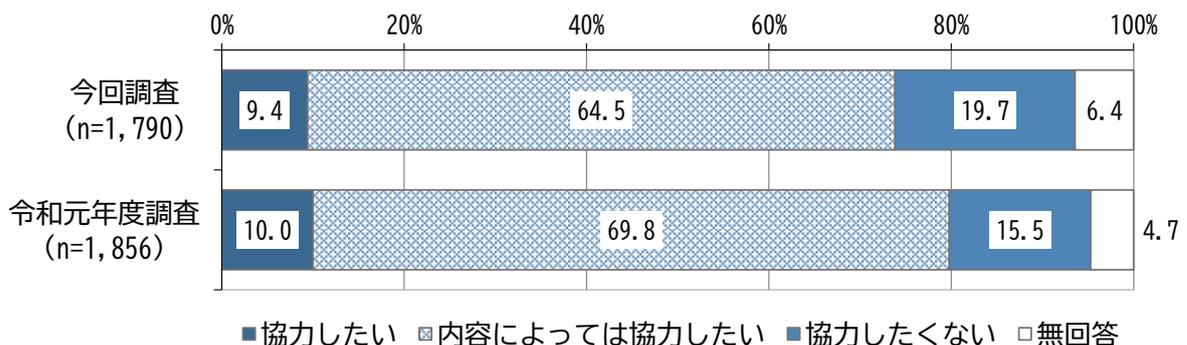


(5) 見守りボランティアへの協力意向

問 27 あなたにご近所の方を見守る、見守りボランティアを頼んだら協力していただけますか。(〇は1つ)

見守りボランティアへの協力意向については、「内容によっては協力したい」が64.5%で最も高く、次いで「協力したくない」が19.7%、「協力したい」が9.4%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「協力したくない」(19.7%)では、令和元(2019)年度調査(15.5%)より4.2ポイント増加しています。



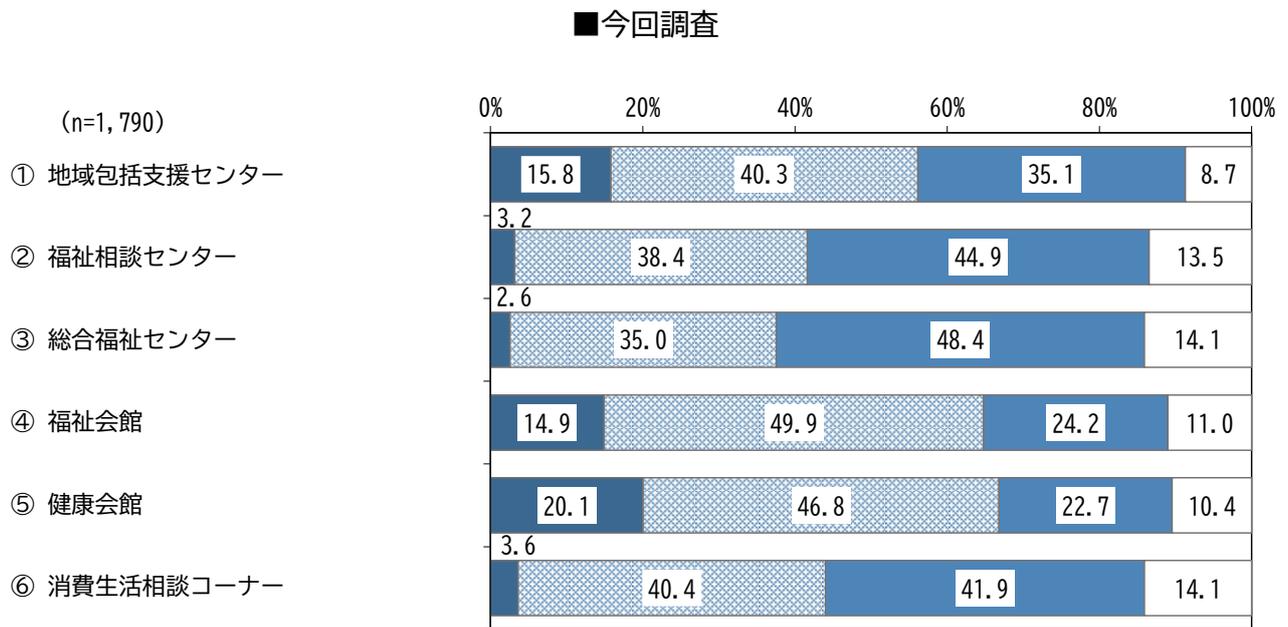
(6) 各種窓口の認知・利用状況

問28 あなたは、下記①から⑥の窓口をご存知ですか、又利用したことがありますか。

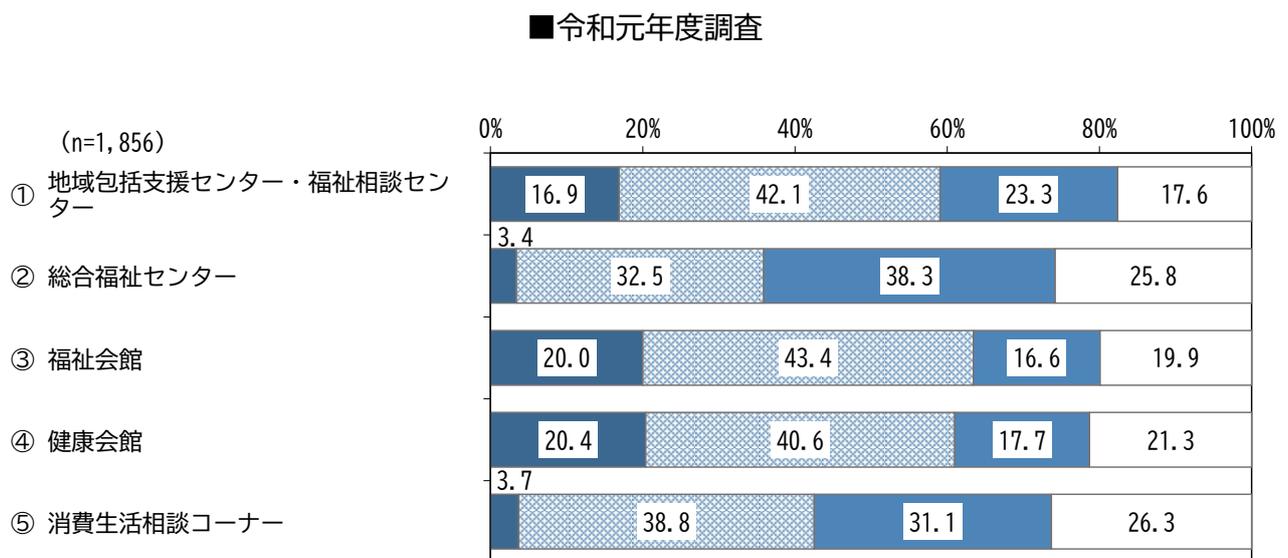
(①～⑥それぞれに○は1つずつ)

各種窓口の認知・利用状況について、認知度（「利用したことがある」と「利用したことはないが知っている」の合計）では、「⑤ 健康会館」が66.9%で最も高く、次いで「④ 福社会館」が64.8%、「地域包括支援センター」が56.1%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較できる項目で比較すると、認知度では、「⑤ 健康会館」（66.9%）が令和元（2019）年度調査（61.0%）より5.9ポイント増加し、最も増加した項目となっています。



■利用したことがある ■利用したことはないが知っている ■知らない □無回答



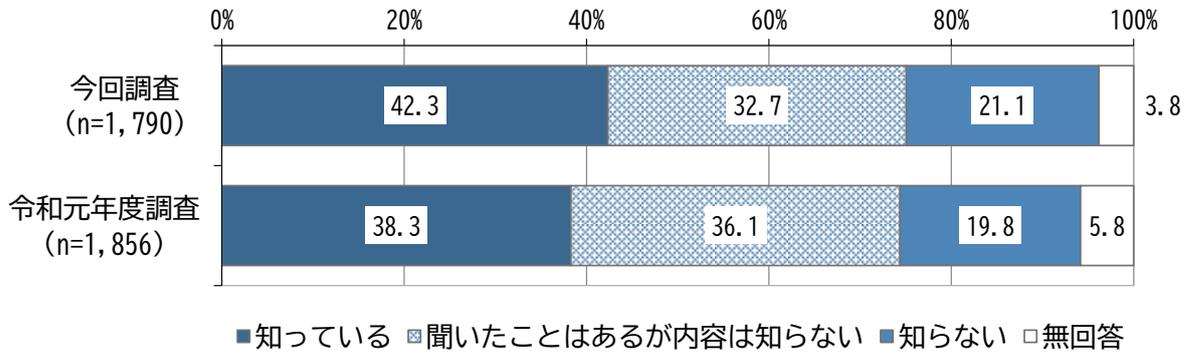
■利用したことがある ■利用したことはないが知っている ■知らない □無回答

(7) 成年後見制度の認知状況

問 29 成年後見制度についてご存知ですか。(○は1つ)

成年後見制度の認知状況については、「知っている」が42.3%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容は知らない」が32.7%、「知らない」が21.1%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「知っている」(42.3%)では、令和元(2019)年度調査(38.3%)より4.0ポイント増加しています。

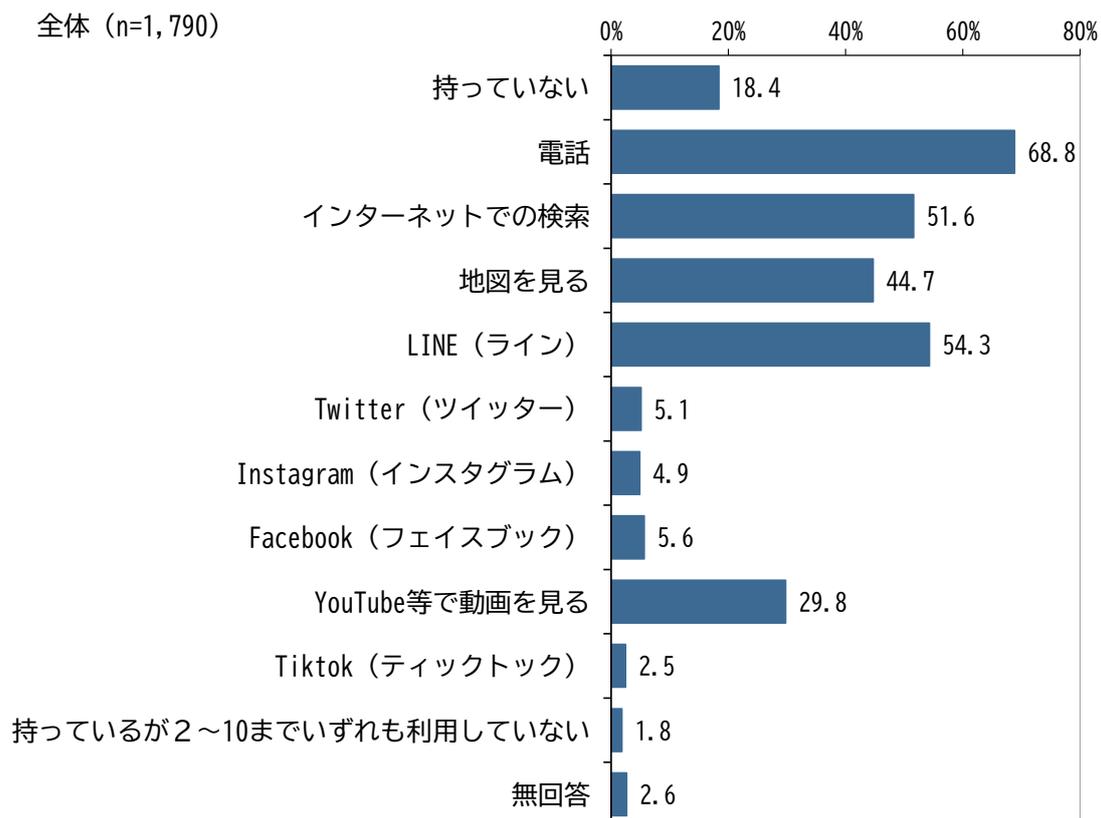


(8) スマートフォン等の所有状況と利用状況

問 30 スマートフォンまたはタブレットをお持ちですか。

また、お持ちの方は以下のいずれの機能を利用していますか。(○はいくつでも)

スマートフォン等の所有状況については、『持っている』(全体から「持っていない」と無回答を除いた割合)は79.0%で、「持っていない」は18.4%となっており、利用状況については、「電話」が68.8%で最も高く、次いで「LINE(ライン)」が54.3%、「インターネットでの検索」が51.6%と続いています。

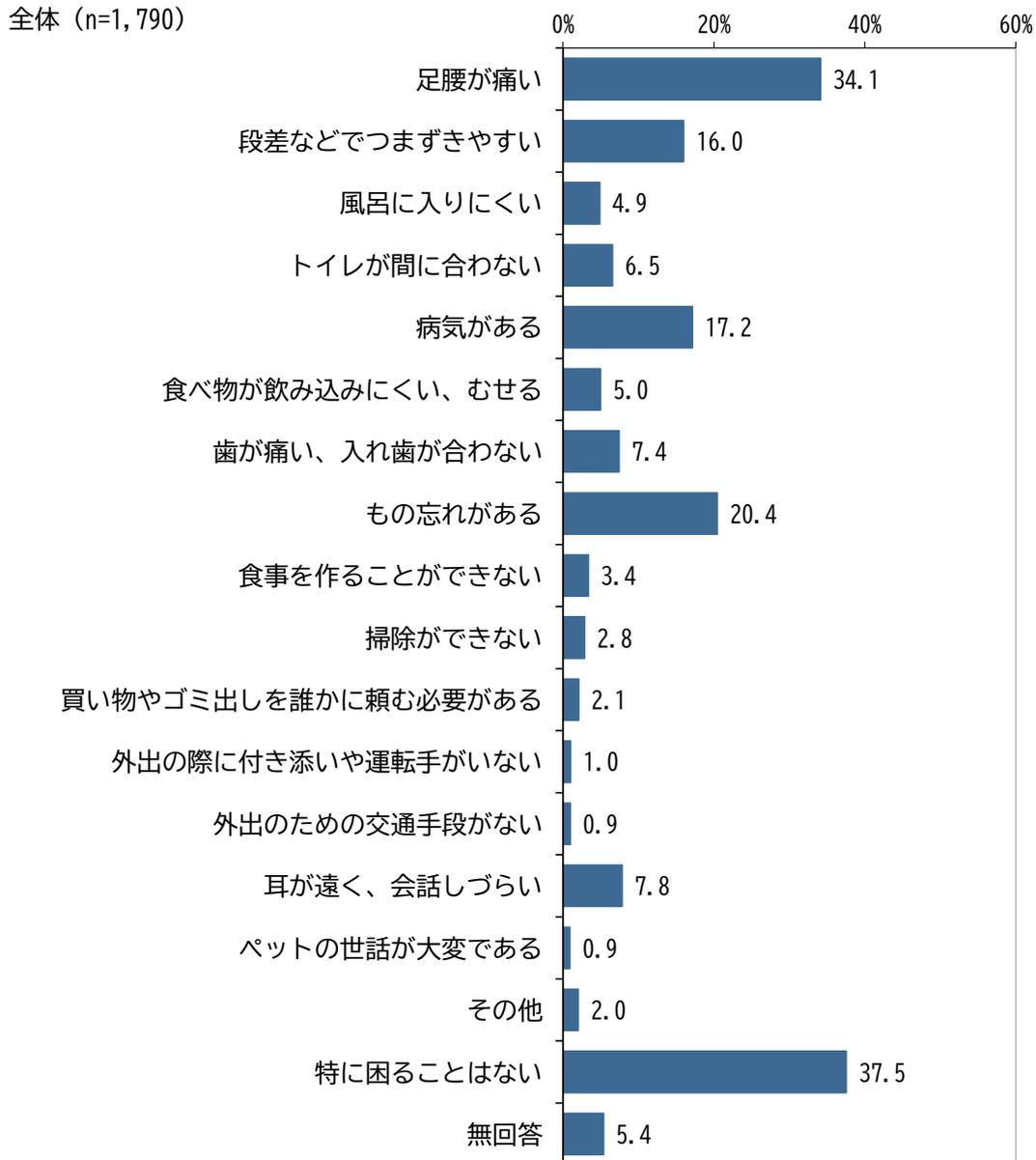


16 今後の暮らしについて

(1) 普段の生活で困ること

問31 普段の生活で、次のような困ることはありますか。(〇はいくつでも)

普段の生活で困ることについては、「特に困ることはない」が37.5%で最も高く、次いで「足腰が痛い」が34.1%、「もの忘れがある」が20.4%と続いています。

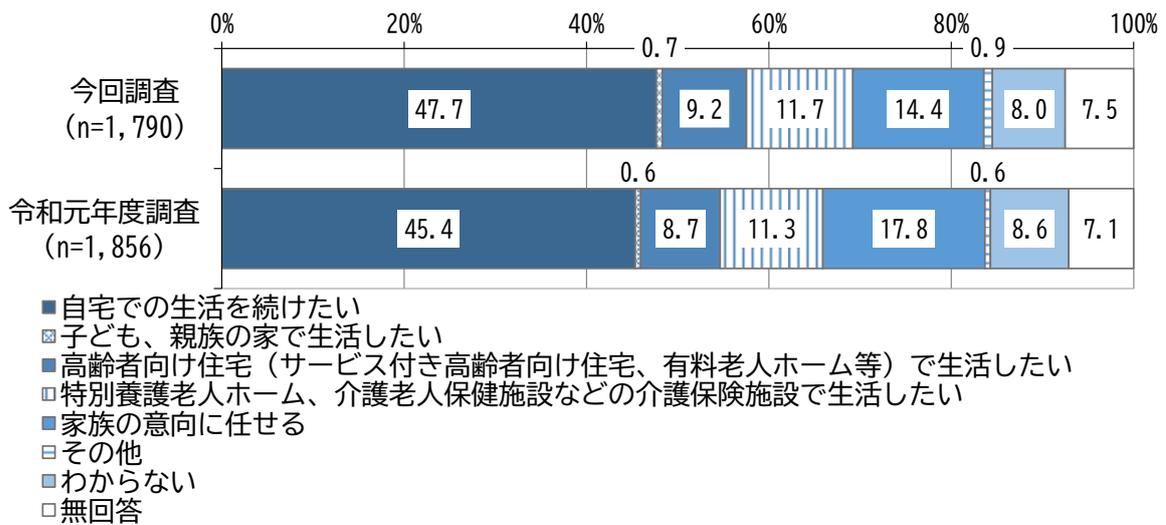


(2) 介護が必要になった時に希望する生活

問 32 介護が必要になったときの生活について、ご希望に最も近いものはどれですか。
(○は1つ)

介護が必要になった時に希望する生活については、「自宅での生活を続けたい」が47.7%で最も高く、次いで「家族の意向に任せる」が14.4%、「特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などの介護保険施設で生活したい」が11.7%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「家族の意向に任せる」(14.4%)では、令和元(2019)年度調査(17.8%)より3.4ポイント減少しています。

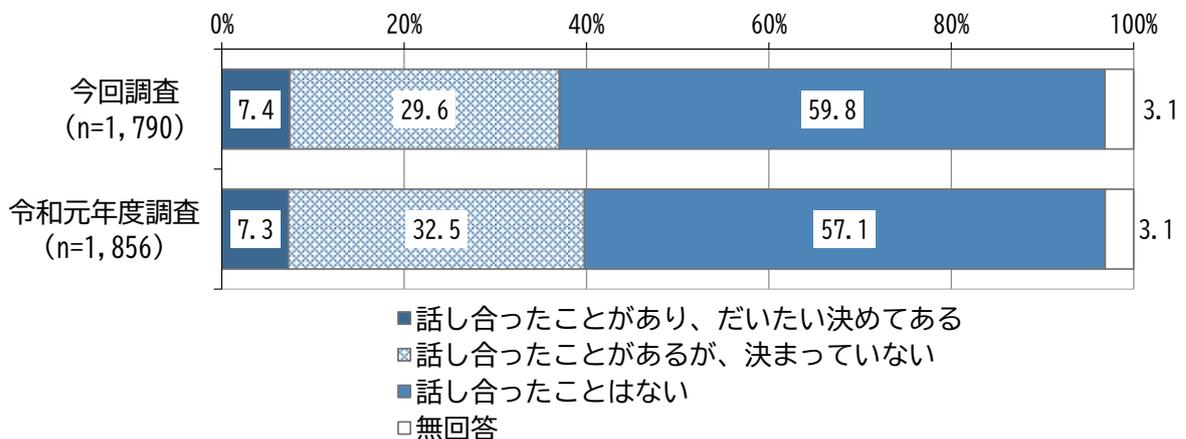


(3) 介護が必要になった生活について家族等と話し合ったことがあるか

問 33 介護が必要になったときの生活について、ご家族やご親族と話し合ったことはありますか。
(○は1つ)

介護が必要になった生活について家族等と話し合ったことがあるかについては、「話し合ったことはない」が59.8%で最も高く、次いで「話し合ったことがあるが、決まっていない」が29.6%、「話し合ったことがあり、だいたい決めてある」が7.4%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

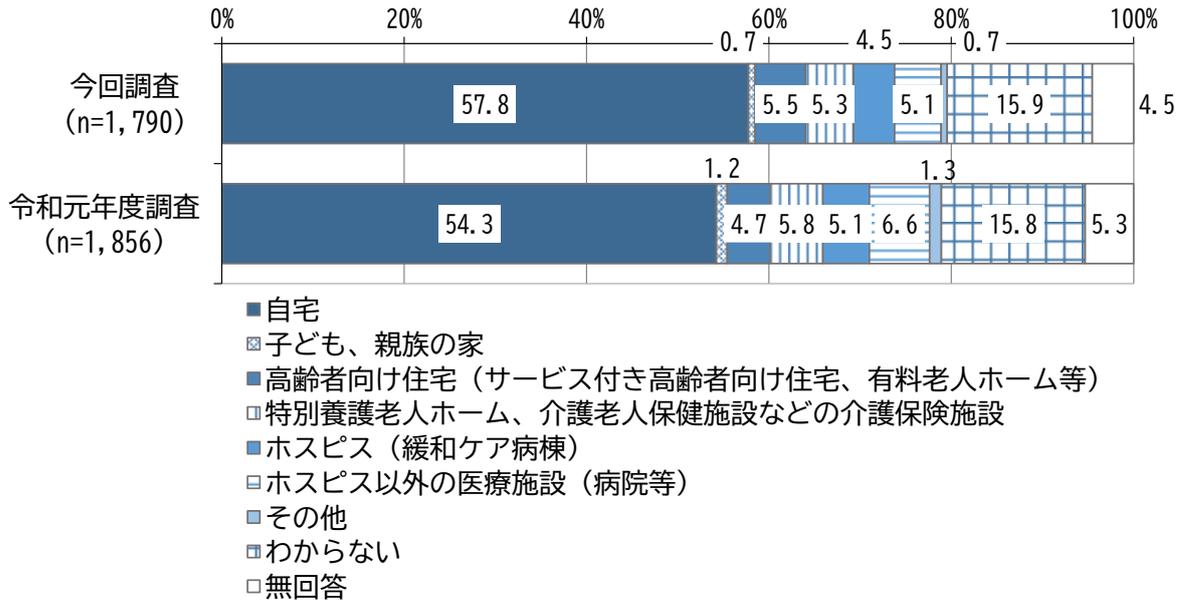


(4) 人生の最後を迎えたい場所

問34 あなたが人生の最後を迎えたい場所として、ご希望に最も近いものはどれですか。
(○は1つ)

人生の最後を迎えたい場所については、「自宅」が57.8%で最も高く、次いで「わからない」が15.9%、「高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム等）」が5.5%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「自宅」（57.8%）では、令和元（2019）年度調査（54.3%）より3.5ポイント増加しています。



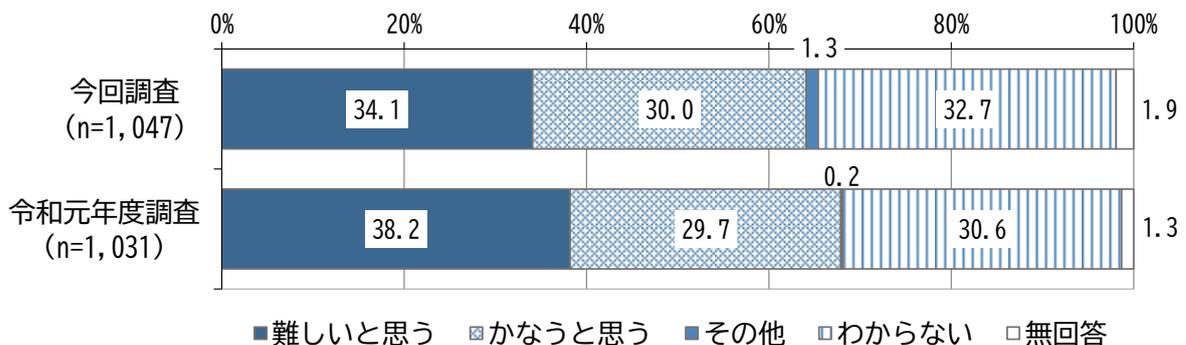
(5) 人生の最後を迎えたい場所への希望がかなうと思うか

【問34で「自宅」「子ども、親族の家」とお答えになった方におたずねします。】

問34（1）あなたの希望はかなうと思いますか。（○は1つ）

人生の最後を迎えたい場所への希望がかなうと思うかについては、「難しいと思う」が34.1%で最も高く、次いで「わからない」が32.7%、「かなうと思う」が30.0%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「難しいと思う」（34.1%）では、令和元（2019）年度調査（38.2%）より4.1ポイント減少しています。



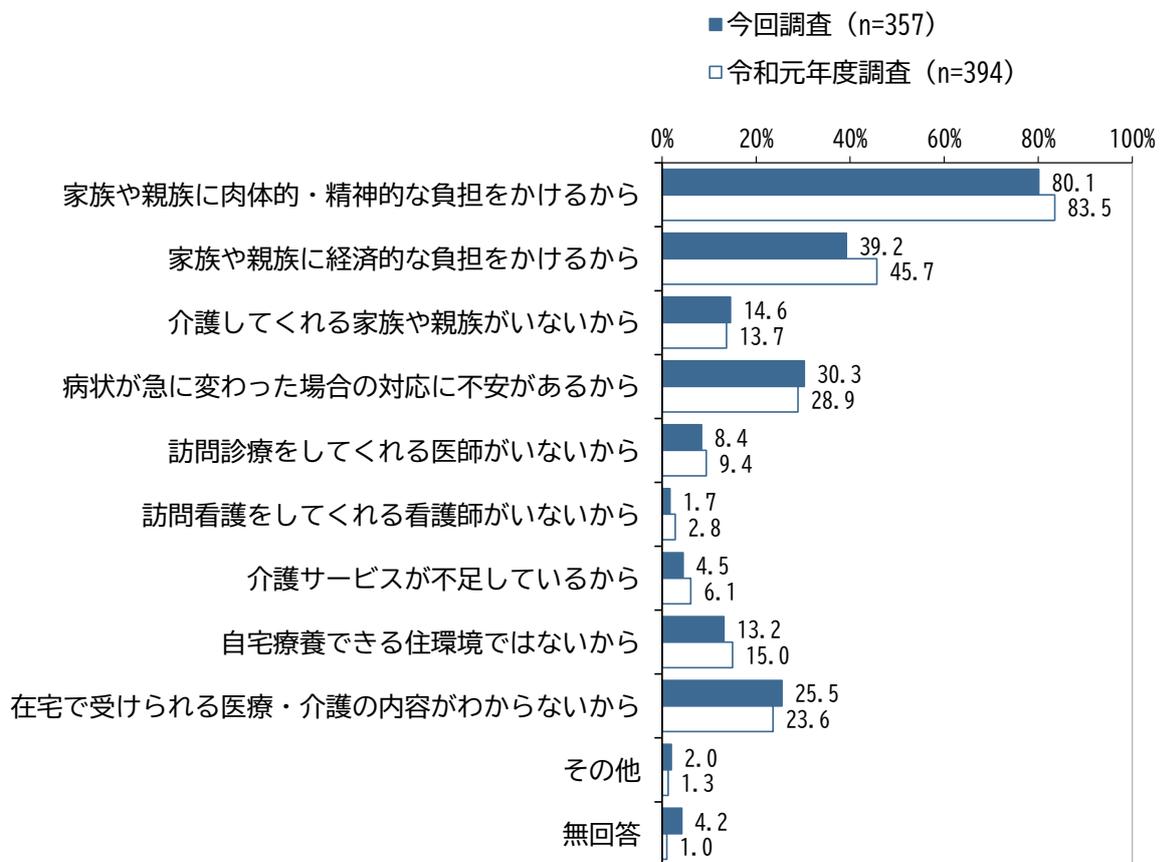
(6) 人生の最後を迎えたい場所への希望がかなわないと思う理由

【問34-(1)で「難しいと思う」とお答えになった方におたずねします。】

問34(2) その理由はどれですか。(〇は3つまで)

人生の最後を迎えたい場所への希望がかなわないと思う理由については、「家族や親族に肉体的・精神的な負担をかけるから」が80.1%で最も高く、次いで「家族や親族に経済的な負担をかけるから」が39.2%、「病状が急に変わった場合の対応に不安があるから」が30.3%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「家族や親族に経済的な負担をかけるから」(39.2%)では、令和元(2019)年度調査(45.7%)より6.5ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

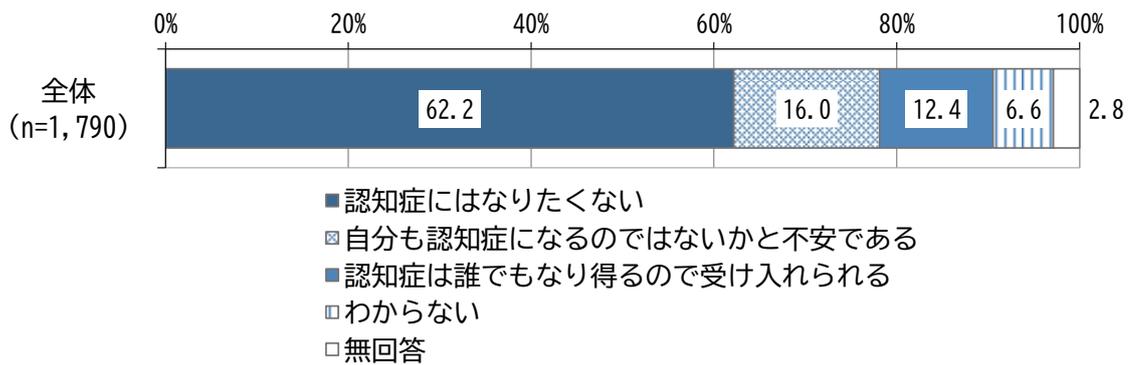


17 認知症の支援について

(1) 認知症についての印象

問 35 認知症についてどのような印象を持っていますか。あなたのお気持ちに最も近いもの1つおえらびください。(○は1つ)

認知症についての印象については、「認知症にはなりたくない」が62.2%で最も高く、次いで「自分も認知症になるのではないかと不安である」が16.0%、「認知症は誰でもなり得るので受け入れられる」が12.4%と続いています。

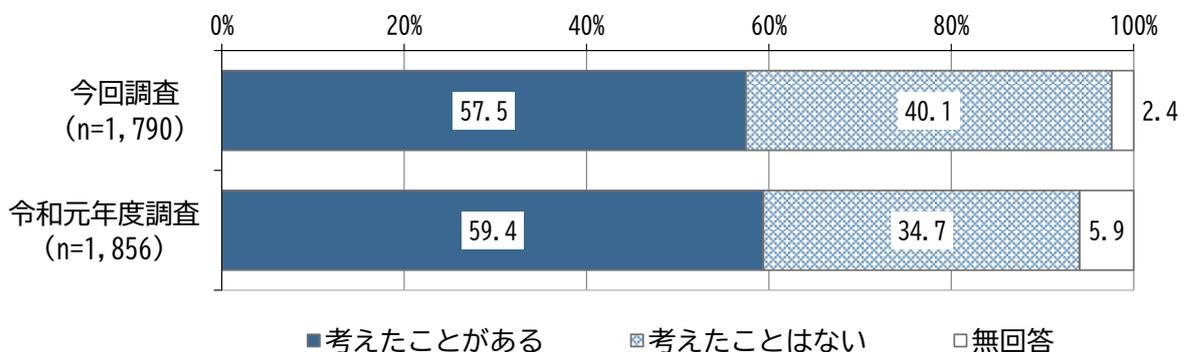


(2) 自分や家族が認知症になった時にどうしたらよいか考えたことがあるか

問 36 あなたは今までにあなた自身や家族が認知症になった時にどうしたらいいのか、考えたことがありますか。(○は1つ)

自分や家族が認知症になった時にどうしたらよいか考えたことがあるかについては、「考えたことがある」が57.5%、「考えたことはない」40.1%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「考えたことはない」(40.1%)では、令和元(2019)年度調査(34.7%)より5.4ポイント増加しています。



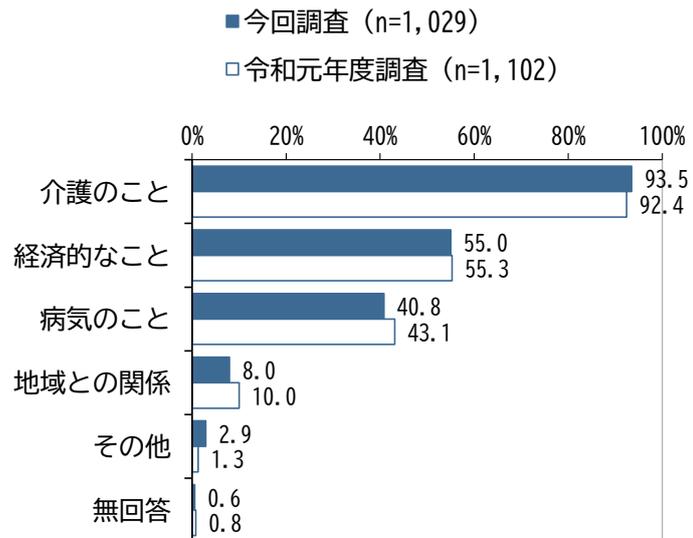
(3) 認知症になった時についてどのようなことを考えたか

【問36で「考えたことがある」とお答えになった方におたずねします。】

問36(1) どのようなことを考えましたか。(〇はいくつでも)

認知症になった時についてどのようなことを考えたかについては、「介護のこと」が93.5%で最も高く、次いで「経済的なこと」が55.0%、「病気のこと」が40.8%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

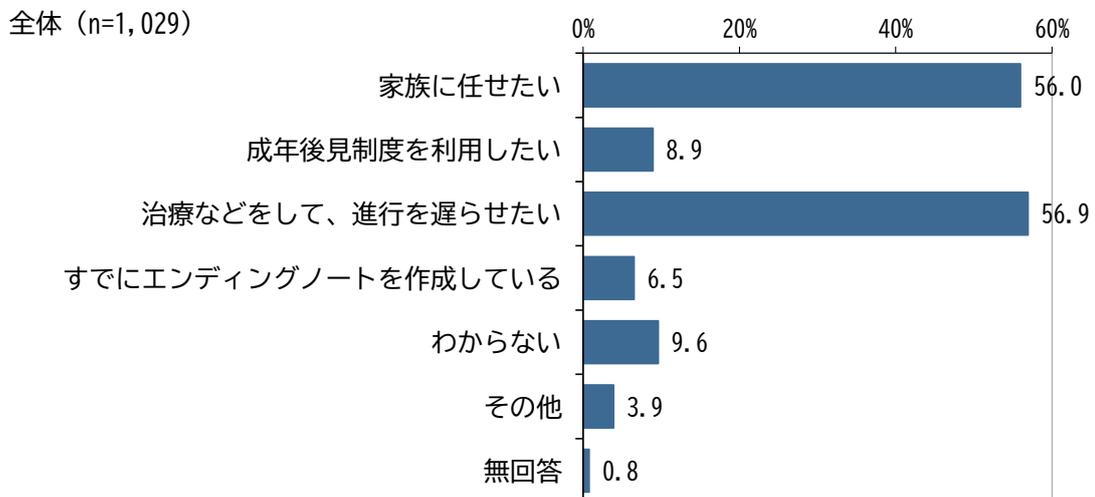


(4) 自分が認知症になった時にどうしたいか

【問36で「考えたことがある」とお答えになった方におたずねします。】

問36(2) もし、あなたが認知症になった時どうしたいと考えますか。(〇はいくつでも)

自分が認知症になった時にどうしたいかについては、「治療などをして、進行を遅らせたい」が56.9%で最も高く、次いで「家族に任せたい」が56.0%、「わからない」が9.6%と続いています。



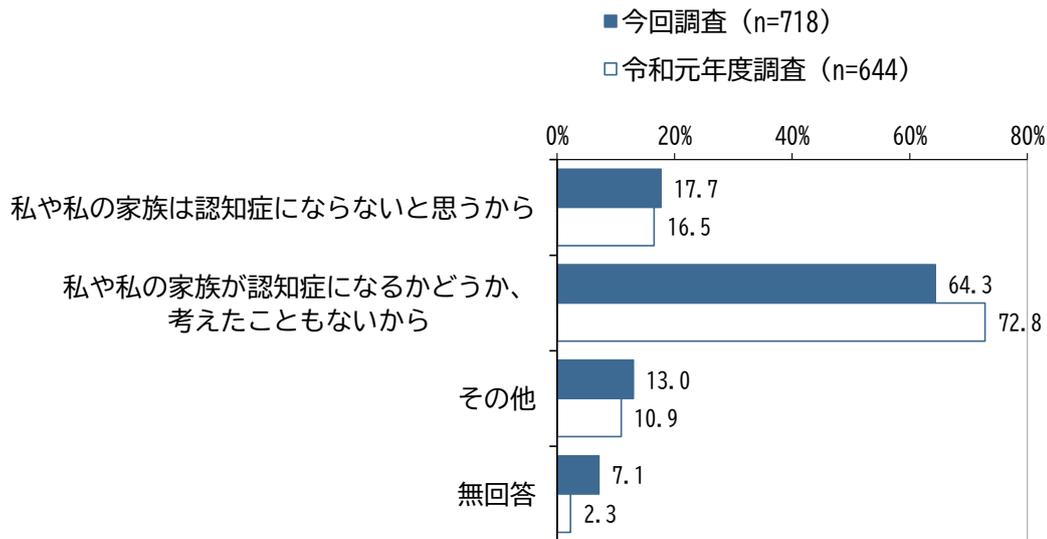
(5) 認知症になった時にどうしたいか考えたことがない理由

【問36で「考えたことはない」とお答えになった方におたずねします。】

問36(3) その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

認知症になった時にどうしたいか考えたことがない理由については、「私や私の家族が認知症になるかどうか、考えたこともないから」が64.3%で最も高く、次いで「私や私の家族は認知症にならないと思うから」が17.7%、「その他」が13.0%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「私や私の家族が認知症になるかどうか、考えたこともないから」(64.3%)では、令和元(2019)年度調査(72.8%)より8.5ポイント減少しています。

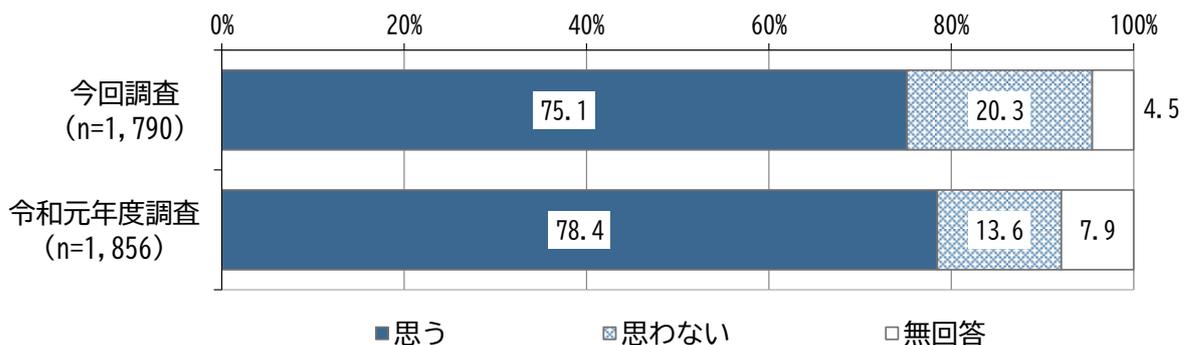


(6) 認知症高齢者が生活するために地域住民の協力は必要だと思うか

問37 あなたは認知症高齢者が生活するためには、地域住民の協力は必要だと思いますか。(〇は1つ)

認知症高齢者が生活するために地域住民の協力は必要だと思うかについては、「思う」が75.1%、「思わない」が20.3%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「思わない」(20.3%)では、令和元(2019)年度調査(13.6%)より6.7ポイント増加しています。



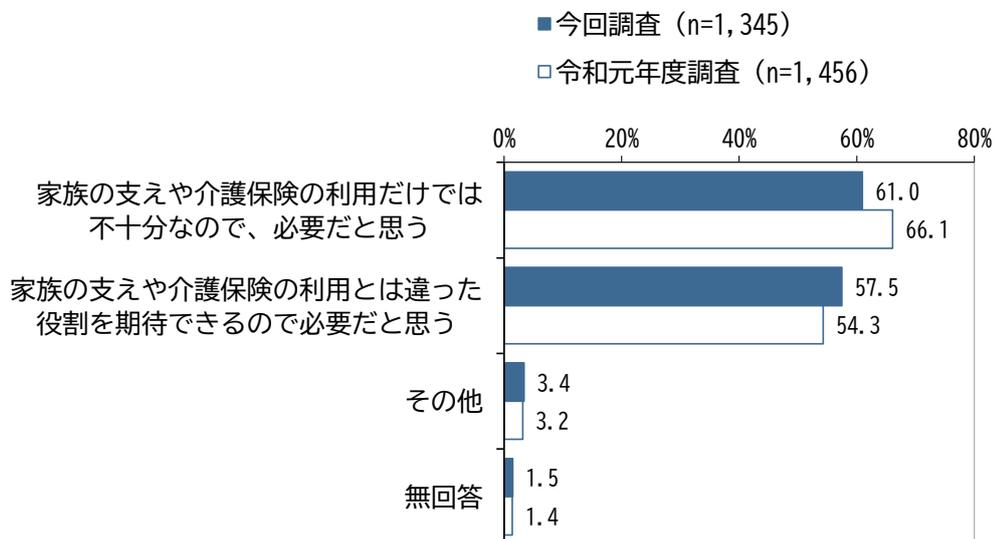
(7) 認知症高齢者が生活するために地域住民の協力が必要だと思う理由

【問37で「思う」とお答えになった方におたずねします。】

問37(1) その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

認知症高齢者が生活するために地域住民の協力が必要だと思う理由については、「家族の支えや介護保険の利用だけでは不十分なので、必要だと思う」が61.0%で最も高く、次いで「家族の支えや介護保険の利用とは違った役割を期待できるので必要だと思う」が57.5%、「その他」が3.4%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「家族の支えや介護保険の利用とは違った役割を期待できるので必要だと思う」(57.5%)では、令和元(2019)年度調査(54.3%)より3.2ポイント増加しています。



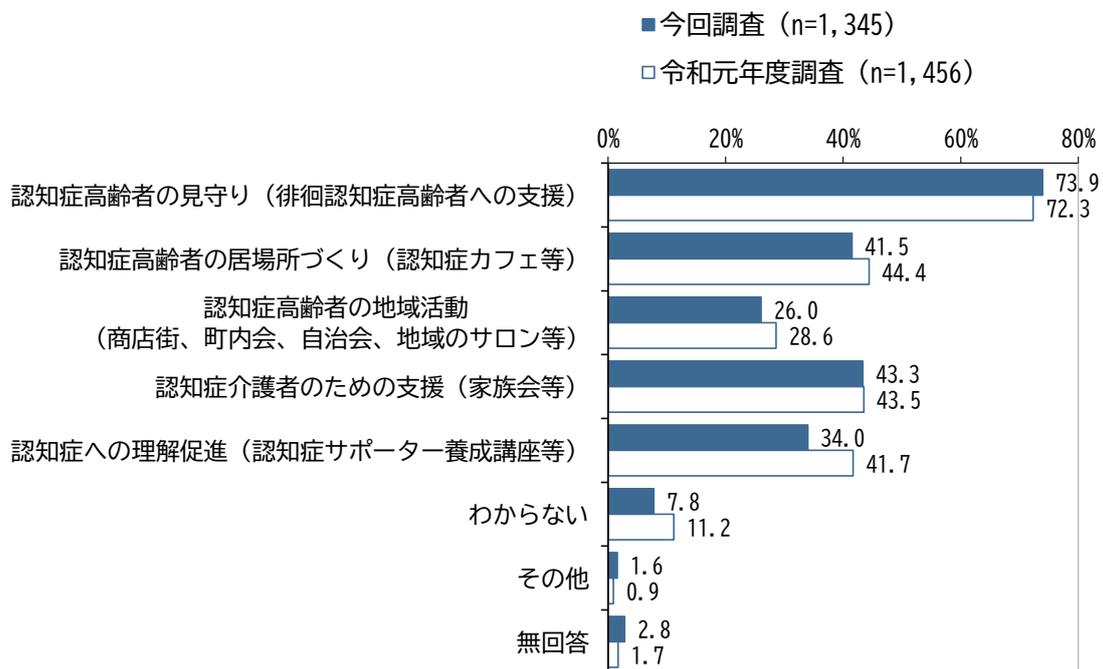
(8) 認知症高齢者が生活するために地域住民のどのような協力が必要か

【問37で「思う」とお答えになった方におたずねします。】

問37(2) 地域住民のどのような協力が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

認知症高齢者が生活するために地域住民のどのような協力が必要かについては、「認知症高齢者の見守り(徘徊認知症高齢者への支援)」が73.9%で最も高く、次いで「認知症介護者のための支援(家族会等)」が43.3%、「認知症高齢者の居場所づくり(認知症カフェ等)」が41.5%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「認知症高齢者の見守り(徘徊認知症高齢者への支援)」、「その他」以外の項目で令和元(2019)年度調査より割合が減少しています。



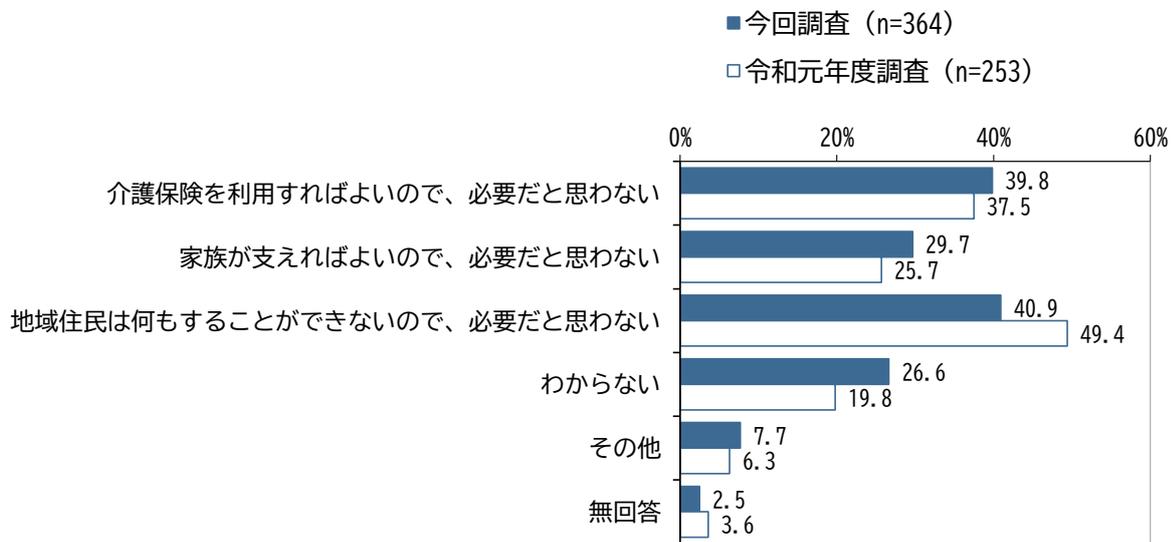
(9) 認知症高齢者が生活するために地域住民の協力が必要だと思わない理由

【問37で「思わない」とお答えになった方におたずねします。】

問37(3) その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

認知症高齢者が生活するために地域住民の協力が必要だと思わない理由については、「地域住民は何もすることができないので、必要だと思わない」が40.9%で最も高く、次いで「介護保険を利用すればよいので、必要だと思わない」が39.8%、「家族が支えればよいので、必要だと思わない」が29.7%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「わからない」(26.6%)では、令和元(2019)年度調査(19.8%)より6.8ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

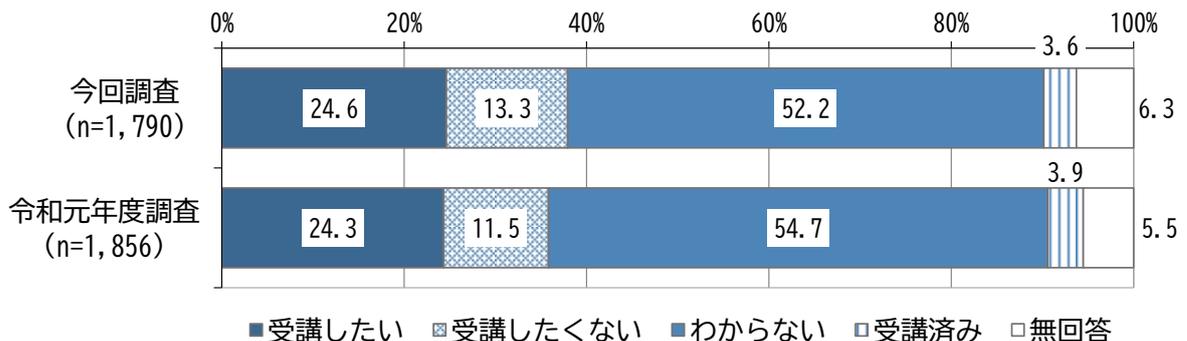


(10) 認知症サポーター養成講座への参加意向

問38 あなたは認知症サポーター養成講座があれば受講したいと思いますか。(〇は1つ)

認知症サポーター養成講座への参加意向については、「わからない」が52.2%で最も高く、次いで「受講したい」が24.6%、「受講したくない」が13.3%と続いています。

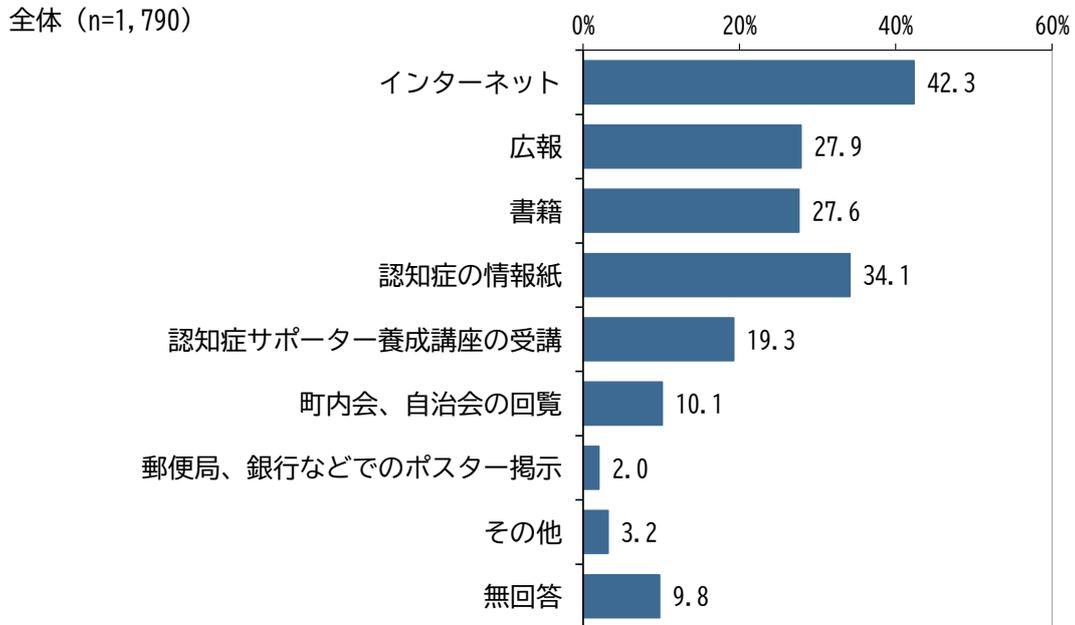
令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



(11) 認知症について知りたいと思ったとき何を利用するか

問 39 認知症について知りたいと思ったとき、何を利用しますか。(○は3つまで)

認知症について知りたいと思ったとき何を利用するかについては、「インターネット」が42.3%で最も高く、次いで「認知症の情報紙」が34.1%、「広報」が27.9%と続いています。



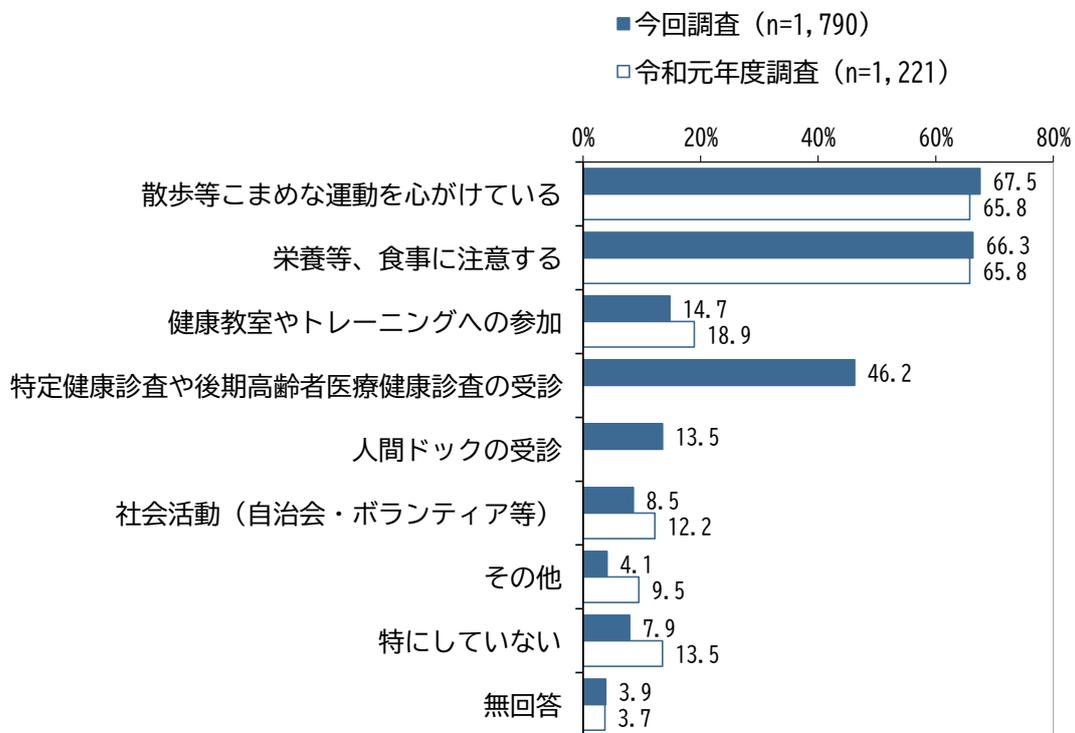
18 介護保険制度について

(1) 健康であるために普段していること

問40 あなた自身が介護保険を使わず健康であるために普段していることは何ですか。
(〇はいくつでも)

健康であるために普段していることについては、「散歩等こまめな運動を心がけている」が67.5%で最も高く、次いで「栄養等、食事に注意する」が66.3%、「特定健康診査や後期高齢者医療健康診査の受診」が46.2%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較できる項目で比較すると、「特にしていない」(7.9%)では、令和元(2019)年度調査(13.5%)より5.6ポイント減少しています。



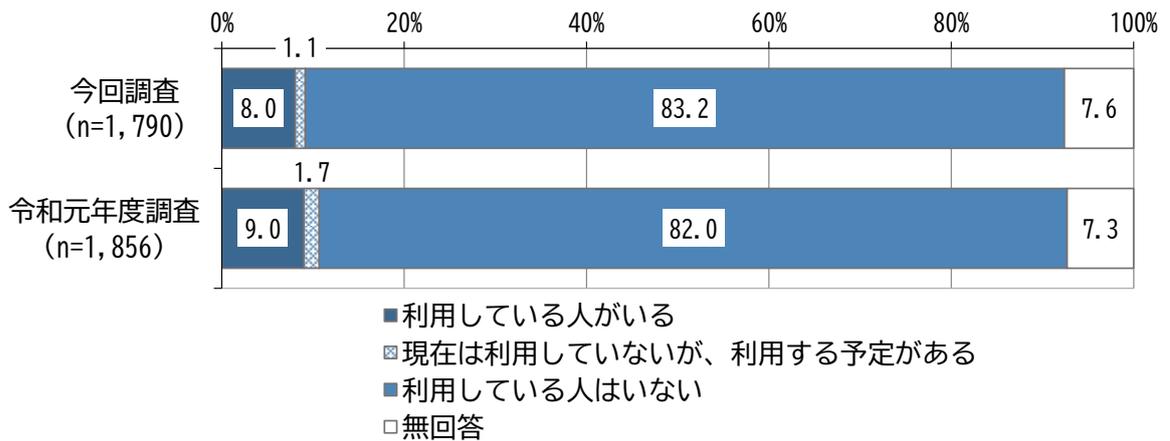
※ 「特定健康診査や後期高齢者医療健康診査の受診」「人間ドックの受診」は今回調査からの選択肢

(2) 同居家族で介護保険サービスを利用している人がいるか

問 41 あなたの同居家族で、介護施設に入所したり、介護保険のサービスを利用している人がいますか。(○は1つ)

同居家族で介護保険サービスを利用している人がいるかについては、「利用している人はいない」が83.2%で最も高く、次いで「利用している人がいる」が8.0%、「現在は利用していないが、利用する予定がある」が1.1%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

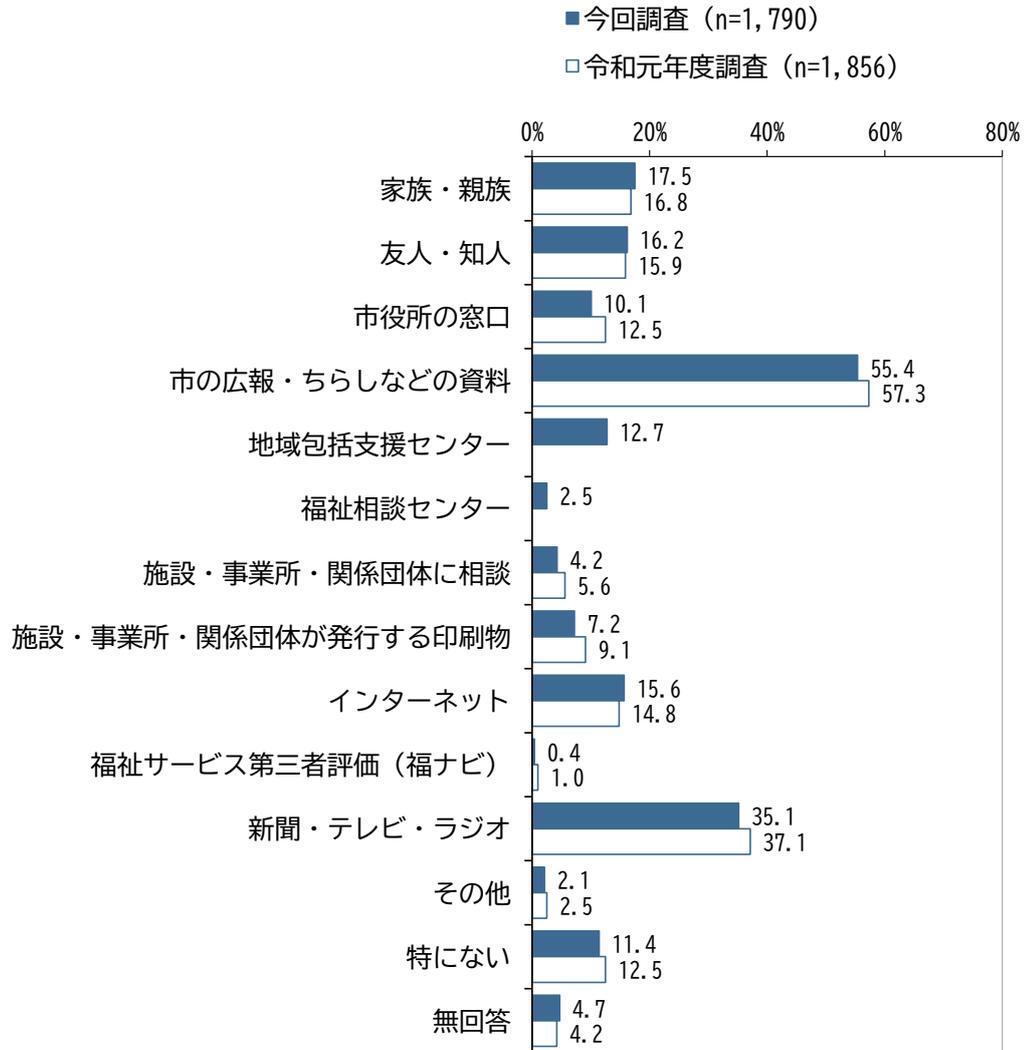


(3) 介護保険に関する情報をどこから得ているか

問 42 介護保険に関する情報は、どこから得ていますか。(〇はいくつでも)

介護保険に関する情報をどこから得ているかについては、「市の広報・ちらしなどの資料」が55.4%で最も高く、次いで「新聞・テレビ・ラジオ」が35.1%、「家族・親族」が17.5%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較できる項目で比較すると、大きな差はみられません。



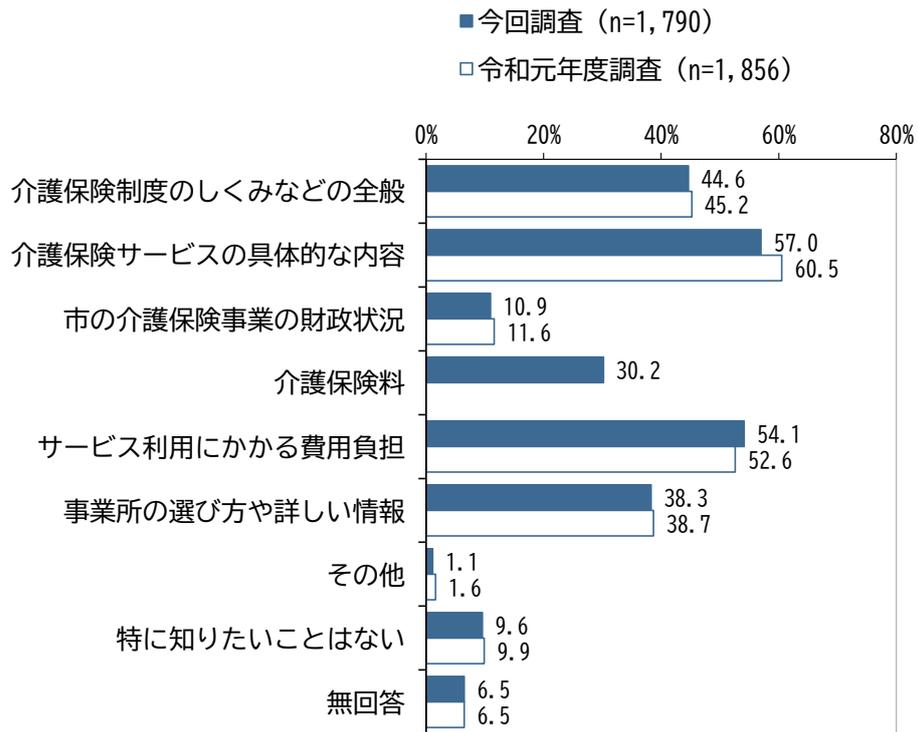
※ 「地域包括支援センター」「福祉相談センター」は今回調査からの選択肢

(4) 介護保険制度について知りたいこと

問43 介護保険制度についてどのようなことを知りたいと思いますか。(〇はいくつでも)

介護保険制度について知りたいことについては、「介護保険サービスの具体的な内容」が57.0%で最も高く、次いで「サービス利用にかかる費用負担」が54.1%、「介護保険制度のしくみなどの全般」が44.6%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較できる項目で比較すると、「介護保険サービスの具体的な内容」(57.0%)では、令和元(2019)年度調査(60.5%)より3.5ポイント減少しています。

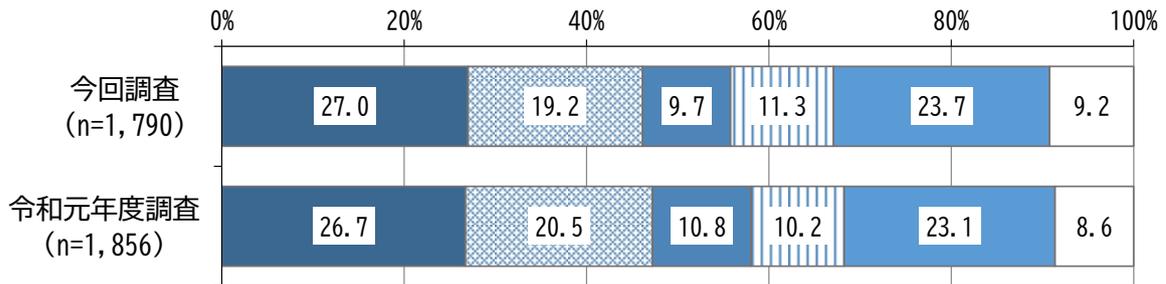


※ 「介護保険料」は今回調査からの選択肢

(5) 介護保険サービスと保険料についての考え

問 44 介護保険は、サービスの利用が増えると保険料も上がる仕組みです。国の試算によれば、サービスの利用者の増加により、保険料は今後も上がるが見込まれています。介護保険のサービスと保険料について、あなたのお考えに一番近いものは次のうちどれですか。(〇は1つ)

介護保険サービスと保険料についての考えについては、「保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである」が27.0%で最も高く、次いで「わからない」が23.7%、「サービスの利用時の自己負担額を増やして、必要サービス量を維持すべきである」が19.2%と続いています。令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

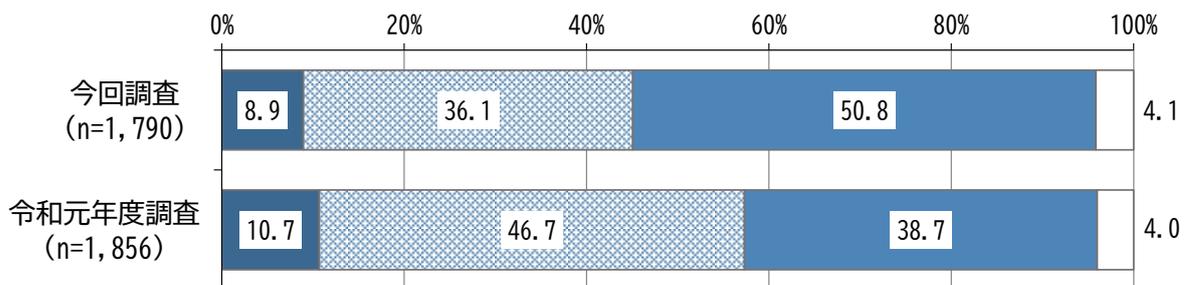


- 保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである
- ▨ サービスの利用時の自己負担額を増やして、必要サービス量を維持すべきである
- サービス量は低下しても、保険料の負担を増やさないようにすべきである
- ▨ サービス量を抑制して、保険料の負担を下げるべきである
- わからない
- 無回答

(6) 介護予防に関する事業への参加状況

問 45 介護予防に関する事業についておたずねします。市が主催する介護予防に関する事業（地域体操クラブ、認知症予防教室など）に参加したことはありますか。(〇は1つ)

介護予防に関する事業への参加状況については、「知らなかった」が50.8%で最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」が36.1%、「参加したことがある」が8.9%となっている。令和元（2019）年度調査と比較すると、「知らなかった」（50.8%）では、令和元（2019）年度調査（38.7%）より12.1ポイント増加しています。



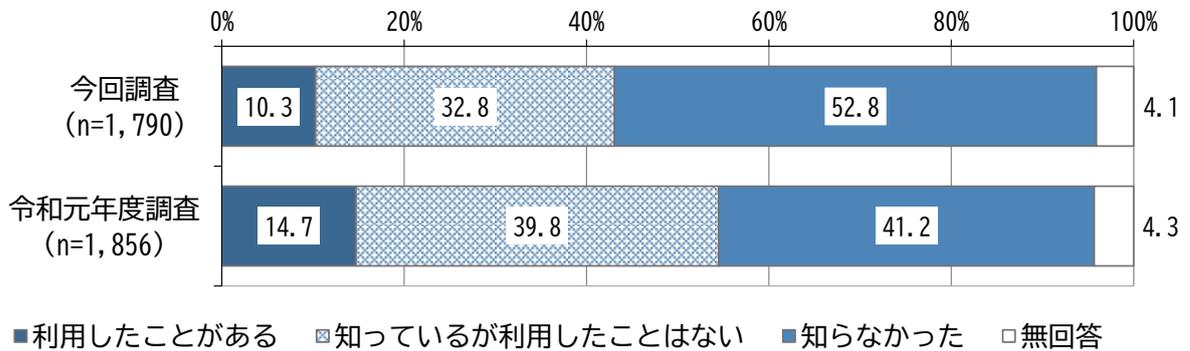
- 参加したことがある
- ▨ 知っているが参加したことはない
- 知らなかった
- 無回答

(7) 高齢者福祉サービスの利用状況

問 46 介護保険サービス以外の高齢者福祉サービスについておたずねします。
 このサービスは、家具転倒防止器具取付事業、グループ旅行高齢者支援など、介護保険以外で、市高齢福祉課が行っている高齢者サービスです。高齢者福祉サービスを利用したことはありますか。(〇は1つ)

高齢者福祉サービスの利用状況については、「知らなかった」が52.8%で最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」が32.8%、「利用したことがある」が10.3%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「知らなかった」(52.8%)では、令和元(2019)年度調査(41.2%)より11.6ポイント増加しています。

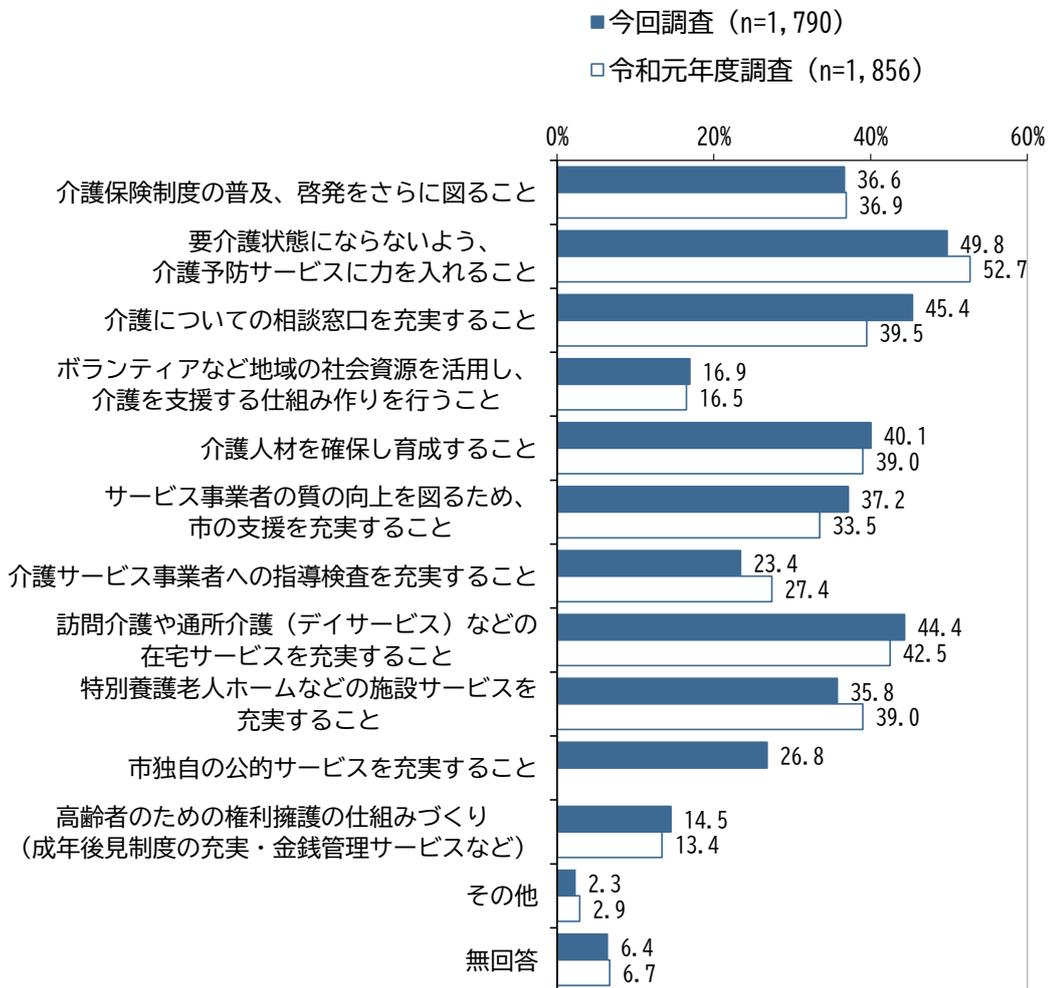


(8) 介護保険制度をよりよくするため市に期待すること

問47 介護保険制度をよりよくするため、立川市に期待することは、次のうちどれですか。
(〇はいくつでも)

介護保険制度をよりよくするため市に期待することについては、「要介護状態にならないよう、介護予防サービスに力を入れること」が49.8%で最も高く、次いで「介護についての相談窓口を充実すること」が45.4%、「訪問介護や通所介護（デイサービス）などの在宅サービスを充実すること」が44.4%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較できる項目で比較すると、「介護についての相談窓口を充実すること」（45.4%）では、令和元（2019）年度調査（39.5%）より5.9ポイント増加し、最も増加した項目となっています。



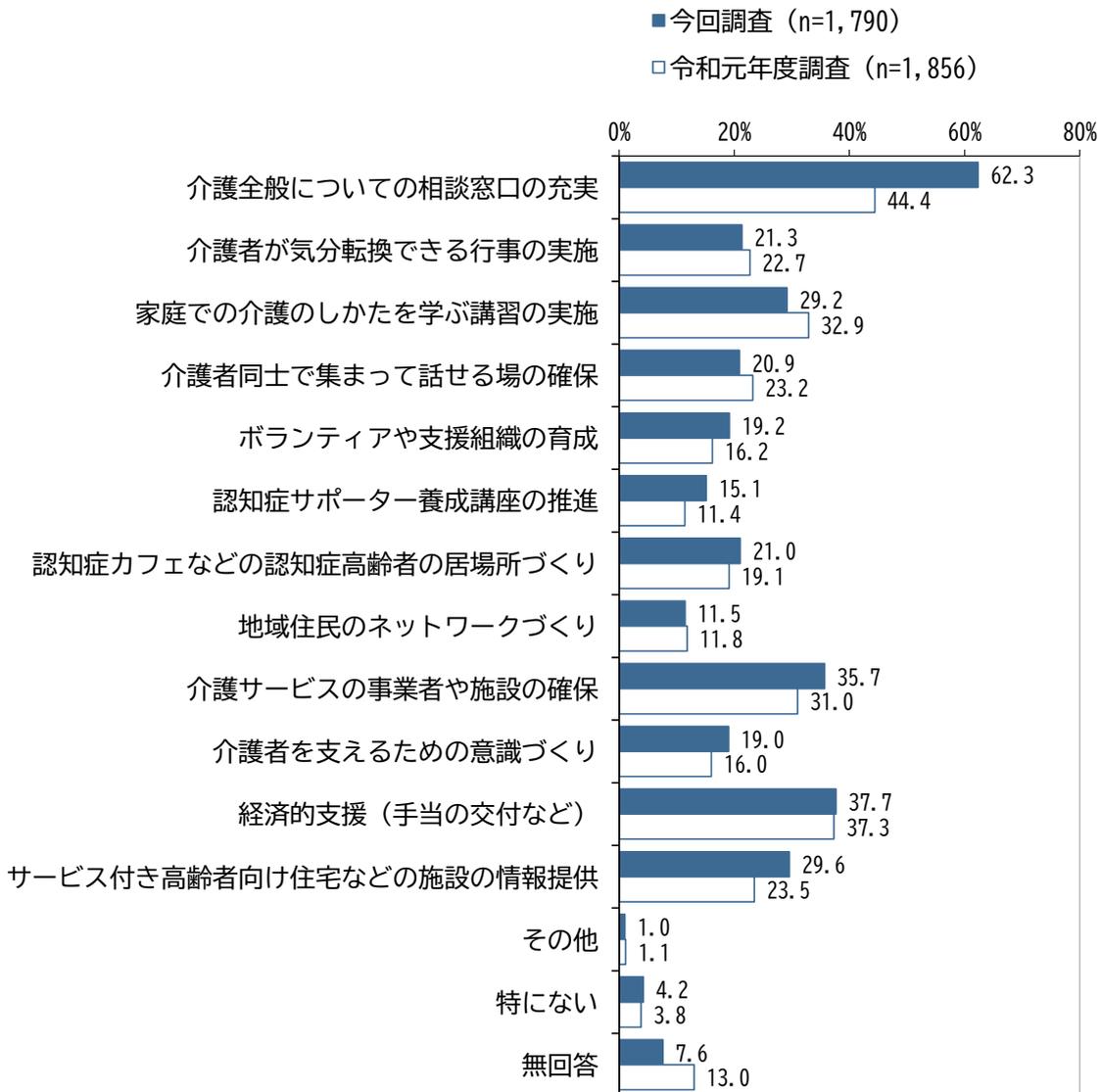
※ 「市独自の公的サービスを充実すること」は今回調査からの選択肢

(9) 介護をする家族への支援として市が取り組むべきこと

問 48 介護をする家族の皆さんへの支援として、立川市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

介護をする家族への支援として市が取り組むべきことについては、「介護全般についての相談窓口の充実」が62.3%で最も高く、次いで「経済的支援(手当の交付など)」が37.7%、「介護サービスの事業者や施設の確保」が35.7%と続いています。

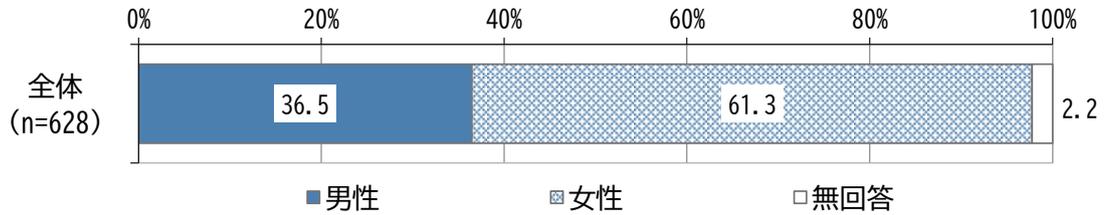
令和元(2019)年度調査と比較すると、「介護全般についての相談窓口の充実」(62.3%)では、令和元(2019)年度調査(44.4%)より17.9ポイント増加し、最も増加した項目となっています。



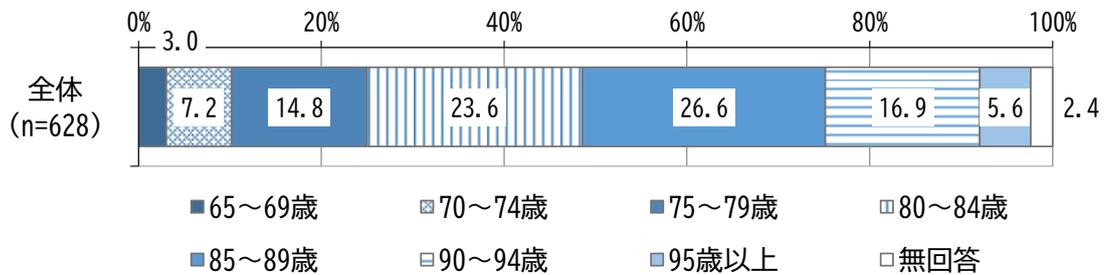
第3章 在宅介護実態調査結果概要

1 調査対象者について

(1) 性別



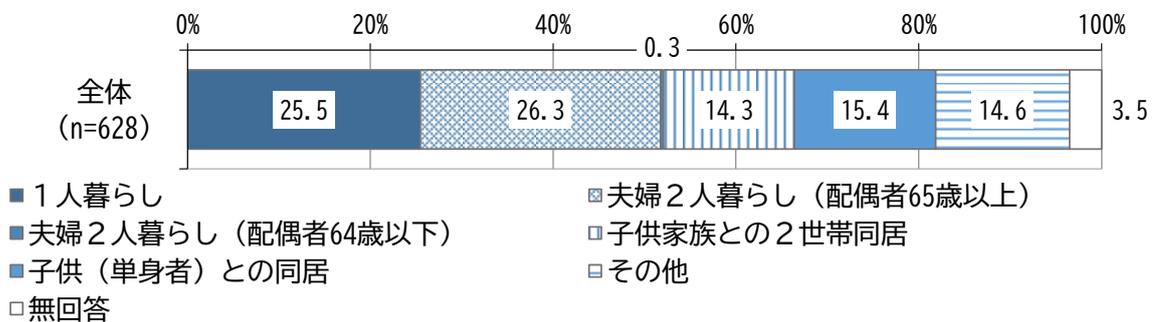
(2) 年齢



(3) 家族構成

問4 あなた（調査対象者ご本人）は、どなたかと住んでいますか。（○は1つ）

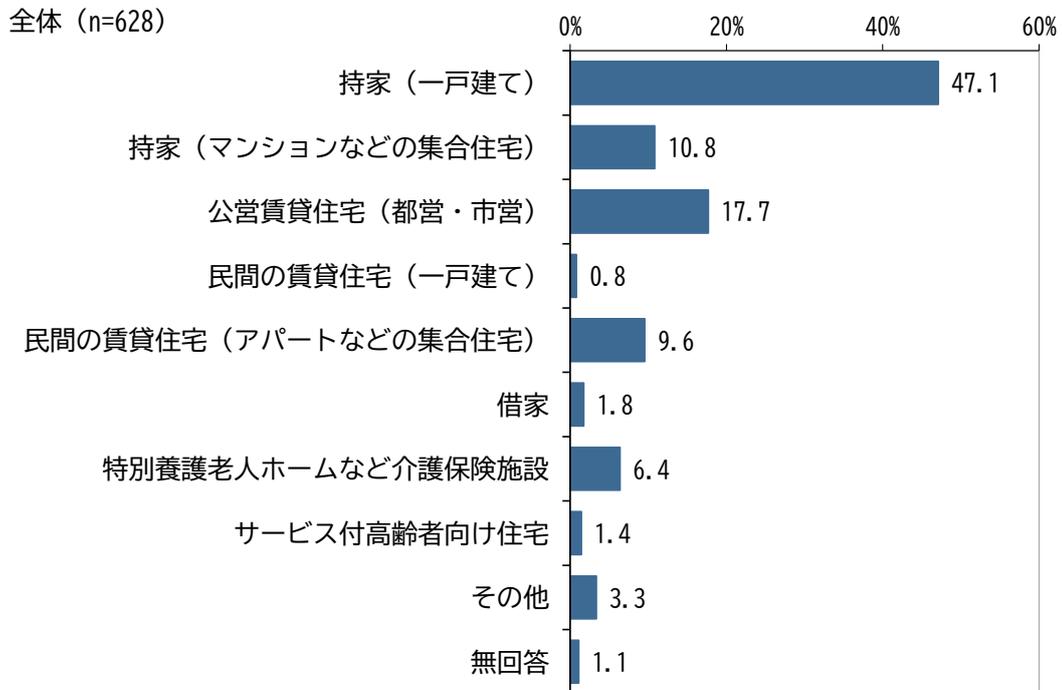
家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が26.3%で最も高く、次いで「1人暮らし」が25.5%、「子供（単身者）との同居」が15.4%と続いています。



(4) 住居形態

問5 あなた（調査対象者ご本人）のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

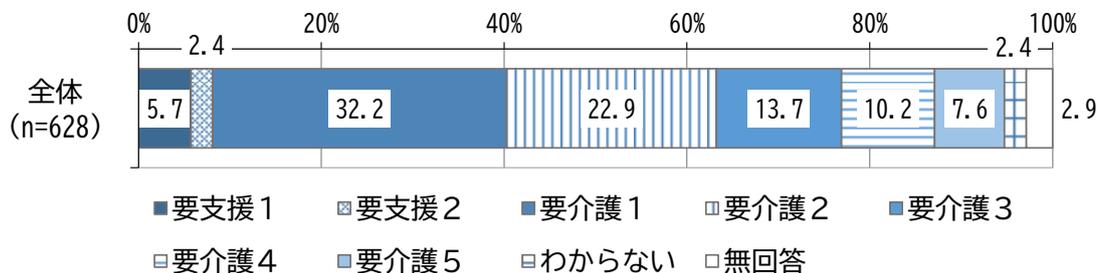
住居形態については、「持家（一戸建て）」が47.1%で最も高く、次いで「公営賃貸住宅（都営・市営）」が17.7%、「持家（マンションなどの集合住宅）」が10.8%と続いています。



(5) 要介護度

問6 あなた（調査対象者ご本人）の要介護度は次のうちどれですか。（○は1つ）

要介護度については、「要介護1」が32.2%で最も高く、次いで「要介護2」が22.9%、「要介護3」が13.7%と続いています。

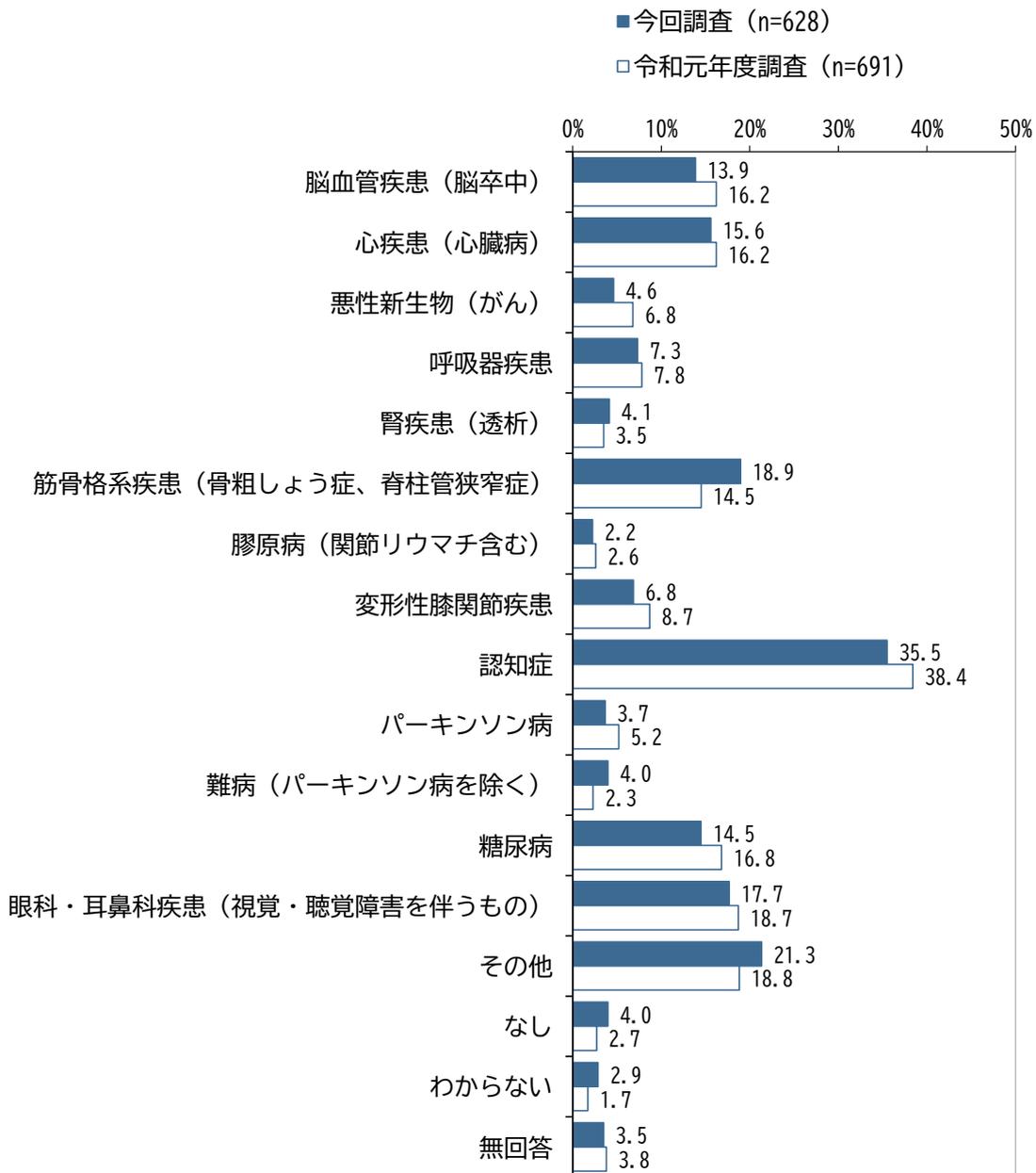


(6) 現在抱えている病気やけが

問7 あなた（調査対象者ご本人）が、現在抱えている病気やけがについて、お答えください。
 (〇はいくつでも)

現在抱えている病気やけがについては、「認知症」が35.5%で最も高く、次いで「その他」が21.3%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症）」が18.9%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症）」（18.9%）では、令和元（2019）年度調査（14.5%）より4.4ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

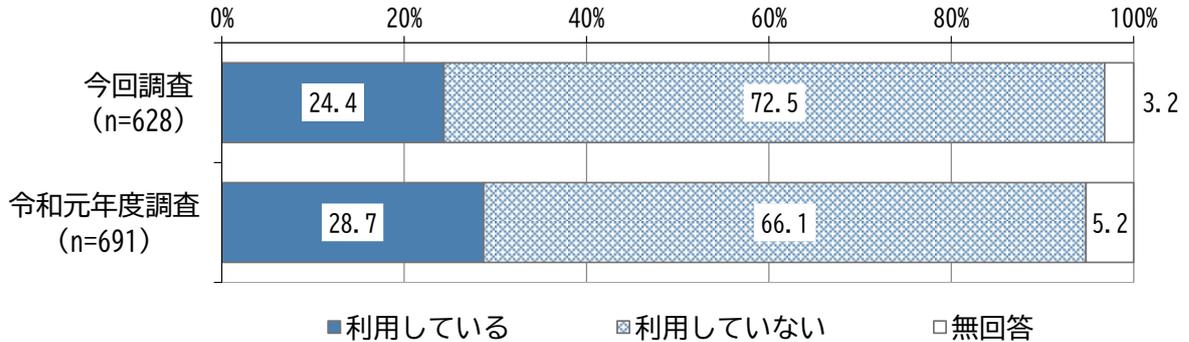


(7) 訪問診療の利用状況

問9 あなた（調査対象者ご本人）は、現在、訪問診療を利用していますか。（どちらかに○）

訪問診療の利用状況については、「利用している」が24.4%、「利用していない」が72.5%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「利用している」（24.4%）では、令和元（2019）年度調査（28.7%）より4.3ポイント減少しています。

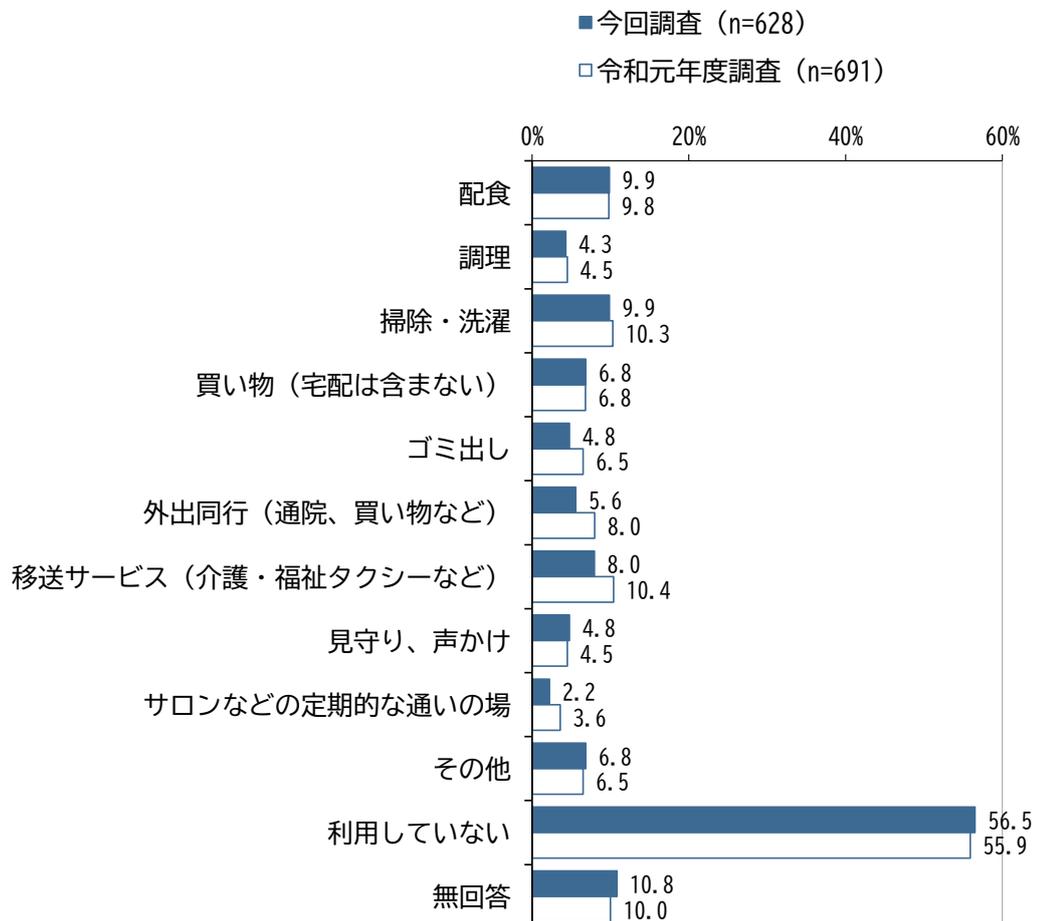


(8) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

問10 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、お答えください。（○はいくつでも）

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況については、「利用していない」が56.5%で最も高く、次いで「配食」、「掃除・洗濯」がいずれも9.9%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

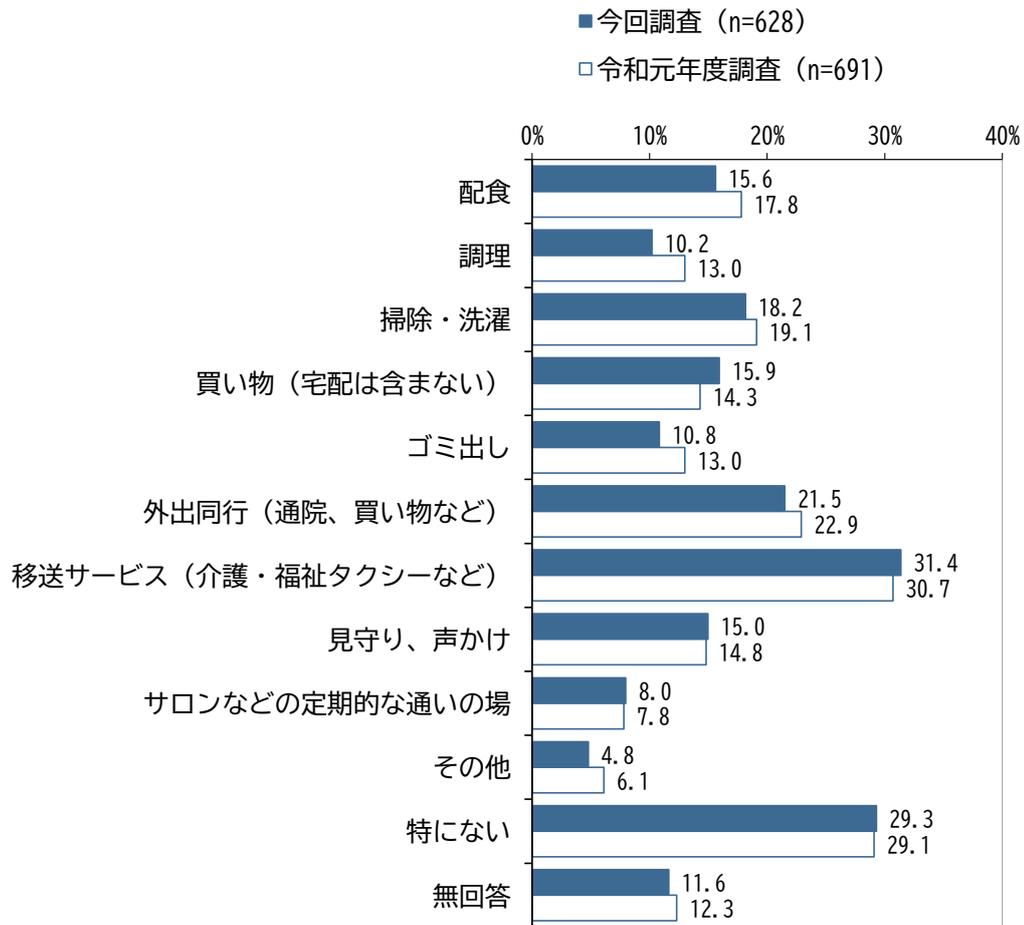


(9) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問11 現在、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、お答えください。
 (〇はいくつでも)

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が31.4%で最も高く、次いで「特にない」が29.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が21.5%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

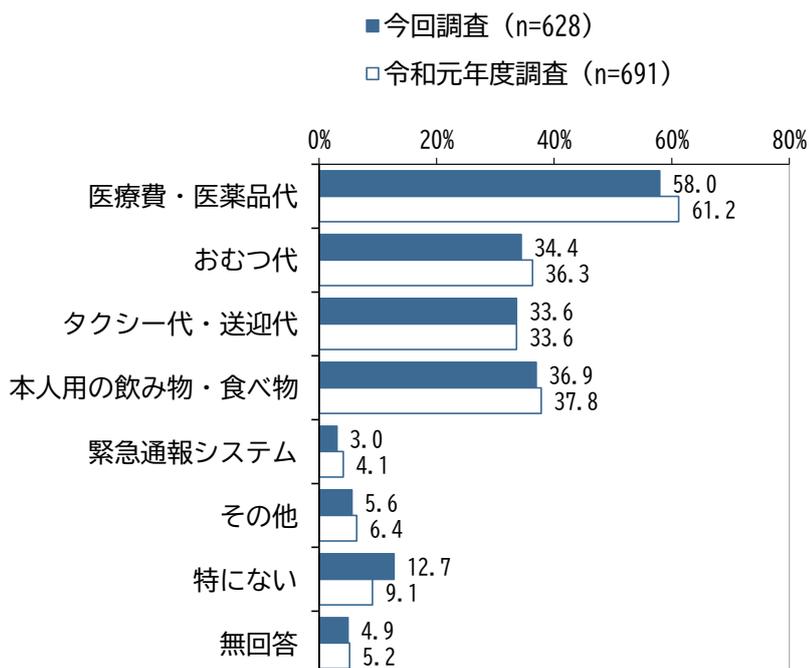


(10) 介護保険サービス以外でどのようなことにお金がかかっているか

問12 介護に関係することで「介護保険サービス以外」ではどのようなことにお金がかかっていますか。(〇はいくつでも)

介護保険サービス以外でどのようなことにお金がかかっているかについては、「医療費・医薬品代」が58.0%で最も高く、次いで「本人用の飲み物・食べ物」が36.9%、「おむつ代」が34.4%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「特にない」(12.7%)では、令和元(2019)年度調査(9.1%)より3.6ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

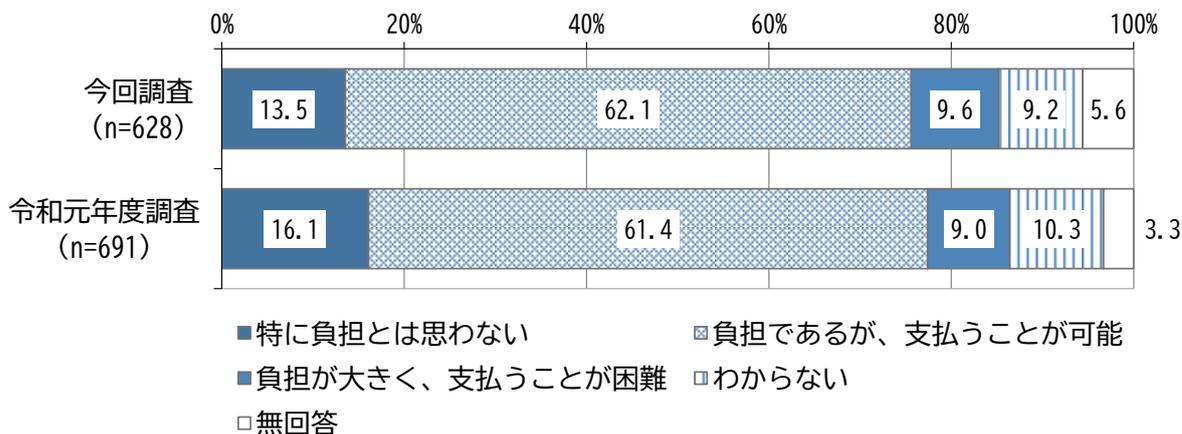


(11) 介護保険料をどのように感じているか

問13 現在支払っている介護保険料について、どのようにお感じになっていますか。(〇は1つ)

介護保険料をどのように感じているかについては、「負担であるが、支払うことが可能」が62.1%で最も高く、次いで「特に負担とは思わない」が13.5%、「負担が大きく、支払うことが困難」が9.6%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

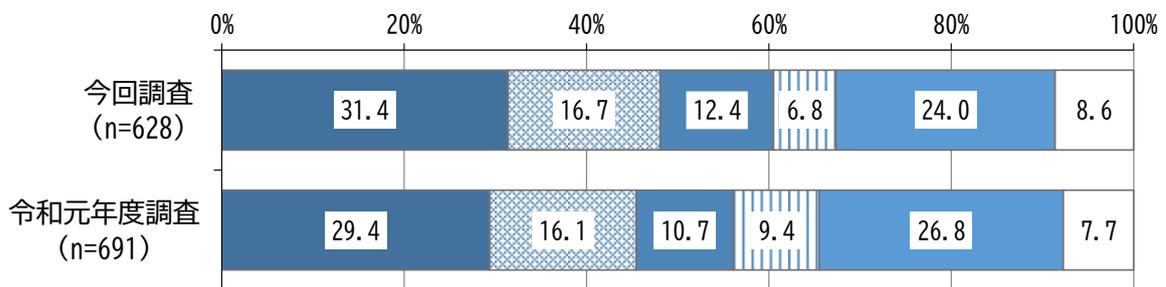


(12) 介護保険サービスと保険料についての考え

問 14 介護保険は、サービスの利用が増えると保険料も上がる仕組みです。国の試算によれば、サービスの利用者の増加により、保険料は今後も上がるが見込まれています。介護保険のサービスと保険料について、あなた（調査対象者ご本人）のお考えに一番近いものは次のうちどれですか。（○は1つ）

介護保険サービスと保険料についての考えについては、「保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである」が31.4%で最も高く、次いで「わからない」が24.0%、「サービスの利用時の自己負担額を増やして、必要なサービス量を維持すべきである」が16.7%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

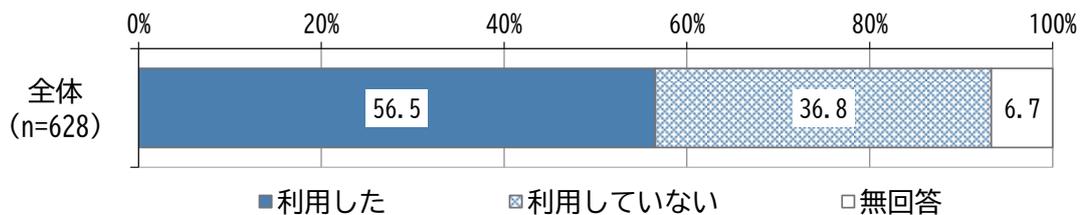


- 保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである
- ▣ サービスの利用時の自己負担額を増やして、必要なサービス量を維持すべきである
- サービス量は低下しても、保険料の負担を増やさないようにすべきである
- ▣ サービス量を抑制して、保険料の負担を下げるべきである
- わからない
- 無回答

(13) 介護保険サービスの利用状況

問 15 令和4年10月1日～31日の1か月間に、介護保険サービスを利用しましたか。
〔住宅改修、福祉用具貸与、福祉用具購入以外〕（どちらかに○）

介護保険サービスの利用状況については、「利用した」が56.5%、「利用していない」が36.8%となっています。

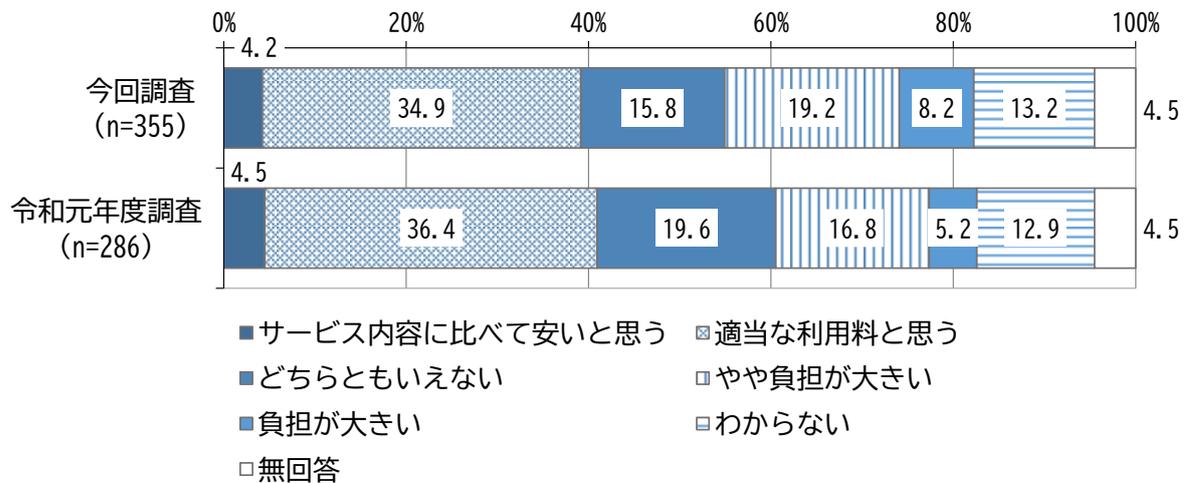


(14) 介護保険サービスの利用料をどのように感じているか

問17 【問16】の介護保険サービスの利用料について、どのようにお感じになっていますか。
(○は1つ)

介護保険サービスの利用料をどのように感じているかについては、「適当な利用料と思う」が34.9%で最も高く、次いで「やや負担が大きい」が19.2%、「どちらともいえない」が15.8%と続いています。

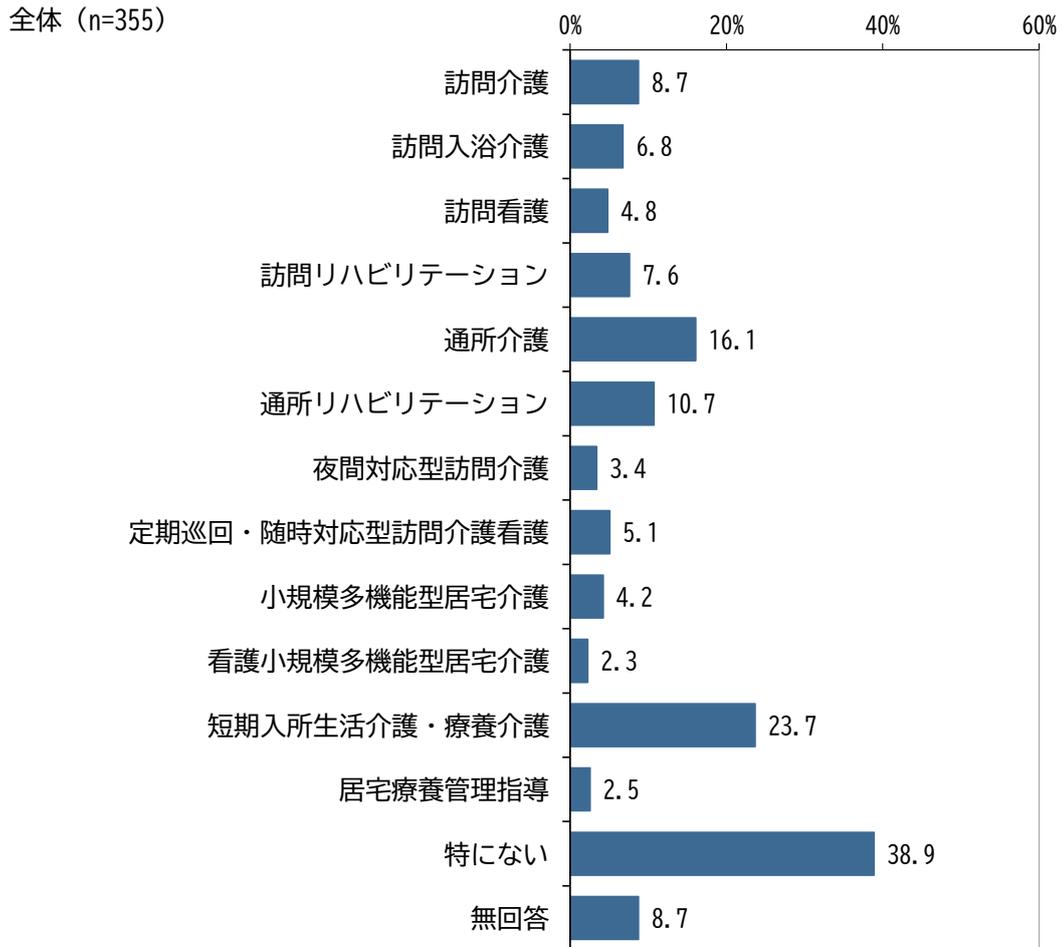
令和元(2019)年度調査と比較すると、『負担が大きい』(「やや負担が大きい」と「負担が大きい」の合計)(27.4%)では、令和元(2019)年度調査(22.0%)より5.4ポイント増加しています。



(15) 利用回数等を増やしたい・新規に利用を始めたい介護保険サービス

問18 【問16】の介護保険サービスについて、利用回数等を増やしたい、または新規に利用を始めたいものはありますか。(○はいくつでも)

利用回数等を増やしたい・新規に利用を始めたい介護保険サービスについては、「特にない」が38.9%で最も高く、次いで「短期入所生活介護・療養介護」が23.7%、「通所介護」が16.1%と続いています。

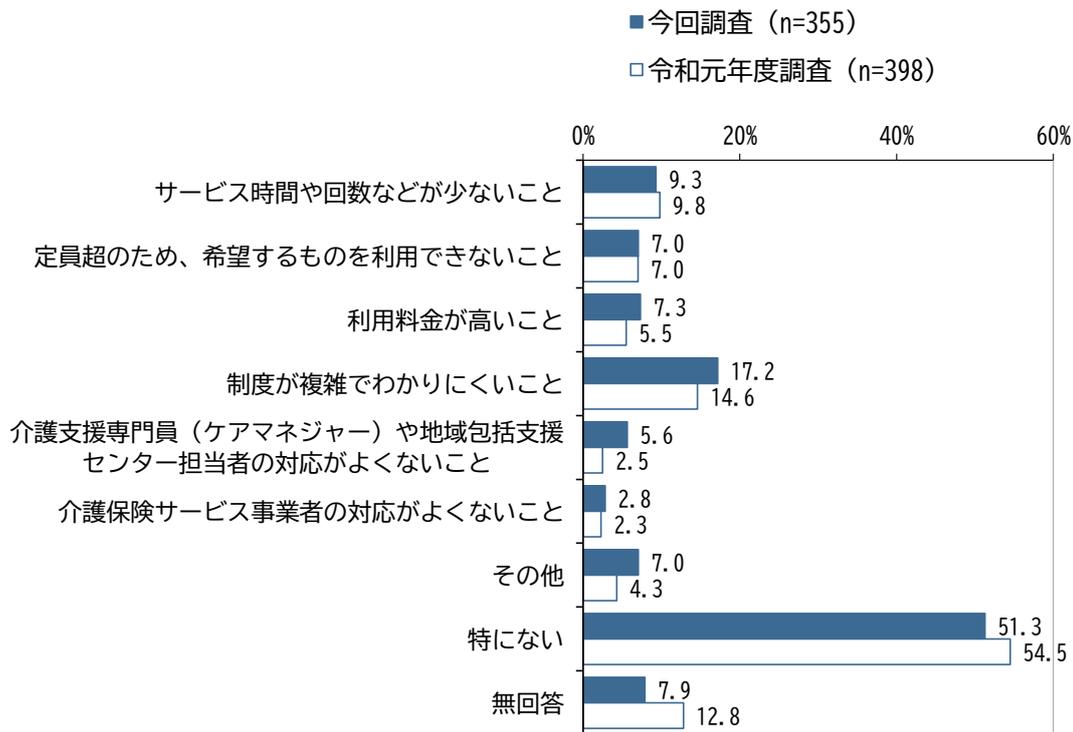


(16) 介護保険サービスを利用する上で困っていること

問19 介護保険サービスを利用する上で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

介護保険サービスを利用する上で困っていることについては、「特にない」が51.3%で最も高く、次いで「制度が複雑でわかりにくいこと」が17.2%、「サービス時間や回数などが少ないこと」が9.3%と続いています。

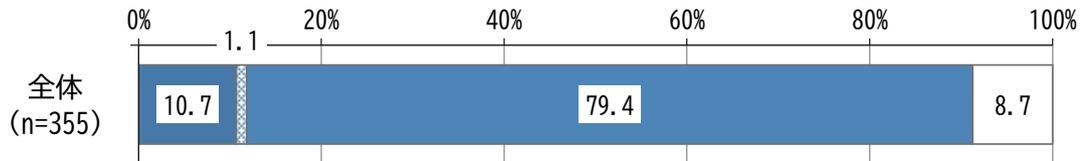
令和元(2019)年度調査と比較すると、「介護支援専門員(ケアマネジャー)や地域包括支援センター担当者の対応がよくないこと」(5.6%)では、令和元(2019)年度調査(2.5%)より3.1ポイント増加し、最も増加した項目となっています。



(17) 同居家族で介護保険サービスを利用している人がいるか

問 20 あなた（調査対象者ご本人）と同居されている方で、ほかに介護保険サービスを利用している人がいますか。（○は1つ）

同居家族で介護保険サービスを利用している人がいるかについては、「利用していない」が79.4%で最も高く、次いで「利用している」が10.7%、「現在は利用していないが、利用する予定がある」が1.1%となっています。



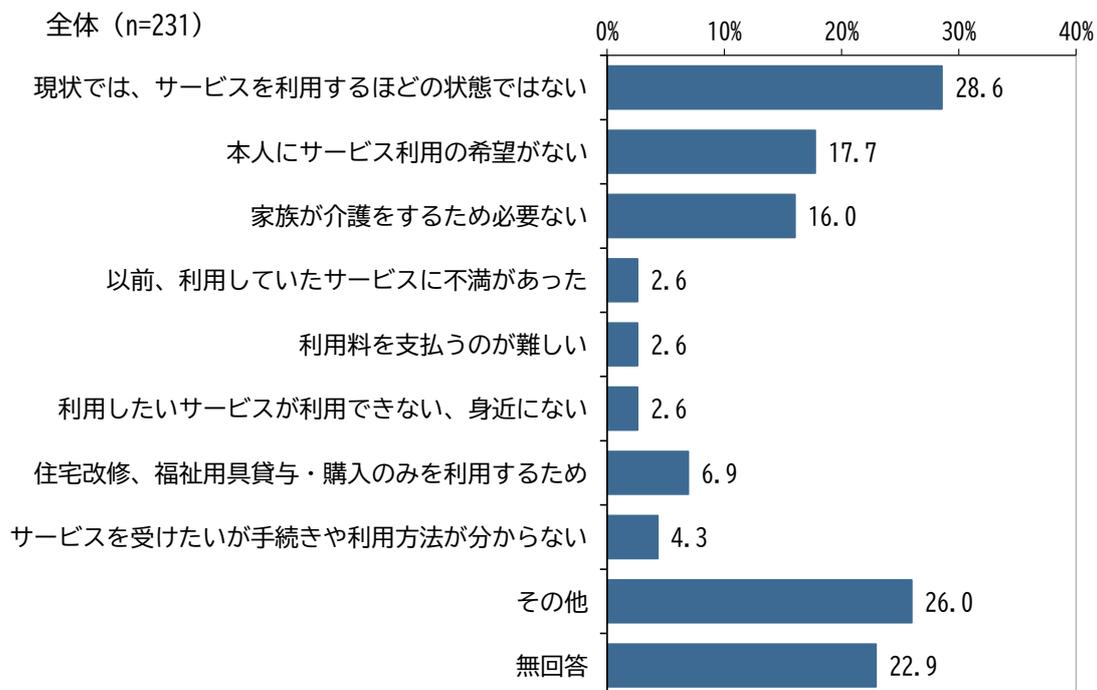
■ 利用している ■ 現在は利用していないが、利用する予定がある ■ 利用していない □ 無回答

(18) 介護保険サービスを利用していない理由

【問 15 で「利用していない」とお答えした方にお伺いします。

問 22 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が28.6%で最も高く、次いで「その他」が26.0%、「本人にサービス利用の希望がない」が17.7%と続いています。

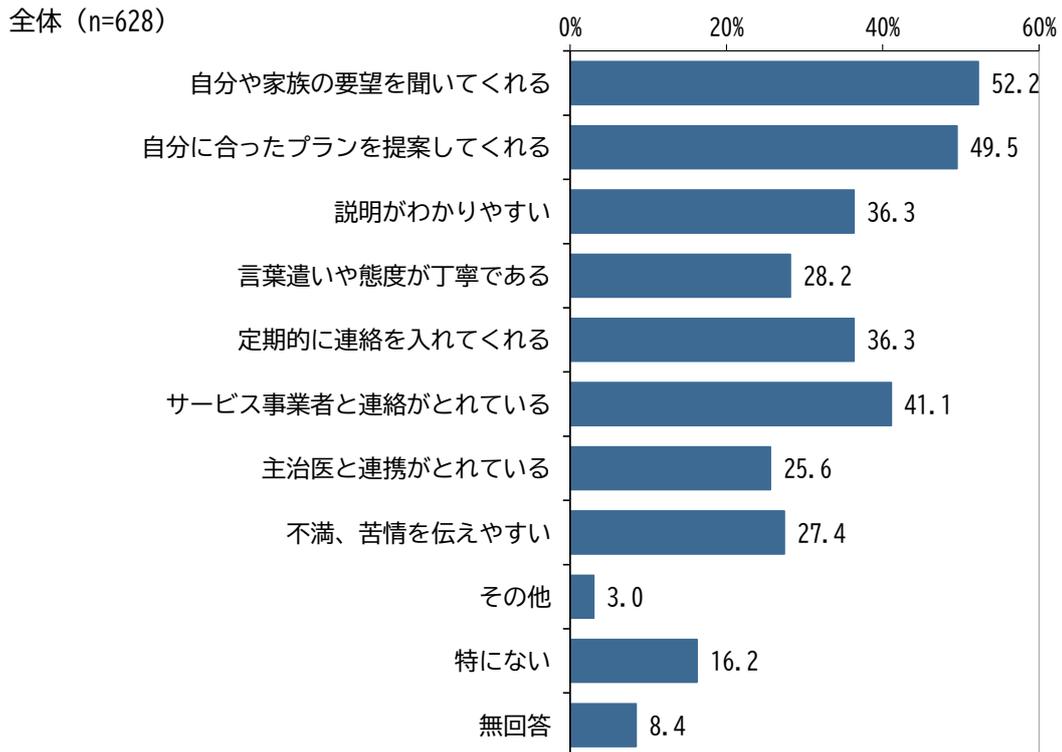


(補足) その他の自由記述：入院中、施設に入所している、等

(19) 介護支援専門員（ケアマネジャー）に求めること

問 23 介護支援専門員（ケアマネジャー）に求めることは、どのようなことですか。
 (〇はいくつでも)

介護支援専門員（ケアマネジャー）に求めることについては、「自分や家族の要望を聞いてくれる」が52.2%で最も高く、次いで「自分に合ったプランを提案してくれる」が49.5%、「サービス事業者と連絡がとれている」が41.1%と続いています。

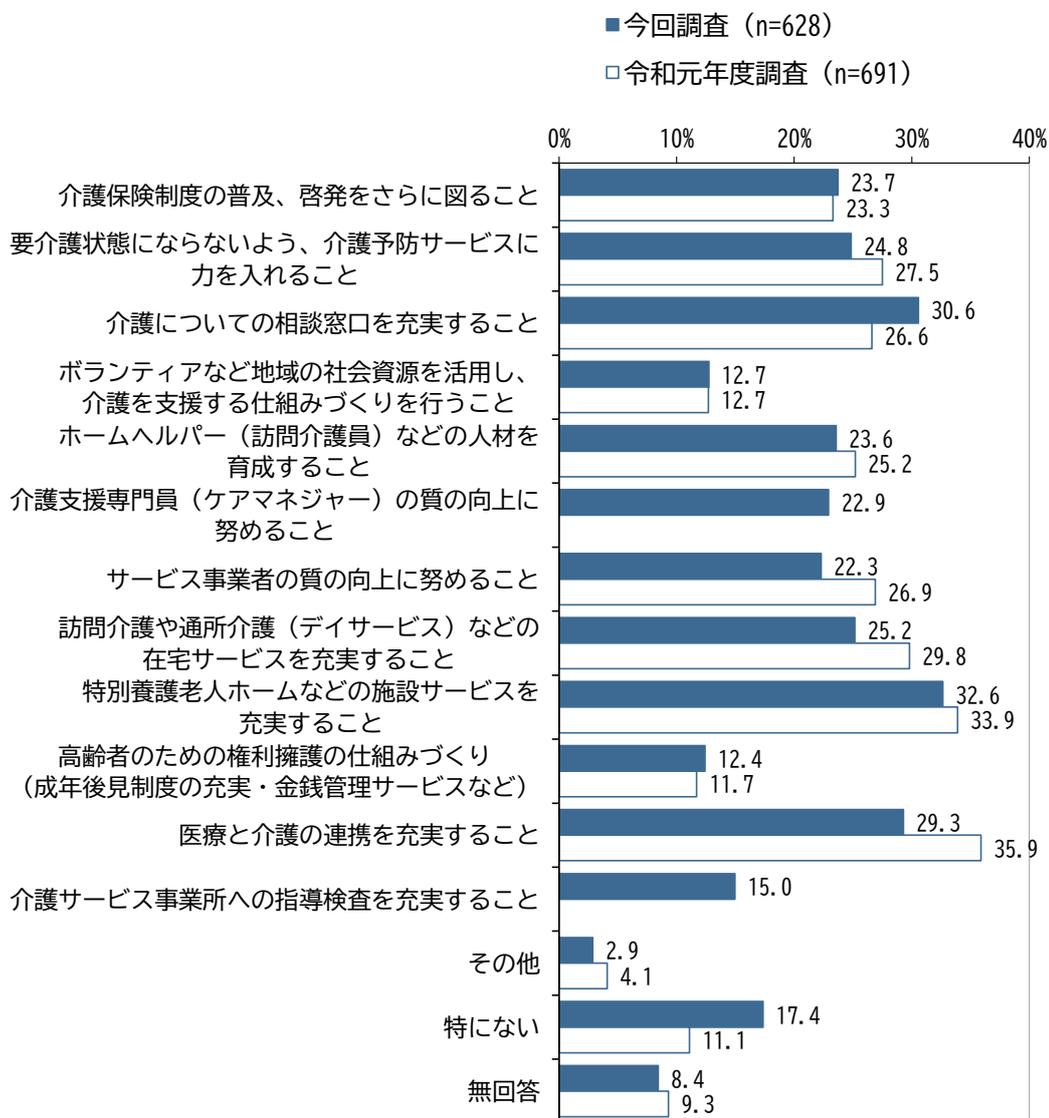


(20) 介護保険制度をよりよくするために立川市に期待すること

問 24 介護保険制度をよりよくするため、立川市に期待することは、次のうちどれですか。
(〇はいくつでも)

介護保険制度をよりよくするために立川市に期待することについては、「特別養護老人ホームなどの施設サービスを充実すること」が32.6%で最も高く、次いで「介護についての相談窓口を充実すること」が30.6%、「医療と介護の連携を充実すること」が29.3%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較できる項目で比較すると、「介護についての相談窓口を充実すること」(30.6%)では、令和元(2019)年度調査(26.6%)より4.0ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

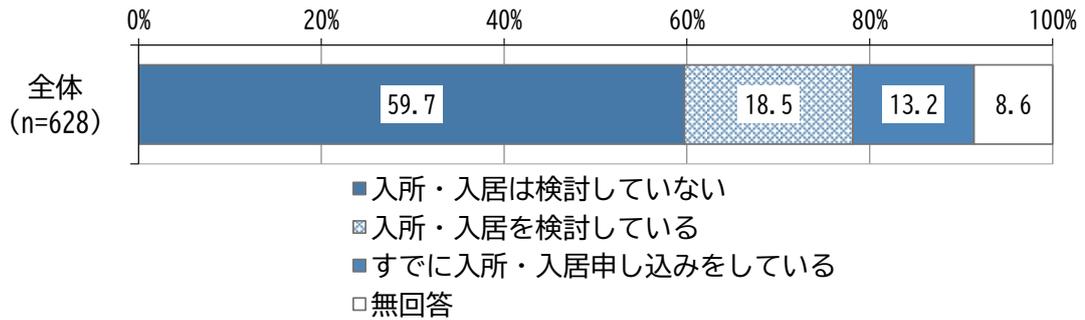


※ 「介護支援専門員（ケアマネジャー）の質の向上に努めること」「介護サービス事業所への指導検査を充実すること」は今回調査からの選択肢

(21) 施設などへの入所・入居の検討状況

問 25 現時点での、施設などへの入所・入居の検討状況について、お答えください。
(○は1つ)

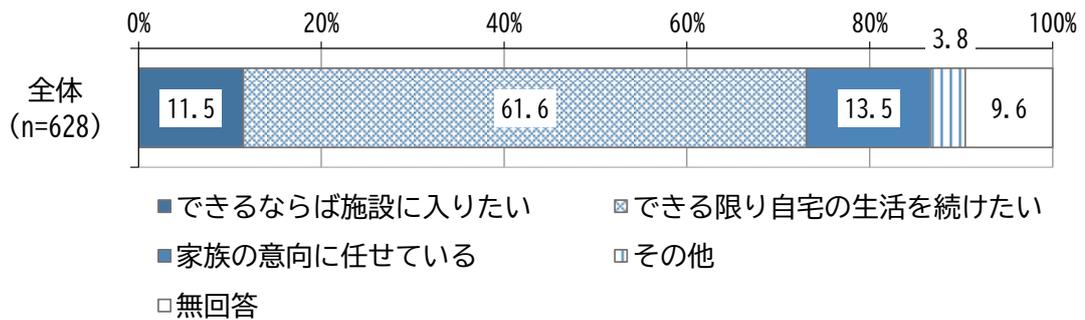
施設などへの入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が59.7%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が18.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が13.2%となっています。



(22) これからの生活で希望する場所

問 26 これからの生活について、あなた（調査対象者ご本人）のご希望に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

これからの生活で希望する場所については、「できる限り自宅の生活を続けたい」が61.6%で最も高く、次いで「家族の意向に任せている」が13.5%、「できるならば施設に入りたい」が11.5%と続いています。

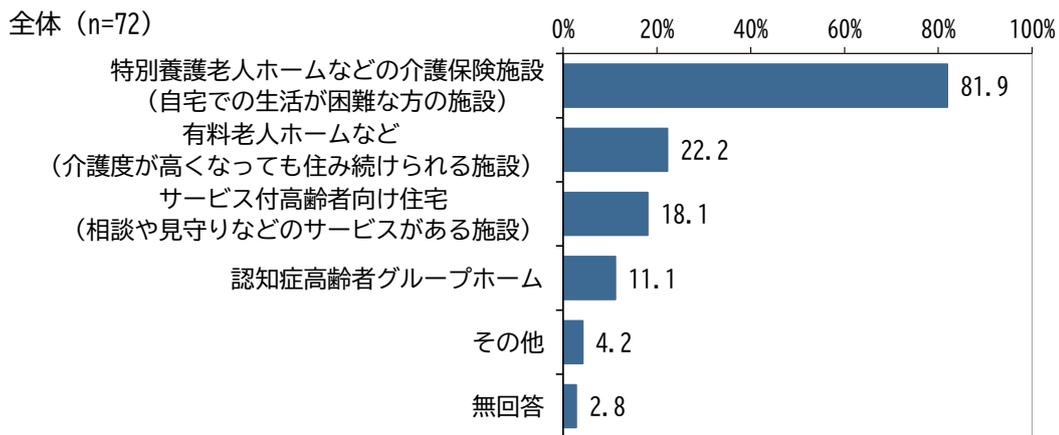


(23) 入りたいと希望する施設

【問 26 で「できるならば施設に入りたい」とお答えした方にお伺いします。】

問 27 あなたが入りたいと希望する施設は、どのような施設ですか。(〇はいくつでも)

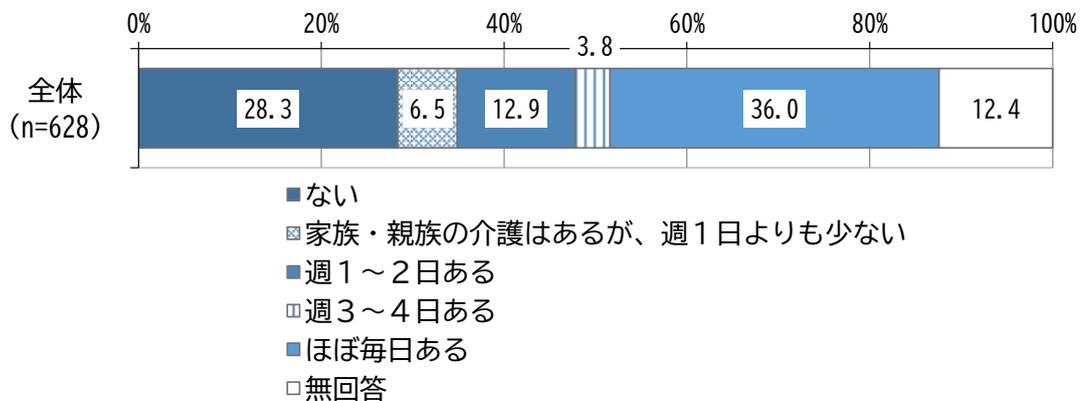
入りたいと希望する施設については、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設（自宅での生活が困難な方の施設）」が 81.9%で最も高く、次いで「有料老人ホームなど（介護度が高くなっても住み続けられる施設）」が 22.2%、「サービス付高齢者向け住宅（相談や見守りなどのサービスがある施設）」が 18.1%と続いています。



(24) 家族や親族からの一週間あたりの介護頻度

問 28 ご家族やご親族の方（同居していない子どもや親族も含む）からの介護は、週にどのくらいありますか。(〇は1つ)

家族や親族からの一週間あたりの介護頻度については、「ほぼ毎日ある」が 36.0%で最も高く、次いで「ない」が 28.3%、「週1～2日ある」が 12.9%と続いています。

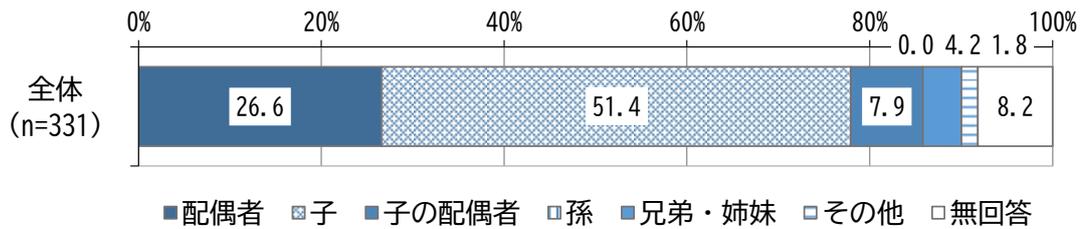


2 主な介護者の方について

(1) 主な介護者

問 29 ご自宅で主に介護を行っているのはどなたですか。(○は1つ)

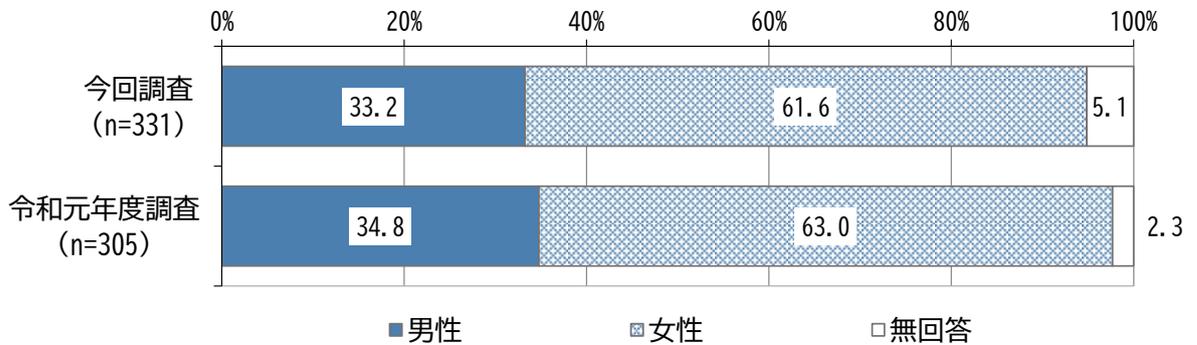
主な介護者については、「子」が51.4%で最も高く、次いで「配偶者」が26.6%、「子の配偶者」が7.9%と続いています。



(2) 主な介護者の性別

問 30 主な介護者(おひとり)の方の性別をお答えください。(どちらかに○)

主な介護者の性別については、「男性」が33.2%、「女性」が61.6%となっています。令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

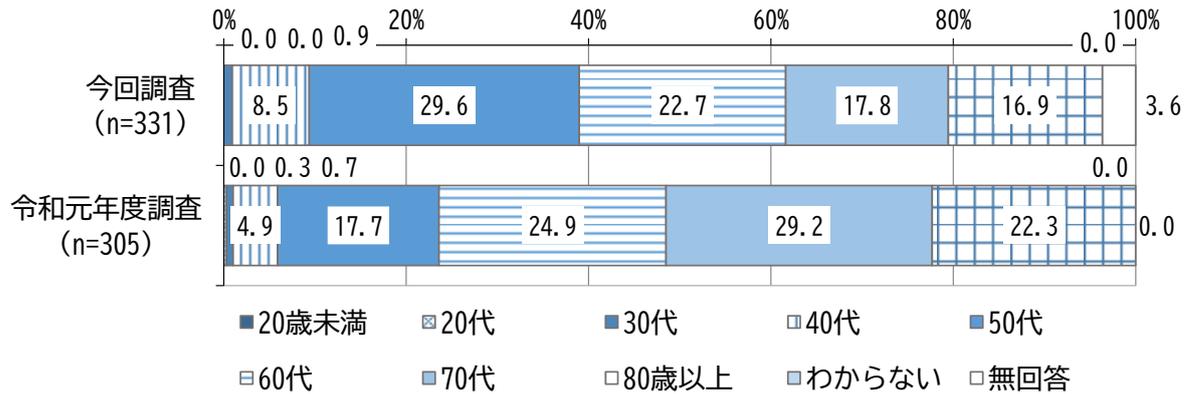


(3) 主な介護者の年齢

問 31 主な介護者の方の年齢をお答えください。(○は1つ)

主な介護者の年齢については、「50代」が29.6%で最も高く、次いで「60代」が22.7%、「70代」が17.8%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「50代」(29.6%)では、令和元(2019)年度調査(17.7%)より11.9ポイント増加しています。

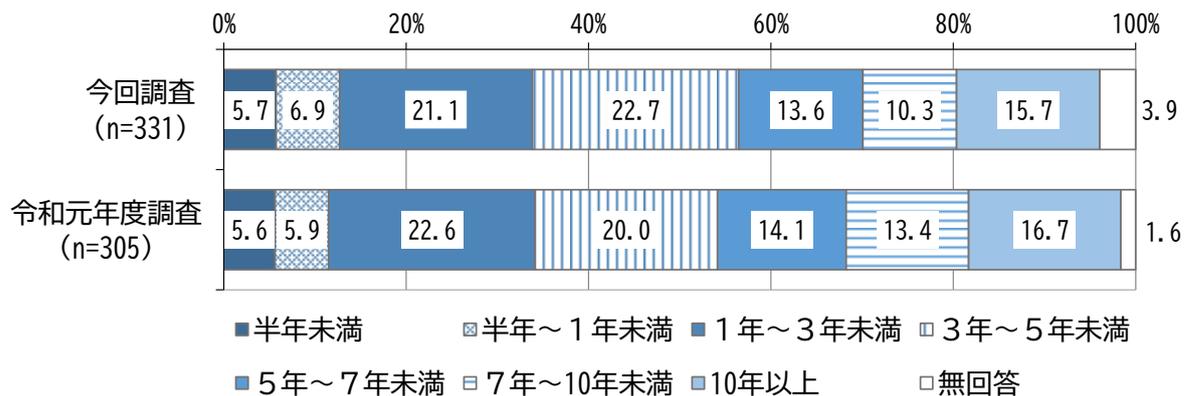


(4) 主な介護者の介護期間

問 32 主な介護者の方が調査対象者様の介護を始めて、どのくらいですか。(○は1つ)

主な介護者の介護期間については、「3年～5年未満」が22.7%で最も高く、次いで「1年～3年未満」が21.1%、「10年以上」が15.7%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

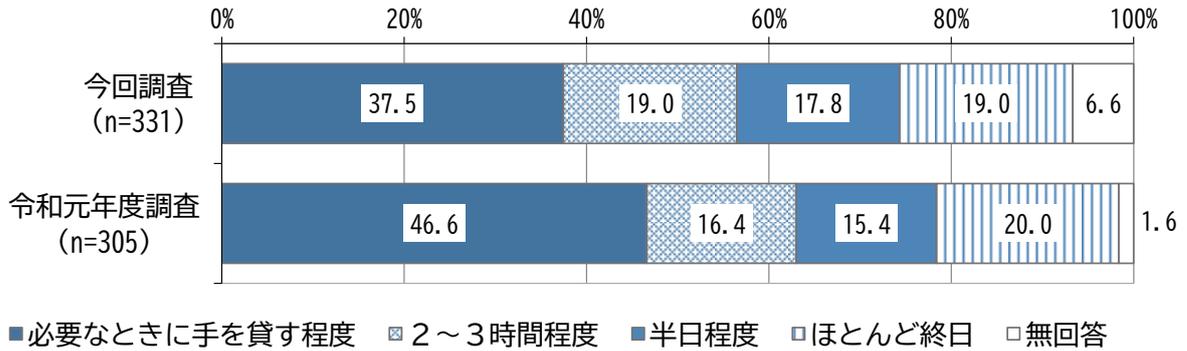


(5) 主な介護者の一日あたりの介護時間

問 33 主な介護者の方の一日あたりの介護時間は、どのくらいですか。(○は1つ)

主な介護者の一日あたりの介護時間については、「必要なときに手を貸す程度」が37.5%で最も高く、次いで「2～3時間程度」、「ほとんど終日」がいずれも19.0%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「必要なときに手を貸す程度」(37.5%)では、令和元(2019)年度調査(46.6%)より9.1ポイント減少しています。

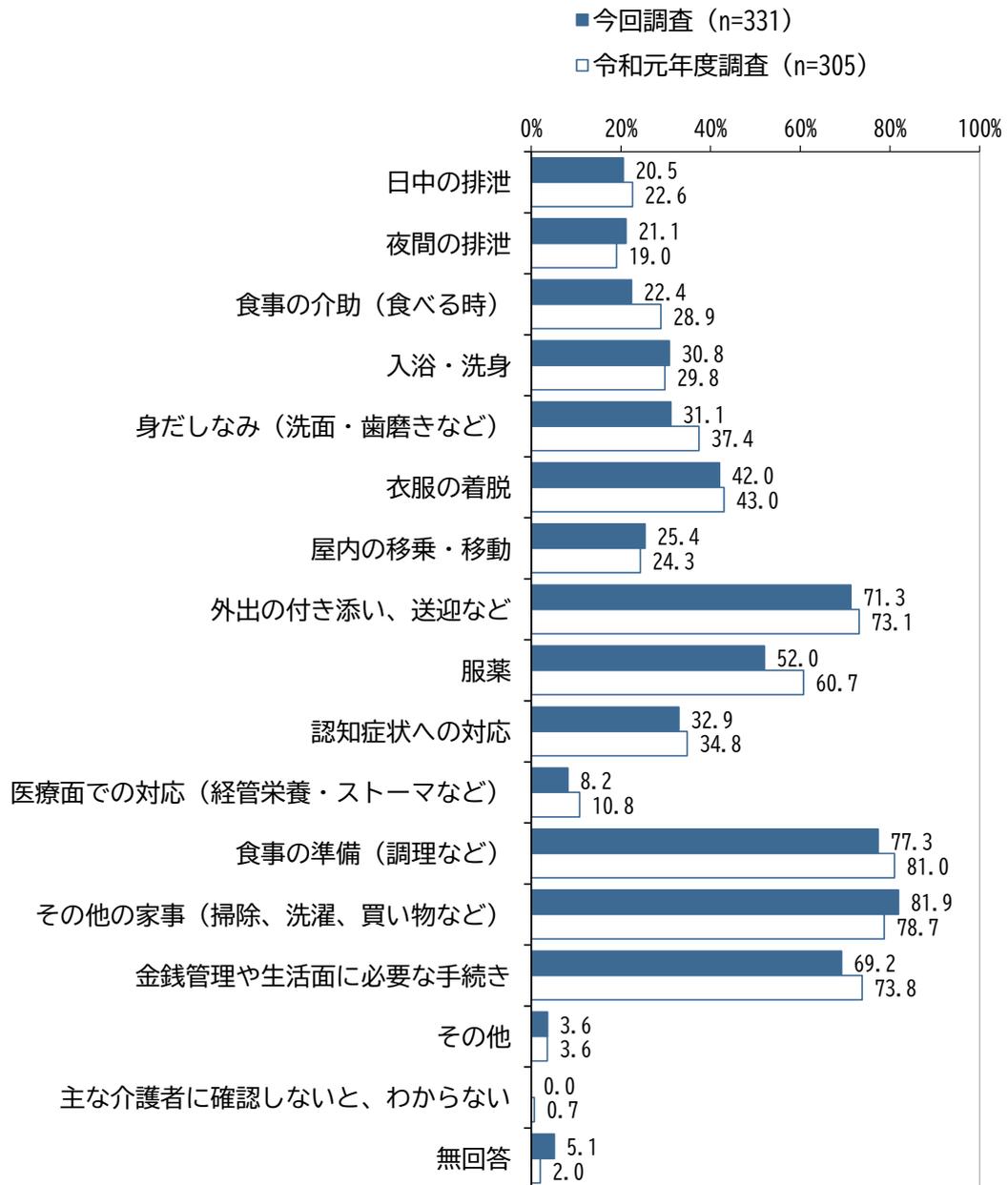


(6) 主な介護者が行っている介護

問34 現在、主な介護者の方が行っている介護などについて、お答えください。
(○はいくつでも)

主な介護者が行っている介護については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が81.9%で最も高く、次いで「食事の準備（調理など）」が77.3%、「外出の付き添い、送迎など」が71.3%と続いています。

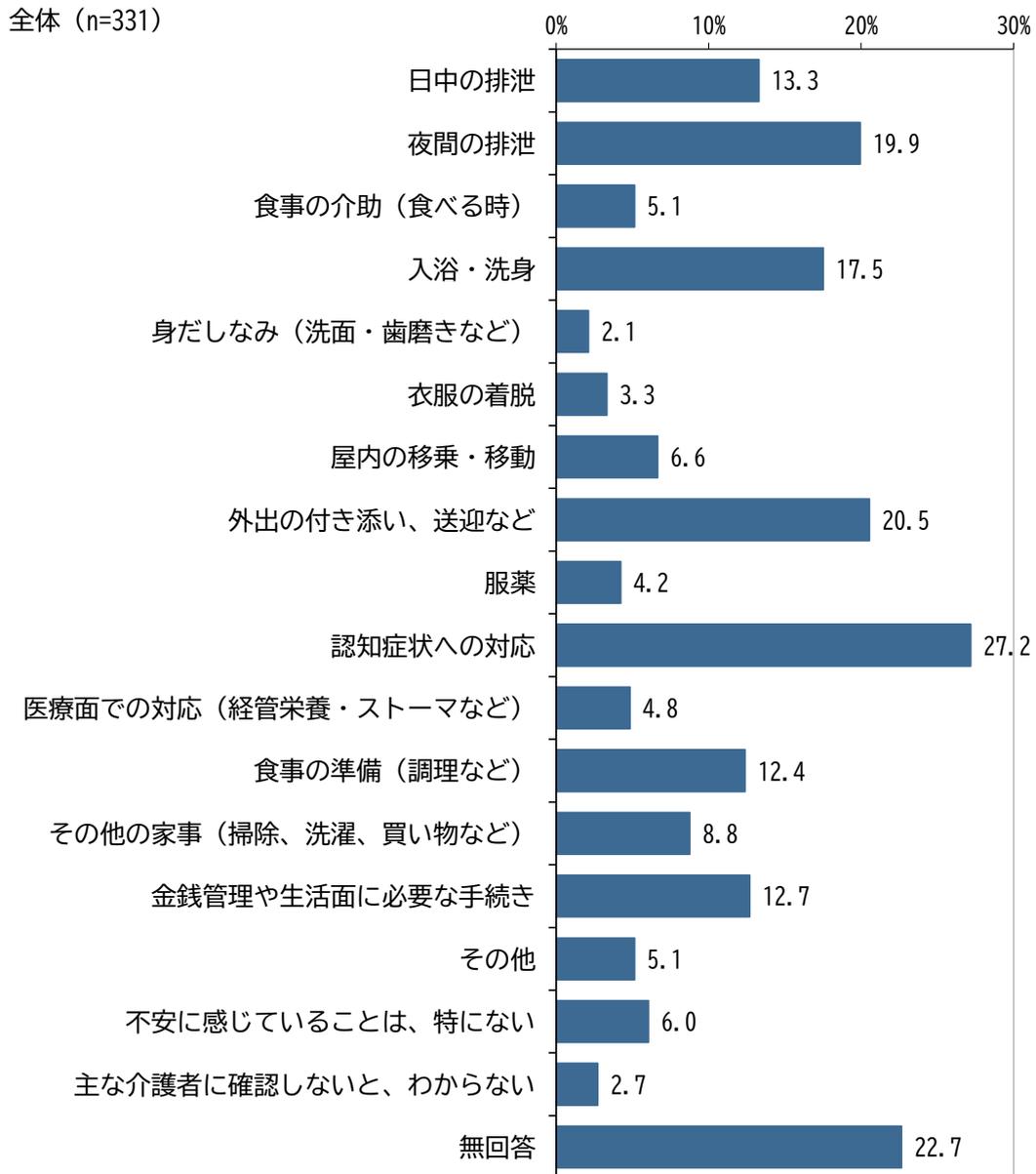
令和元（2019）年度調査と比較すると、「服薬」（52.0%）では、令和元（2019）年度調査（60.7%）より8.7ポイント減少し、最も減少した項目となっています。



(7) 現在の生活を継続するにあたって不安を感じる介護

問 35 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

現在の生活を継続するにあたって不安を感じる介護については、「認知症状への対応」が27.2%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎など」が20.5%、「夜間の排泄」が19.9%と続いています。

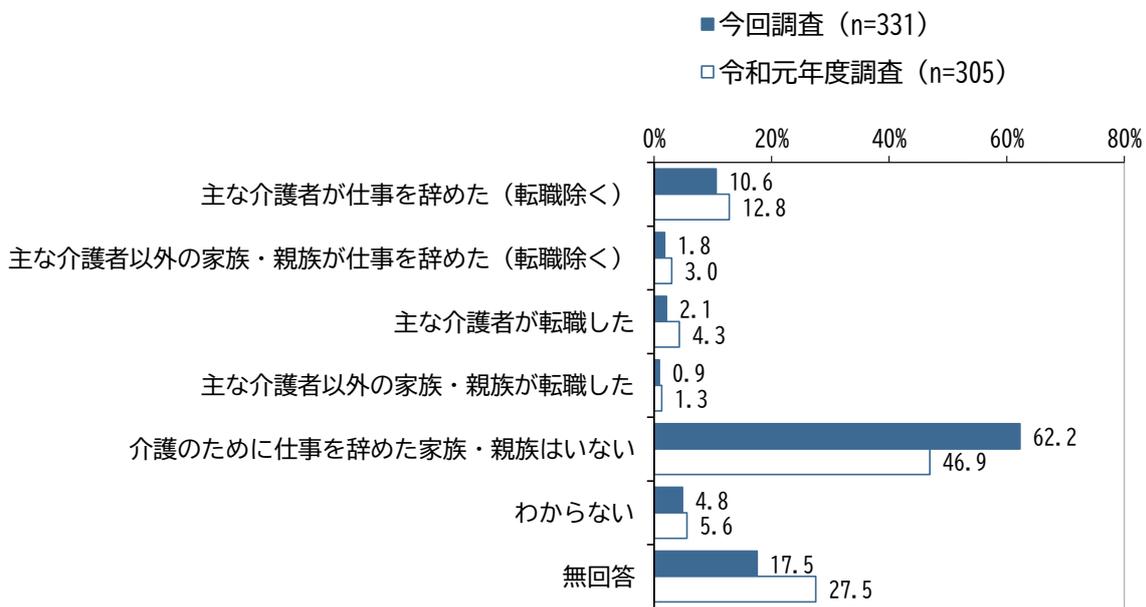


(8) 家族や親族で介護を主な理由として過去1年の間に仕事を辞めた人はいるか

問36 ご家族やご親族の中で、調査対象者様の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)
(○はいくつでも)

家族や親族で介護を主な理由として過去1年の間に仕事を辞めた人はいるかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が62.2%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が10.6%、「わからない」が4.8%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(62.2%)では、令和元(2019)年度調査(46.9%)より15.3ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

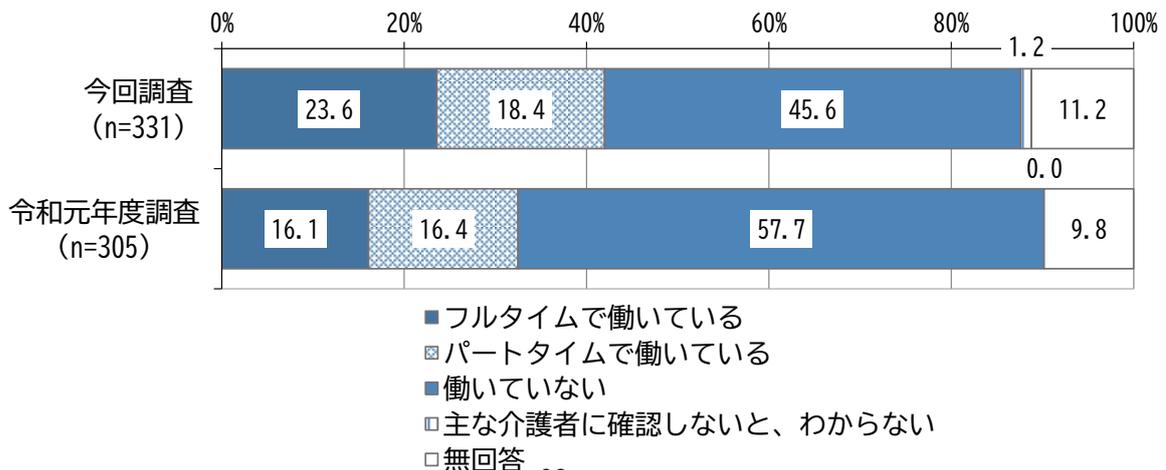


(9) 主な介護者の勤務形態

問37 主な介護者の方の現在の勤務形態について、お答えください。(○は1つ)

主な介護者の勤務形態については、「働いていない」が45.6%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が23.6%、「パートタイムで働いている」が18.4%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「働いていない」(45.6%)では、令和元(2019)年度調査(57.7%)より12.1ポイント減少しています。

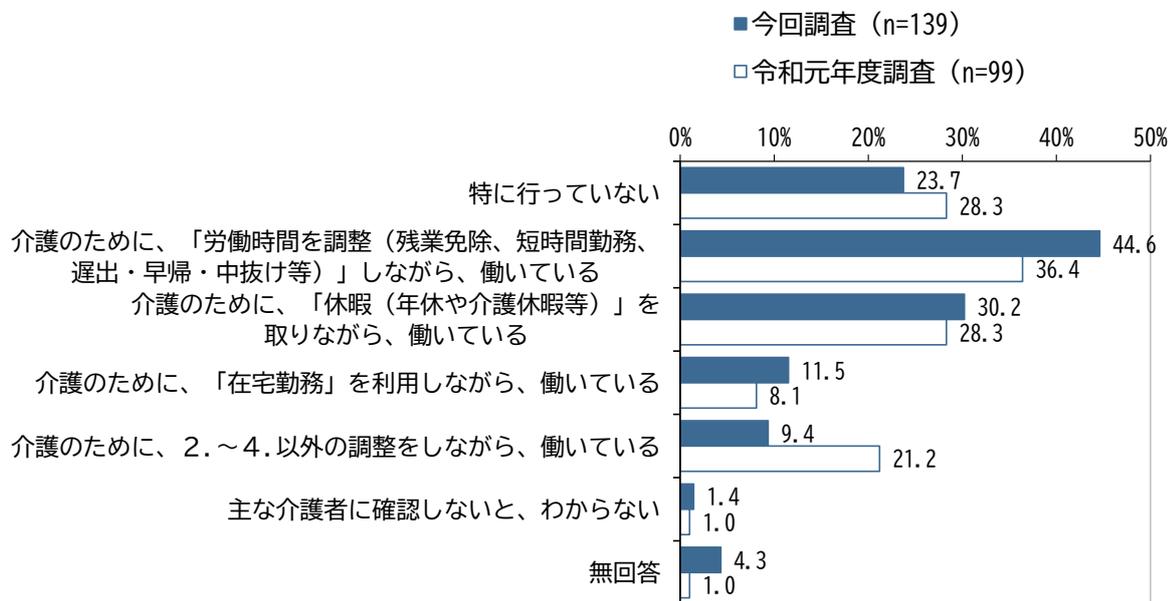


(10) 介護をするにあたって働き方の調整等をしているか

【問37で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」とお答えした方にお伺いします。】
 問 38 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などをしてい
 ますか。(○はいくつでも)

介護をするにあたって働き方の調整等をしているかについては、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が44.6%で最も高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が30.2%、「特に行っていない」が23.7%と続いています。

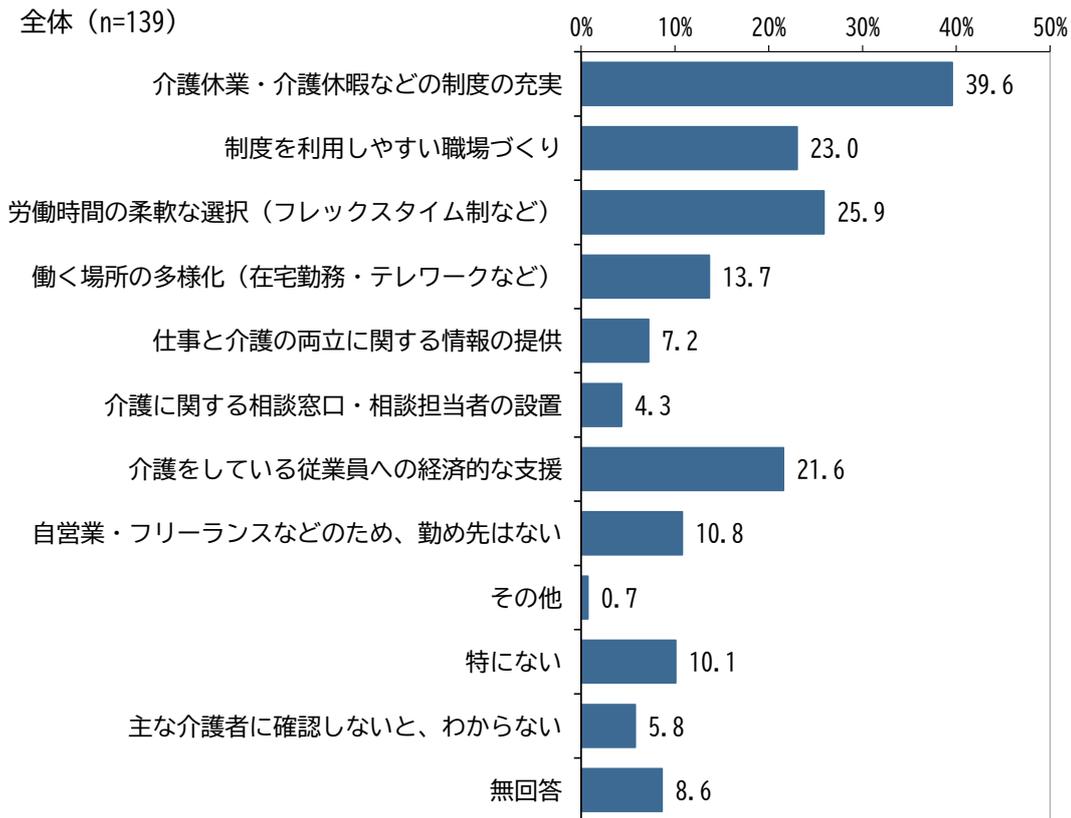
令和元（2019）年度調査と比較すると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」（44.6%）では、令和元（2019）年度調査（36.4%）より8.2ポイント増加し、最も増加した項目となっています。



(11) 勤め先からどのような支援があれば仕事と介護の両立に効果があると思うか

問 39 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

勤め先からどのような支援があれば仕事と介護の両立に効果があると思うかについては、「介護休業・介護休暇などの制度の充実」が39.6%で最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が25.9%、「制度を利用しやすい職場づくり」が23.0%と続いています。

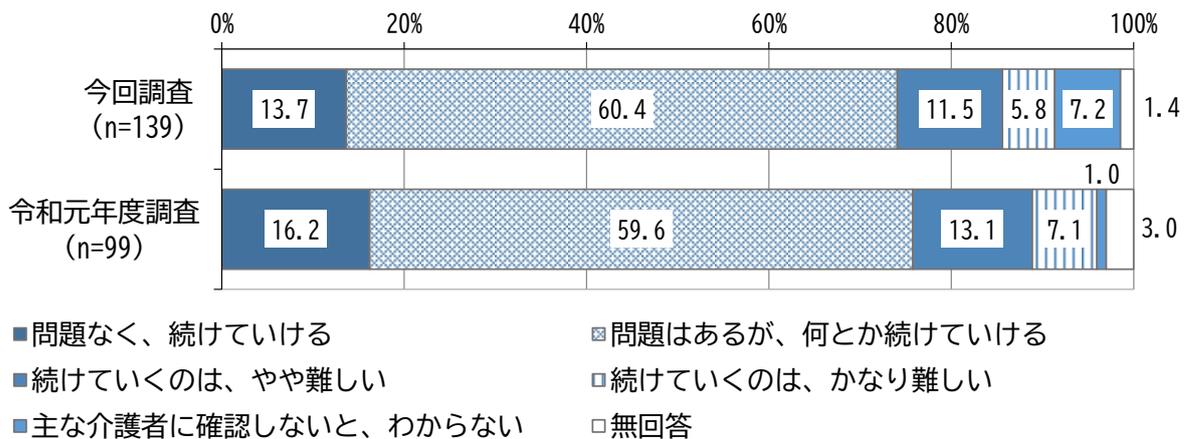


(12) 今後も働きながら介護を続けていけそうか

問 40 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

今後も働きながら介護を続けていけそうかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が60.4%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が13.7%、「続けていくのは、やや難しい」が11.5%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、令和元(2019)年度調査と比較すると、「主な介護者に確認しないと、わからない」(7.2%)では、令和元(2019)年度調査(1.0%)より6.2ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

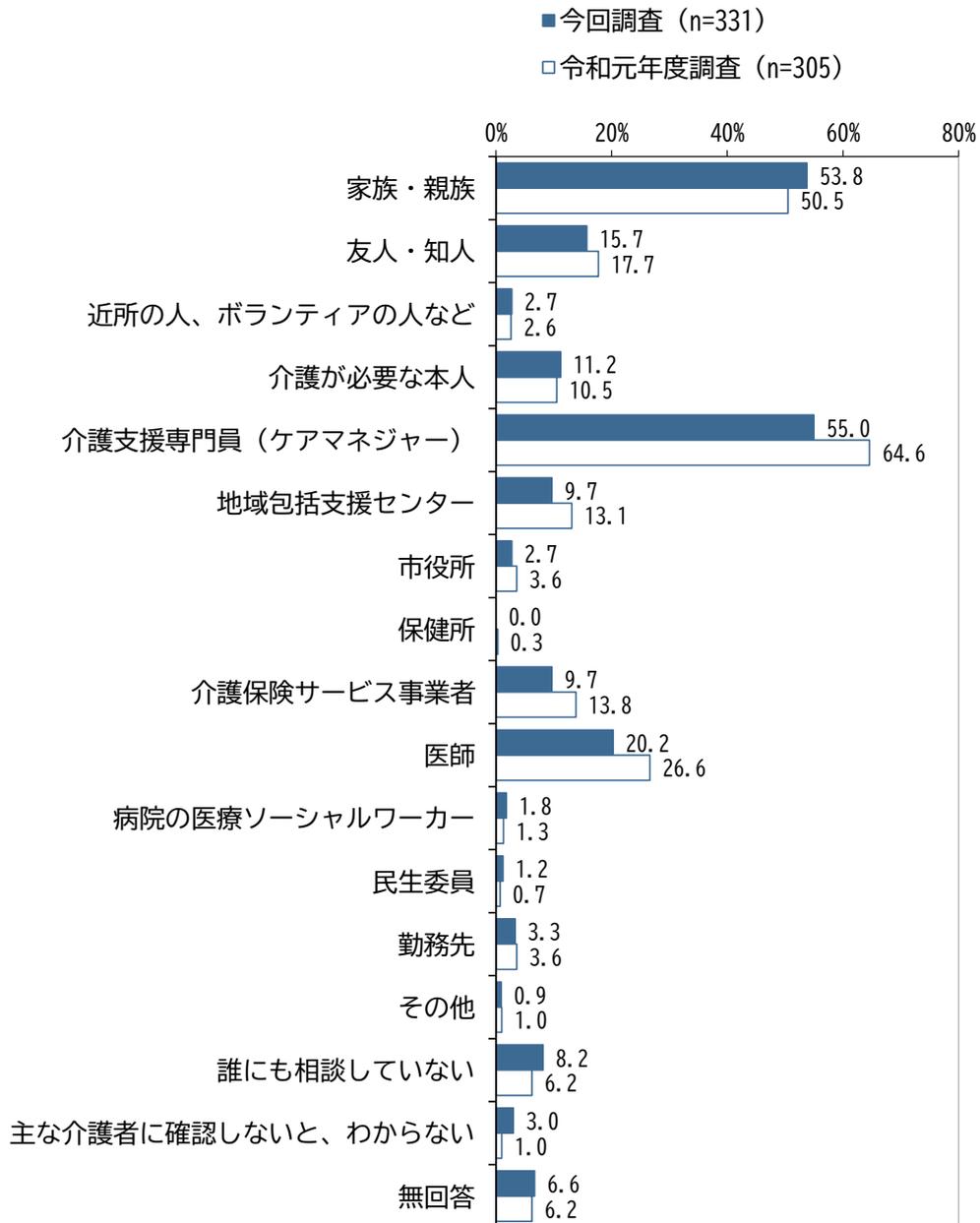


(13) 介護についての相談先

問41 主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。(〇はいくつでも)

介護についての相談先については、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が55.0%で最も高く、次いで「家族・親族」が53.8%、「医師」が20.2%と続いています。

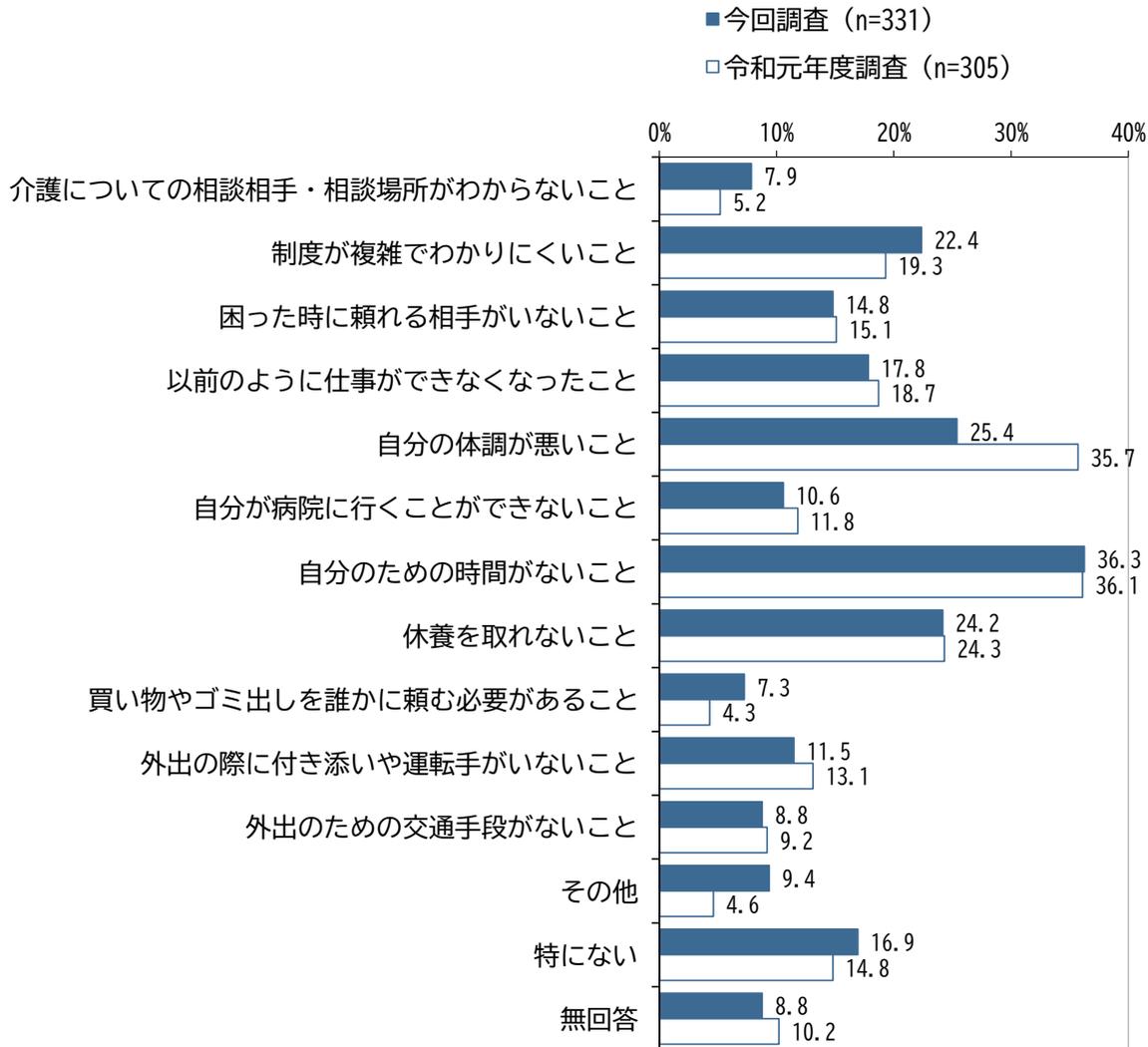
令和元（2019）年度調査と比較すると、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」（55.0%）では、令和元（2019）年度調査（64.6%）より9.6ポイント減少し、最も減少した項目となっています。



(14) 介護に関して困っていること

問 42 介護に関してお困りのことは、何ですか。(〇はいくつでも)

介護に関して困っていることについては、「自分のための時間がないこと」が36.3%で最も高く、次いで「自分の体調が悪いこと」が25.4%、「休養を取れないこと」が24.2%と続いています。令和元（2019）年度調査と比較すると、「制度が複雑でわかりにくいこと」（22.4%）では、令和元（2019）年度調査（19.3%）より3.1ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

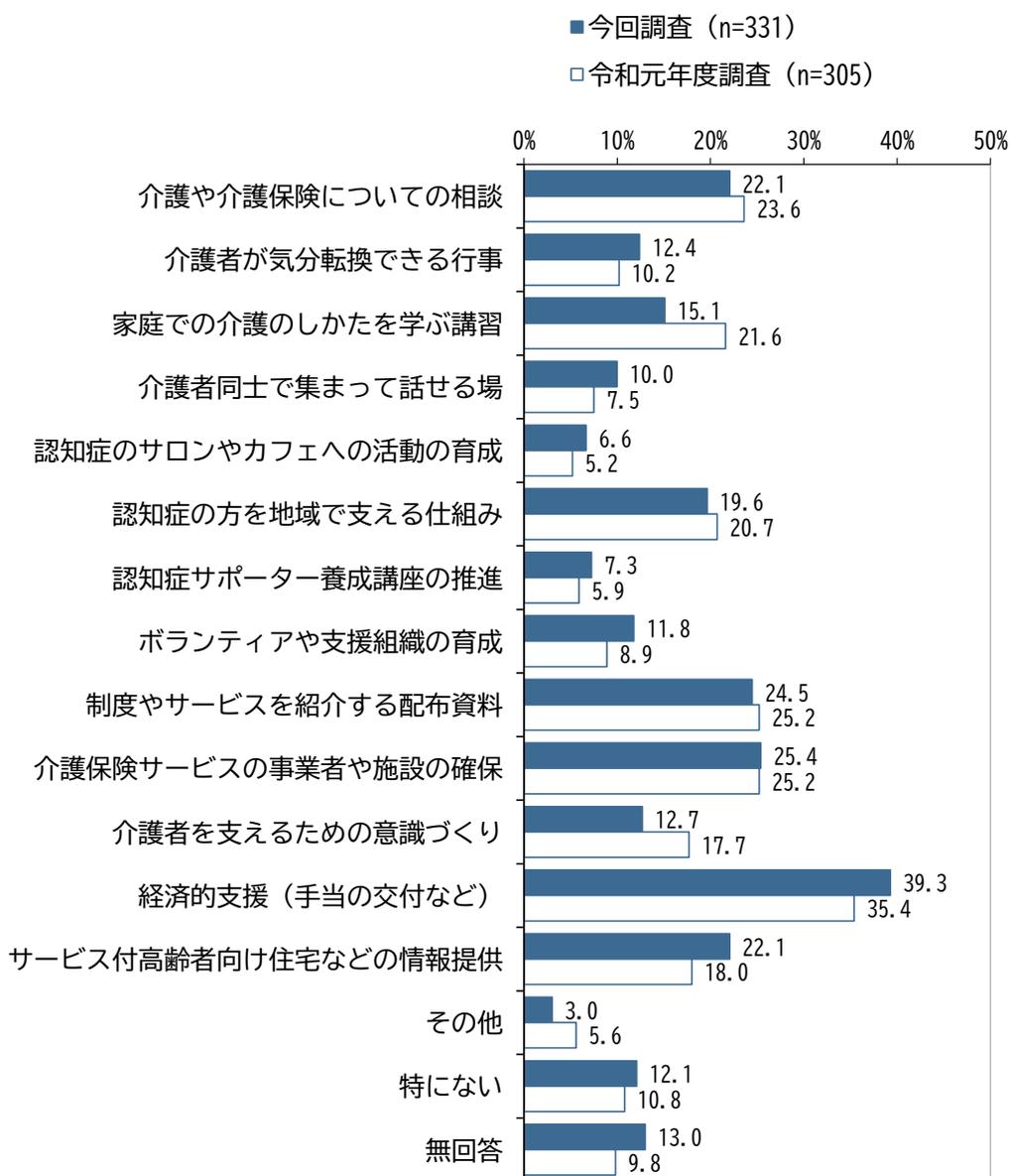


(15) 介護をする家族への支援として市が取り組むべきこと

問 43 介護や付き添いをする家族の皆さんへの支援として、立川市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

介護をする家族への支援として市が取り組むべきことについては、「経済的支援（手当の交付など）」が39.3%で最も高く、次いで「介護保険サービスの事業者や施設の確保」が25.4%、「制度やサービスを紹介する配布資料」が24.5%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「サービス付高齢者向け住宅などの情報提供」（22.1%）では、令和元（2019）年度調査（18.0%）より4.1ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

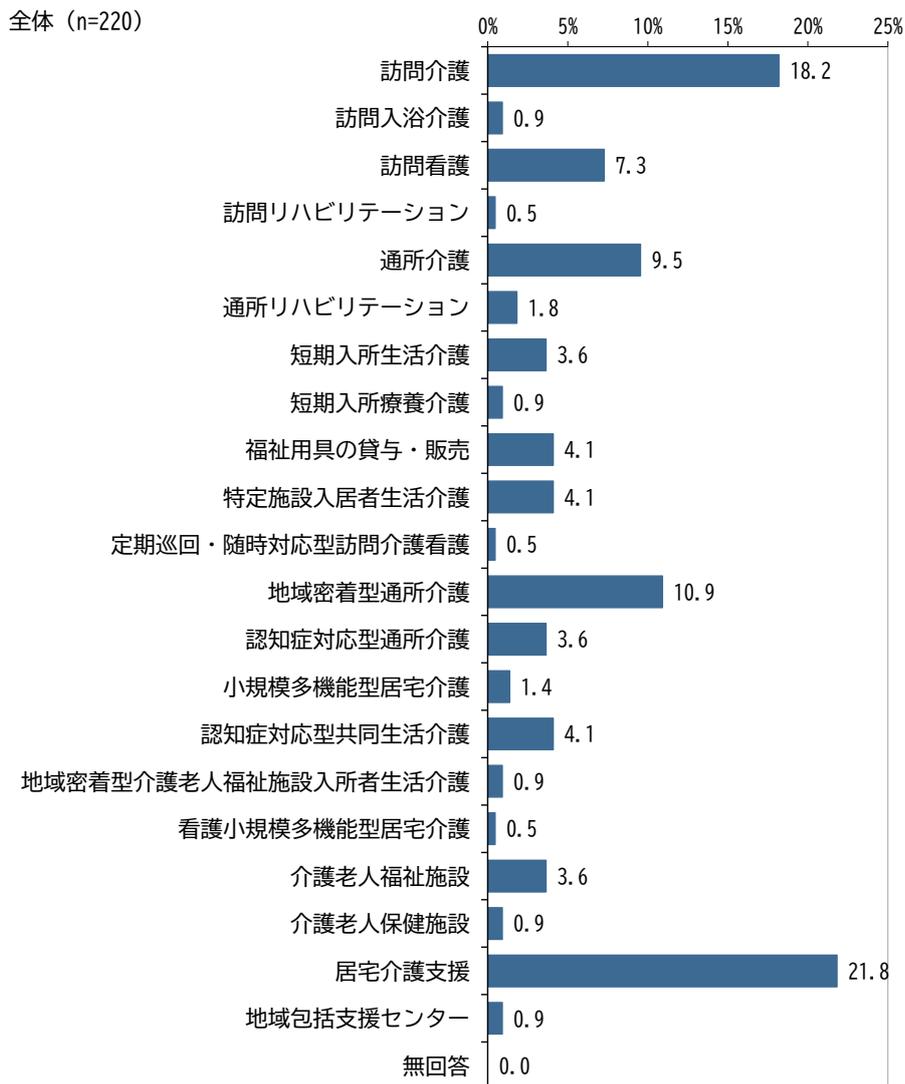


第4章 介護保険事業所向けアンケート調査結果概要

1 回答事業所の属性

(1) サービスの種類

サービスの種類については、「居宅介護支援」が21.8%で最も高く、次いで「訪問介護」が18.2%、「地域密着型通所介護」が10.9%と続いています。



※ 以下では上記サービスを以下の種類に分類して分析しています

○居宅サービス：訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、福祉用具の貸与・販売、特定施設入居者生活介護

○地域密着型サービス：定期巡回・随時対応型訪問介護看護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、看護小規模多機能型居宅介護

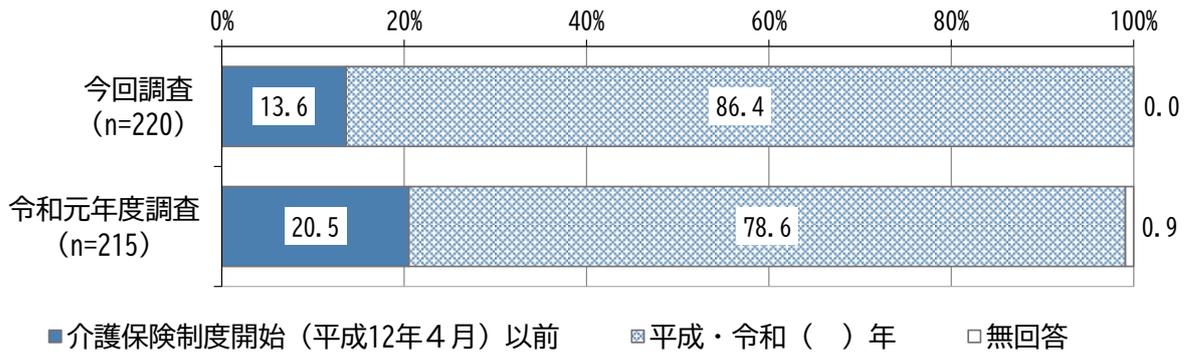
○施設サービス：介護老人福祉施設、介護老人保健施設

(2) 事業所の開設時期

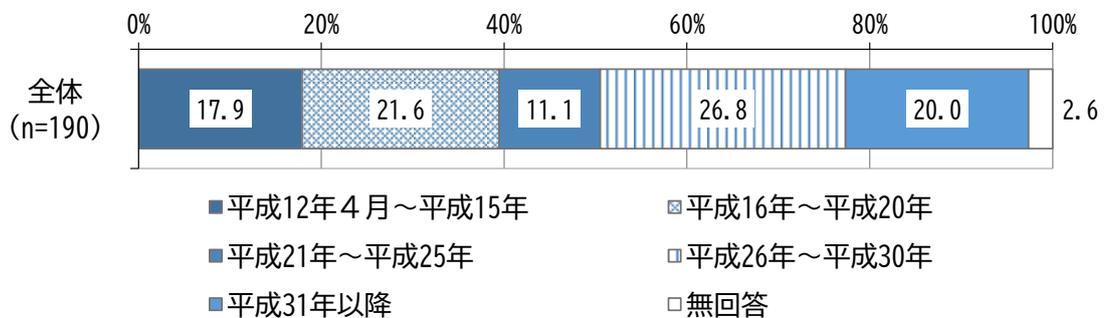
問1 貴事業所が開設されたのはいつですか。(〇は1つ)

事業所の開設時期については、「介護保険制度開始（平成12年4月）以前」が13.6%、「平成・令和（ ）年」が86.4%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「介護保険制度開始（平成12年4月）以前」（13.6%）では、令和元（2019）年度調査（20.5%）より6.9ポイント減少しています。



介護保険制度開始（平成12年4月）以降に開設した事業所の開設時期については、「平成26年～平成30年」が26.8%で最も高く、次いで「平成16年～平成20年」が21.6%、「平成31年以降」が20.0%と続いています。

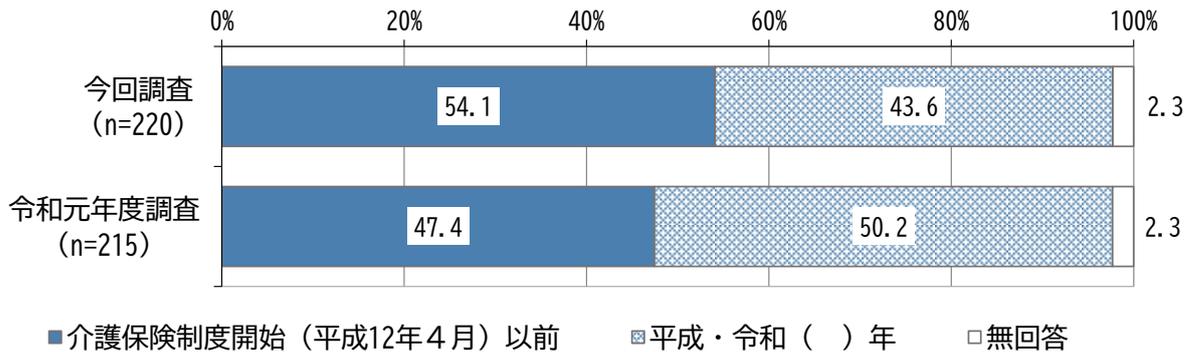


(3) 法人の開設時期

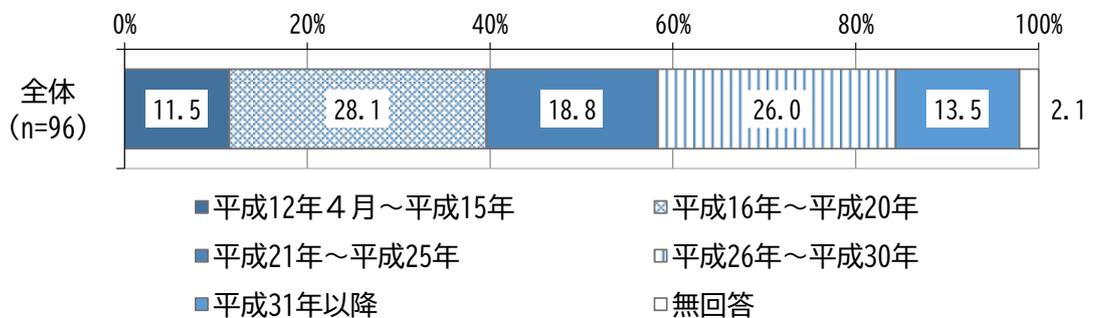
問2 貴法人が開設されたのはいつですか。(〇は1つ)

法人の開設時期については、「介護保険制度開始（平成12年4月）以前」が54.1%、「平成・令和（ ）年」が43.6%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「介護保険制度開始（平成12年4月）以前」（54.1%）では、令和元（2019）年度調査（47.4%）より6.7ポイント増加しています。



介護保険制度開始（平成12年4月）以降に開設した法人の開設時期については、「平成16年～平成20年」が28.1%で最も高く、次いで「平成26年～平成30年」が26.0%、「平成21年～平成25年」が18.8%と続いています。

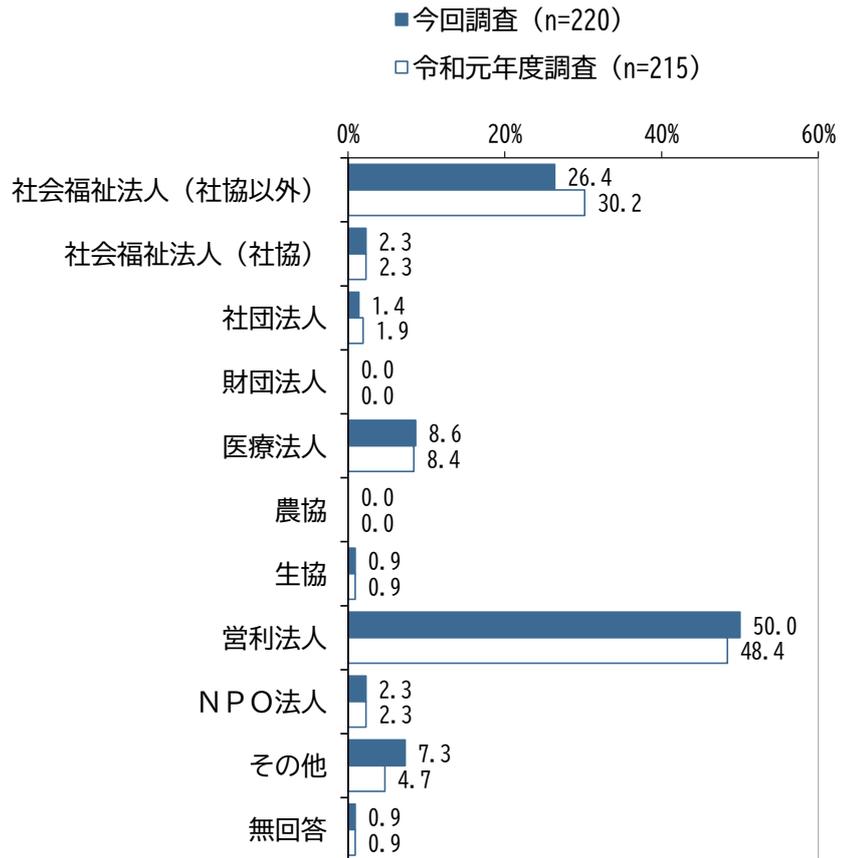


(4) 法人の組織形態

問3 貴法人の組織形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

法人の組織形態については、「営利法人」が50.0%で最も高く、次いで「社会福祉法人(社協以外)」が26.4%、「医療法人」が8.6%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「社会福祉法人(社協以外)」(26.4%)では、令和元(2019)年度調査(30.2%)より3.8ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

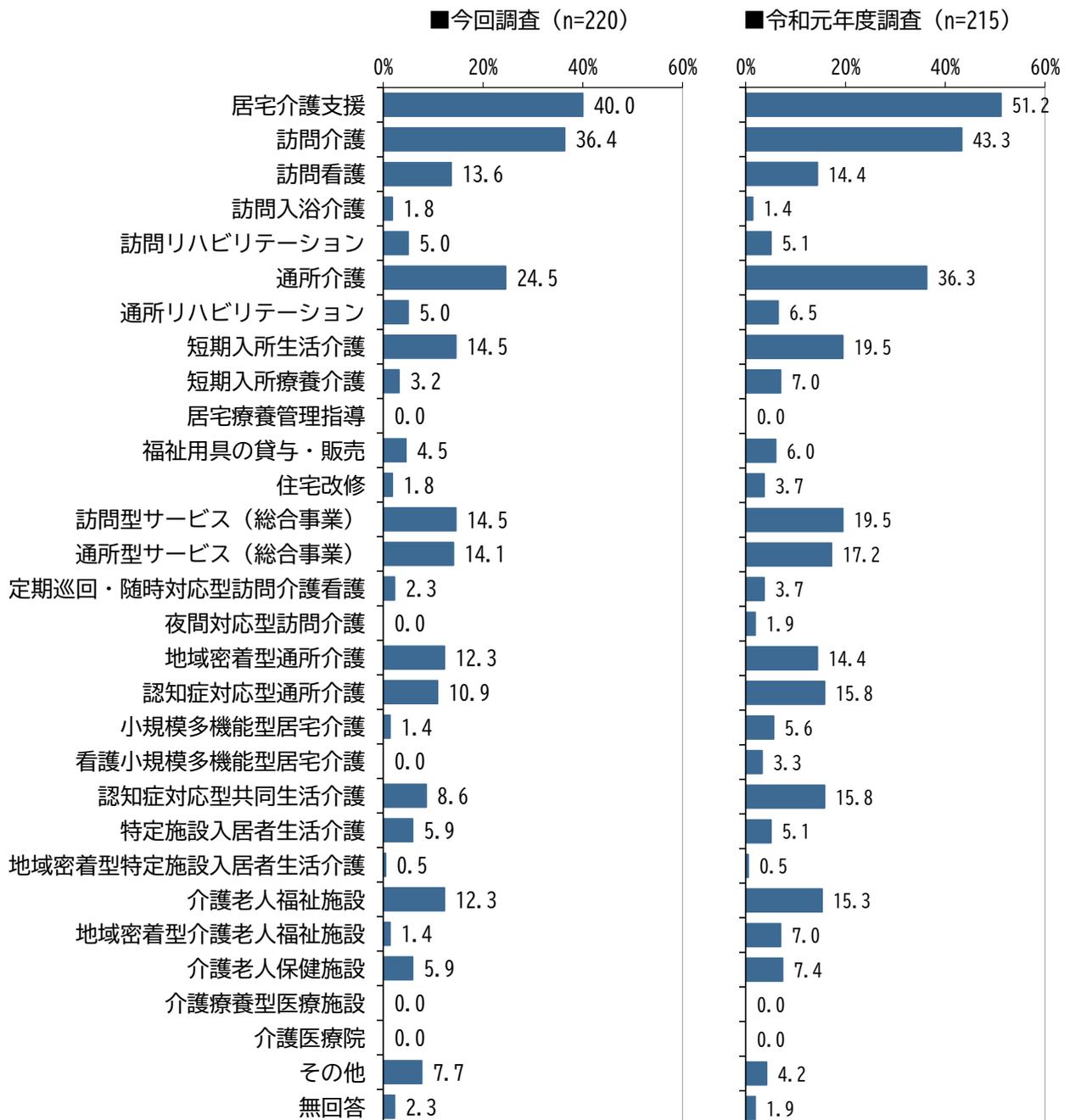


(5) 事業所及び併設事業所で提供している介護保険サービスの種類

問4 貴事業所及び併設事業所において提供している介護保険サービス（総合事業を含む）は何ですか。（〇はいくつでも）

事業所及び併設事業所で提供している介護保険サービスの種類については、「居宅介護支援」が40.0%で最も高く、次いで「訪問介護」が36.4%、「通所介護」が24.5%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「通所介護」(24.5%)では、令和元(2019)年度調査(36.3%)より11.8ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

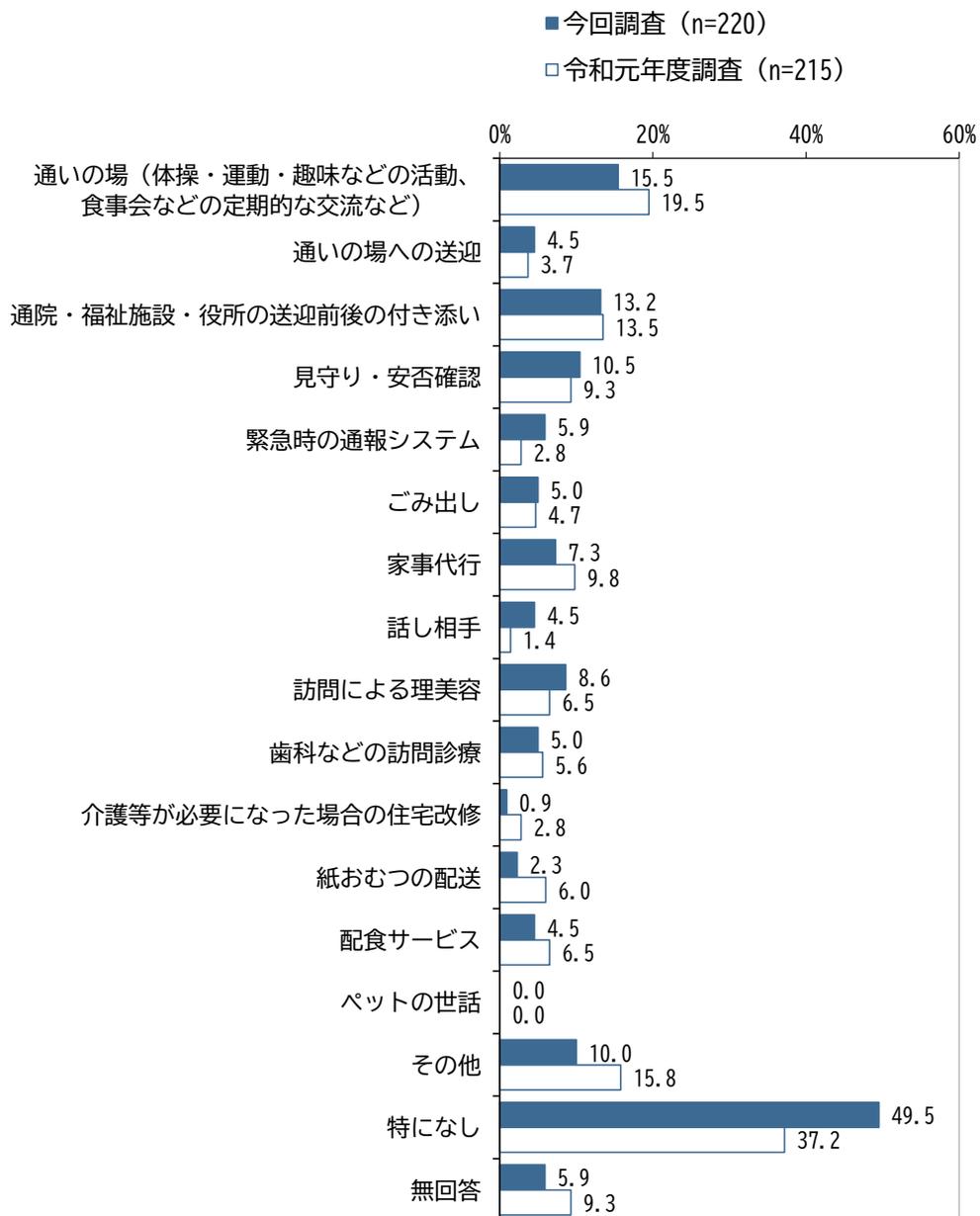


(6) 実施している介護保険サービス以外の事業

問5 貴事業所及び併設事業所では、高齢者向けに介護保険サービス（総合事業を含む）以外の事業も実施していますか。当てはまるものをお答えください。（○はいくつでも）

実施している介護保険サービス以外の事業については、「特になし」が49.5%で最も高く、次いで「通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流など）」が15.5%、「通院・福祉施設・役所の送迎前後の付き添い」が13.2%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「特になし」(49.5%)では、令和元(2019)年度調査(37.2%)より12.3ポイント増加し、最も増加した項目となっています。



※ 今回調査の「紙おむつの配送」は令和元年度調査では「紙おむつの購入」

2 サービス提供体制について

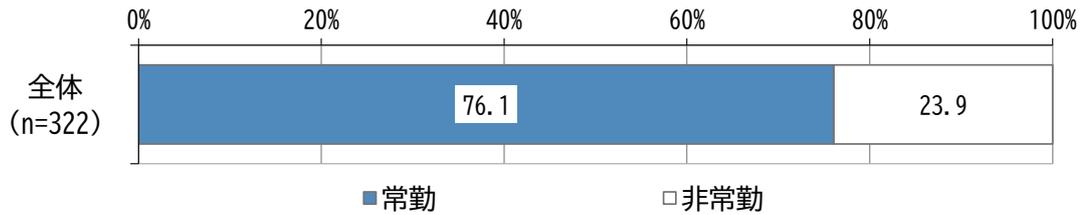
(1) スタッフの人員構成

問6 貴事業所のスタッフの人員構成についてお教えてください。(令和4年11月1日現在)

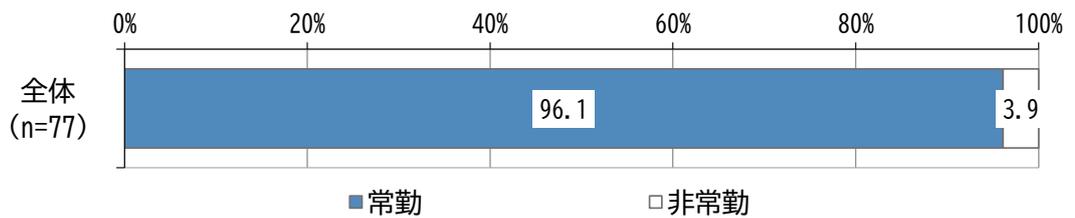
注1) 2つ以上に当てはまる方については、主に従事している業務を1つ選んでください。

① 介護支援専門員

介護支援専門員については、「常勤」が76.1%、「非常勤」が23.9%となっています。

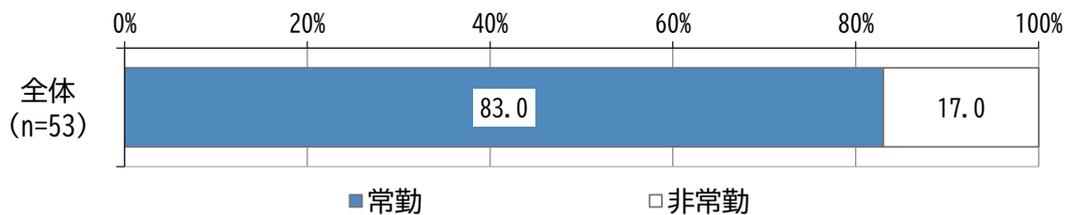


主任介護支援専門員については、「常勤」が96.1%、「非常勤」が3.9%となっています。



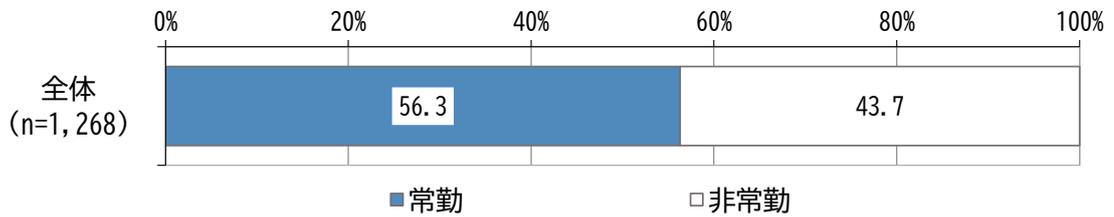
② 社会福祉士

社会福祉士については、「常勤」が83.0%、「非常勤」が17.0%となっています。



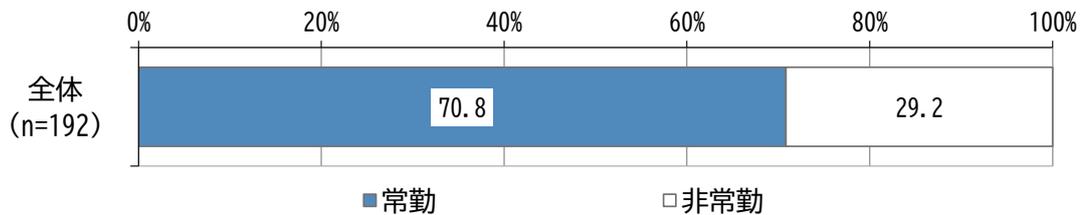
③ 介護福祉士

介護福祉士については、「常勤」が56.3%、「非常勤」が43.7%となっています。



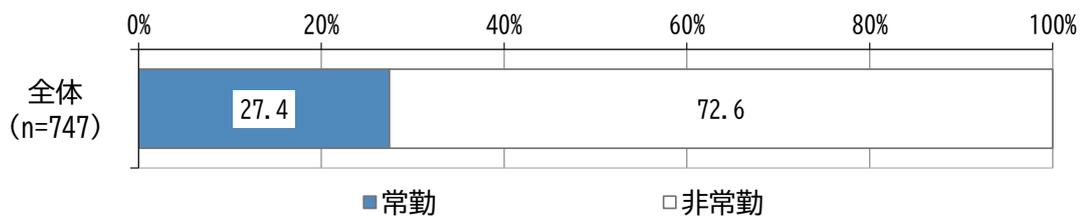
④ 介護福祉士実務者研修修了者

介護福祉士実務者研修修了者については、「常勤」が70.8%、「非常勤」が29.2%となっています。



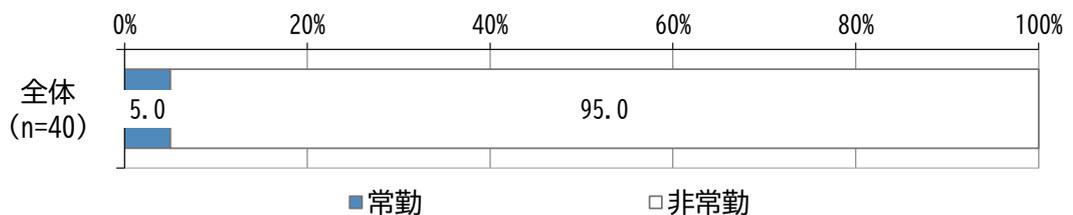
⑤ 介護職員初任者研修修了者

介護職員初任者研修修了者については、「常勤」が27.4%、「非常勤」が72.6%となっています。



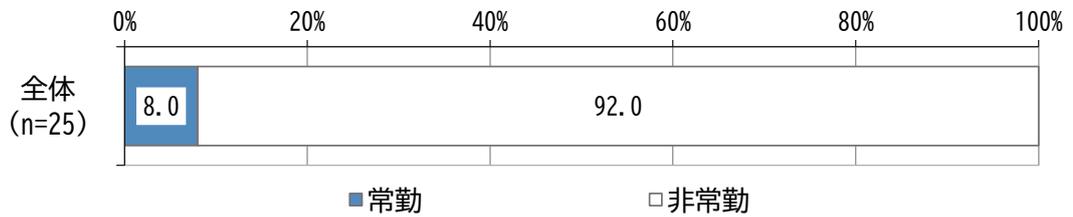
⑥ 生活支援サポーター

生活支援サポーターについては、「常勤」が5.0%、「非常勤」が95.0%となっています。



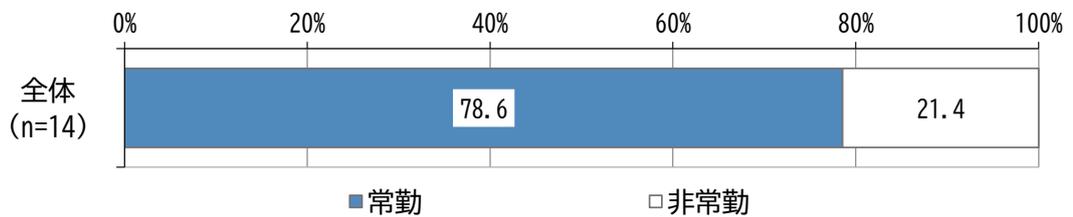
⑦ 医師・歯科医師

医師・歯科医師については、「常勤」が8.0%、「非常勤」が92.0%となっています。



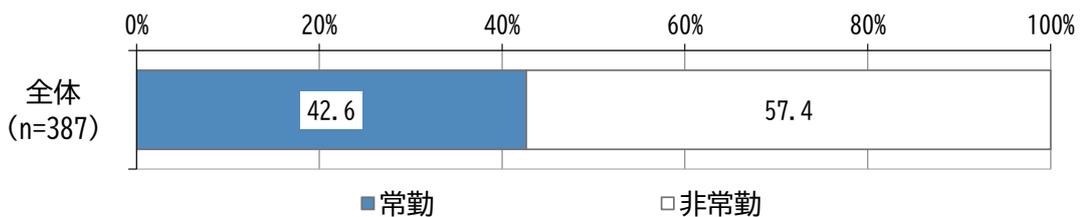
⑧ 保健師

保健師については、「常勤」が78.6%、「非常勤」が21.4%となっています。



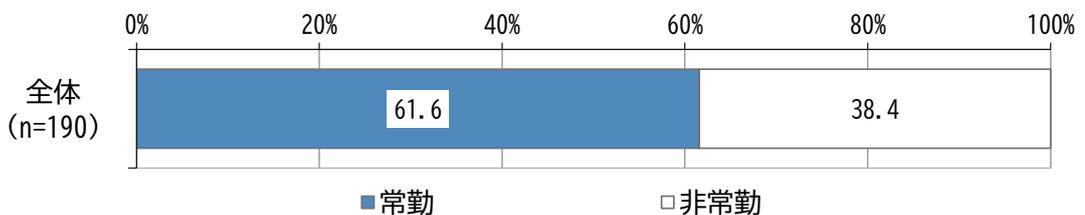
⑨ 看護師・准看護師

看護師・准看護師については、「常勤」が42.6%、「非常勤」が57.4%となっています。



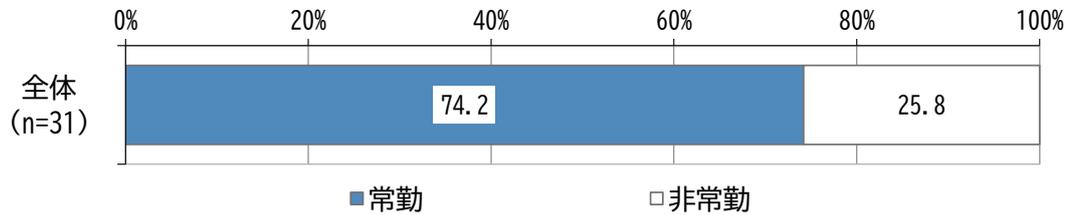
⑩ 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・柔道整復師等

作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・柔道整復師等については、「常勤」が61.6%、「非常勤」が38.4%となっています。



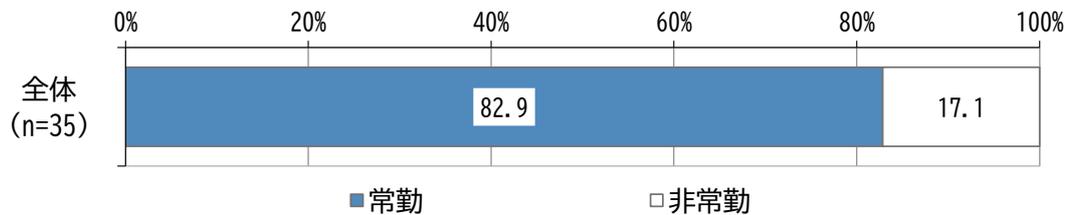
⑪ 栄養士

栄養士については、「常勤」が74.2%、「非常勤」が25.8%となっています。



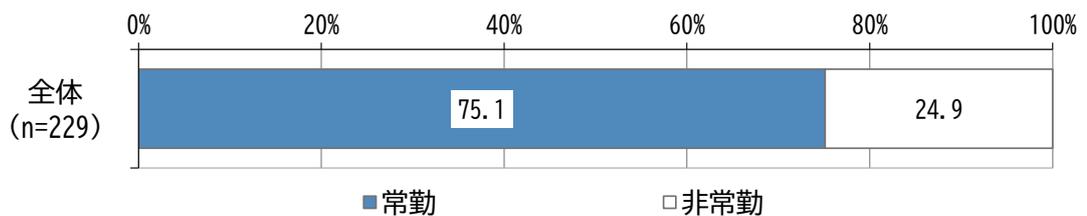
⑫ 福祉用具専門相談員

福祉用具専門相談員については、「常勤」が82.9%、「非常勤」が17.1%となっています。



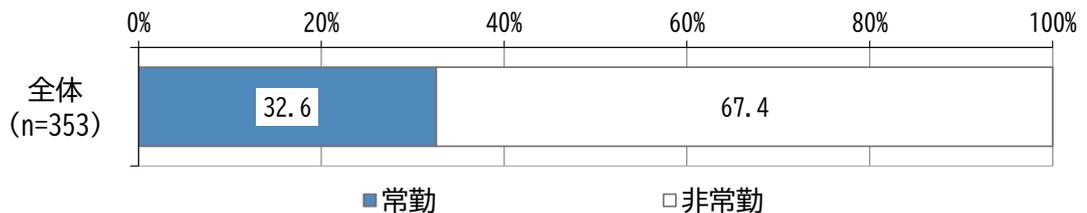
⑬ 管理職・事務職

管理職・事務職については、「常勤」が75.1%、「非常勤」が24.9%となっています。



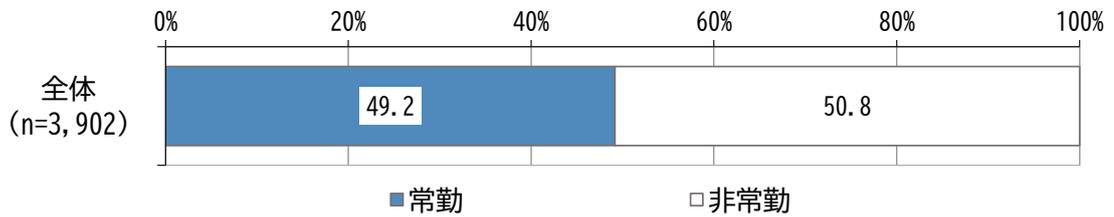
⑭ その他

その他については、「常勤」が32.6%、「非常勤」が67.4%となっています。



⑮ 合計

合計については、「常勤」が49.2%、「非常勤」が50.8%となっています。

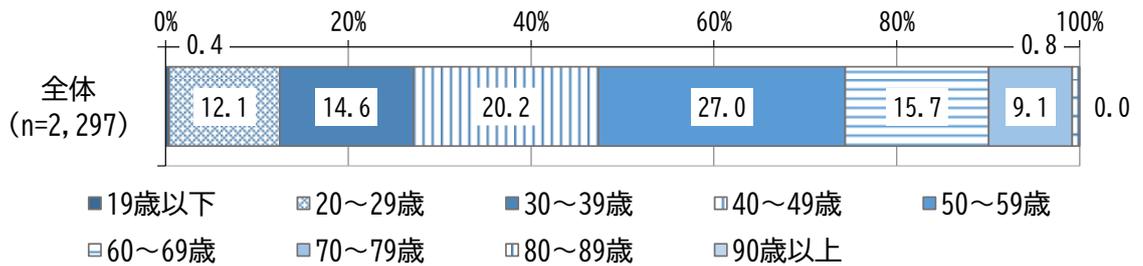


(2) スタッフの年齢構成

問7 貴事業所のスタッフの年齢構成についてお教えてください。(令和4年11月1日現在)

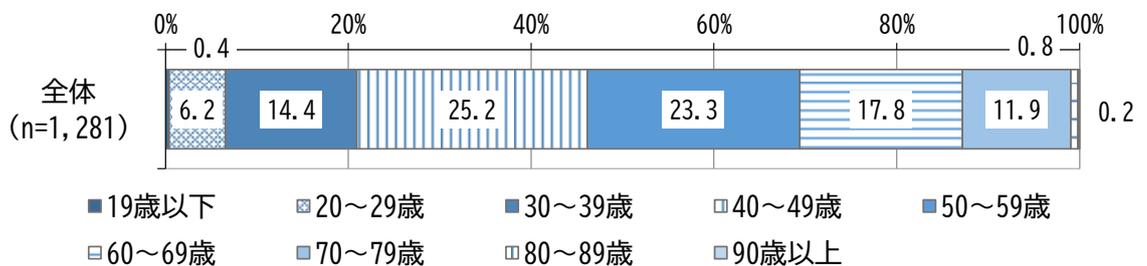
① 介護職員

介護職員の年齢構成については、「50～59歳」が27.0%で最も高く、次いで「40～49歳」が20.2%、「60～69歳」が15.7%と続いています。



② 介護職員以外

介護職員以外の年齢構成については、「40～49歳」が25.2%で最も高く、次いで「50～59歳」が23.3%、「60～69歳」が17.8%と続いています。

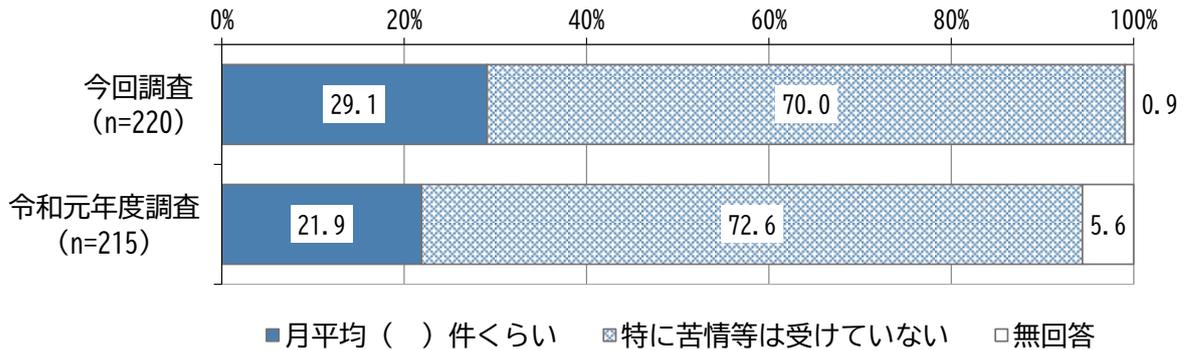


3 事業所の取り組みについて

(1) 過去1か月間の苦情受付件数

問8 貴事業所における過去1か月間の苦情受付件数は、何件くらいですか。(〇は1つ)

過去1か月間の苦情受付件数については、『苦情あり』(「月平均()件くらい」)が29.1%、「特に苦情等は受けていない」が70.0%となっており、苦情を受けた事業所の平均苦情受付件数は1.2件となっています。



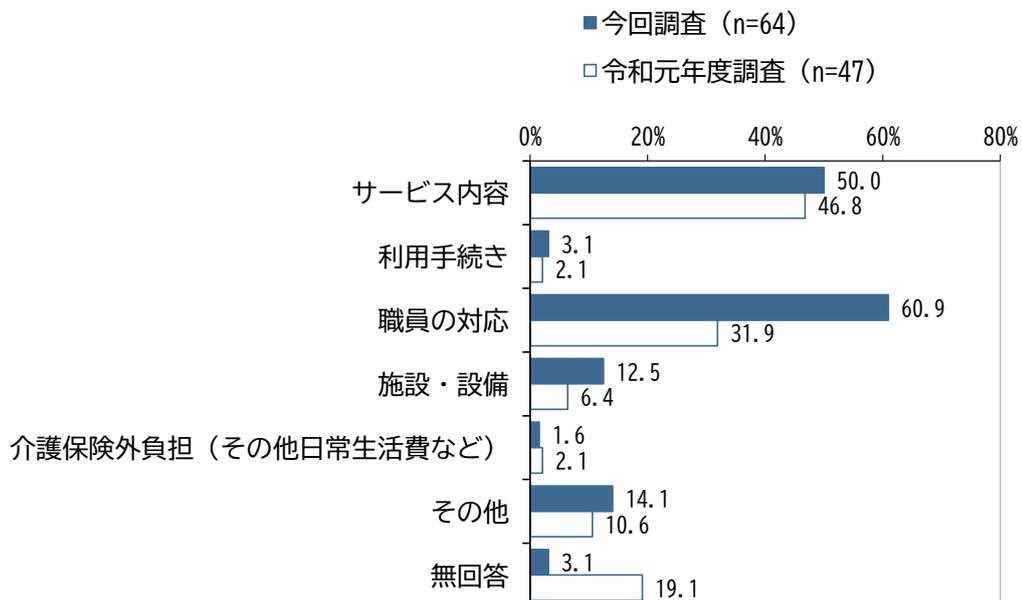
(2) 苦情内容

【問8で「月平均()件くらい」とお答えになった方におたずねします。】

問8-1 苦情はどのような内容が多いですか。下記項目より当てはまる番号をご記入ください。(〇はいくつでも)

苦情内容については、「職員の対応」が60.9%で最も高く、次いで「サービス内容」が50.0%、「その他」が14.1%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「職員の対応」(60.9%)では、令和元(2019)年度調査(31.9%)より29.0ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

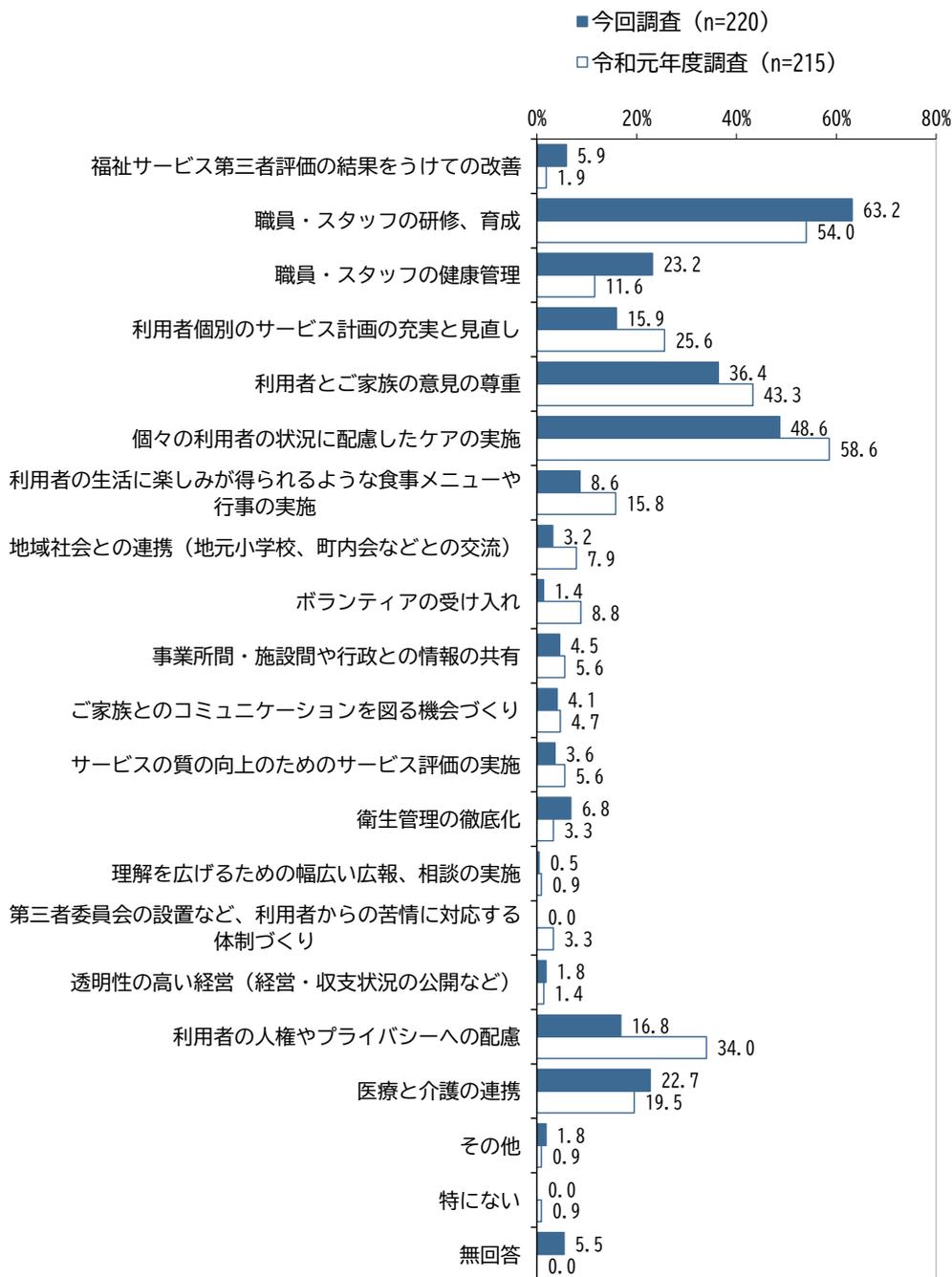


(3) サービスの質の向上のために力を入れている取り組み

問9 貴事業所における介護保険サービス（総合事業を含む）の提供にあたり、サービスの質の向上のための取り組みとして力を入れていることは次のうちどれですか。（〇は3つまで）

サービスの質の向上のために力を入れている取り組みについては、「職員・スタッフの研修、育成」が63.2%で最も高く、次いで「個々の利用者の状況に配慮したケアの実施」が48.6%、「利用者のご家族の意見の尊重」が36.4%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「職員・スタッフの健康管理」(23.2%)では、令和元(2019)年度調査(11.6%)より11.6ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

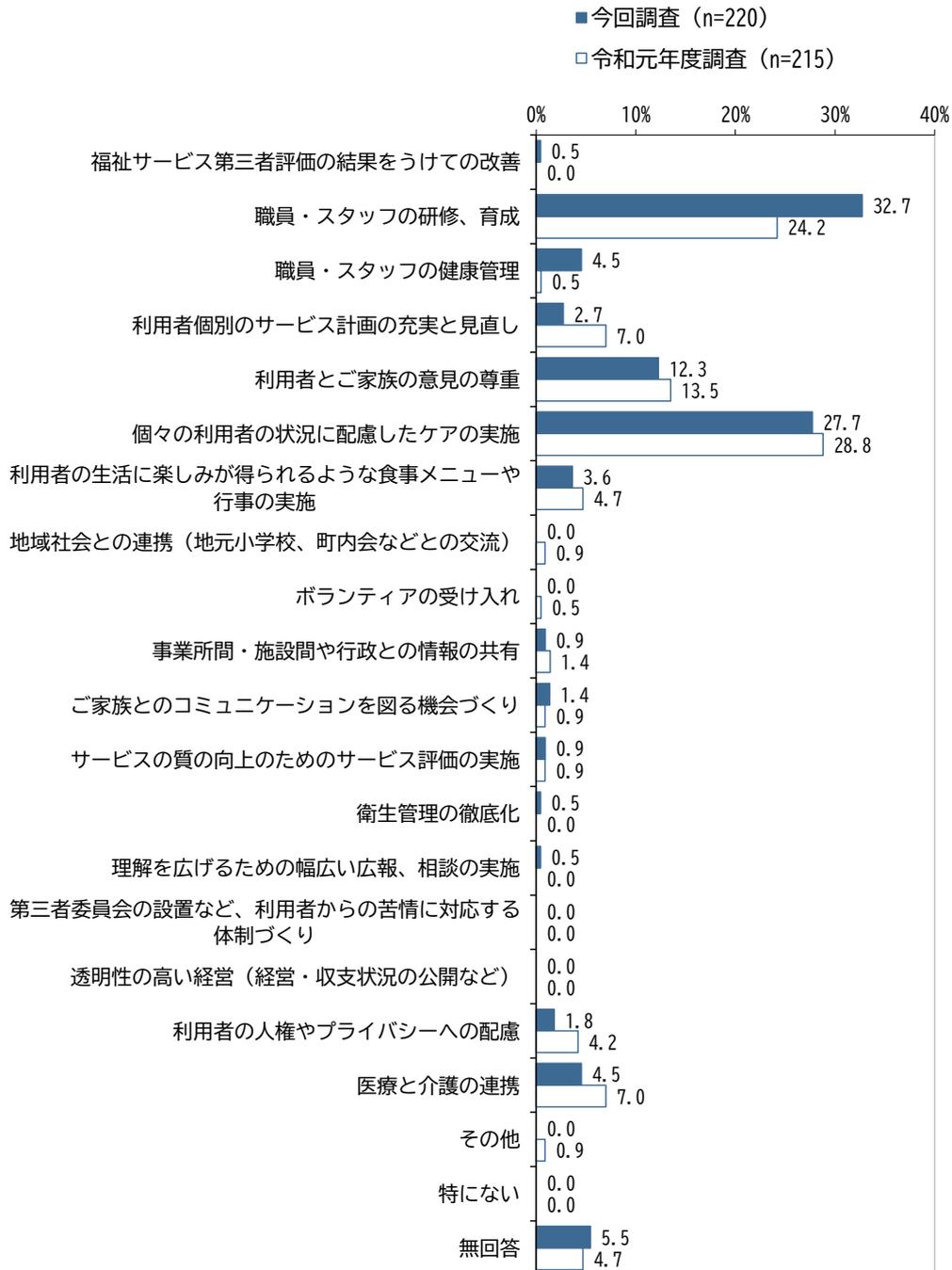


(4) サービスの質の向上のために最も力を入れている取り組み

問9-1 上記のうち、質の向上のために最も力を入れている項目を一つ、お選びください。

サービスの質の向上のために最も力を入れている取り組みについては、「職員・スタッフの研修、育成」が32.7%で最も高く、次いで「個々の利用者の状況に配慮したケアの実施」が27.7%、「利用者のご家族の意見の尊重」が12.3%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「職員・スタッフの研修、育成」（32.7%）では、令和元（2019）年度調査（24.2%）より8.5ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

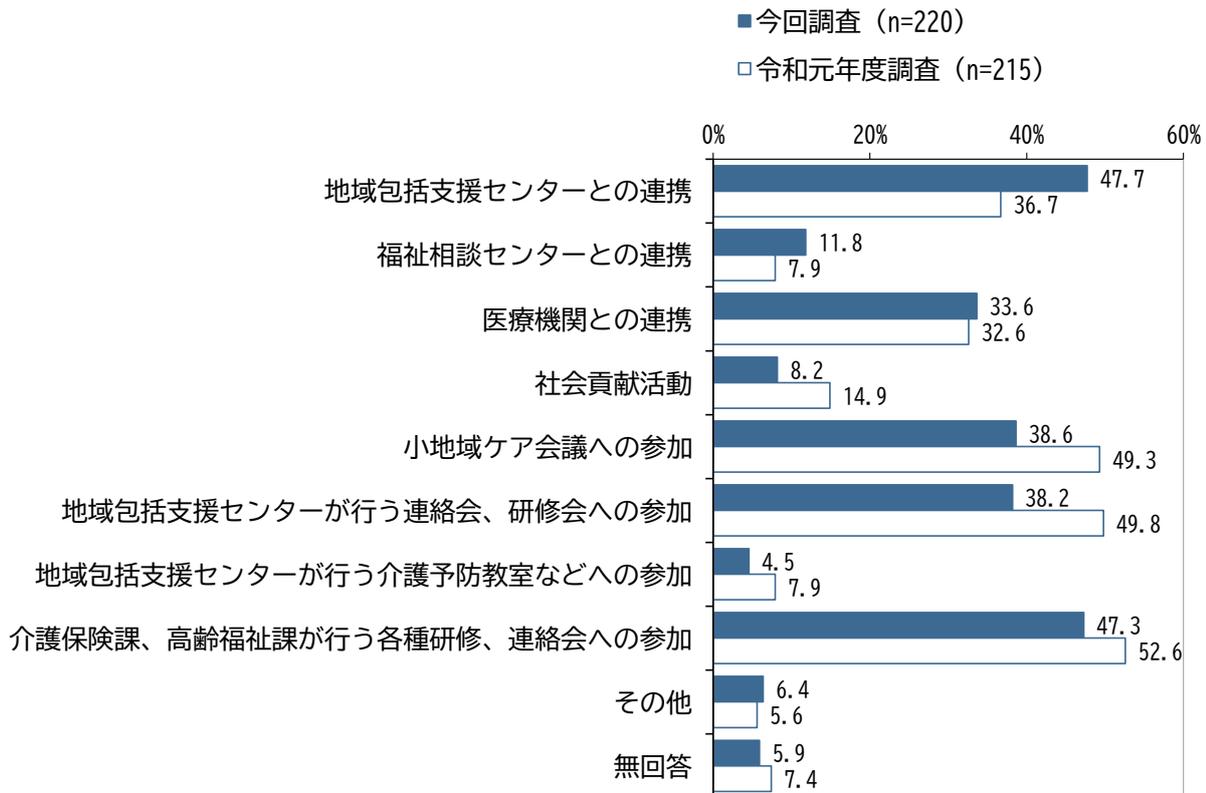


(5) 地域包括ケアシステムの構築のために取り組んでいること

問 10 貴事業所において地域包括ケアシステムの構築のために取り組んでいることは何ですか。
(〇はいくつでも)

地域包括ケアシステムの構築のために取り組んでいることについては、「地域包括支援センターとの連携」が47.7%で最も高く、次いで「介護保険課、高齢福祉課が行う各種研修、連絡会への参加」が47.3%、「小地域ケア会議への参加」が38.6%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「地域包括支援センターとの連携」（47.7%）では、令和元（2019）年度調査（36.7%）より11.0ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

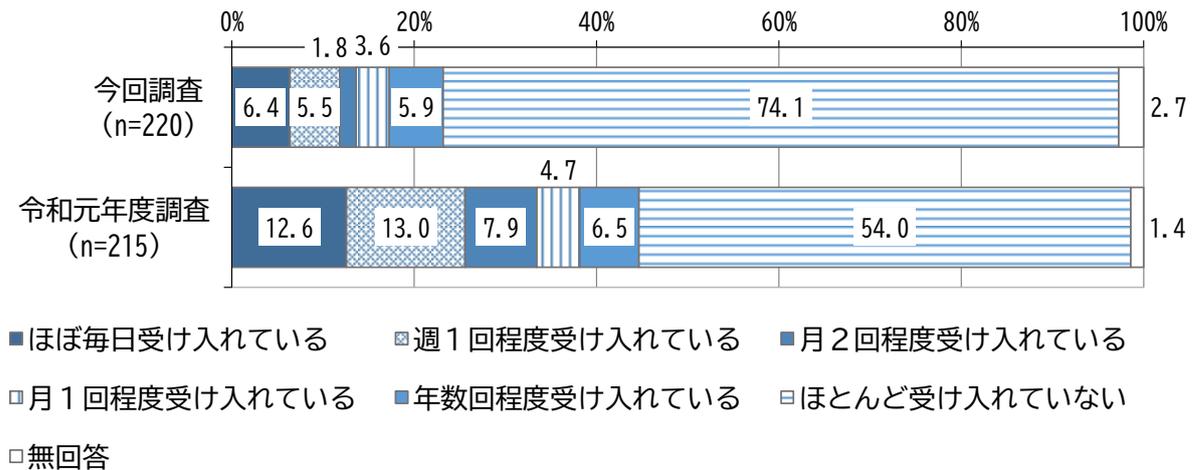


(6) ボランティアの受け入れ状況

問11 貴事業所における、ボランティアの受け入れ状況をお答えください。(○は1つ)

ボランティアの受け入れ状況については、「ほとんど受け入れていない」が74.1%で最も高く、次いで「ほぼ毎日受け入れている」が6.4%、「年数回程度受け入れている」が5.9%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「ほとんど受け入れていない」(74.1%)では、令和元(2019)年度調査(54.0%)より20.1ポイント増加しています。

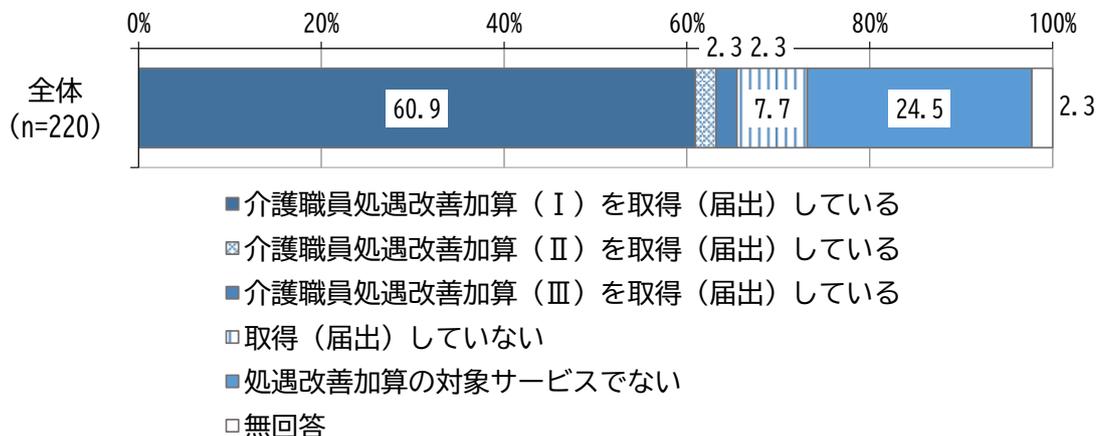


4 近年の制度改正の影響や職員処遇について

(1) 介護職員処遇改善加算を取得(届出)しているか

問13 貴事業所では、介護職員処遇改善加算を取得(届出)されていますか。(○は1つ)

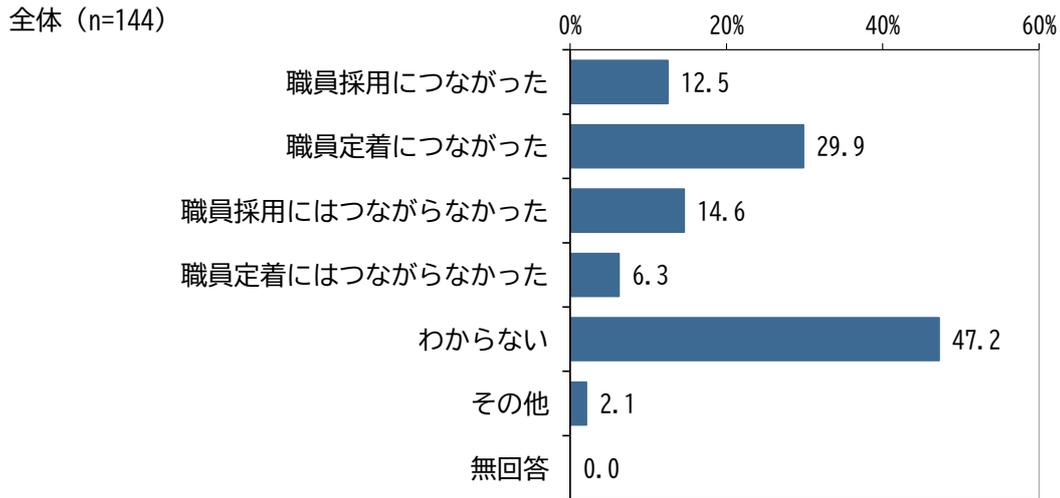
介護職員処遇改善加算を取得(届出)しているかについては、「介護職員処遇改善加算(Ⅰ)を取得(届出)している」が60.9%で最も高く、次いで「処遇改善加算の対象サービスでない」が24.5%、「取得(届出)していない」が7.7%と続いています。



(2) 介護職員処遇改善加算により職員採用や定着につながったか

【問13で介護職員処遇改善加算を取得(届出)しているとお答えになった方におたずねします。】
 問13-1 加算により、職員の採用や定着につながりましたか。(〇はいくつでも)

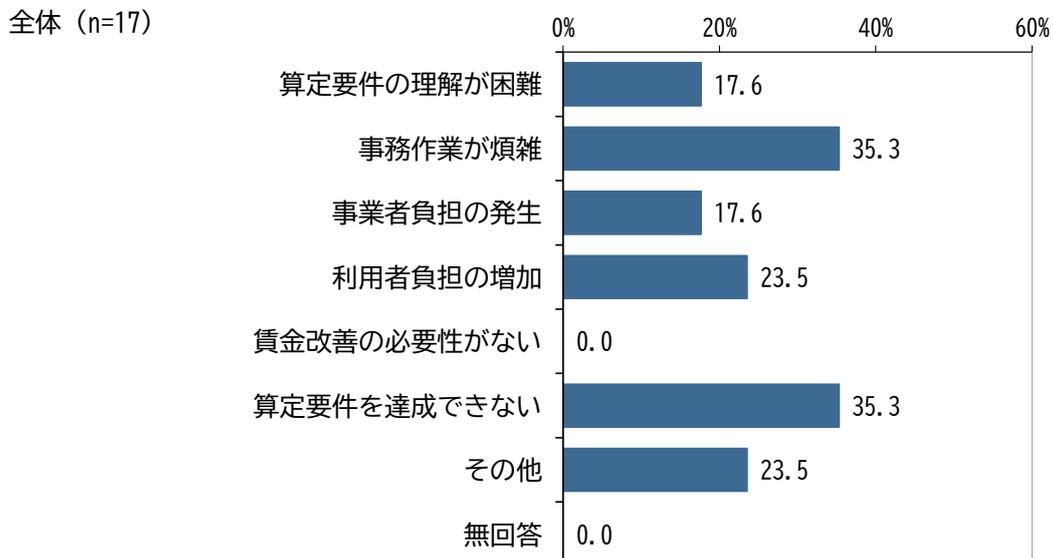
介護職員処遇改善加算により職員採用や定着につながったかについては、「わからない」が47.2%で最も高く、次いで「職員定着につながった」が29.9%、「職員採用にはつながらなかった」が14.6%と続いています。



(3) 介護職員処遇改善加算を取得(届出)していない理由

【問13で「取得(届出)していない」とお答えになった方におたずねします。】
 問13-2 取得(届出)していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

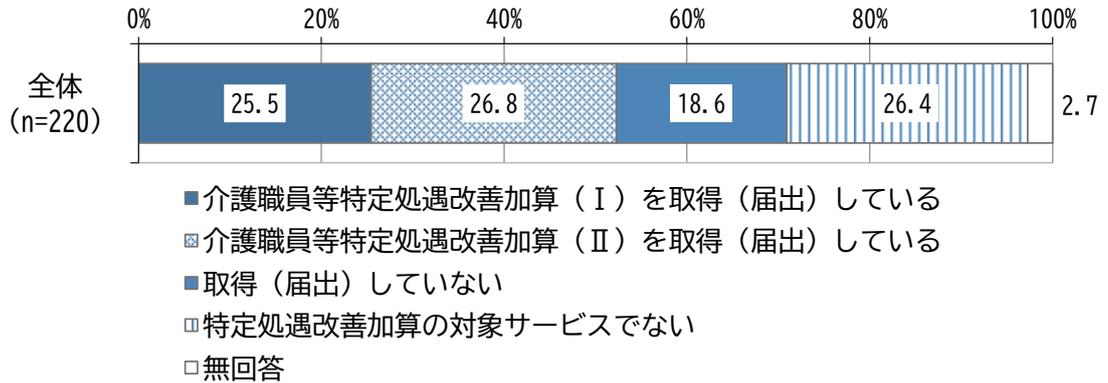
介護職員処遇改善加算を取得(届出)していない理由については、「事務作業が煩雑」、「算定要件を達成できない」がいずれも35.3%で最も高く、次いで「利用者負担の増加」、「その他」がいずれも23.5%と続いています。



(4) 介護職員等特定処遇改善加算を取得（届出）しているか

問 14 貴事業所では、介護職員等特定処遇改善加算を取得（届出）されていますか。（○は1つ）

介護職員等特定処遇改善加算を取得（届出）しているかについては、「介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ）を取得（届出）している」が26.8%で最も高く、次いで「特定処遇改善加算の対象サービスでない」が26.4%、「介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）を取得（届出）している」が25.5%と続いています。

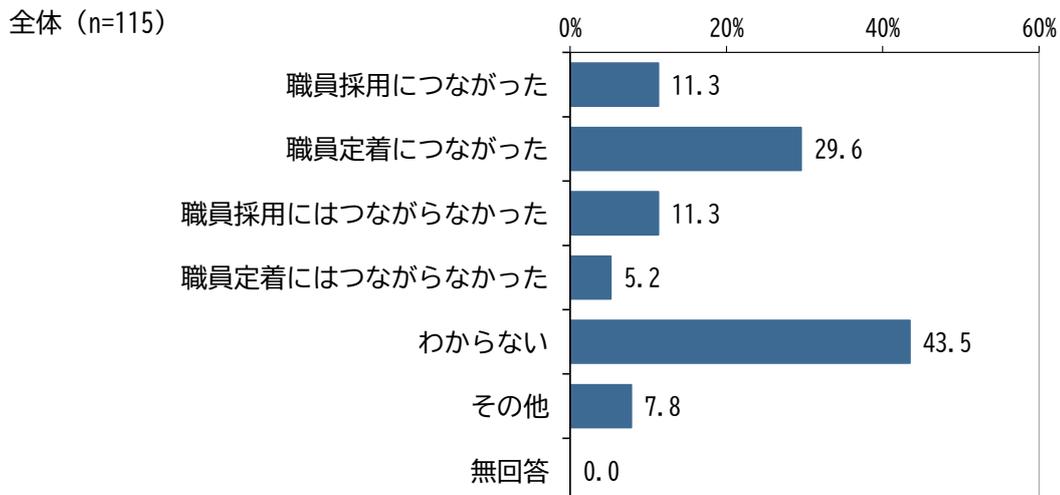


(5) 介護職員等特定処遇改善加算により職員採用や定着につながったか

【問 14 で介護職員等特定処遇改善加算を取得（届出）しているとお答えになった方におたずねします。】

問 14-1 加算により、職員の採用や定着につながりましたか。（○はいくつでも）

介護職員等特定処遇改善加算により職員採用や定着につながったかについては、「わからない」が43.5%で最も高く、次いで「職員定着につながった」が29.6%、「職員採用につながった」が11.3%と続いています。

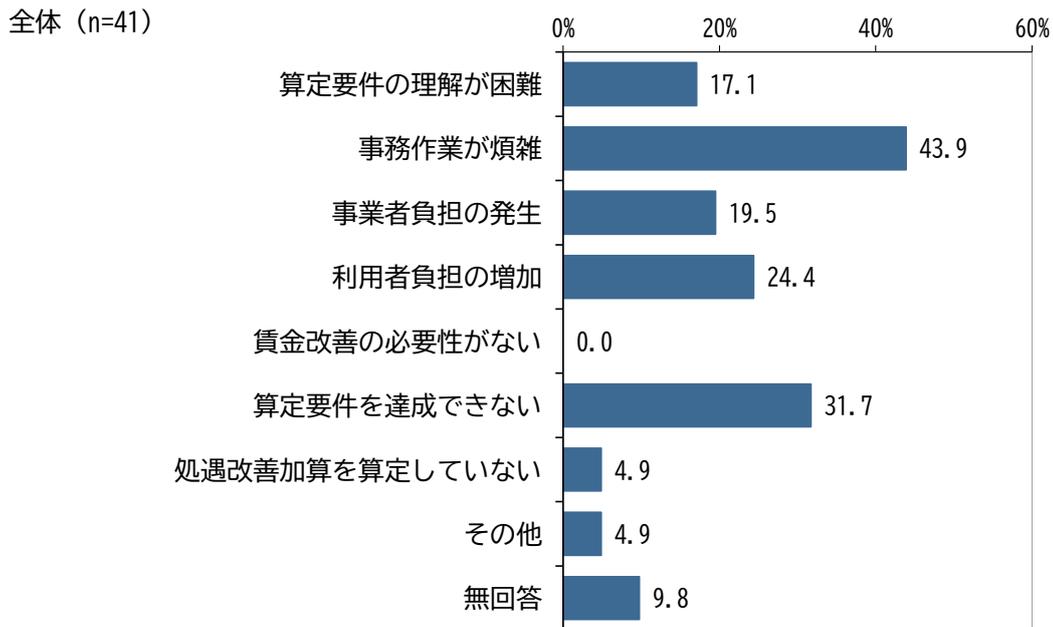


(6) 介護職員等特定処遇改善加算を取得（届出）していない理由

【問 14 で「取得（届出）していない」とお答えになった方におたずねします。】

問 14-2 取得（届出）していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

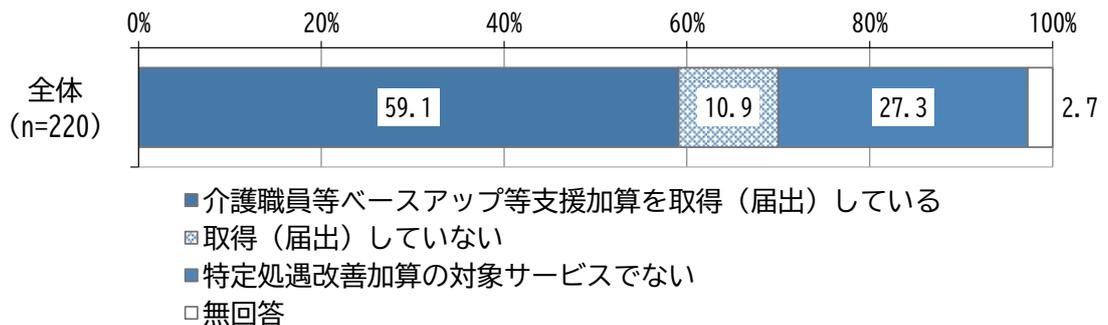
介護職員等特定処遇改善加算を取得（届出）していない理由については、「事務作業が煩雑」が 43.9%で最も高く、次いで「算定要件を達成できない」が 31.7%、「利用者負担の増加」が 24.4%と続いています。



(7) 介護職員等ベースアップ等支援加算を取得（届出）しているか

問 15 貴事業所では、介護職員等ベースアップ等支援加算を取得（届出）されていますか。（〇は1つ）

介護職員等ベースアップ等支援加算を取得（届出）しているかについては、「介護職員等ベースアップ等支援加算を取得（届出）している」が 59.1%で最も高く、次いで「特定処遇改善加算の対象サービスでない」が 27.3%、「取得（届出）していない」が 10.9%となっています。

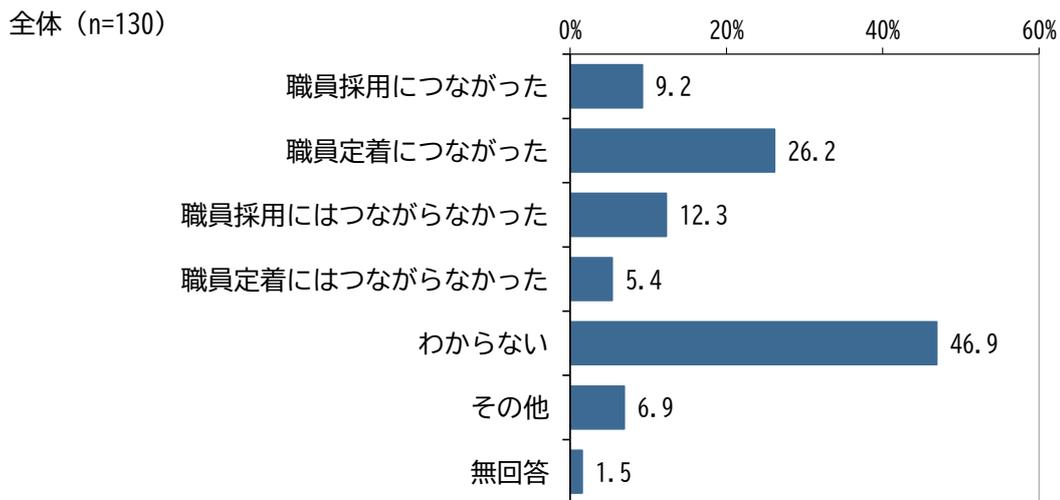


(8) 介護職員等ベースアップ等支援加算により職員採用や定着につながったか

【問 15 で「介護職員等ベースアップ等支援加算を取得（届出）している」とお答えになった方におたずねします。】

問 15-1 加算により、職員の採用や定着につながりましたか。(〇はいくつでも)

介護職員等ベースアップ等支援加算により職員採用や定着につながったかについては、「わからない」が46.9%で最も高く、次いで「職員定着につながった」が26.2%、「職員採用にはつながらなかった」が12.3%と続いています。

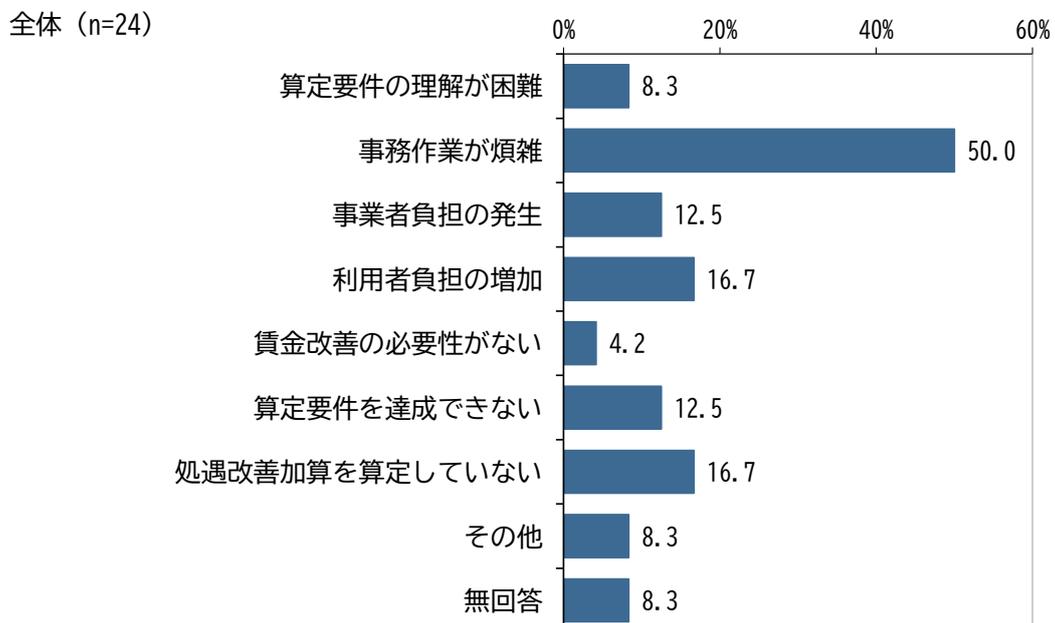


(9) 介護職員等ベースアップ等支援加算を取得（届出）していない理由

【問 15 で「取得（届出）していない」とお答えになった方におたずねします。】

問 15-2 取得（届出）していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護職員等ベースアップ等支援加算を取得（届出）していない理由については、「事務作業が煩雑」が50.0%で最も高く、次いで「利用者負担の増加」、「処遇改善加算を算定していない」がいずれも16.7%と続いています。

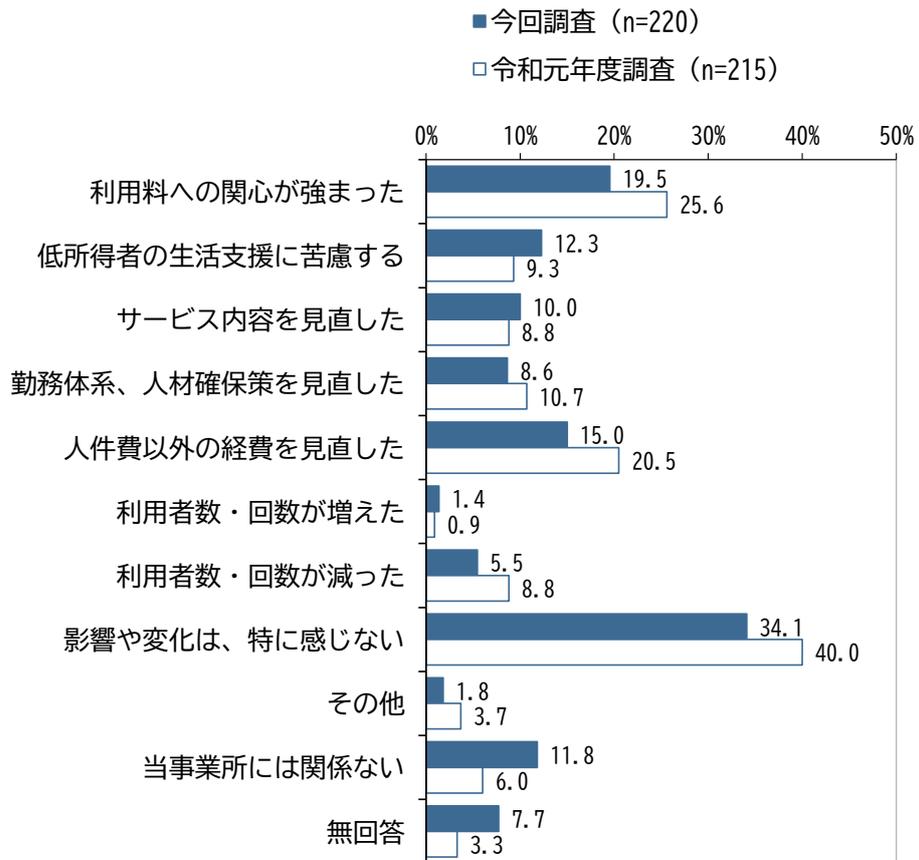


(10) 介護報酬の改定に伴う影響や変化

問 16 貴事業所では、介護報酬の改定に伴う影響や変化としてどのようなものがありましたか。
(〇はいくつでも)

介護報酬の改定に伴う影響や変化については、「影響や変化は、特に感じない」が34.1%で最も高く、次いで「利用料への関心が強まった」が19.5%、「人件費以外の経費を見直した」が15.0%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「利用料への関心が強まった」(19.5%)では、令和元(2019)年度調査(25.6%)より6.1ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

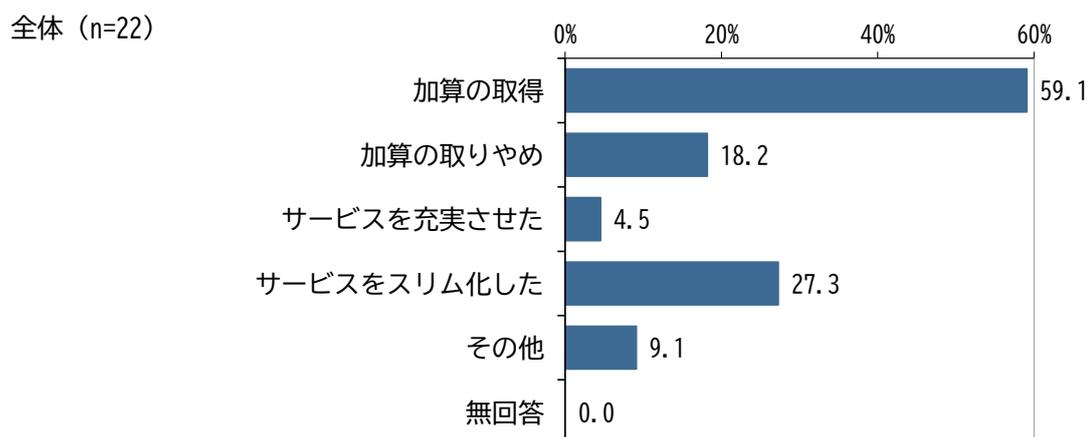


(11) 見直したサービス内容

【問16で「サービス内容を見直した」とお答えになった方におたずねします。】

問16-1 具体的にどのような見直しですか。(〇はいくつでも)

見直したサービス内容については、「加算の取得」が59.1%で最も高く、次いで「サービスをスリム化した」が27.3%、「加算の取りやめ」が18.2%と続いています。



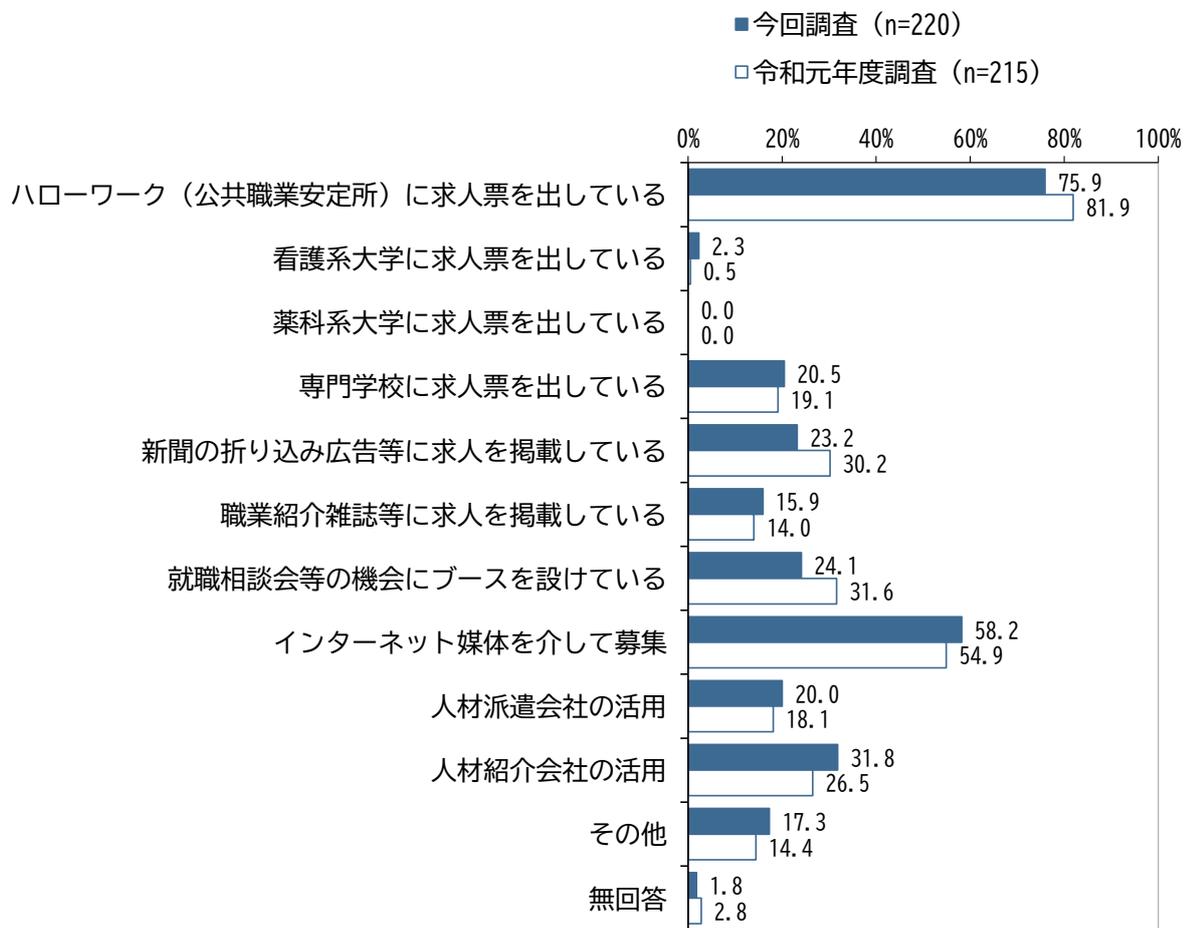
5 介護人材の確保・育成について

(1) 職員の募集方法

問17(1) 職員の募集はどのように行っていますか。(○はいくつでも)

職員の募集方法については、「ハローワーク（公共職業安定所）に求人票を出している」が75.9%で最も高く、次いで「インターネット媒体を介して募集」が58.2%、「人材紹介会社の活用」が31.8%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「人材紹介会社の活用」（31.8%）では、令和元（2019）年度調査（26.5%）より5.3ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

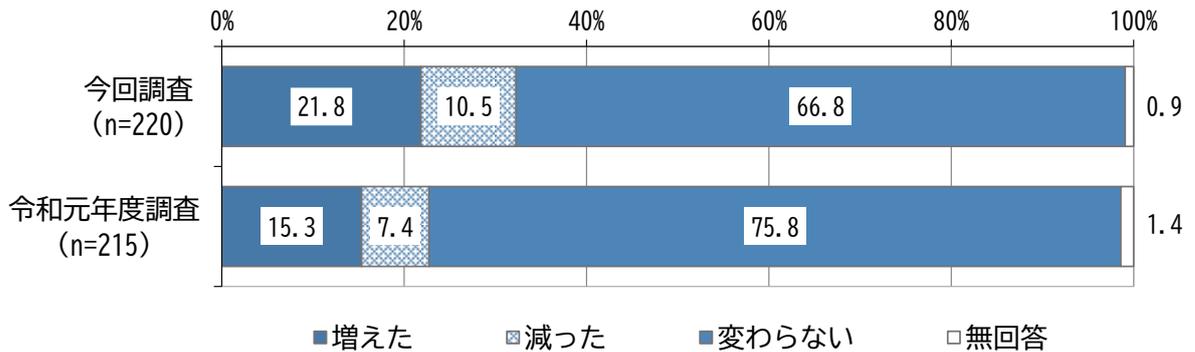


(2) 時間外勤務時間の増減の有無

問 17 (2) 職員の時間外勤務時間は増えましたか。(○は1つ)

時間外勤務時間の増減の有無については、「変わらない」が66.8%で最も高く、次いで「増えた」が21.8%、「減った」が10.5%となっています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「増えた」(21.8%)では、令和元(2019)年度調査(15.3%)より6.5ポイント増加しています。

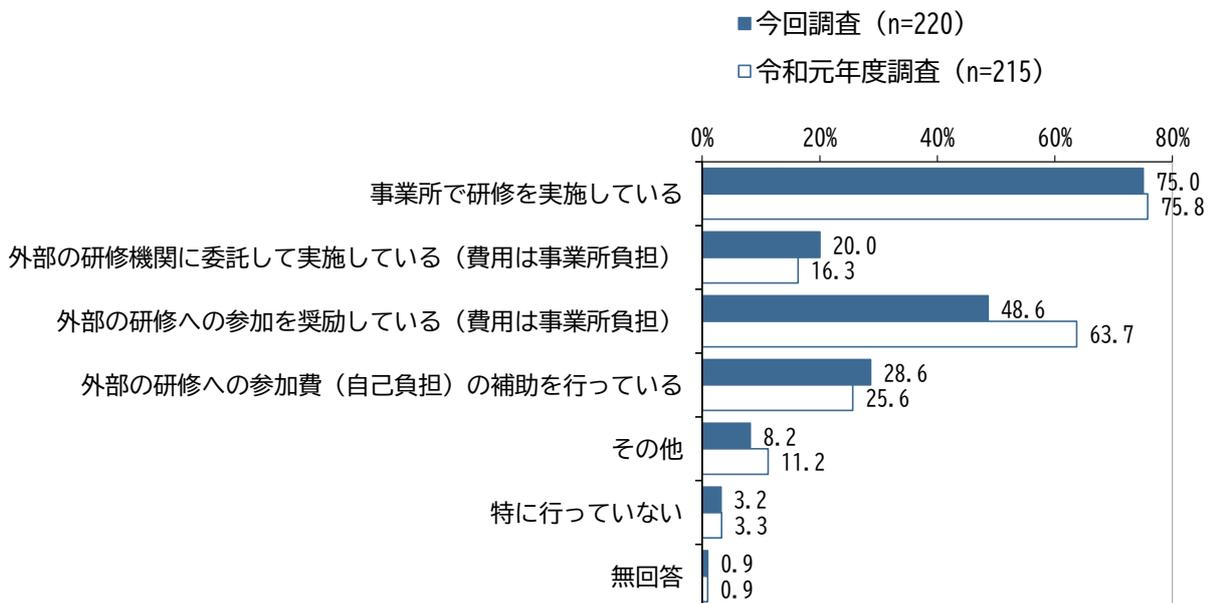


(3) 研修や資格取得のための支援として取り組んでいるもの

問 17 (3) 職員の研修や資格取得のための支援として、以下の取り組みを行っていますか。(○はいくつでも)

研修や資格取得のための支援として取り組んでいるものについては、「事業所で研修を実施している」が75.0%で最も高く、次いで「外部の研修への参加を奨励している(費用は事業所負担)」が48.6%、「外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている」が28.6%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「外部の研修機関に委託して実施している(費用は事業所負担)」(20.0%)では、令和元(2019)年度調査(16.3%)より3.7ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

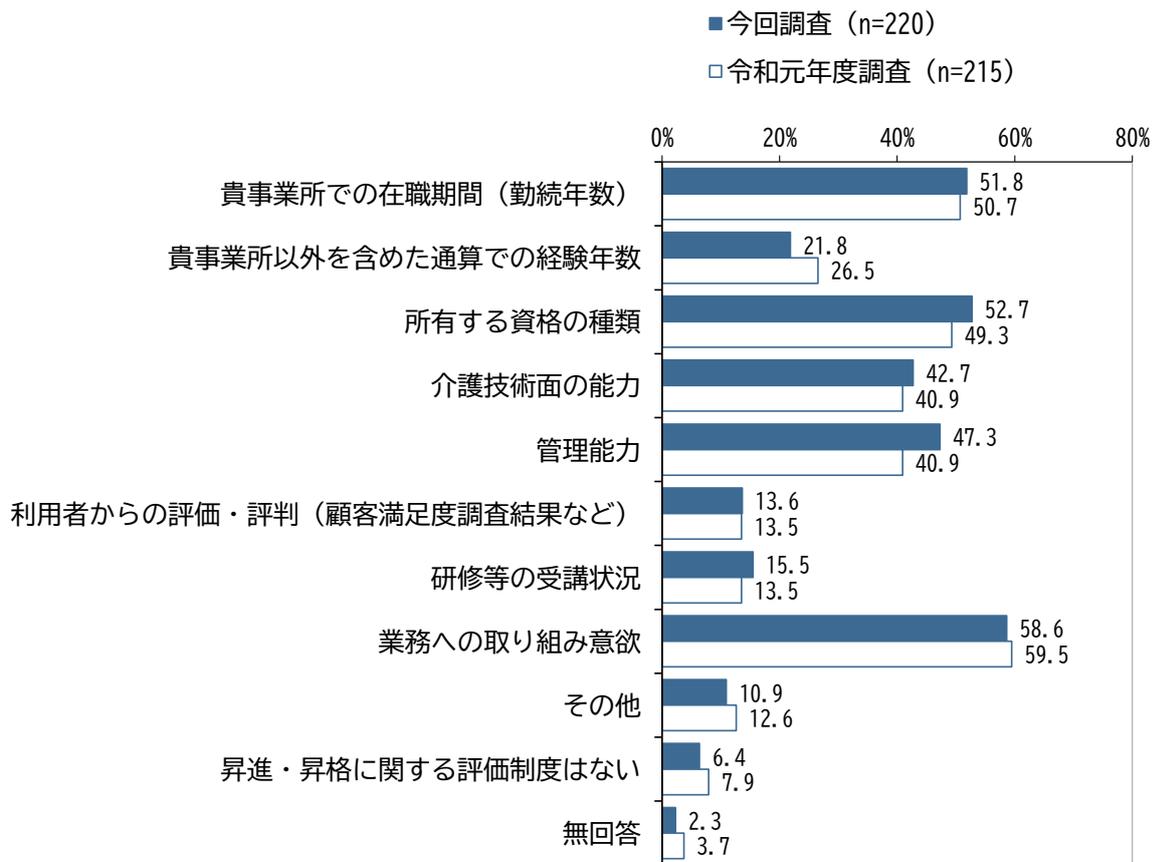


(4) 昇進・昇給等に際して評価を行っている内容・項目

問18 貴事業所では、現場職員（介護・看護等に携わる職員）の昇進、昇給等に際して、どのような内容・項目で評価を行っていますか。（〇はいくつでも）

昇進・昇給等に際して評価を行っている内容・項目については、「業務への取り組み意欲」が58.6%で最も高く、次いで「所有する資格の種類」が52.7%、「貴事業所での在職期間（勤続年数）」が51.8%と続いています。

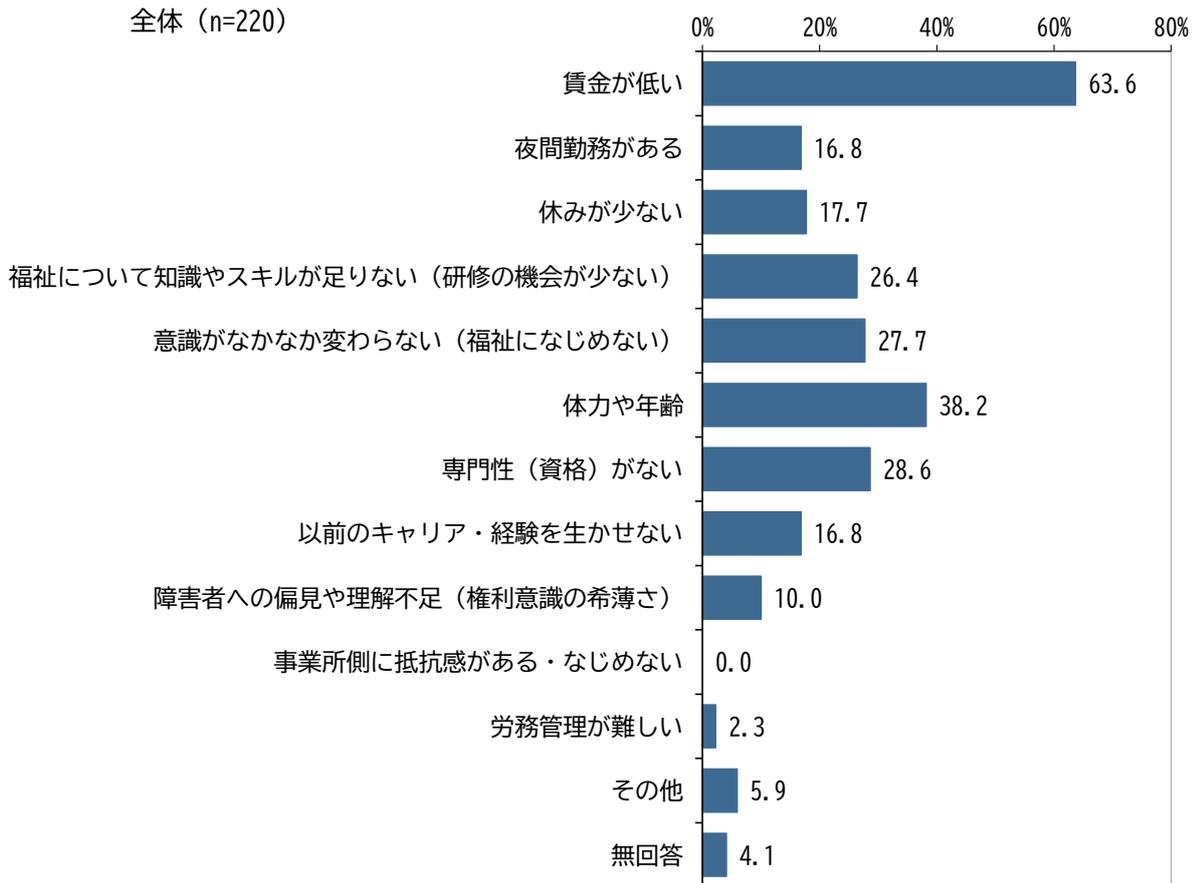
令和元(2019)年度調査と比較すると、「管理能力」(47.3%)では、令和元(2019)年度調査(40.9%)より6.4ポイント増加し、最も増加した項目となっています。



(5) 「転職者」を雇用する際の壁（支障）

問19 企業などから「転職者」を雇用する際の壁（支障）は何だと思えますか。
 (〇はいくつでも)

「転職者」を雇用する際の壁（支障）については、「賃金が低い」が63.6%で最も高く、次いで「体力や年齢」が38.2%、「専門性（資格）がない」が28.6%と続いています。



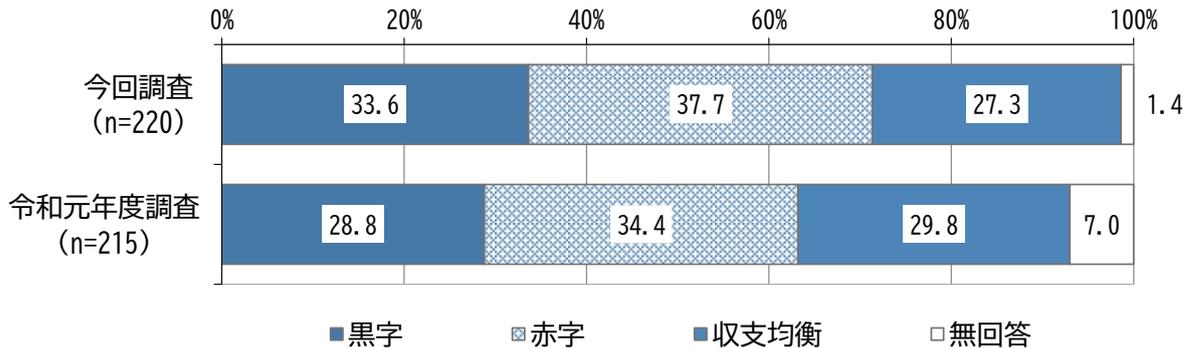
6 介護保険サービスの経営状況について

(1) 経営状況

問 20 貴事業所の経営状況（収支）は。（○は1つ）

経営状況については、「赤字」が 37.7%で最も高く、次いで「黒字」が 33.6%、「収支均衡」が 27.3%となっています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「黒字」（33.6%）では、令和元（2019）年度調査（28.8%）より 4.8 ポイント増加しています。



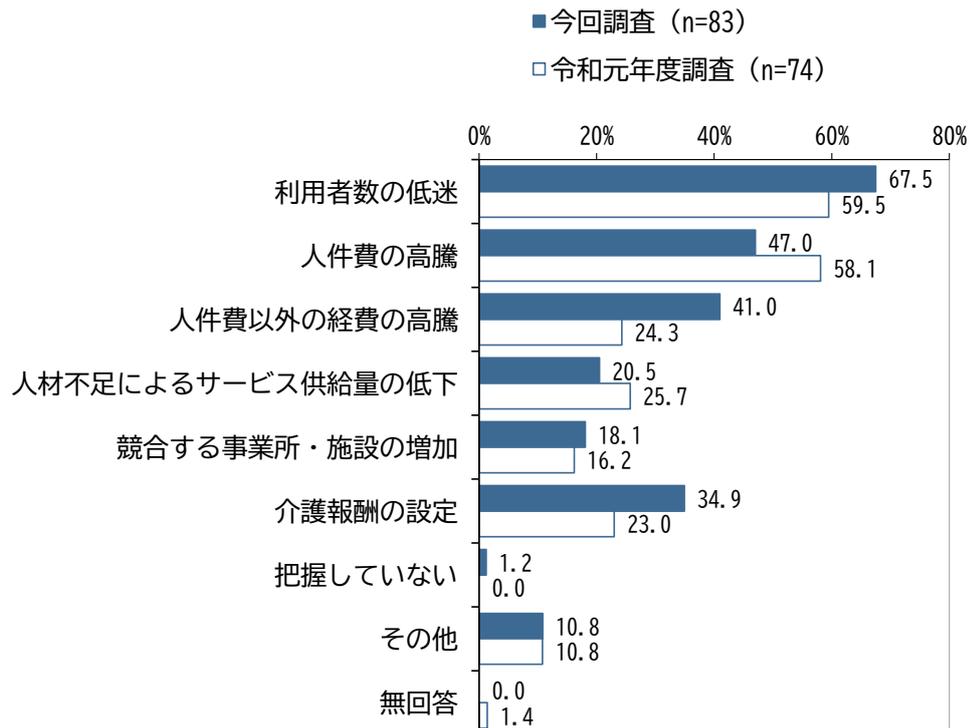
(2) 赤字の主な理由

【問 20 で「赤字」とお答えになった方におたずねします。】

問 20-1 赤字の主な理由は何ですか。（○はいくつでも）

赤字の主な理由については、「利用者数の低迷」が 67.5%で最も高く、次いで「人件費の高騰」が 47.0%、「人件費以外の経費の高騰」が 41.0%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「人件費以外の経費の高騰」（41.0%）では、令和元（2019）年度調査（24.3%）より 16.7 ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

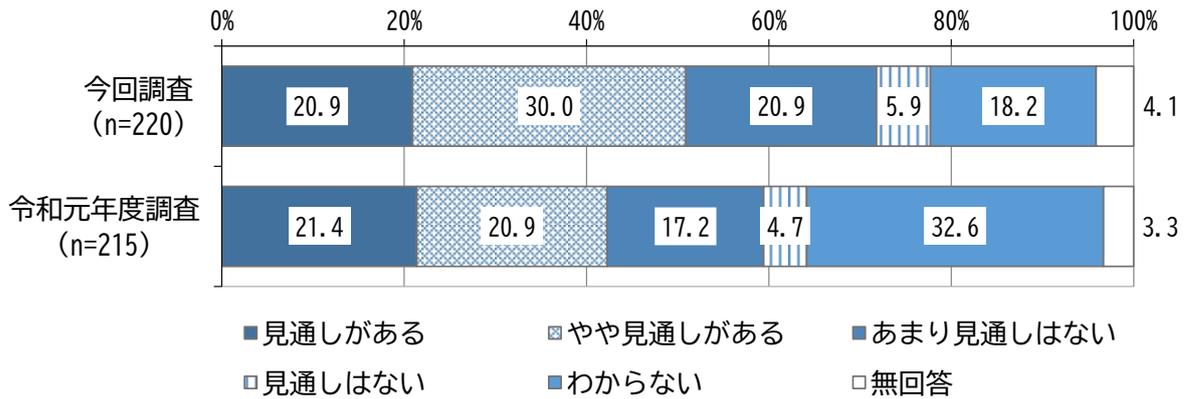


(3) 実施している介護保険サービスの将来性

問21 貴事業所が実施している介護保険サービス（総合事業を含む）の将来性について、どのよう
にお考えですか。（○は1つ）

実施している介護保険サービスの将来性については、「やや見通しがある」が30.0%で最も高く、
次いで「見通しがある」、「あまり見通しはない」がいずれも20.9%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、『見通しがある』（「見通しがある」と「やや見通しがある」
の合計）（50.9%）では、令和元（2019）年度調査（42.3%）より8.6ポイント増加しています。



(4) 立川市内で拡大予定の事業

問 22 (1) 立川市内で拡大予定の事業はありますか。(〇はいくつでも)

立川市内で拡大予定の事業については、「拡大の予定はない」が77.7%で最も高く、次いで「訪問介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」がいずれも4.5%と続いています。



(5) 立川市内で縮小・廃止予定の事業

問 22 (3) 立川市内で縮小・廃止予定の事業はありますか。(〇はいくつでも)

立川市内で縮小・廃止予定の事業については、「縮小・廃止の予定はない」が 85.9%で最も高く、次いで「短期入所生活介護」が 2.7%、「訪問介護」、「地域密着型通所介護」がいずれも 1.8%と続いています。

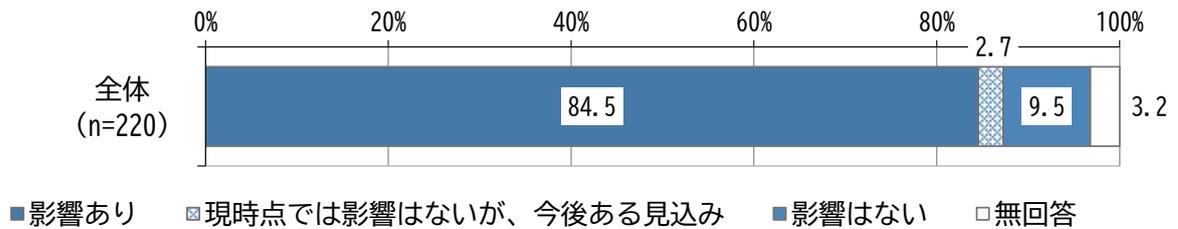


7 新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症による影響の有無

問 23 新型コロナウイルス感染症の影響はありましたか。(○は1つ)

新型コロナウイルス感染症による影響の有無については、「影響あり」が84.5%で最も高く、次いで「影響はない」が9.5%、「現時点では影響はないが、今後ある見込み」が2.7%となっています。

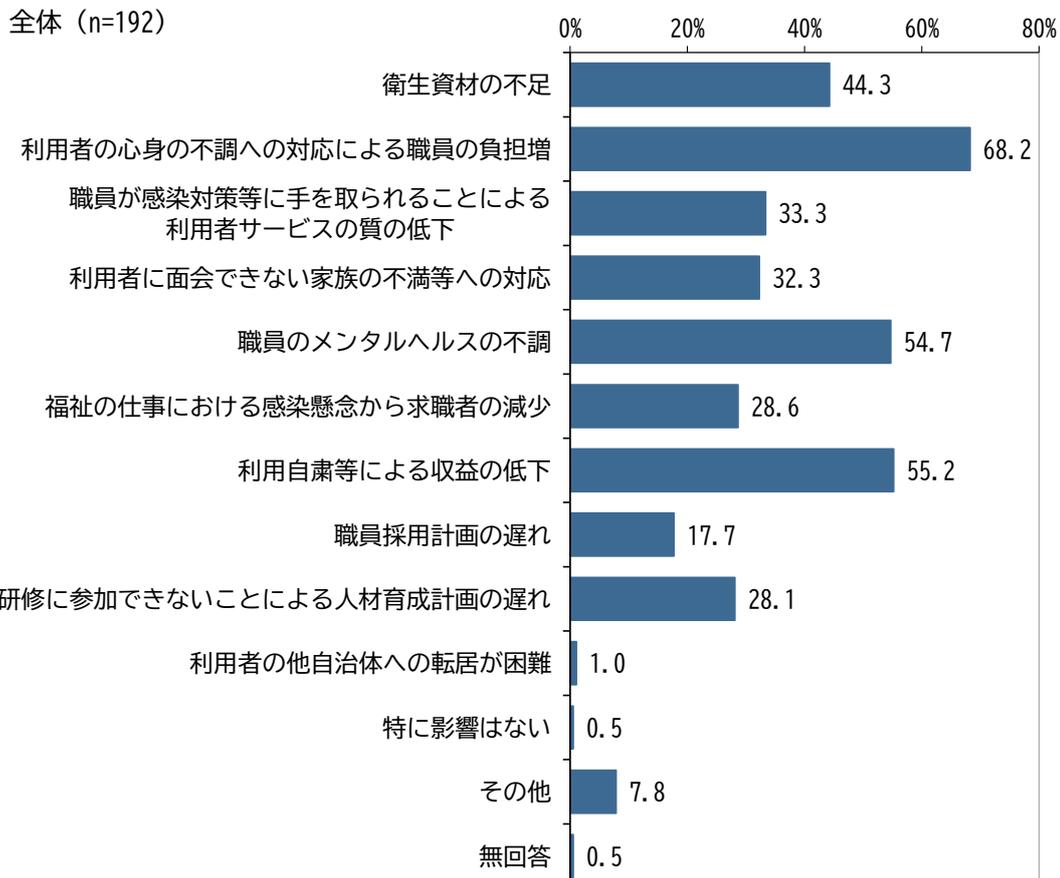


(2) 新型コロナウイルス感染症の影響による経営への影響

【問 23 で「影響あり」「現時点では影響はないが、今後ある見込み」とお答えになった方におたずねします。】

問 23-1 新型コロナウイルスの影響により、経営への影響はありましたか。(○はいくつでも)

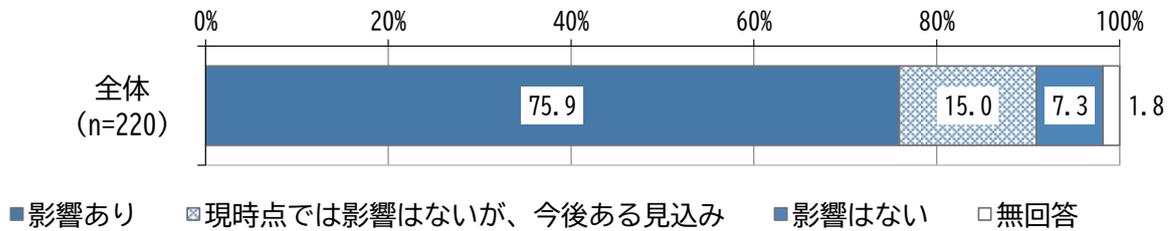
新型コロナウイルス感染症の影響による経営への影響については、「利用者の心身の不調への対応による職員の負担増」が68.2%で最も高く、次いで「利用自粛等による収益の低下」が55.2%、「職員のメンタルヘルスの不調」が54.7%と続いています。



(3) 物価高騰による影響の有無

問 24 物価高騰の影響はありましたか。(○は1つ)

物価高騰による影響の有無については、「影響あり」が75.9%で最も高く、次いで「現時点では影響はないが、今後ある見込み」が15.0%、「影響はない」が7.3%となっています。

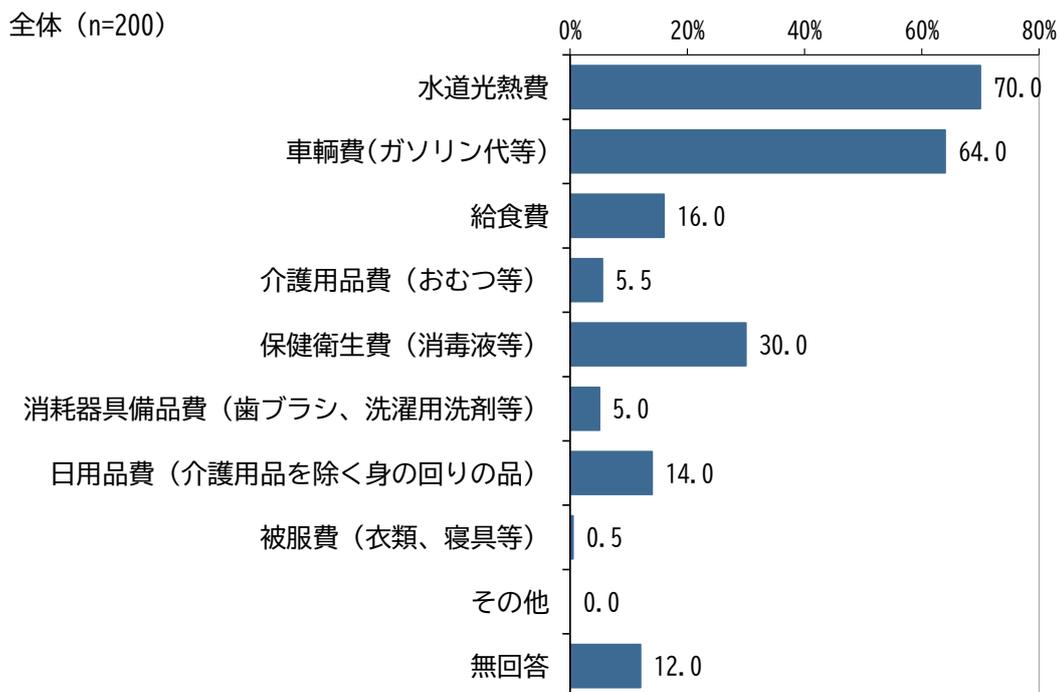


(4) 物価高騰による影響でサービス活動費用増加が見込まれる勘定項目

【問 24 で「影響あり」「現時点では影響はないが、今後ある見込み」とお答えになった方におたずねします。】

問 24-1 物価高騰の影響について、サービス活動費用増加への影響が大きいと見込まれる勘定科目についてお書きください。(○は3つまで)

物価高騰による影響でサービス活動費用増加が見込まれる勘定項目については、「水道光熱費」が70.0%で最も高く、次いで「車両費(ガソリン代等)」が64.0%、「保健衛生費(消毒液等)」が30.0%と続いています。



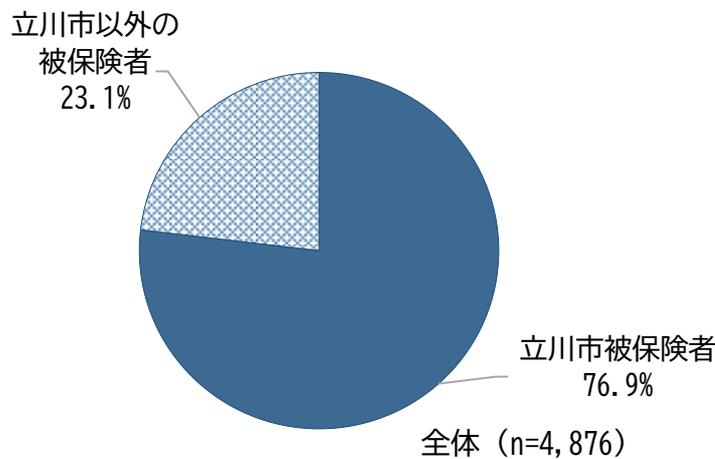
8 居宅介護支援事業者について

(1) 居宅サービス計画書（ケアプラン）担当件数

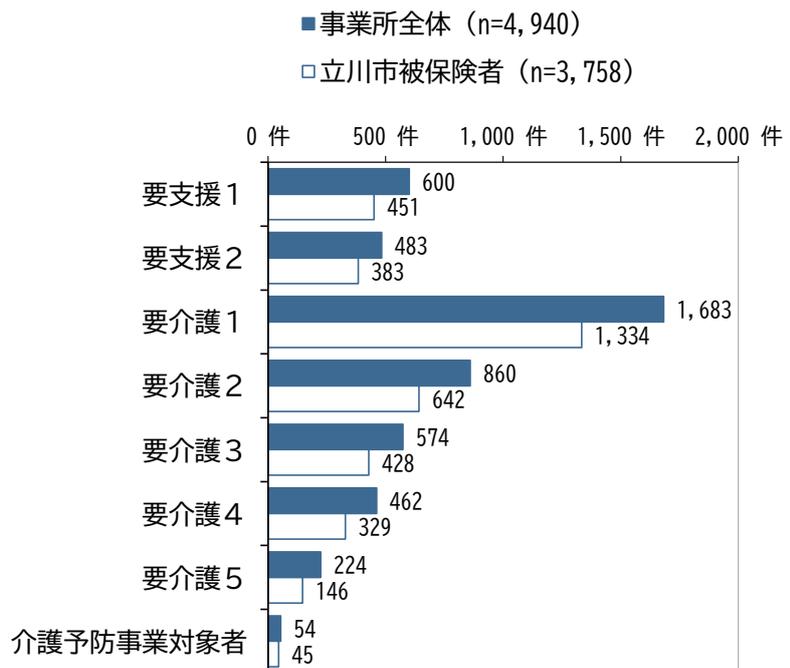
問 25 居宅サービス計画書（ケアプラン）担当件数は何人ですか。令和4年10月末現在について、要介護度別にお答えください。

居宅サービス計画書（ケアプラン）担当件数について、事業所全体の合計件数は4,876件で、そのうち立川市被保険者は76.9%となっており、要介護度別でみると、立川市被保険者のうち要介護1が1,334件で最も多くなっています。

■居宅サービス計画書（ケアプラン）担当件数



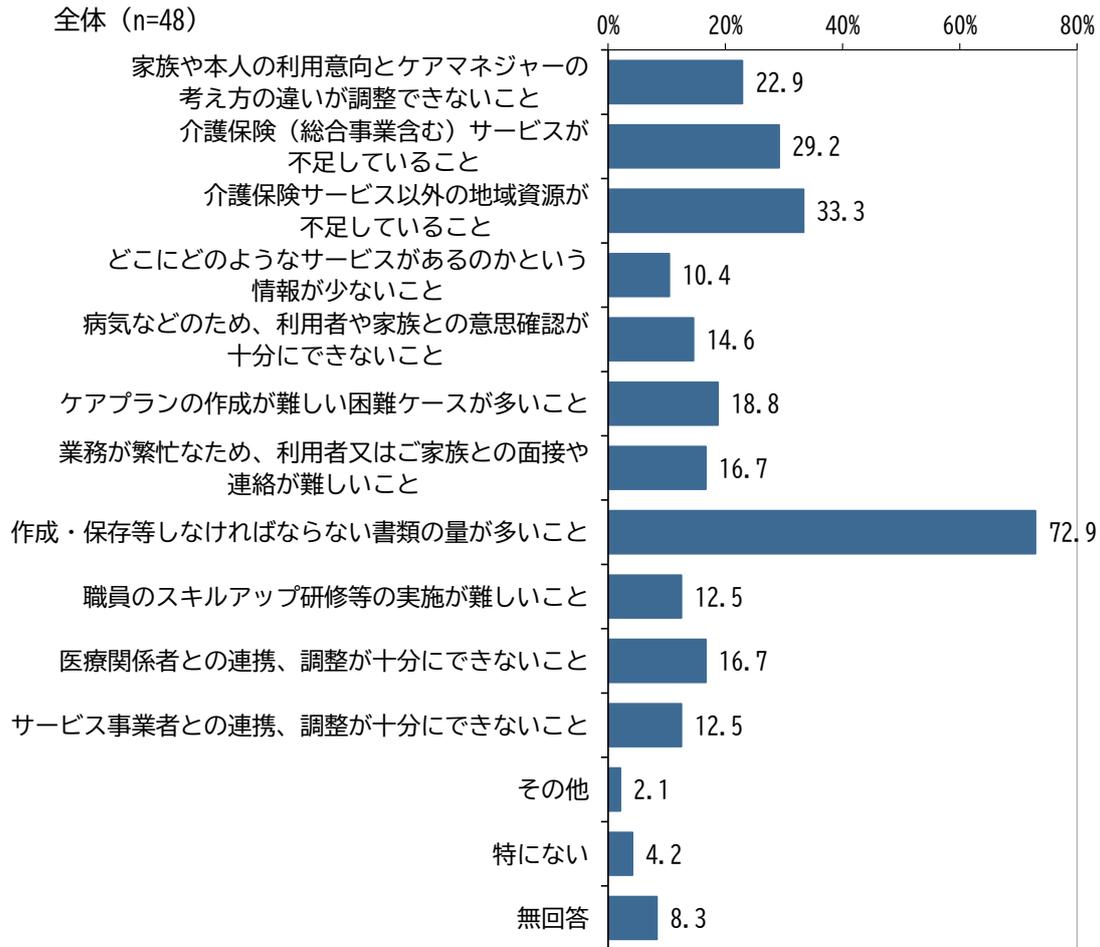
■居宅サービス計画書（ケアプラン）担当件数 要介護度別



(2) ケアプラン作成時の問題・課題

問 26 ケアプラン作成にあたり、貴事業所の介護支援専門員にとって、問題・課題となっていることはありますか。(〇はいくつでも)

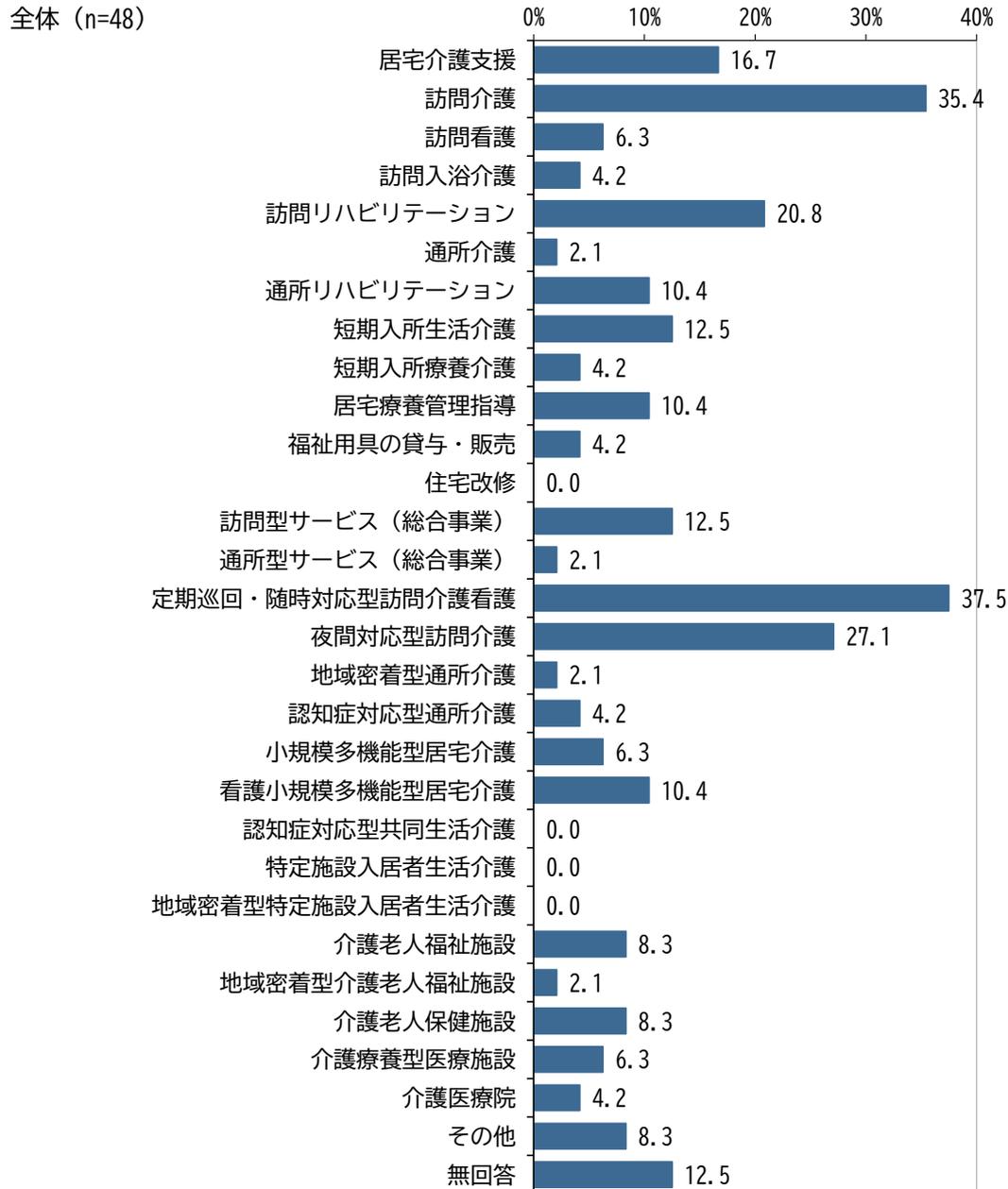
ケアプラン作成時の問題・課題については、「作成・保存等しなければならない書類の量が多いこと」が72.9%で最も高く、次いで「介護保険サービス以外の地域資源が不足していること」が33.3%、「介護保険（総合事業含む）サービスが不足していること」が29.2%と続いています。



(3) 市内で不足している介護保険サービス

問 27 市内で不足していると思う介護保険サービス（総合事業を含む）はどれですか。
 (〇はいくつでも)

市内で不足している介護保険サービスについては、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が37.5%で最も高く、次いで「訪問介護」が35.4%、「夜間対応型訪問介護」が27.1%と続いています。



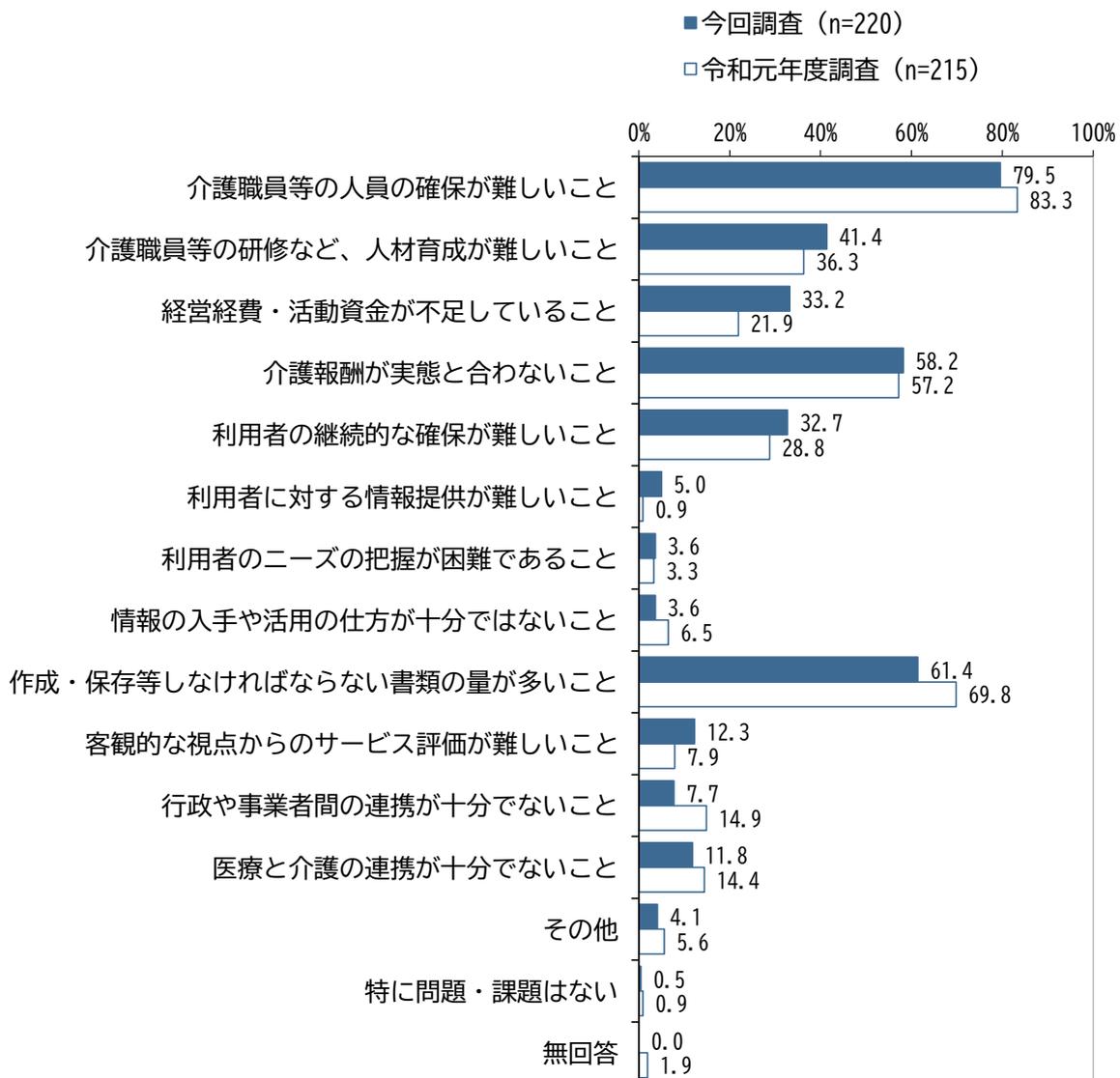
9 事業所について

(1) 介護保険サービスを実施する上での課題や改善が必要なこと

問 28 貴事業所が、介護保険サービス（総合事業を含む）を実施する上で、課題や改善が必要と考えていることはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

介護保険サービスを実施する上での課題や改善が必要なことについては、「介護職員等の人員の確保が難しいこと」が79.5%で最も高く、次いで「作成・保存等しなければならない書類の量が多いこと」が61.4%、「介護報酬が実態と合わないこと」が58.2%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「経営経費・活動資金が不足していること」（33.2%）では、令和元（2019）年度調査（21.9%）より11.3ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

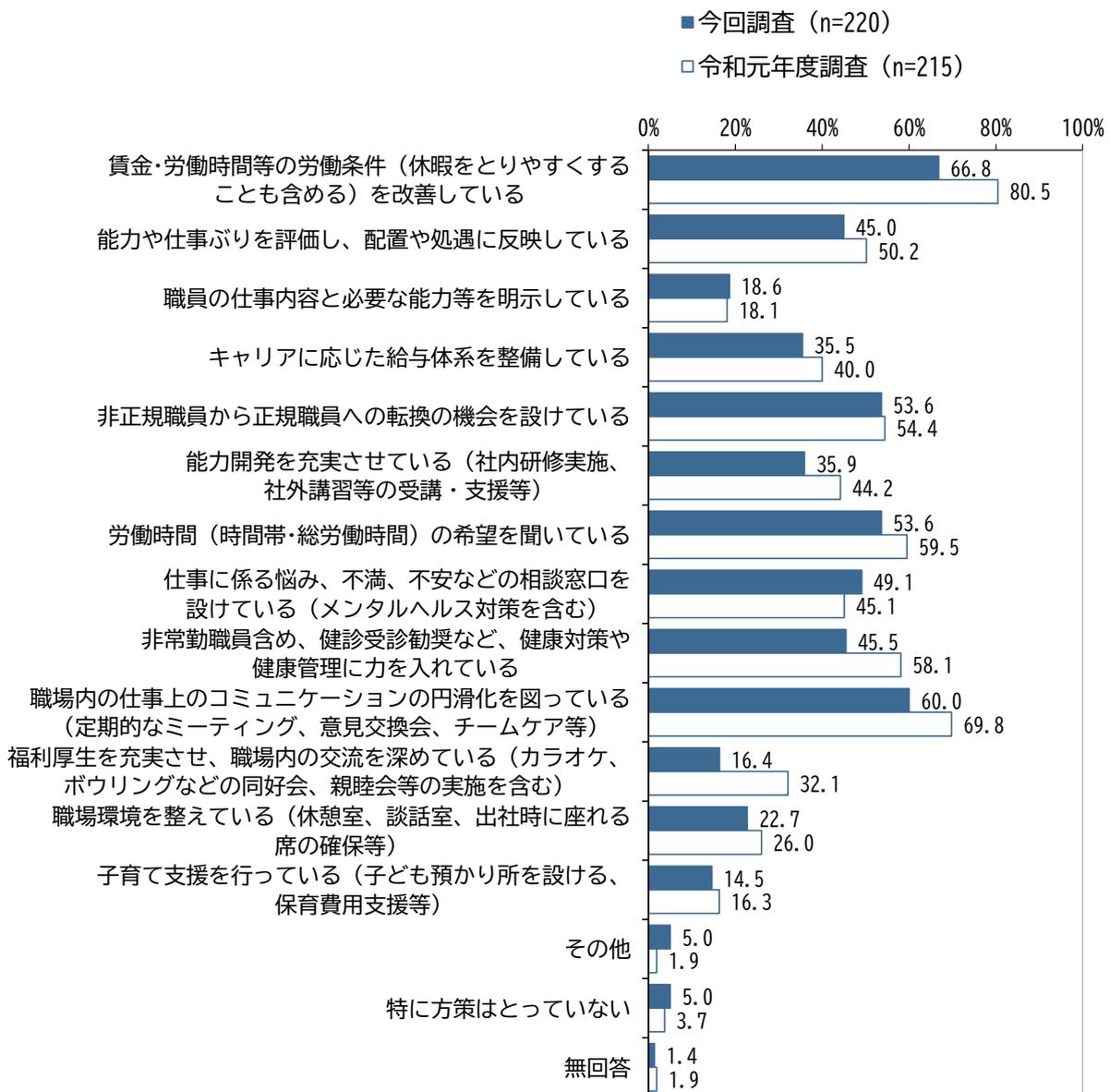


(2) 介護職員等の早期離職防止や定着促進を図るために実施している方策

問 29 貴事業所では、介護職員等の早期離職防止や定着促進を図るために、どのような方策をとっていますか。(〇はいくつでも)

介護職員等の早期離職防止や定着促進を図るために実施している方策については、「賃金・労働時間等の労働条件（休暇をとりやすくすることも含める）を改善している」が66.8%で最も高く、次いで「職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）」が60.0%、「非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている」が53.6%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「仕事に係る悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス対策を含む）」（49.1%）では、令和元（2019）年度調査（45.1%）より4.0ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

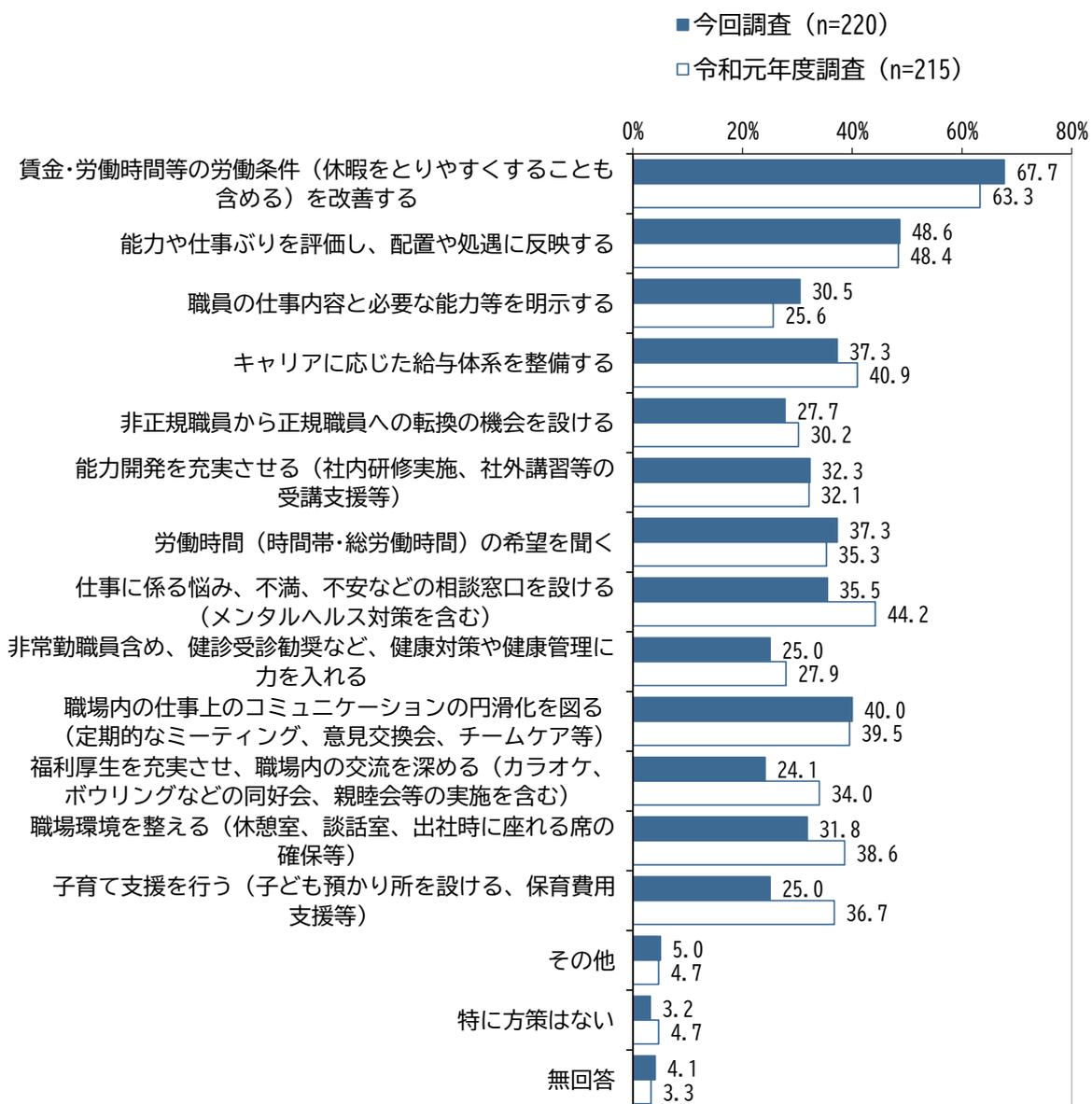


(3) 介護職員等の早期離職防止や定着促進を図るために必要だと考える方策

問30 貴事業所では、介護職員等の早期離職防止や定着促進を図るために、どのような方策が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

介護職員等の早期離職防止や定着促進を図るために必要だと考える方策については、「賃金・労働時間等の労働条件（休暇をとりやすくすることも含める）を改善する」が67.7%で最も高く、次いで「能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映する」が48.6%、「職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図る（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）」が40.0%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「職員の仕事内容と必要な能力等を明示する」（30.5%）では、令和元（2019）年度調査（25.6%）より4.9ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

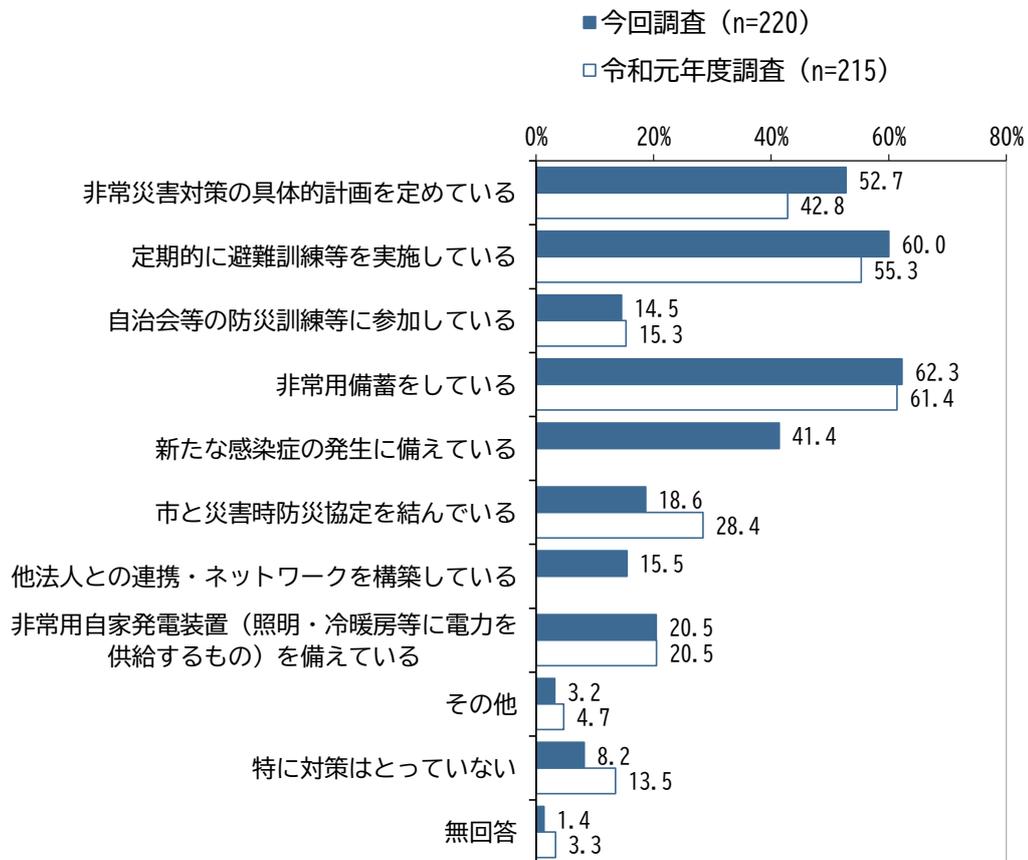


(4) 現在行っている非常災害時の対策

問31 現在行っている非常災害時の対策について当てはまるものに○をつけてください。
(○はいくつでも)

現在行っている非常災害時の対策については、「非常用備蓄をしている」が62.3%で最も高く、次いで「定期的に避難訓練等を実施している」が60.0%、「非常災害対策の具体的計画を定めている」が52.7%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較できる項目で比較すると、「非常災害対策の具体的計画を定めている」(52.7%)では、令和元(2019)年度調査(42.8%)より9.9ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

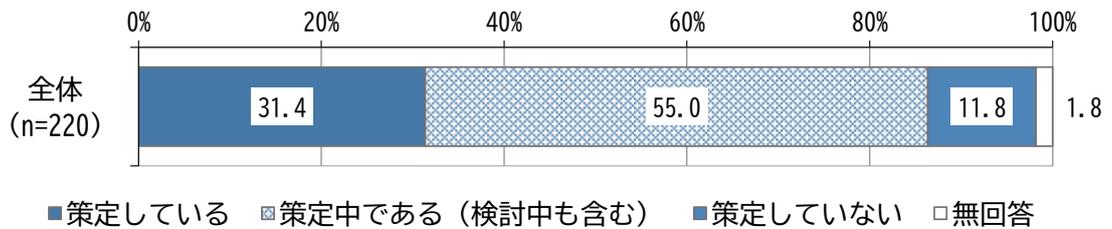


※ 「新たな感染症の発生に備えている」「他法人との連携・ネットワークを構築している」は今回調査からの選択肢

(5) 災害に係る業務継続計画（BCP）を策定しているか

問 32 災害に係る業務継続計画（BCP）を策定していますか。（○は1つ）

災害に係る業務継続計画（BCP）を策定しているかについては、「策定中である（検討中も含む）」が55.0%で最も高く、次いで「策定している」が31.4%、「策定していない」が11.8%となっています。

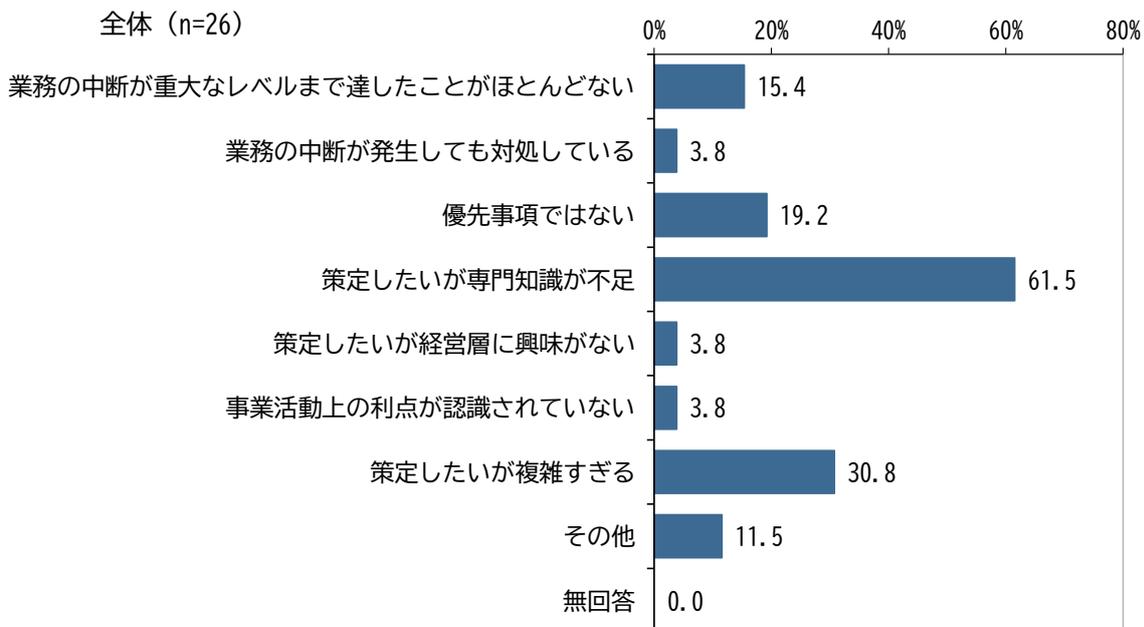


(6) 災害に係る業務継続計画（BCP）を策定していない理由

【問 32 で「策定していない」とお答えになった方におたずねします。】

問 32-1 策定していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

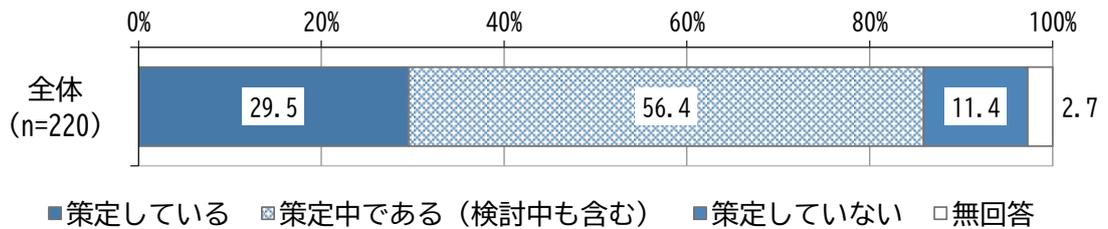
災害に係る業務継続計画（BCP）を策定していない理由については、「策定したいが専門知識が不足」が61.5%で最も高く、次いで「策定したいが複雑すぎる」が30.8%、「優先事項ではない」が19.2%と続いています。



(7) 感染症に係る業務継続計画（BCP）を策定しているか

問 33 感染症に係る業務継続計画（BCP）を策定していますか。（○は1つ）

感染症に係る業務継続計画（BCP）を策定しているかについては、「策定中である（検討中も含む）」が56.4%で最も高く、次いで「策定している」が29.5%、「策定していない」が11.4%となっています。

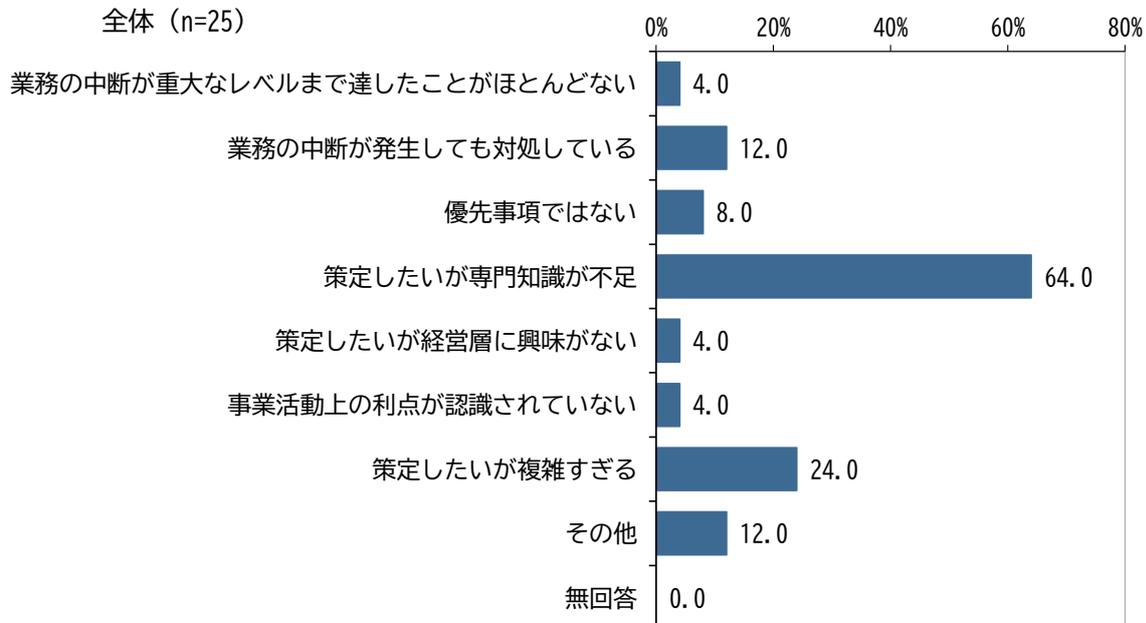


(8) 感染症に係る業務継続計画（BCP）を策定していない理由

【問 33 で「策定していない」とお答えになった方におたずねします。】

問 33-1 策定していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

感染症に係る業務継続計画（BCP）を策定していない理由については、「策定したいが専門知識が不足」が64.0%で最も高く、次いで「策定したいが複雑すぎる」が24.0%、「業務の中断が発生しても対処している」が12.0%と続いています。

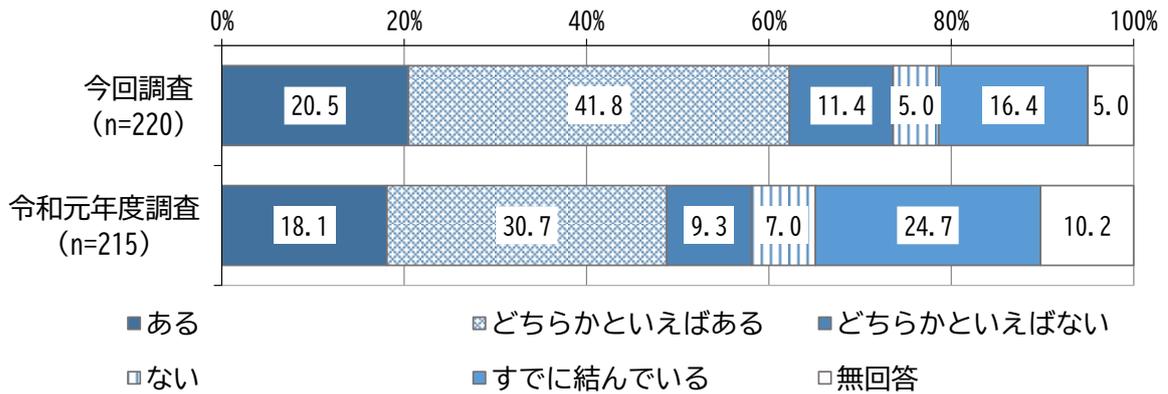


(9) 市と災害時防災協定を結ぶ意向があるか

問 34 今後、市と災害時防災協定を結ぶ意向がありますか。(○は1つ)

市と災害時防災協定を結ぶ意向があるかについては、「どちらかといえばある」が41.8%で最も高く、次いで「ある」が20.5%、「すでに結んでいる」が16.4%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、『ある』(「ある」と「どちらかといえばある」の合計)(62.3%)では、令和元(2019)年度調査(48.8%)より13.5ポイント増加しています。



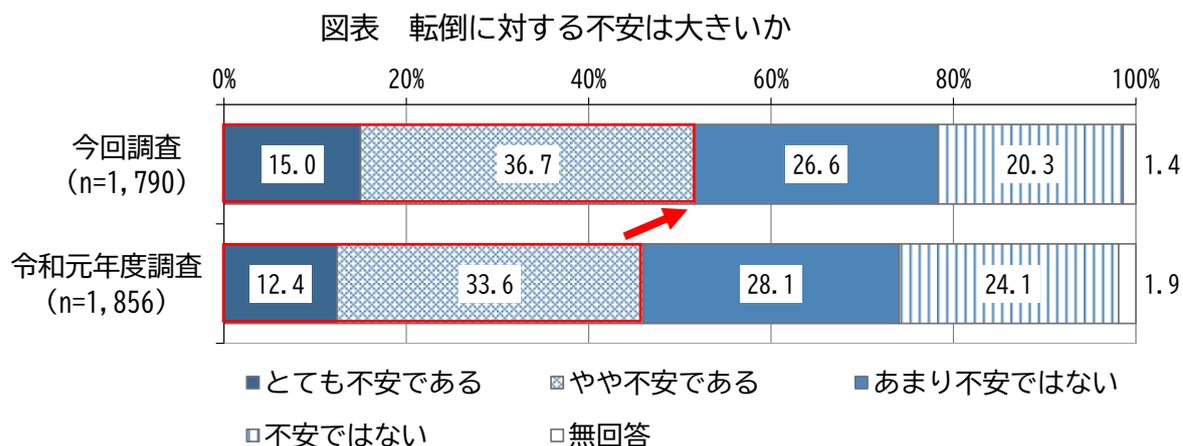
第5章 アンケート調査結果から見た課題

第5-1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【課題】

1 転倒に対する不安

転倒に対する不安が大きくなっている。

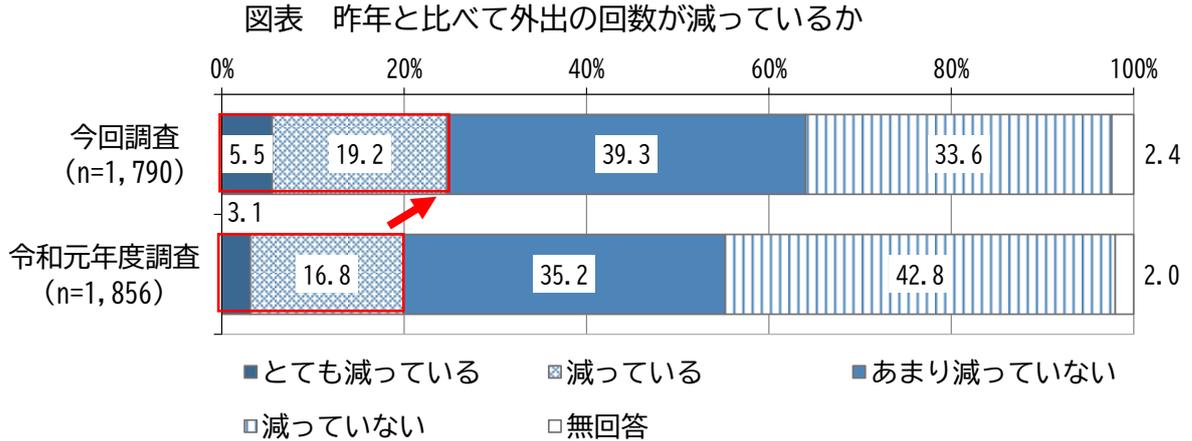
転倒に対する不安は大きいかについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、『不安である』（「とても不安である」と「やや不安である」の合計）（51.7%）では、令和元（2019）年度調査（46.0%）より5.7ポイント増加しています。



2 外出の回数

昨年と比べて外出の回数が減っている。

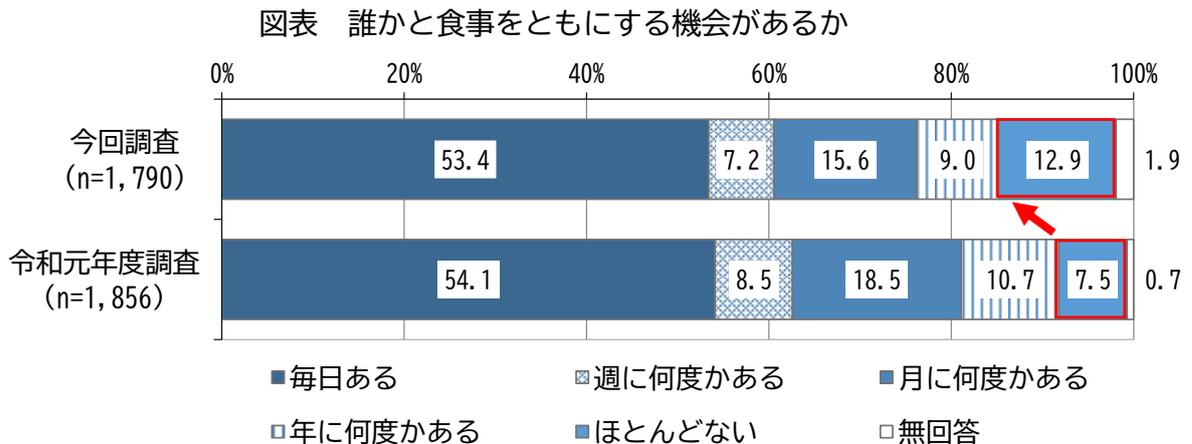
昨年と比べて外出の回数が減っているかについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、『減っている』（「とても減っている」と「減っている」の合計）（24.7%）では、令和元（2019）年度調査（19.9%）より4.8ポイント増加しています。



3 誰かと食事をとる機会

誰かと食事をとる機会がない人が増加している。

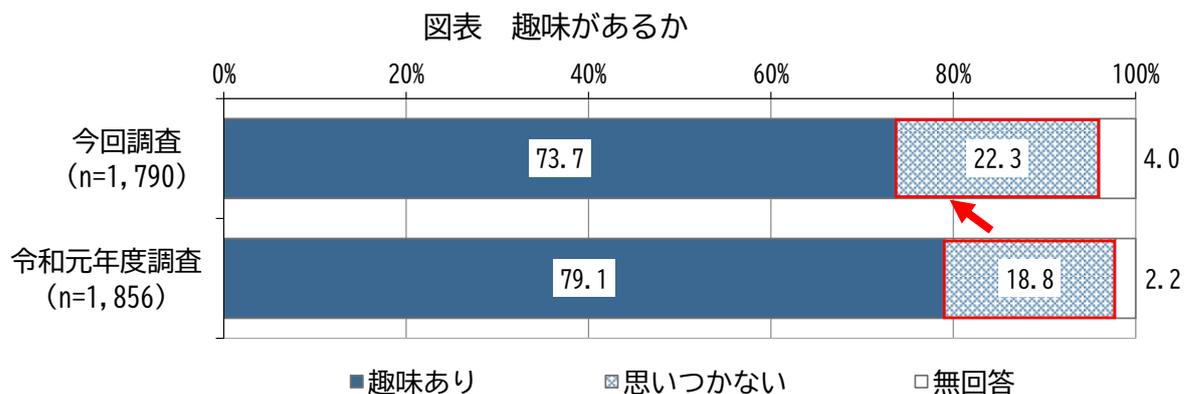
誰かと食事をとる機会があるかについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、「ほとんどない」（12.9%）では、令和元（2019）年度調査（7.5%）より5.4ポイント増加しています。



4 趣味があるか

趣味のない人が増加している。

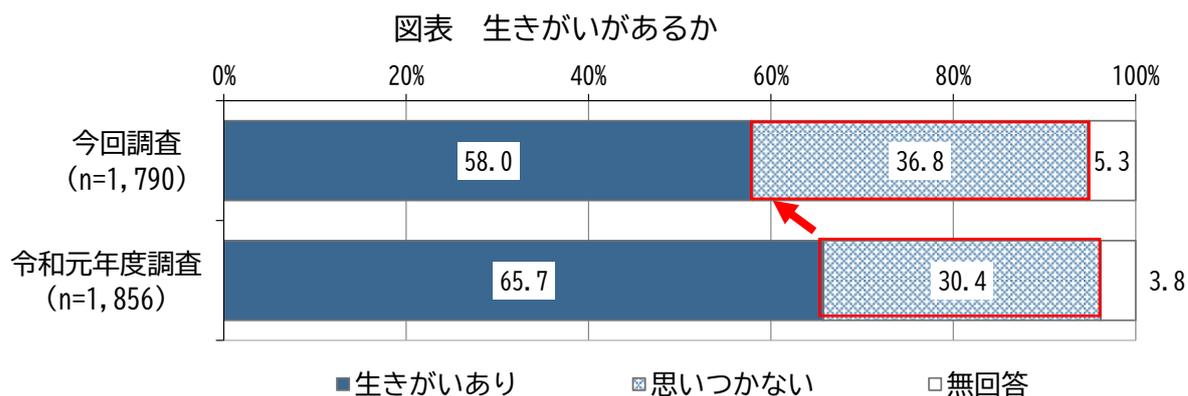
趣味があるかについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、「思いつかない」（22.3％）では、令和元（2019）年度調査（18.8％）より3.5ポイント増加しています。



5 生きがいがあるか

生きがいのない人が増加している。

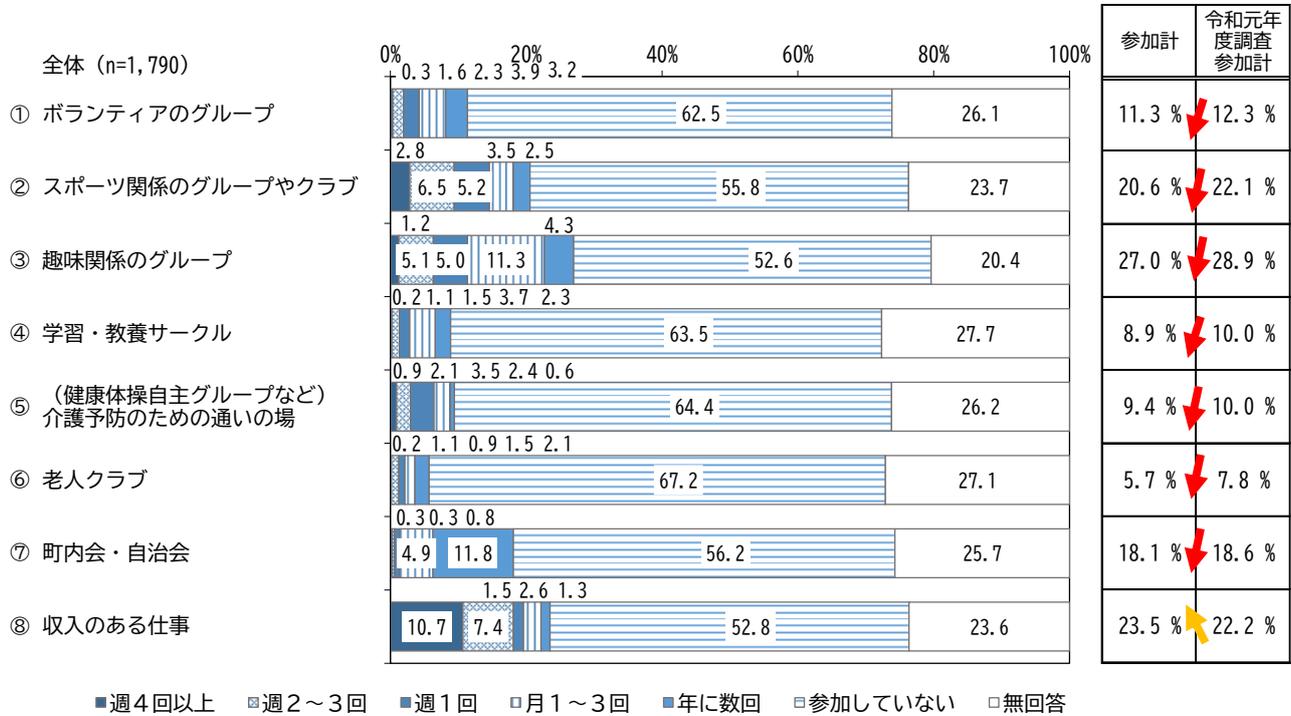
生きがいがあるかについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、「思いつかない」（36.8％）では、令和元（2019）年度調査（30.4％）より6.4ポイント増加しています。



6 社会参加の状況

社会活動の状況が全体的に減少している。

図表 社会参加の状況



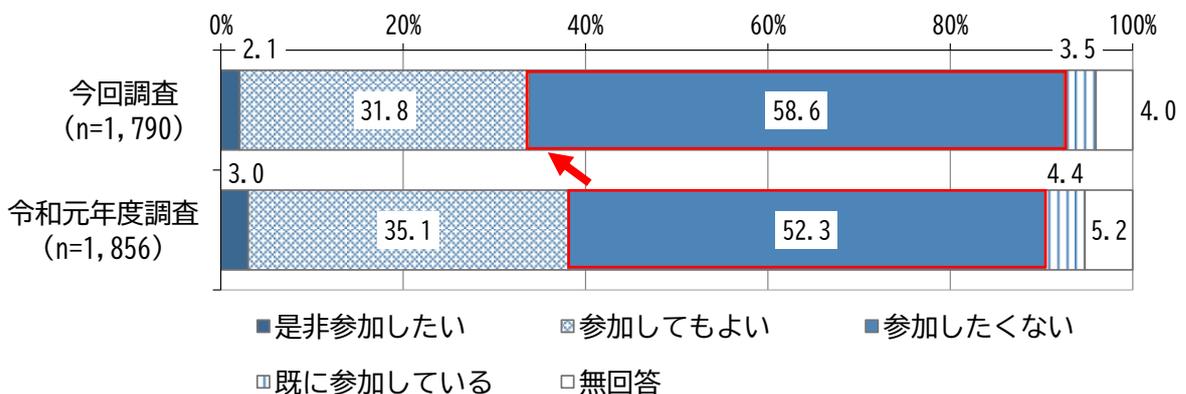
※ 参加計…「週4回以上」「週2~3回」「週1回」「月1~3回」「年に数回」の合計

7 地域づくりに企画・運営として参加したいか

地域づくりに企画・運営として参加したい人が減少している。

地域住民のグループ活動による地域づくりに企画・運営として参加したいかについて、令和元(2019)年度調査と比較すると、「参加したくない」(58.6%)では、令和元(2019)年度調査(52.3%)より6.3ポイント増加しています。

図表 地域住民のグループ活動による地域づくりに企画・運営として参加したいか

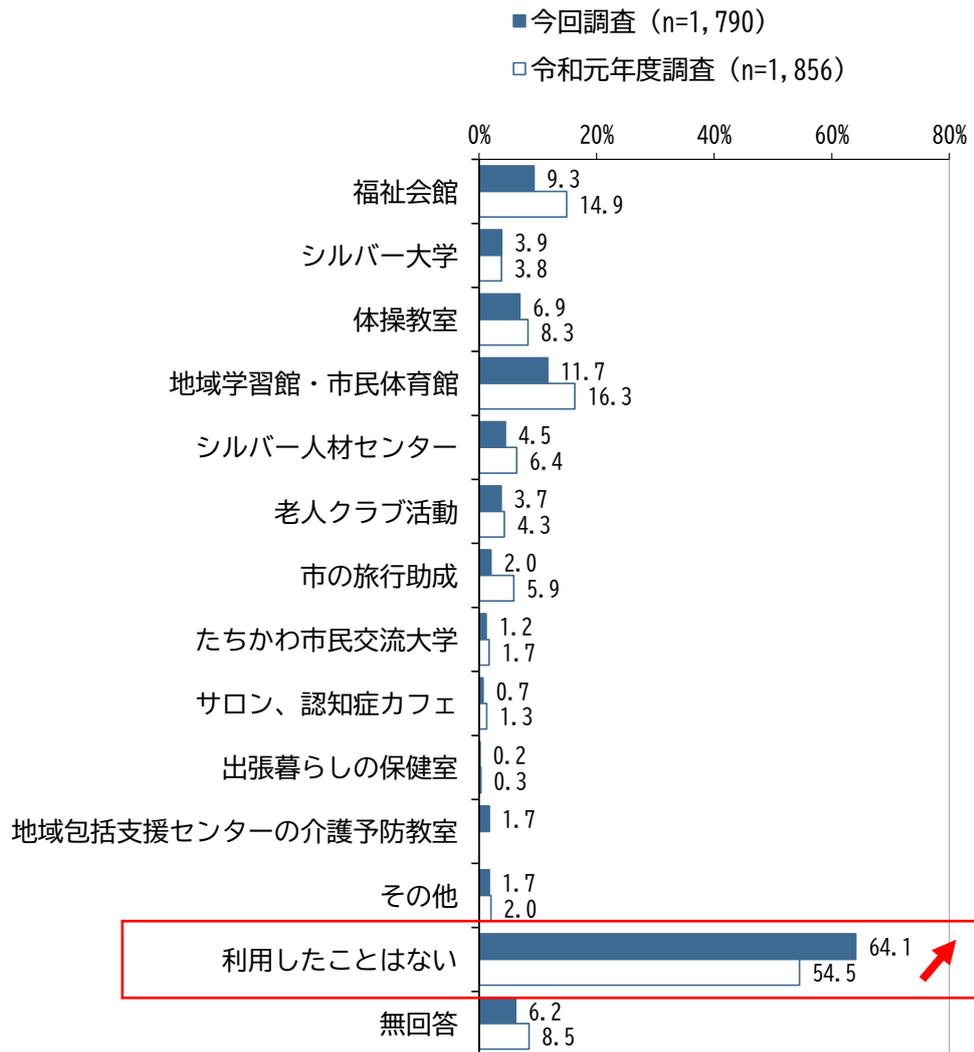


8 1年以内に立川市のサービスや施設で利用したもの

立川市のサービスや施設を利用しない人が増加している。

1年以内に立川市のサービスや施設で利用したものについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、「利用したことはない」（64.1％）では、令和元（2019）年度調査（54.5％）より9.6ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 1年以内に立川市のサービスや施設で利用したもの



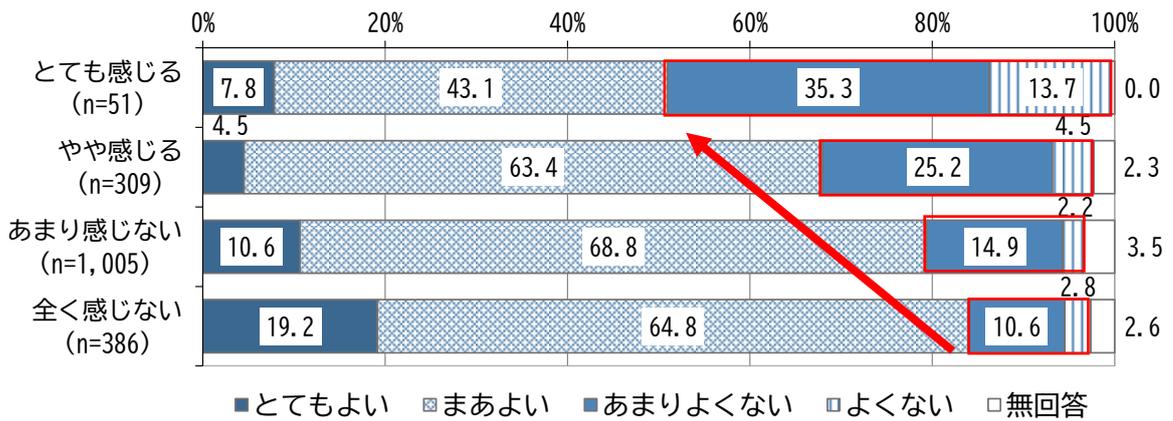
※ 「地域包括支援センターの介護予防教室」は今回調査からの選択肢

9 社会的な孤立と健康状態

社会的な孤立（社会的接触の欠如した状態）が健康に影響を及ぼしている可能性がある。

現在の健康状態を社会的な孤立を感じているか別で見ると、社会的な孤立を感じる度合いが強くなるにつれて、現在の健康状態が『よくない』（「あまりよくない」と「よくない」の合計）と感じる人の割合が増加しています。

図表 現在の健康状態 社会的な孤立を感じているか別

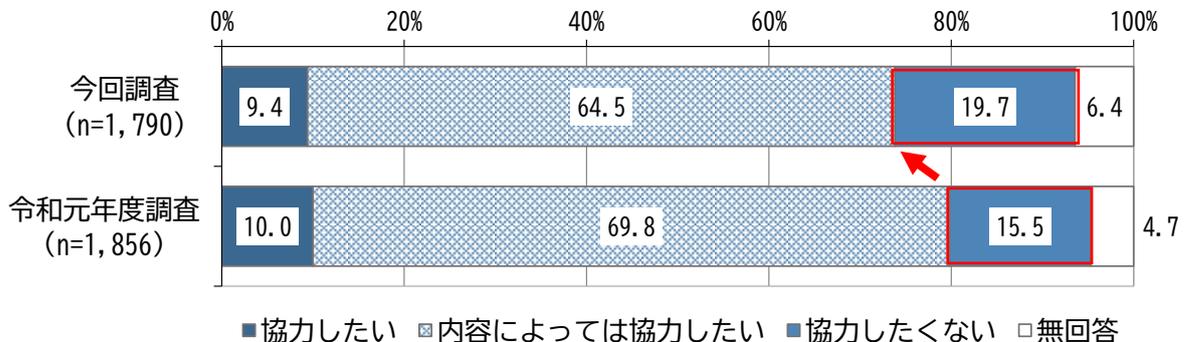


10 見守りボランティアへの協力意向

見守りボランティアに協力したくない人が増加している。

見守りボランティアへの協力意向について、令和元（2019）年度調査と比較すると、「協力したくない」（19.7%）では、令和元（2019）年度調査（15.5%）より4.2ポイント増加しています。

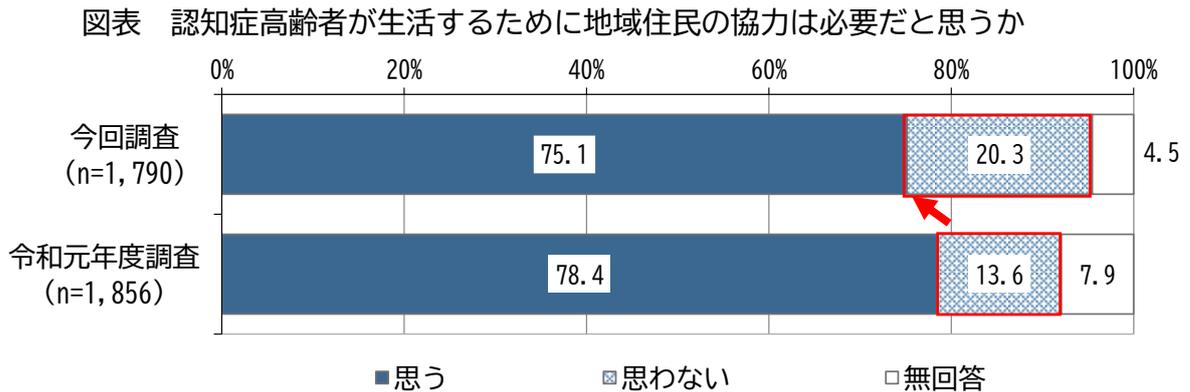
図表 見守りボランティアへの協力意向



11 認知症高齢者が生活するために地域住民の協力は必要だと思うか

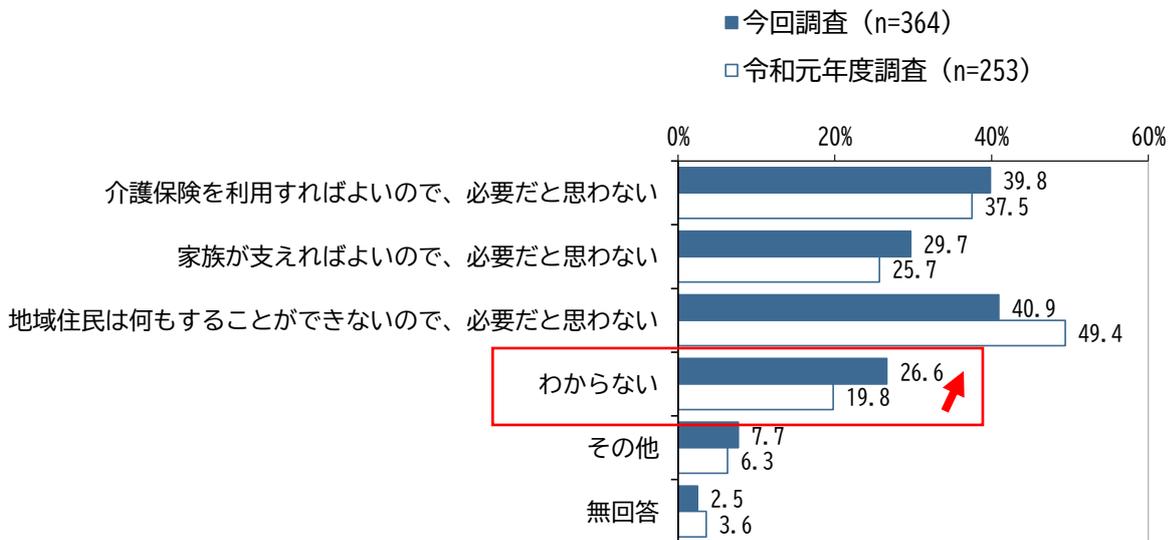
認知症高齢者を地域で支える必要がないと考える人が増加しており、その理由について、「わからない」の割合が増加している。

認知症高齢者が生活するために地域住民の協力は必要だと思うかについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、「思わない」（20.3%）では、令和元（2019）年度調査（13.6%）より6.7ポイント増加しています。



認知症高齢者が生活するために地域住民の協力が必要だと思わない理由については、「地域住民は何もすることができないので、必要だと思わない」が40.9%で最も高く、次いで「介護保険を利用すればよいので、必要だと思わない」が39.8%、「家族が支えればよいので、必要だと思わない」が29.7%と続いており、令和元（2019）年度調査と比較すると、「わからない」（26.6%）では、令和元（2019）年度調査（19.8%）より6.8ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

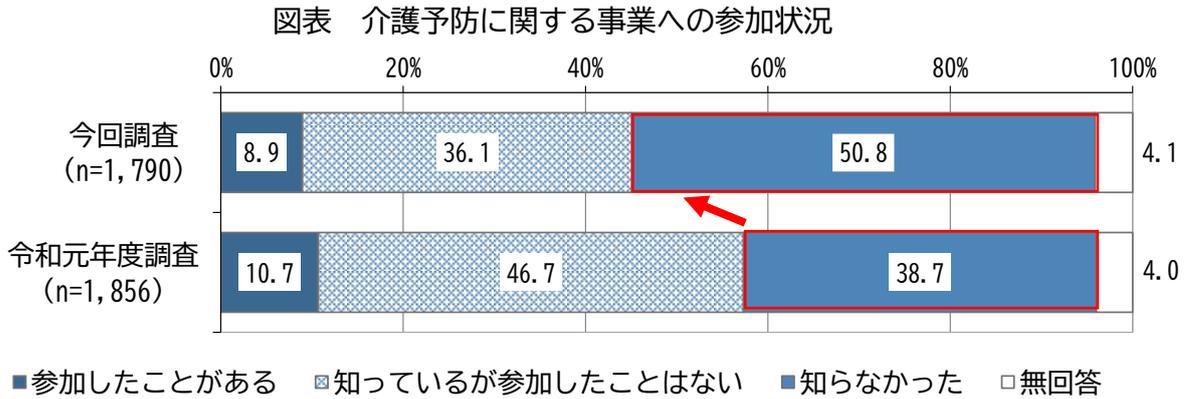
図表 認知症高齢者が生活するために地域住民の協力が必要だと思わない理由



12 介護予防に関する事業への参加状況

立川市が実施する介護予防に関する事業を知らない人が増加している。

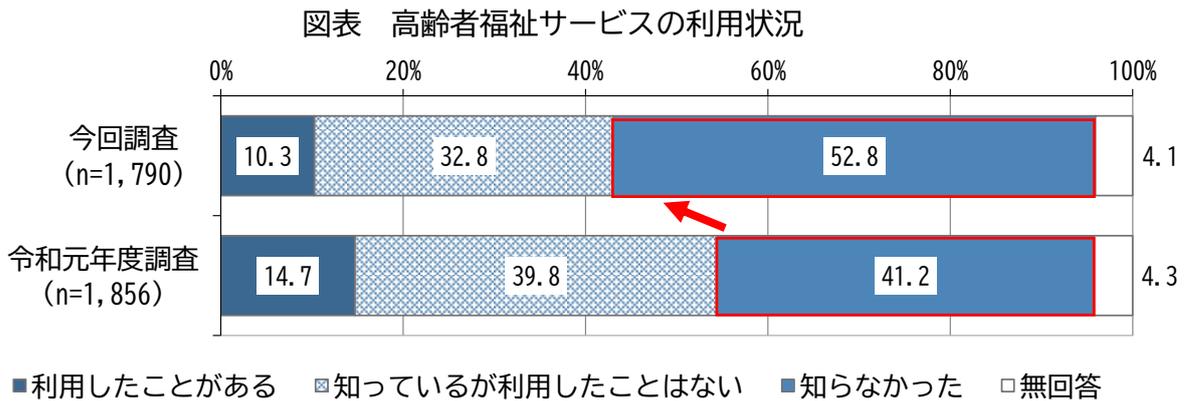
介護予防に関する事業への参加状況について、令和元（2019）年度調査と比較すると、「知らなかった」（50.8%）では、令和元（2019）年度調査（38.7%）より12.1ポイント増加しています。



13 高齢者福祉サービスの利用状況

立川市の高齢者福祉サービスを知らない人が増加している。

高齢者福祉サービスの利用状況について、令和元（2019）年度調査と比較すると、「知らなかった」（52.8%）では、令和元（2019）年度調査（41.2%）より11.6ポイント増加しています。

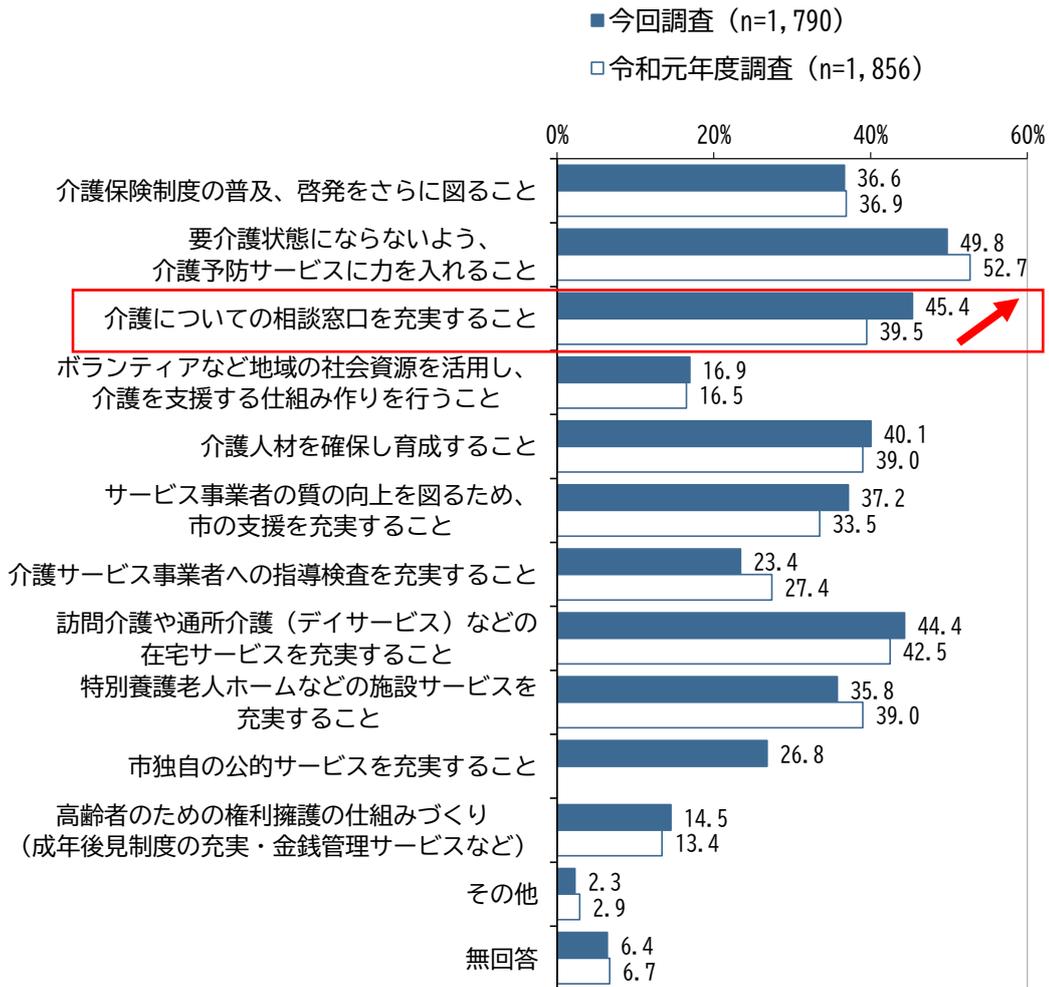


14 介護保険制度をよりよくするため市に期待すること

「介護についての相談窓口を充実すること」の割合が最も増加している。

介護保険制度をよりよくするため市に期待することについて、令和元（2019）年度調査と比較できる項目で比較すると、「介護についての相談窓口を充実すること」（45.4%）では、令和元（2019）年度調査（39.5%）より5.9ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 2-18-24 介護保険制度をよりよくするため市に期待すること



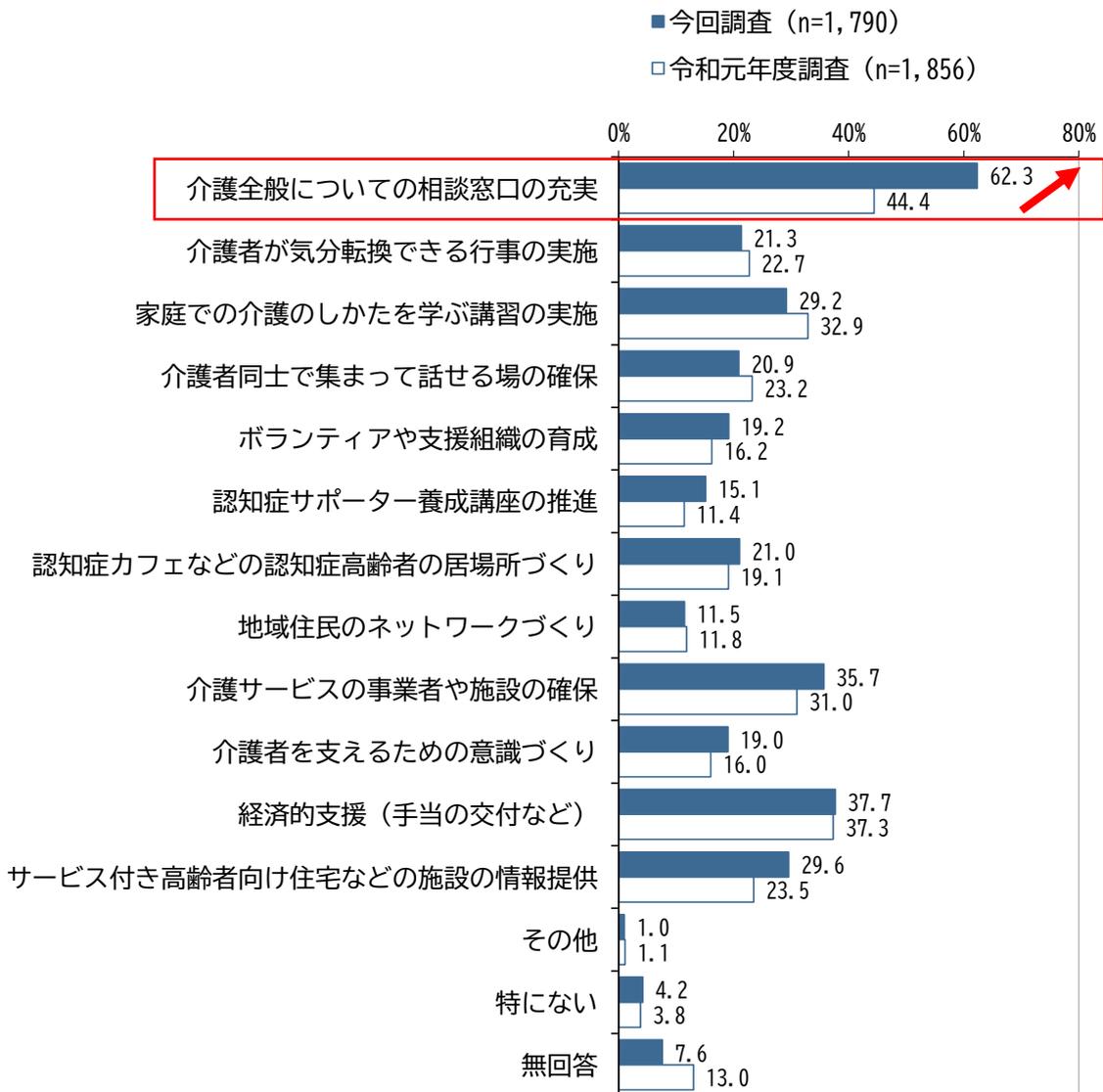
※ 「市独自の公的サービスを充実すること」は今回調査からの選択肢

15 介護をする家族への支援として市が取り組むべきこと

介護全般についての相談窓口の拡充が求められている。

介護をする家族への支援として市が取り組むべきことについては、「介護全般についての相談窓口の充実」が62.3%で最も高く、令和元（2019）年度調査と比較すると、令和元（2019）年度調査（44.4%）より17.9ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 介護をする家族への支援として市が取り組むべきこと

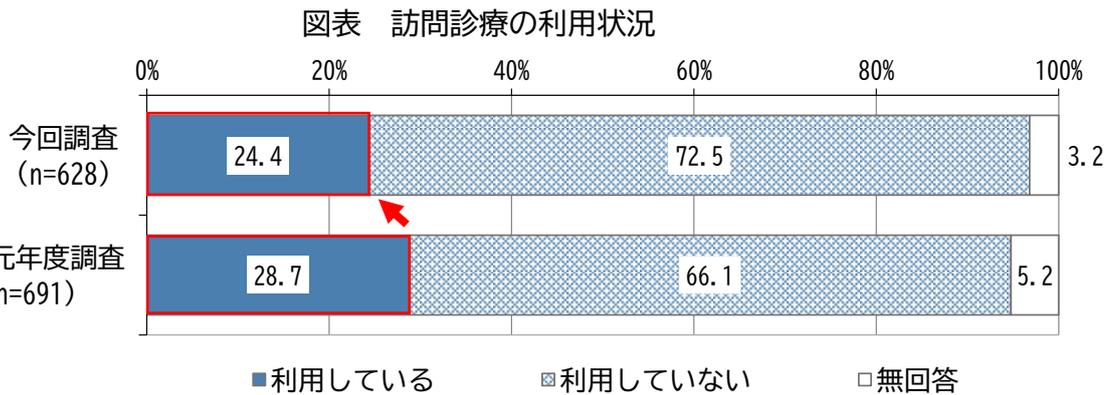


第5 - 2章 在宅介護実態調査【課題】

1 訪問診療の利用状況

訪問診療を利用している人が減少している。

訪問診療の利用状況について、令和元（2019）年度調査と比較すると、「利用している」（24.4％）では、令和元（2019）年度調査（28.7％）より4.3ポイント減少しています。

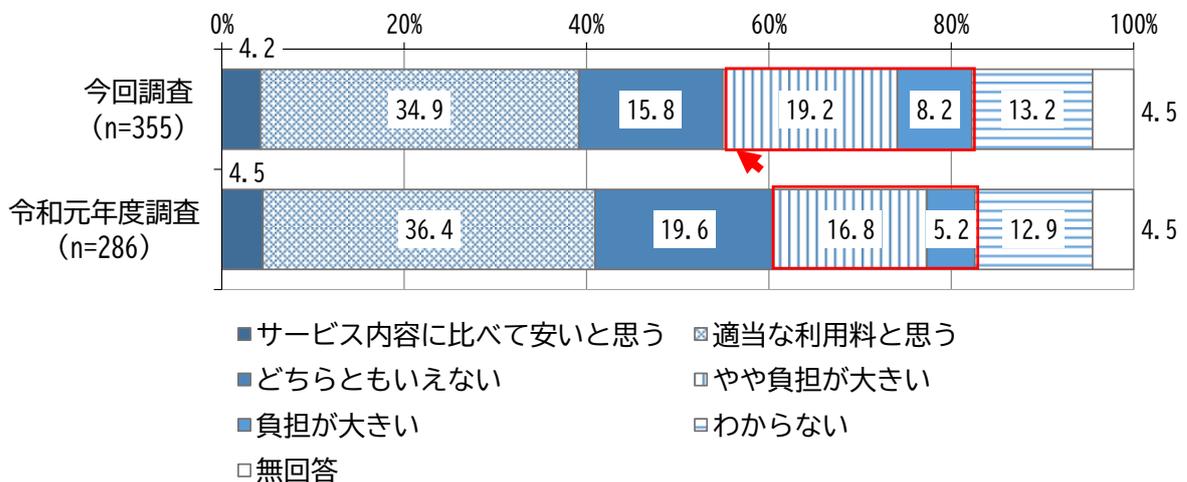


2 介護保険サービスの利用料をどのように感じているか

介護保険サービスの利用料を負担だと感じる人が増加している。

介護保険サービスの利用料をどのように感じているかについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、『負担が大きい』（「やや負担が大きい」と「負担が大きい」の合計）（27.4％）では、令和元（2019）年度調査（22.0％）より5.4ポイント増加しています。

図表 介護保険サービスの利用料をどのように感じているか

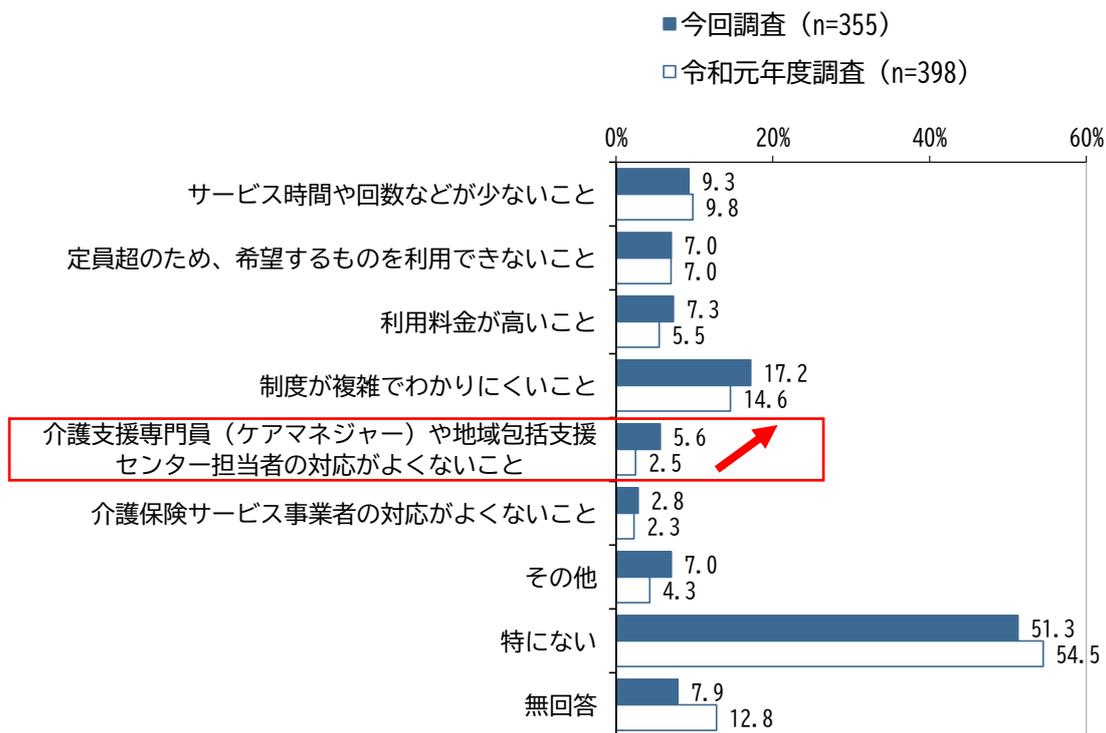


3 介護保険サービスを利用する上で困っていること

「介護支援専門員（ケアマネジャー）や地域包括支援センター担当者の対応がよくないこと」の割合が増加している。

介護保険サービスを利用する上で困っていることについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、「介護支援専門員（ケアマネジャー）や地域包括支援センター担当者の対応がよくないこと」（5.6％）では、令和元（2019）年度調査（2.5％）より3.1ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

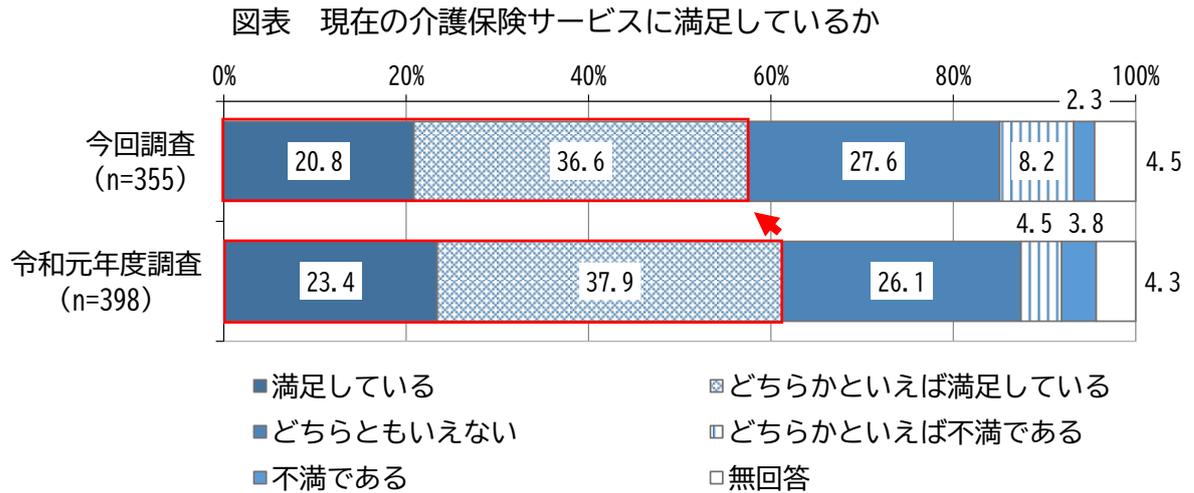
図表 介護保険サービスを利用する上で困っていること



4 現在の介護保険サービスに満足しているか

現在の介護保険サービスに満足している人が減少している。

現在の介護保険サービスに満足しているかについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、『満足している』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）（57.4%）では、令和元（2019）年度調査（61.3%）より3.9ポイント減少しています。

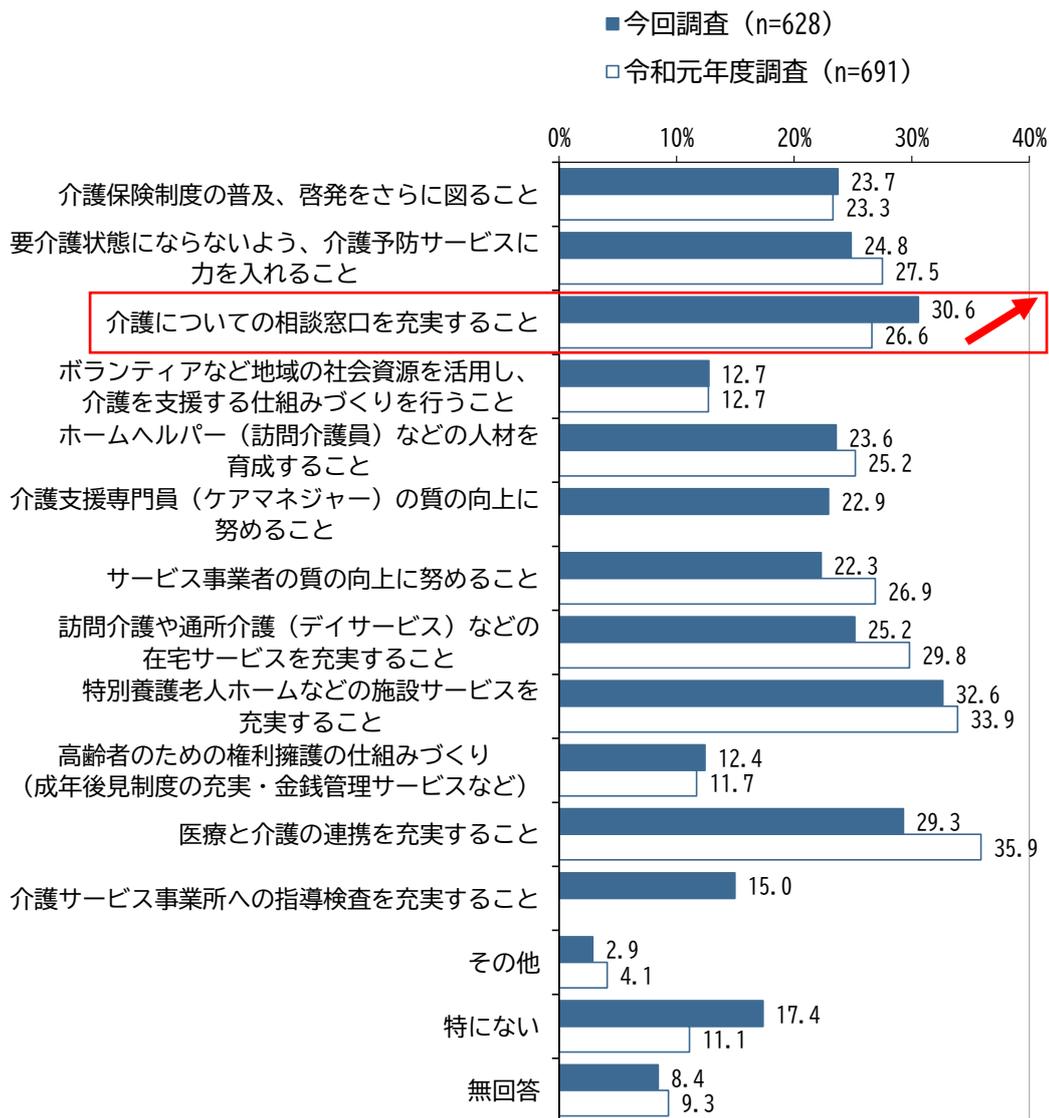


5 介護保険制度をよりよくするために立川市に期待すること

「介護についての相談窓口を充実すること」が最も増加した項目となっている。

介護保険制度をよりよくするために立川市に期待することについては、令和元（2019）年度調査と比較できる項目で比較すると、「介護についての相談窓口を充実すること」（30.6％）では、令和元（2019）年度調査（26.6％）より4.0ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 介護保険制度をよりよくするために立川市に期待すること



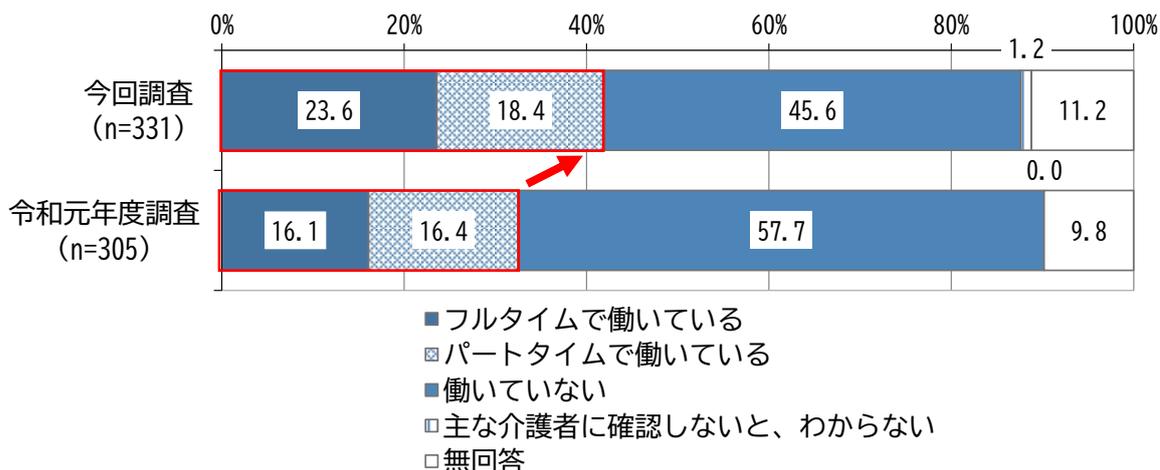
※ 「介護支援専門員（ケアマネジャー）の質の向上に努めること」「介護サービス事業所への指導検査を充実すること」は今回調査からの選択肢

6 主な介護者の勤務形態

働いている介護者が増加している。

主な介護者の勤務形態について、令和元(2019)年度調査と比較すると、「働いていない」(45.6%)では、令和元(2019)年度調査(57.7%)より12.1ポイント減少しており、『働いている』(「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」の合計)が増加しています。

図表 主な介護者の勤務形態

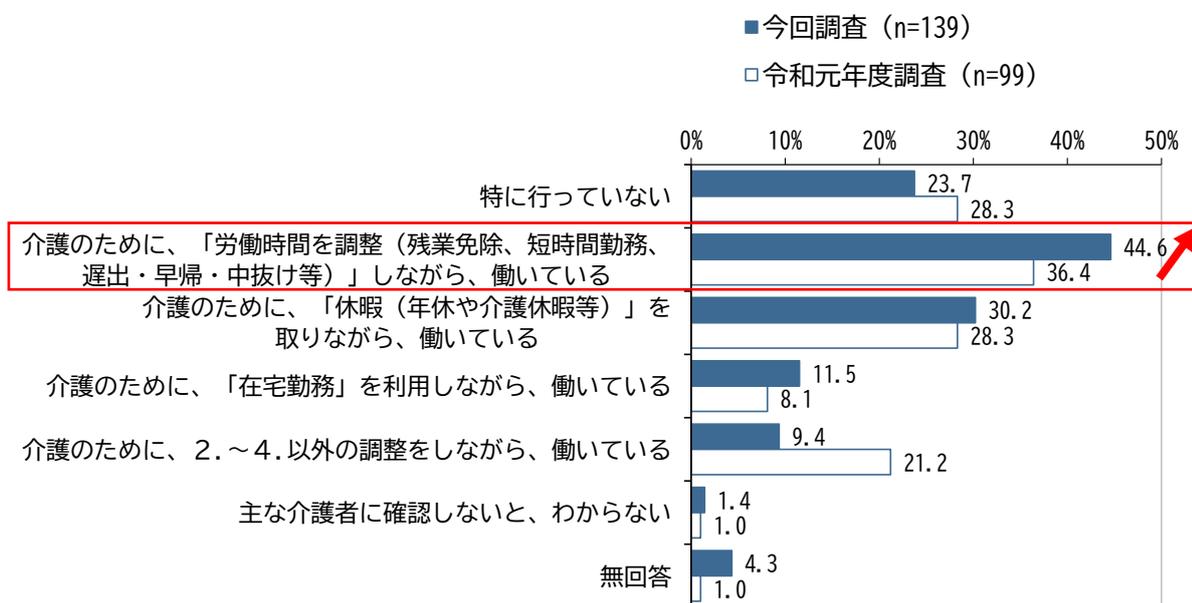


7 介護をするにあたって働き方の調整等をしているか

介護のために労働時間を調整しながら働いている人が増加している。

介護をするにあたって働き方の調整等をしているかについて、令和元(2019)年度調査と比較すると、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」(44.6%)では、令和元(2019)年度調査(36.4%)より8.2ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 介護をするにあたって働き方の調整等をしているか

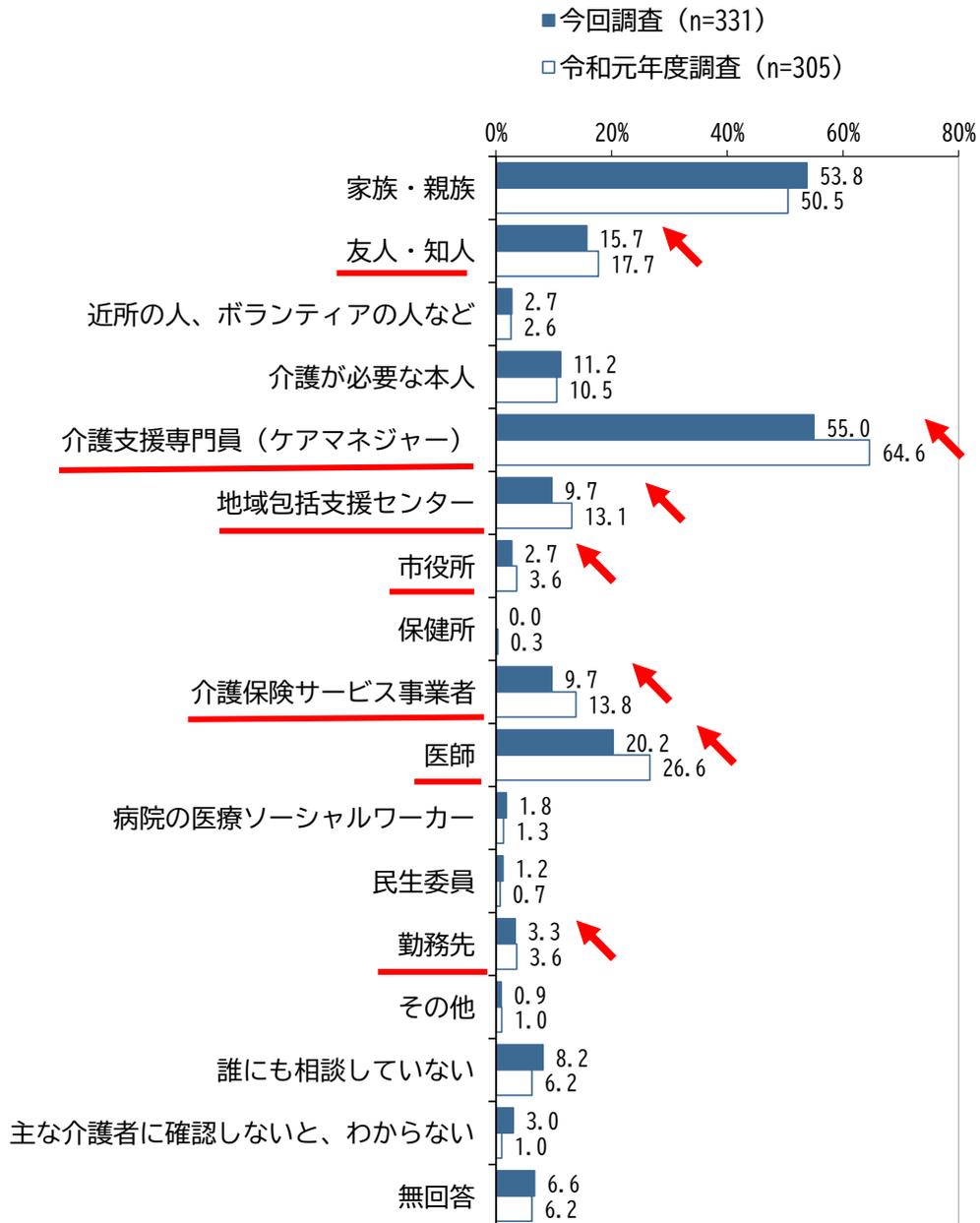


8 介護者の介護についての相談先

介護者の介護についての相談先が全般的に減少している。

介護者の介護についての相談先について、令和元（2019）年度調査と比較すると、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」（55.0%）では、令和元（2019）年度調査（64.6%）より9.6ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

図表 介護についての相談先

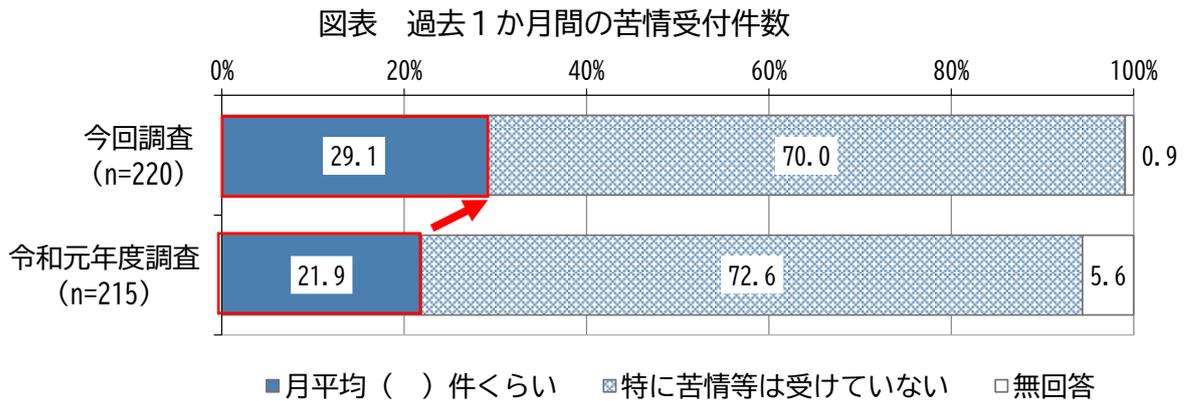


第5-3章 介護保険事業所向けアンケート調査【課題】

1 過去1か月間の苦情受付件数

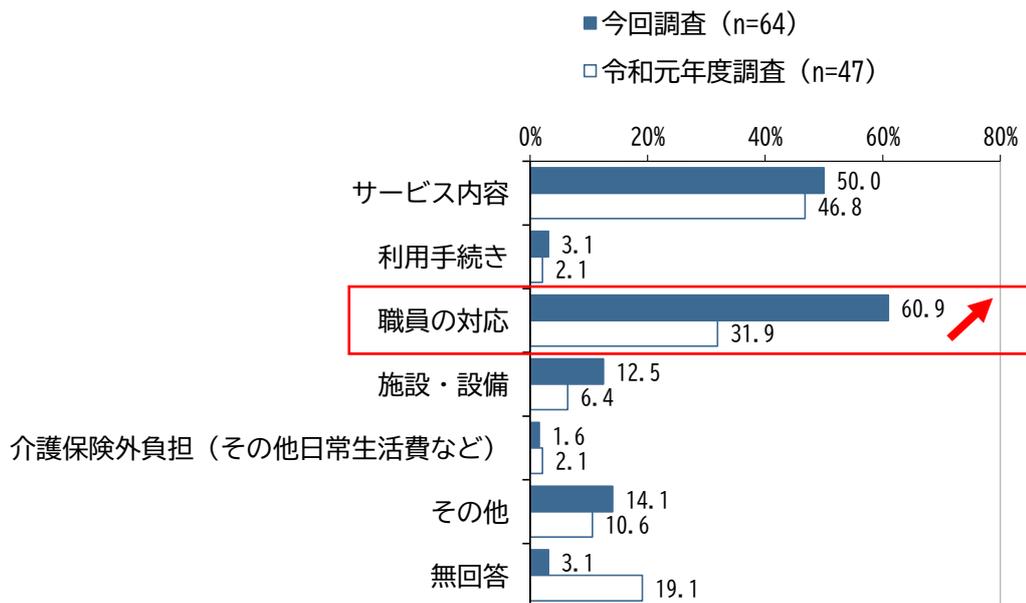
過去1か月間に苦情受付した事業所が増加しており、苦情内容は職員の対応が最も多い。

過去1か月間の苦情受付件数については、『苦情あり』（「月平均（ ）件くらい」）が29.1%、「特に苦情等は受けていない」が70.0%となっており、苦情を受けた事業所の平均苦情受付件数は1.2件となっています。



苦情内容については、「職員の対応」が60.9%で最も高く、令和元（2019）年度調査と比較すると、令和元（2019）年度調査（31.9%）より29.0ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 苦情内容

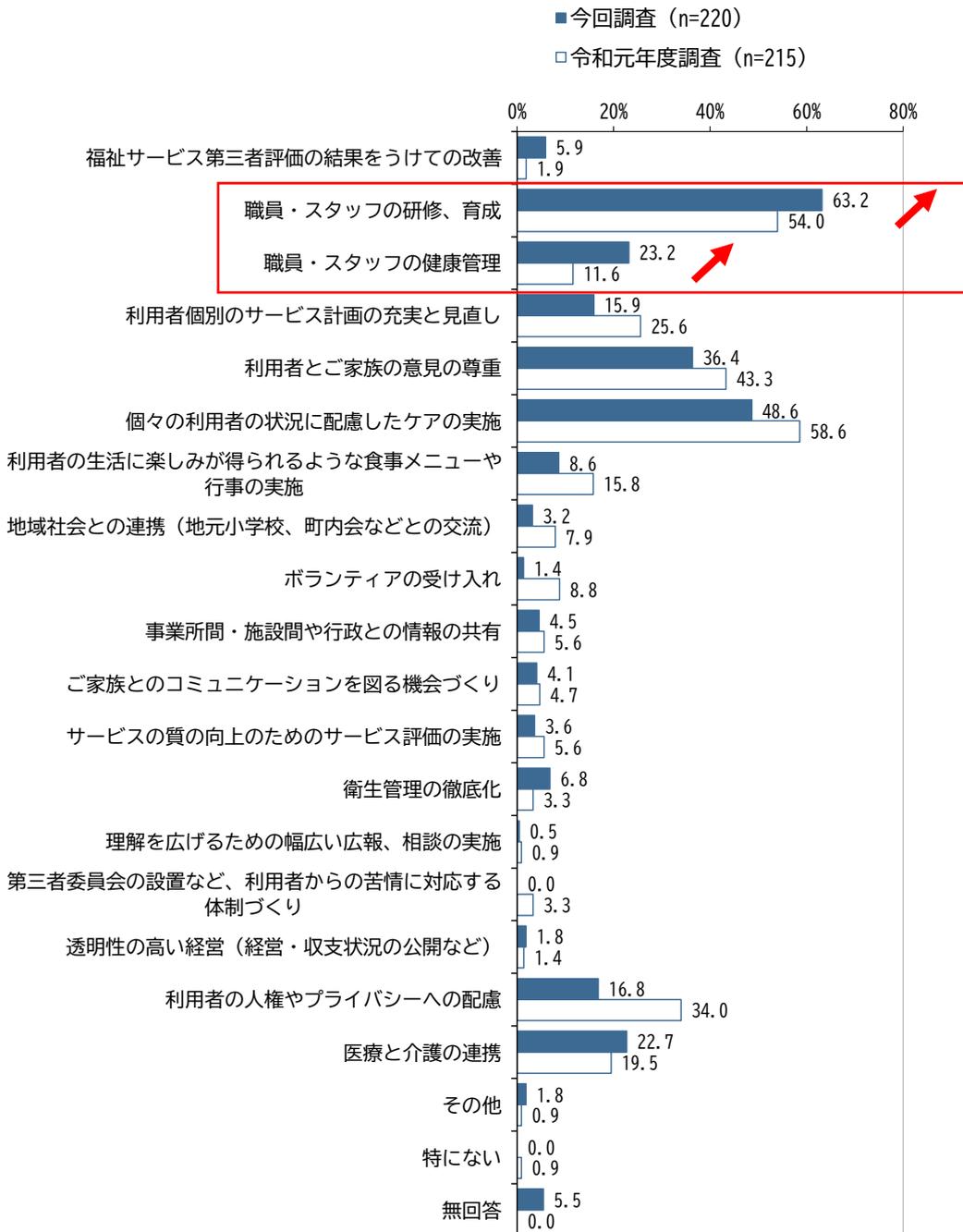


2 サービスの質の向上のために力を入れている取り組み

サービスの質の向上のために力を入れている取り組みについて「職員・スタッフの研修、育成」が最も多く、「職員・スタッフの健康管理」が最も増加している。

サービスの質の向上のために力を入れている取り組みについては、「職員・スタッフの研修、育成」が63.2%で最も高く、令和元（2019）年度調査と比較すると、「職員・スタッフの健康管理」（23.2%）では、令和元（2019）年度調査（11.6%）より11.6ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 サービスの質の向上のために力を入れている取り組み

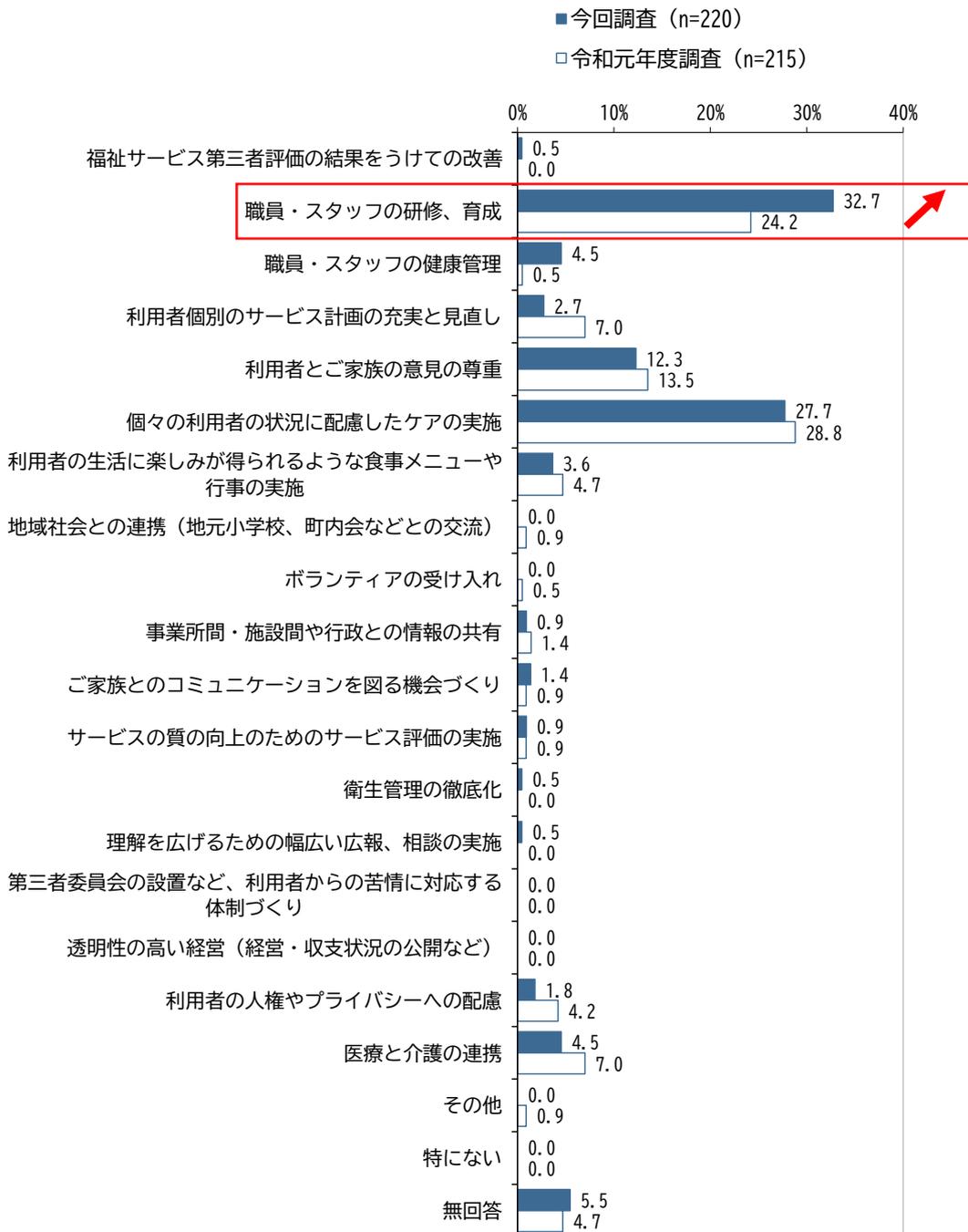


3 サービスの質の向上のために最も力を入れている取り組み

サービスの質の向上のために最も力を入れている取り組みについては、「職員・スタッフの研修、育成」が最も多い。

サービスの質の向上のために最も力を入れている取り組みについては、「職員・スタッフの研修、育成」が32.7%で最も高く、令和元(2019)年度調査と比較すると、令和元(2019)年度調査(24.2%)より8.5ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 サービスの質の向上のために最も力を入れている取り組み

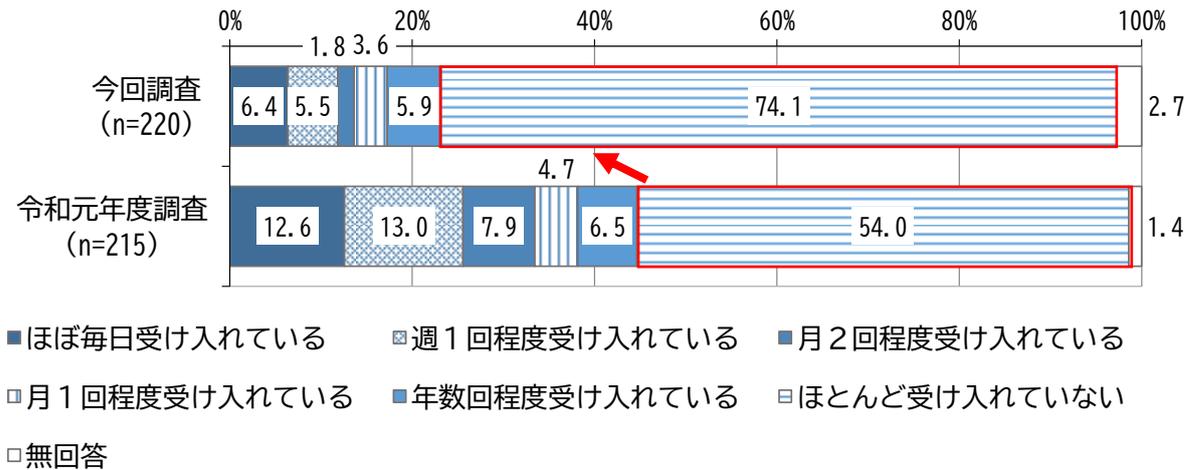


4 ボランティアの受け入れ状況

ボランティアの受け入れが減少している。

ボランティアの受け入れ状況について、令和元（2019）年度調査と比較すると、「ほとんど受け入れていない」（74.1％）では、令和元（2019）年度調査（54.0％）より20.1ポイント増加しています。

図表 ボランティアの受け入れ状況

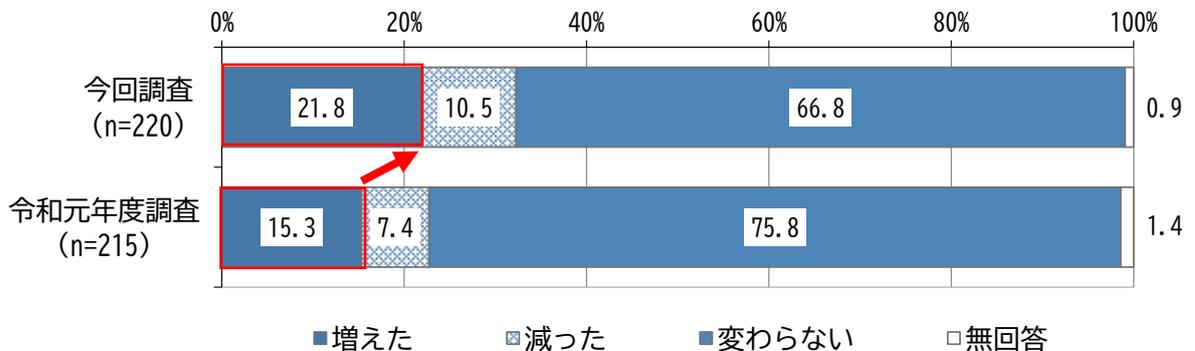


5 時間外勤務時間の増減の有無

時間外勤務時間が増加している。

時間外勤務時間の増減の有無について、令和元（2019）年度調査と比較すると、「増えた」（21.8％）では、令和元（2019）年度調査（15.3％）より6.5ポイント増加しています。

図表 時間外勤務時間の増減の有無

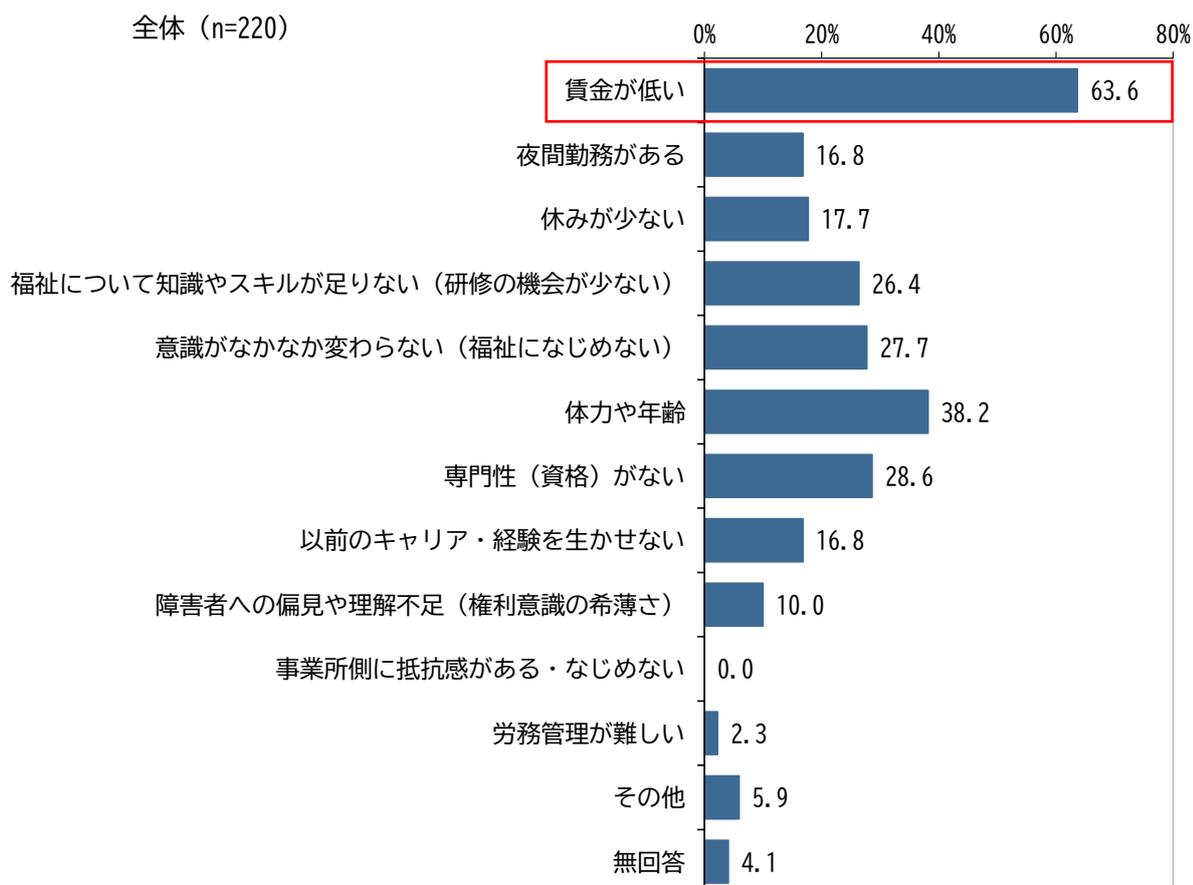


6 「転職者」を雇用する際の壁（支障）

「転職者」を雇用する際の壁（支障）として、賃金の割合が最も高い。

「転職者」を雇用する際の壁（支障）については、「賃金が低い」が63.6%で最も高く、次いで「体力や年齢」が38.2%、「専門性（資格）がない」が28.6%と続いています。

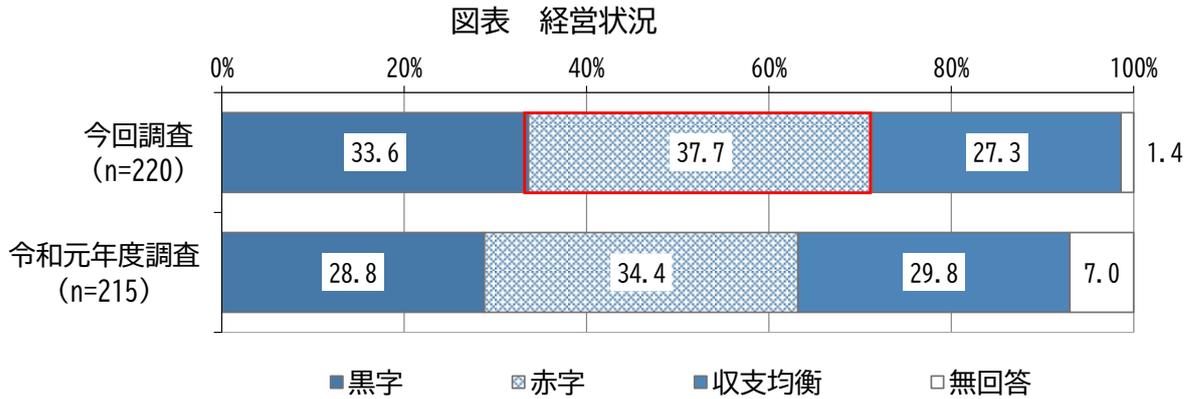
図表 4-5-9 「転職者」を雇用する際の壁（支障）



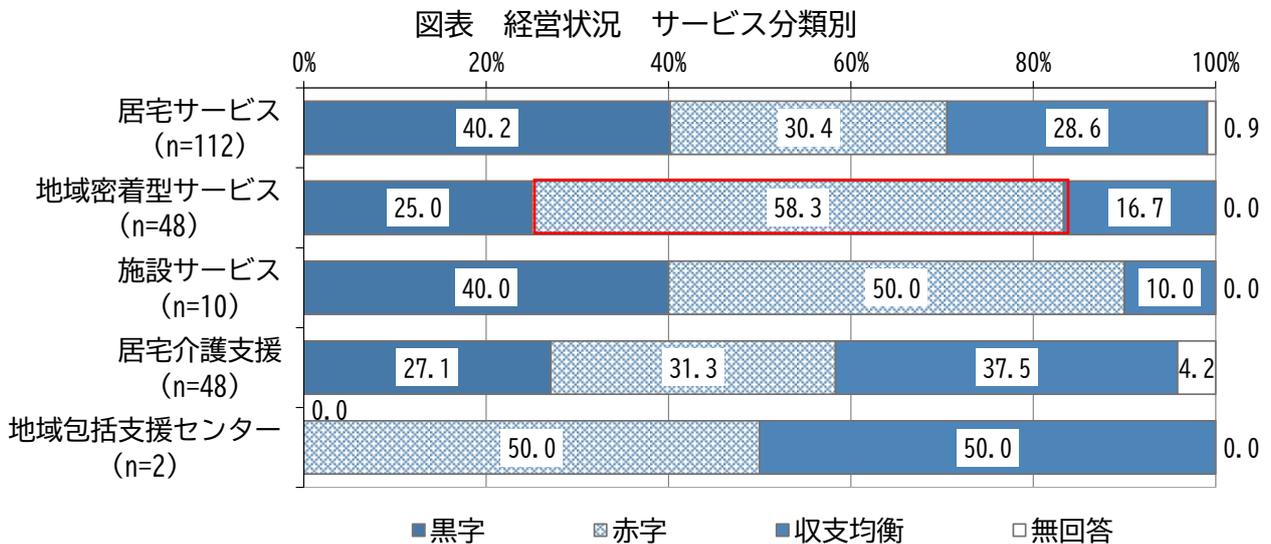
7 経営状況

経営状況については、赤字経営が約4割で、地域密着型サービスに多くなっている。

経営状況については、「赤字」が37.7%で最も高く、次いで「黒字」が33.6%、「収支均衡」が27.3%となっています。



サービス分類でみると、「赤字」では、地域密着型サービスが58.3%で最も高くなっています。



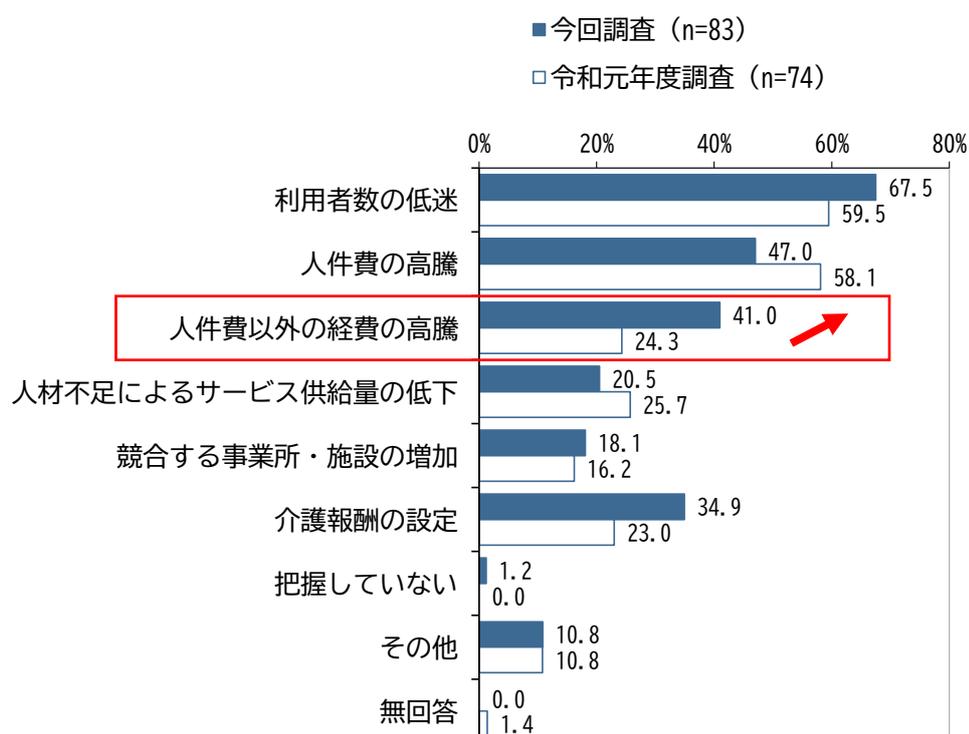
8 赤字の主な理由

「人件費以外の経費の高騰」が最も増加した項目となっている。

赤字の主な理由については、「利用者数の低迷」が67.5%で最も高く、次いで「人件費の高騰」が47.0%、「人件費以外の経費の高騰」が41.0%と続いています。

令和元(2019)年度調査と比較すると、「人件費以外の経費の高騰」(41.0%)では、令和元(2019)年度調査(24.3%)より16.7ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 赤字の主な理由

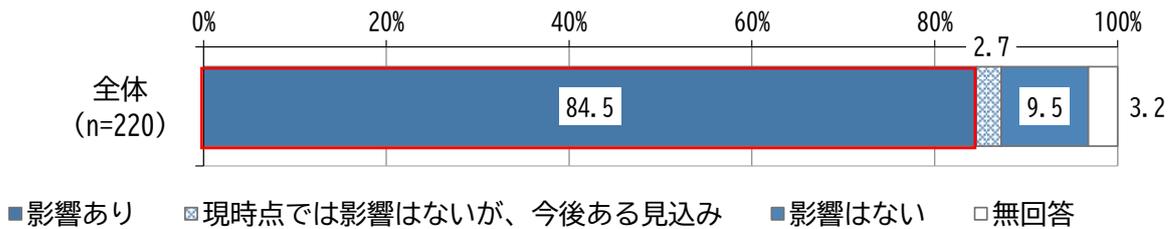


9 新型コロナウイルス感染症による影響

新型コロナウイルス感染症による影響があった事業所は 84.5%で、経営への影響については利用者の心身の不調への対応による職員の負担増」が最も多い。

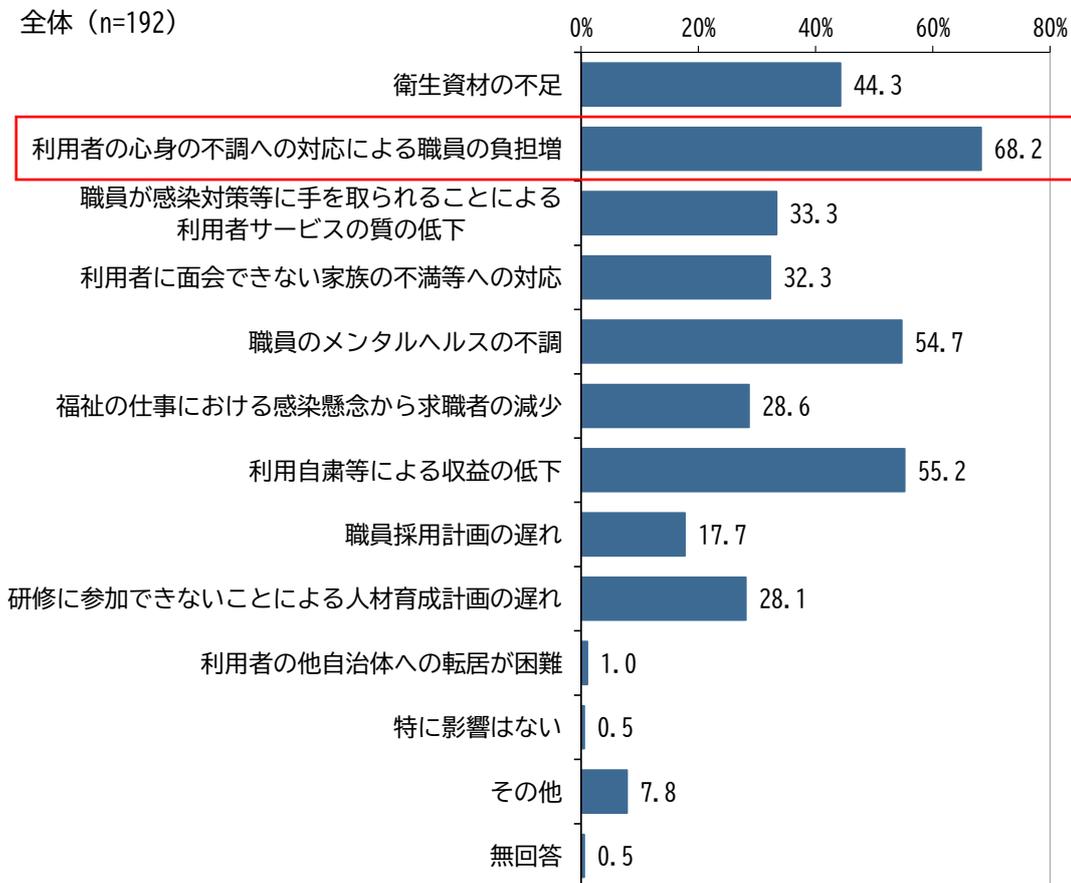
新型コロナウイルス感染症による影響の有無については、「影響あり」が 84.5%で最も高くなっています。

図表 新型コロナウイルス感染症による影響の有無



新型コロナウイルス感染症の影響による経営への影響については、「利用者の心身の不調への対応による職員の負担増」が 68.2%で最も高く、次いで「利用自粛等による収益の低下」が 55.2%、「職員のメンタルヘルスの不調」が 54.7%と続いています。

図表 新型コロナウイルス感染症の影響による経営への影響

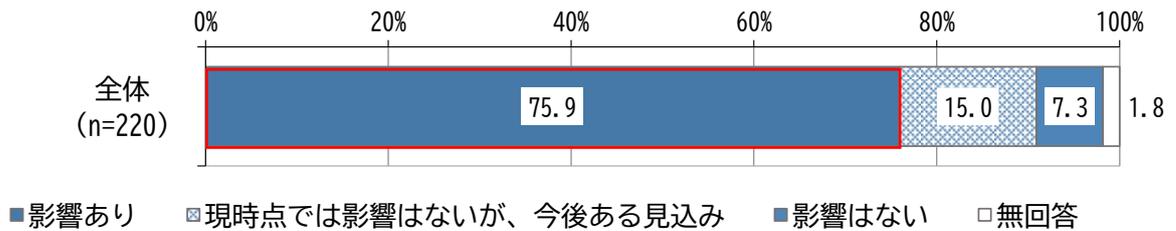


10 物価高騰による影響

物価高騰があった事業所は 75.9%で、サービス活動費用増加への影響が大きいと見込まれる勘定科目については「水道光熱費」が最も多い。

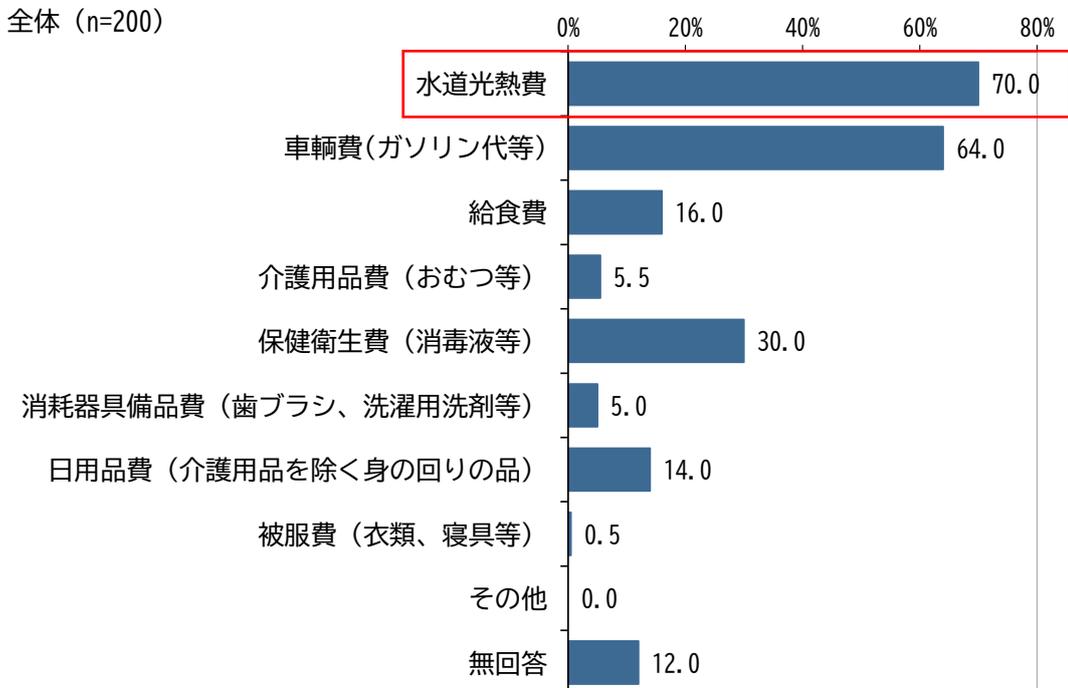
物価高騰による影響の有無については、「影響あり」が 75.9%で最も高くなっています。

図表 物価高騰による影響の有無



物価高騰による影響でサービス活動費用増加が見込まれる勘定項目については、「水道光熱費」が 70.0%で最も高く、次いで「車両費(ガソリン代等)」が 64.0%、「保健衛生費(消毒液等)」が 30.0%と続いています。

図表 4-7-7 物価高騰による影響でサービス活動費用増加が見込まれる勘定項目

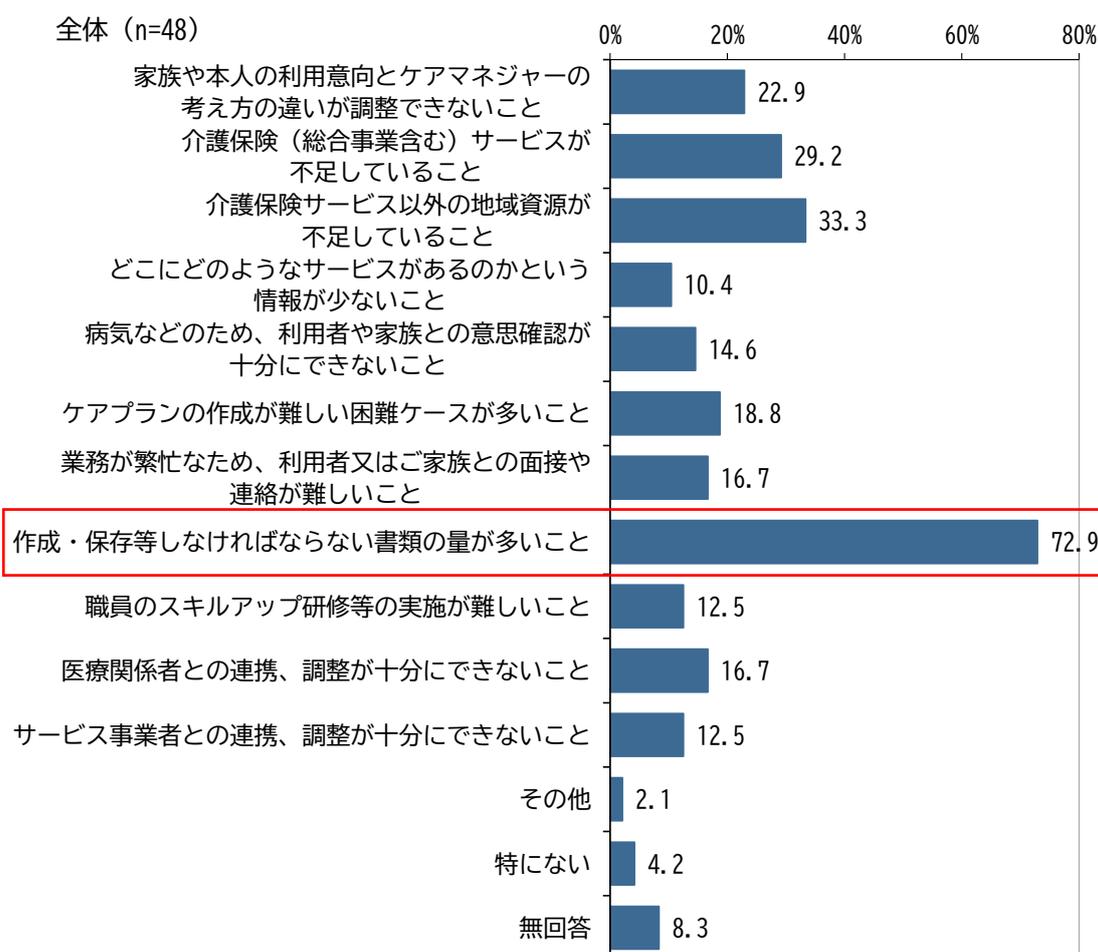


11 ケアプラン作成時の問題・課題

ケアプラン作成時の問題・課題として、「作成・保存等しなければならない書類の量が多いこと」の割合が最も高く 72.9%。

ケアプラン作成時の問題・課題については、「作成・保存等しなければならない書類の量が多いこと」が72.9%で最も高く、次いで「介護保険サービス以外の地域資源が不足していること」が33.3%、「介護保険（総合事業含む）サービスが不足していること」が29.2%と続いています。

図表 ケアプラン作成時の問題・課題



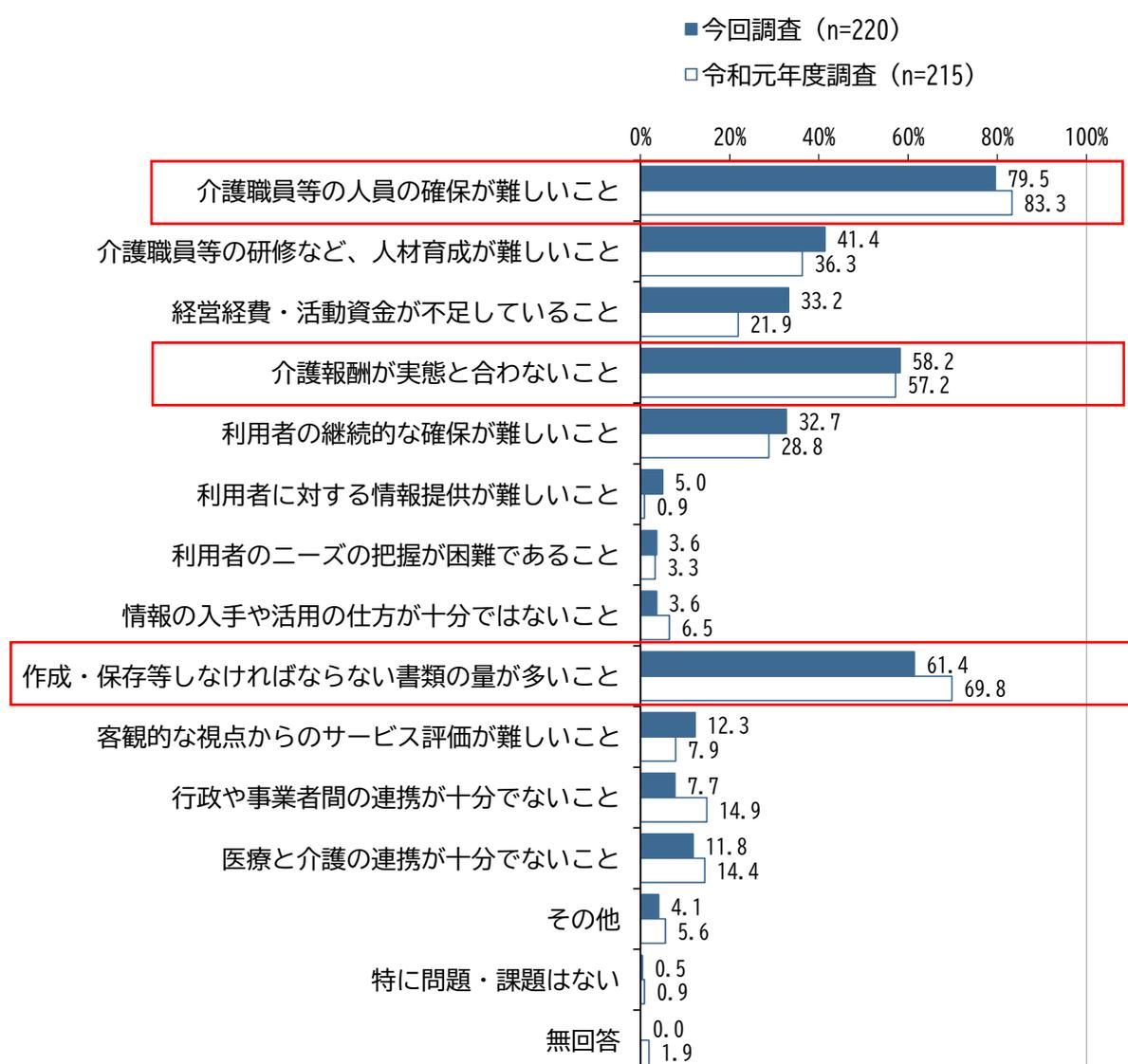
12 介護保険サービスを実施する上での課題や改善が必要なこと

介護保険サービスを実施する上での課題は「人材確保」「書類の量」「介護職員の賃金」

介護保険サービスを実施する上での課題や改善が必要なことについては、「介護職員等の人員の確保が難しいこと」が79.5%で最も高く、次いで「作成・保存等しなければならない書類の量が多いこと」が61.4%、「介護報酬が実態と合わないこと」が58.2%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「経営経費・活動資金が不足していること」（33.2%）では、令和元（2019）年度調査（21.9%）より11.3ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 介護保険サービスを実施する上での課題や改善が必要なこと



第6章 自由意見

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 49 立川市の介護保険サービス・高齢者福祉施策について、ご意見・ご要望がありましたら、お書きください。

(1) 介護についての考え・意識について

介護についての考え・意識について
・介護される様になれば判ると思う。
・介護保険は使った事がないのでわかりませんが、配偶者がいれば出来れば『自宅で家族が』基本で介護者の気分転換できる時間を作ってあげたり、介護のしかたを学ぶ講習が必要かと考える。認知症の重症の方は別としても、大なり小なり、若い時とは想像もつかない程衰えます。それも承知の上で長生きするなら、まわりに迷惑をかけない様にするために学びたい一老人です。
・年齢的にも介護の必要が近いと思うし、病気で歩行が障害あり（リハビリ中）だが6か月で保険がなくなり週2回×5,000円は負担です。社会の負担を考えたらしかたないが、今後多くの人介護が必要となるのが心配です。
・お年寄の住んだ所と言うけれど、本人が生きて居て、楽しいと思える辺で分らなくなって来る事が、いずれ来る。私はいつも思うけれど、自分で選べる死に方もあって良いと思う。長年、お年寄を見て来て、死にたいと泣かれた事もあり、口では「頑張ろう」と伝えても歩けない、ご飯も食べれない、（1人では）皆さんに迷惑掛けて迄生きていたくないと、生きたい人は頑張って生きて、選べる人はそれなりに思います。ごめんなさい。
・私は、ピンピン、コロリと天国行きを、人100倍、思う者です。家族にも、他人様にも迷惑掛けたくない。
・でも、介護が必要になった時は、仕事して、介護されたい。年金で払える範囲で。どうしても足りなかったら、行政の援助を受けさせて頂きたく思います。
・我が家には96歳の義母がおります。83歳頃から少しずつ認知症がでて、すぐに薬をのみ年に一度受診しています。そのおかげで、ある程度維持できています。主人も協力的で家の中で簡単にできる簡単な体操もしてます。“明日はわが身”なるべく社会とのつながりを大事に生活していこうと思います。
・現在介護保険サービスを受けていませんが、日々心身の衰えを実感しながら不安のうちに暮しております。安心がなによりです。相互自身努力も限界がありますが、みんなのおもいやりが大切だと思います。
・病気や体の不自由になる前の健康管理の充実に入れてもらいたい。当り前のように権利を主張する世の中は（特に女性）美德に思えない。自分に甘えない精神が必要だと思う。自己管理をお互いにしっかりして高齢化社会に向き合うべきです。
・心配はしているがどうしたら良いかわからない。
・今、受けている人や家族からの問題点、相談事をしっかり聞くのが先ではないですか。まだ受けていない立場ではわからないことが多すぎて・・・。経験者の話を聞く機会が必要（ほしい）。
・その時がきたら生きるか死ぬか自分できめる。
・もし認知症になった場合、子供には頼りたくない。このような場合私自身にお金が無いためホームには入れないです。私のような人は今後どうしたらよいのでしょうか？もし動けなくなった場合は生きていたくない、今から覚悟を決めようと思う。
・家族の人の心を察知して本当のケアを望みます。人間の命にかかわる事なので。営利だけが見え見えだとやってられない、家族としては。

<ul style="list-style-type: none"> ・いずれ介護を必要とする時期が来ると思われる。今から徐々にでも介護やサービス、保険などを学んで行きたい。その勉強の場を提供なり紹介してもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・普段、考えていなかったので、むずかしい感じがしました。知らない事が多かったです。
<ul style="list-style-type: none"> ・亡くなった母が要介護2で最初から施設に入所していたため経済的な面が一番重要だった。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護はその時々で条件で色々なので今、それを考える事は出来ません。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護認知症がまだ実感できないため、今回のアンケートは想像の範囲です。でも確実にそちらに向かっているのは事実、不安半分と何なんとか頑張ろうが半分です。現在渦中にいる方は切実な問題だと思います。年齢を重ねるごとにほんとうに次から次へと病気もさることながら機能が低下して自分でもびっくりしています。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分がとりあえず何でもできる元気な状態なので、介護サービス等に今まで無関心でした。このアンケートでとても反省しています。住み慣れた地域でなるべく最後まで過ごしたいと思うので、もっと勉強しなければと思いました。自分たちの後に続く若い人たちにも立川で住み続けていく安心感を与えられるよう我々の世代がいいお手本になれるような高齢者福祉の制度や仕組みを作してほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在はほぼ健康に毎日過ごせているので、あまり具体的な意見や要望を持っていないことに気づきました。今後は“自分ごと”として考えて行こうと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・（介護に必要な物の提供が必要と思います）私は15年主人の介護に当り、家での介護の大変さはわかります。本人に対しては、家で生活する事を望んでいましたので、叱りながらも介護出来ましたが、老後の介護は大変、特に男性の重い身体を動かす事でも思うようではなかったと思いますが、本人も十分に承知しての家での介護に満足して亡くなりました。私もよかったですと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在も正社員で経理の仕事をしております。まだ介護の事について実感がありません。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化時代を明るく生きがいのある毎日を、本人と介護者、相手が送れるように皆で努力、協力したい&して頂きたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・私は認知症にならないようにいつもたべものとか、気にして生活してます。日ごろの生活をいつも気にして生活していかないと心がけることが大切です。私は近くの人に話をしたりして大切にしています。
<ul style="list-style-type: none"> ・加齢には勝てずあちこち具合が悪くなっておりますが。皆さまにはお世話にならないよう体力をつけてピンコロ!!を希望しております。夫婦で一人前です。今後共、よろしくお願い致します。※介護について勉強していきます
<ul style="list-style-type: none"> ・介護については日進月歩、日々進化して行くものと考えられると思われます。立川市も我々もアンテナをはって、その時代時代に合ったサービスや考え方を変えて行く方がよいと思います。市民、高齢者も共に勉強して行きたいと思ひます。
<ul style="list-style-type: none"> ・私は一人ものなのでしんばいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・話しは聞きますが、身近にそういう人が居ないので残念です。上手にアンケートに協力出来ず申し訳ございません。出来る事なら介護なしで死ねたらと願っている所です。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護・福祉のアンケートありがたく思います。ありがとうございます。私は今の所、足・腰も元気で朝60分、夕方60分の散歩も、一度も立ちどまる事もなく、毎日つづけています。2月になると米寿です。エレベーターも使わず手すりもつかまず元気な一人暮らしです。3Fに住んでいます。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分は1人の生活なので又体調がわるいので外に出る事があまり無い。※そういう人の事を考えてください。おねがいします。
<ul style="list-style-type: none"> ・今は骨折しているので介護の事まで考えられません
<ul style="list-style-type: none"> ・今は妻がいるが。万が一、1人に成ったときの不安あり。現在、1人暮らしの人たちが、自由がきかずとも安心して生活できることを優先することをのぞむ。人とのつきあいが、不得手で、自由に行きたいのでクイズ番組で脳を活性化させ動く努力をしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしで日々先々の健康が不安の事、病気になっても一人静かに最期を迎えられるように祈る日々です。
<ul style="list-style-type: none"> ・80歳になりましたが今現在は介護の必要性はいら無いのですが1人暮らしなのでこの先は不安です。体に

<p>気を付けて頑張って生活して行きたいと思っています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険のお世話にならずに居られる様に暮して行きたいと思います。1日1善のつもりで出来る事を頑張って暮していたいと思います。子供達の通学路のそうじ他、農作業を出来る限りして新聞を読む、テレビを見るのは今でも夜の事です。身体を動かすこと。施設の関心はあります。
<ul style="list-style-type: none"> ・一人生活なので病気になったり歩けなくなったときどうしようと考えたりします。子供は男の子二人(55才 56才)ですがあまり行き来はありません。頼めば来てくれます。身体のこと、認知症のこと心配になったら市にTELしますのでよろしくお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分自心が、介護、福祉施策に、かかわらない様に常に健康で暮したいと、思っています。その節は、宜しくお願い致します。現在生保で生活しております。〇〇〇に掛りお仕事出来なく成り大変になって、生保にお世話に成りました。
<ul style="list-style-type: none"> ・大変難かしい設問が多く苦慮しました。今現在の自分の状況（現在 85 歳）から答えることとしました。今は出来るだけストレスを溜めない生活を心掛けています。また、現在の状態をどこまで続けられるか挑戦しているところです。将来は何が起きるか誰にもわからないので、1日1日を大切に過ごす様になっています。
<ul style="list-style-type: none"> ・私は 83 歳ですが令和 2 年 12 月〇日に息子が倒れてしまい、今は車椅子で家で介護のみなさんに助けられています。自分事がわからなくなりました。

(2) 介護保険サービスについて

<p>介護保険サービスについて</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・家の近所ではなく遠くの包括センターに相談といわれ車イスをかりたことがあり、とても不便でした。今年またかりなくてはいけなくなったが、近所の福祉センターでおねがいでき、とても助かりました。立川市はひろいけど、近所でのサービスがうけられるのが一番です。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在介護予防で週1回通所しているが、色々教えていただき感謝している。歩き方から指導してくれてとても心が安心にいる。AMだけだけど、満足しています。体操の意味もTVなどで理解できるようになった。必要性があると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービスがうけやすくしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・3年前まで、のべ30年間4人の介護をしてまいりました。介護保険サービスが始まり助かりました。今ほど情報源が少なく、とても困りました。特にケアマネージャーにより大きなちがいがありました。
<ul style="list-style-type: none"> ・3年前に夫を自宅で看取りましたが、入退院を繰り返して、たつての願いだった、最後は自宅でということ、その際病院のネットワークにより、訪問介護から在宅医療他、一連の流れで、本当に御世話になったこと、今でも忘れられません。心から感謝しています。介護保険で費用も安く、大変助かりました。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設のデイサービスの減少が介護者が多くなっているのに残念です。デイサービスの施設を利用する事で病気の進行がくい止められ又介護する側の身体の休めや精神的な休養も出来ますので改善を願います。
<ul style="list-style-type: none"> ・市の介護保険サービスや高齢者福祉施策等がある事を良く知らなかった。これから注意して見、聞き致します。
<ul style="list-style-type: none"> ・主人が認知症なので、介護サービスをもう少し、親身になって、かつ施設の相談にのってもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・家族が介護保険サービスを10年以上利用して、たいへんたすかっております。
<ul style="list-style-type: none"> ・パーキンソン病の主人に対して介護サービスでたいへんお世話になり、とても良くして頂きました。ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> ・真に介護を必要としている人に対して、しっかりした保険サービスを提供していけるように望みます。
<ul style="list-style-type: none"> ・色々な広報で何かに参加したいと思っても、デイサービスに行っている時間が自分の為にかかると思ってもその時間内に終始する活動が無く、自分を大きくしたくても参加出来る行事がなく、今までに参加

<p>した事など思い出しながら日々過ごしています。長くなくてもよく短時間（60分）の活動を工夫して作って頂けたらたいへん嬉しいです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーさんの時間を続けて2時間利用可とか、出来れば夜間の見守りとか。
<ul style="list-style-type: none"> ・友人のご主人さまの介護状況を、この一年見させて頂きましたが、在宅医療（訪問介護）の充実が大切かと思いました。介護度にもよりますが、やはり各自の負担額も大変かなあとと思います。少しでも健康寿命を維持できますように、日々心がけていきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス内容の周知徹底を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ・独居、配偶者の有無によって受けられるサービスの違いはケースバイケースの配慮が欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・支援2から介護1に認定され週2回変りはないのですが時間が約2時間も長くなってしまい本人（知人）はその2時間耐えるのが苦痛（体がつかれてひしひしと頑張っているそうです）通所者のことを考えると時間は徐々にのばす方法をしたら良いのでは（人にもよりますが）逆に支援①②の人はもう少し時間をのばしたい人もいると思う。金額の問題が発生すると思いますがもちろんプラスされても納得するなら（通所者）少しでも快適に通所できるのが良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・近くに息子夫婦がいるが子供達が未だ小さい為介護は難しいと思う。その為介護が必要となった時家族の役割同様のサービスが有ると良い〈例〉訪問診療時家族が居ないと受ける事が出来ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・サービスはありがたいが、あまりにも規定がありむずかしい・・・と思った。わくにはまらないあたたかみのあるサービスがほしい・・・これから利用させて貰う者として。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在悪いところはありませんが介護の充実や保険制度サービスなどやって頂きたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・家族にも頼れない現実もあり介護保険料（今まで支払った）で家族に負担とならないサービスが受けられることを望みます。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービスや高齢者福祉施策について高齢者が増えている今、とにかく充実してほしい。介護する家族が電話で気軽に相談できるサービスなど充実してほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・保険料、サービス利用料の抑制をお願いします。サービスが必要であっても経済的理由から利用できない方が多いと聞いています。そういう方への支援も必要だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイは、あずけると体が元にもどらないで大変です。理学療法士の方にはいついていただき、マッサージなどしてもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・必要な負担が増えるのはやむを得ないので、安心してサービスが利用できる環境をつくってほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・出来るサービス、出来ないサービスを事前に利用者に明確に伝えてもらいたい。（老々介護だと何でも頼るので緊急時に対応出来ませんショック）
<ul style="list-style-type: none"> ・要介護状態にならないよう、介護予防サービスに力を入れて頂きたい。まず、歩くことから始めて欲しい。外に出歩くしくみ・システムを考え、実行して頂きたい。よろしく願いいたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・サービスを受ける時、できるだけ分かり易く説明、サービスを頂ければ有難いです。面倒だと諦めてしまいます。
<ul style="list-style-type: none"> ・今でも介護施設や通所介護（デイサービス）を利用されている方は大変助かっていると思うので不満を言ってる人はいない。ありがたい事です。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの事業者・施設の良し悪しを判断出来る書類（母が利用する時、どこが良いのか、全く判りませんでした。この声は他でも聞きました。結局何十年前の立川三小の同級生がいた〇〇ホームにしました。）
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの区域割を弾力化していただきたい。要介護者が身近な所での介護サービスを見て、参加意欲を持ったが、居住地担当の地域包括へと言われ行く気をなくしている。通にくい場所でも送迎利用者は良いがそれ以外だと利用し難くなる。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在、介護について深く考えた事はありません。デイサービス等の送迎の際、E.V.のない集合住宅ではヘルパーさんは大へん苦勞をしています。サービスばかりを提案するのではなく受け入れ側の状況も考えてほしい。（集合住宅の方はおことわりという事をではありません）
<ul style="list-style-type: none"> ・足を骨折し、介護保険を利用し、トイレなどに手すりを付けてもらいました。回復後も手すりがあるこ

とで便利さを実感しています。介護保険のおかげです。ありがとうございました。（7年前に骨折）
・老人保健施設に入所したり、訪問介護や通所介護などのサービスを沢山受けられ感謝しております。今は、病院におります。アンケートお役にたてず申し訳ありませんでした。
・夫は要介護3となり、自宅にてサービスを受け数年すごしました。ケアマネージャーさん、訪問リハビリ等、皆様に感謝でいっぱいでした。今は介護ありの老人ホームお世話になっております。
・まだ介護は必要ではないのですが、実際に介護が必要になった時、まず何をどうすればと思います。なるべく長く元気で一人で身のまわりの事、等出来れば幸福です。
・介護の経験がないので、具体的なことはわかりません。

(3) 介護保険施設・高齢者向け住宅等について

介護保険施設・高齢者向け住宅等について
・年金生活者ですので安く入れる施設を充実して多くつくってほしい。
・老人ホームの充実件数。
・特別養護老人ホームに待たなくても入れるようにしてほしい。
・直営の福祉施設を増やす事、介護者の手当を確保する事。
・空家や1人暮らしの高齢者が増加しており、不動産の有効活用、発想の転換による公営の集団居住空間が求められている。立川市とデベロッパーとの協同開発による高齢者向けの居住空間が望まれる。
・府中市等では市がシニア向けのマンションを建設したとの事。そういう施設が何年か計画でできればと期待しています。
・だれでもが希望すれば入れるよう施設の整備と情報提供を充実させてほしい。経験から在宅介護は本当に大変です。
・安心して利用できる施設をひとつでも多く造って欲しい。
・家族がいない人やいてもそれぞれ生活がいろいろで介護ができない人が多いと思うので、特別養護老人ホーム等を増やしてほしいです。
・コミュニティホーム等の設立。
・(同居している子供です。下記、意見です)
・介護施設を週一度利用していますが、受ける側の意見(利用時間、治療内容)などを取り入れてほしい、と本人が言っています。
・いくつか介護施設を見学しましたが、狭いスペースに数十人の利用者の方が押し詰め状態でびっくりしました。もう少し広いスペースでゆったりと利用できたらいいのでは、と思います。また、このように意見を聞いてもらえる機会はとてもいいと思いますのでまた宜しくお願いします。
・以前、支援センターにお世話になったことがあり、とても感謝しています。ありがとうございました。認知症の場合、人や環境に慣れることが、徐々にむずかしくなり、施設を移る時は不安です。同じ施設で最後の時まで、できれば市内、自宅の近くで暮らせるようになるといいなと思います。
・立川市政に対して感謝の念と信頼感をもっていましたがコロナ第一回目の予約の件では本当に大変な思いをしました。TELはかからないしスマホなども使いこなせない不安のみでした。窮極の事態になると老人は切りすてか？と実感しました。又介護の件でも家族にだけにまかせっきりでなく、老人が安心して最後を迎えられる様な施設がほしいと思います。よろしくお願い致します。
・これからも年金生活者がいっぱいできると思います。年金額のひくい人でも安心して入れるような施設がいっぱいできてくれればいいなと思います。
・社会福祉施設をできるだけ近距離に設けてほしい。また行政の特徴あるサービスの向上に努めてほしい。
・年金で賄える程度のサービス付きの高齢者住宅を増やして欲しい

(4) 行政への要望について

行政への要望について
相談支援
<ul style="list-style-type: none"> ・まだ自分が元気なので、ピンときませんが介護が必要になったら、介護保険を使わざるえない。でも使わないで終わりたいと思っています。窓口の方がとてもやさしくなり感じが良く相談者には、時間をかけて聞いて下さい。 ・まだ元気にしていますが、もっと高齢になったら相談したいと思います。 ・初の巡回相談員による訪問を通しての従来相談のシステムづくりの強化をお願いします。 ・介護するうえで地域のサポート 包括センターの方に相談したり、24時間相談できる事を望む。支援をしてほしいかなと思います。 ・義母の介護が始まったのが介護保険サービスが始まった頃。窓口が一本化されておらずたら一回しに。今は違うとは思いますが一本化された窓口で全ての相談ができると良いと思う。介護はほんとうに大変で何度となく自分（介護をする側）を消してしまいたかった。一步ふみ込んだ相談もできるように本当に困っている家族を助けてほしい。 ・介護者が孤立しないよう、よろしくをお願いします。まだ、年寄2人、元気でするので、実感はわかりませんが、すぐ相談できるところが、充実していれば良いと思います。まずは相談。 ・健康な人、病気を持って居る人、いろいろな方を曜日別に窓口を作り、その人の能力に合った生活を相談して良い生き方を教えてほしいです。宜しくお願い致します。教えて下さる人がいれば行動出来ます。 ・日頃の悩みを相談する場所、人材等が非常に大切なことだと思います。実際は、受付けて貰えるところがないのが現状ではないでしょうか。個人のことは、問題として考えて頂いていないように思っております。相談料金を支払って問題解決に知恵をおかりしたいと切望します。窓口がみつかりません。知識不足とおしかりを受けるかもしれませんが。 ・介護全般、相談窓口を充実（詳細な手続きが出来る窓口案内） ・いざ家族が認知症になった時、市に相談する予定ですが、他に相談出来る所があれば知りたいと思う。中々市報では読み切れない場合があるので、高齢者向け情報の冊子が欲しいです。 ・私の親で地域包括支援センターでよく世話になりまして良く相談にのって下さり私はたいへん感謝しています。60代に入り今度は自分がそのような立場になりつつあると実感しています。良くしていただいたのでこれ以上望みませんがよく話し合っただけだったのでよかったです。対話が本当に大事だと思いました。
金銭補助
<ul style="list-style-type: none"> ・年金収入に比べ、年毎に医療費の負担が増加しているのが現状。市への税金納入額の減額などしていただきたい。また、補聴器は高すぎます、ぜひ一定額のサポートをしていただきたい。 ・財政援助をキメ細かく行っていただきたい。 ・お世話になる事になった時経済的お世話になる場所が必要です。 ・年金は上がる事はないので家賃の助成、減額など考えて欲しい ・高齢者が安心して住み続ける様な町作りをして欲しい ・私自身足の不自由（事故により）を感じている上、母の在宅介護をしている為勤めに出る事が出来ず、経済的には大変です。何か、色々な支援をしていただければと思っています。 ・身体障害者用日常生活用具の購入援助の維持継続をお願いしたい。 ・子供 高校生まで、老人 65歳以上の医療費用を安く
高齢者福祉施策
<ul style="list-style-type: none"> ・今の世の中、子育てに関する福祉対策は多くの支援が多々有り、重要性も分からないでもないが、老人福祉がおざなりになってはいないか？と疑問に思っています。本当に困っている老人はたくさんいます！！ ・関係がないかも知れませんが、先日免許返納したのですがそれに対して利用出来る施設とかサービスが

立川はとても少ないです。協力してくれる企業が少ないと言う事でとても残念です（介護保険とは関係ないけど）。
・高齢者のみの生活に対し、介護は必要とされなくても日常に不安を感じたり、福祉へ発信が出きない人は多いと思います。福祉からの働きかけを増やしてもらいたい。介護者・介助者のストレスがたまれば介護される側にもよくないと思われる。
・持ち家に一人又は夫婦で住む高齢者の家の改修費の補助金を出してほしい。公営住宅に入居を希望する人には、入居金を多少払ってでも入居資格を与えてほしい。夏季、冬季の電気代補助金を出してほしい。タクシー割引券（できれば半額に）を出してほしい。
・高齢者で健康な人が高い介護保険料を支払っているので何とか健康な私達にもサービスを考えて欲しい。
・介護が必要であっても家の中を見せたくないと拒否する人が多い。さりげなくパトロールなど継続し、パンフレットを置くなどして、家族の中のキーパーソンとなる人に働きかけて、デイサービス等の支援につながるように積極的に働きかけてほしい。
・泉体育館の「みんなでストレッチ」に参加しているが（必ずしも高齢者福祉施策ではないと思うが、介護予防にはなっている）、男性の参加者がきわめて少ない。男性を家から引っぱり出す仕組みを考えれば、男性の健康寿命が延びるのではないだろうか。
・60歳を迎えたら高齢者向けのストレッチ等、筋肉のおとろえ対策の運動を日々の生活に取り入れ、実行する住民を増して行く支援対策と運動を広めてほしい。
・〇〇病院に通っているが運転出来なくなったら交通手段がないので心配している。くるりんバスを、病院に寄る便も考えてほしい。以前にはあったそうですが市内に出るより近いので・・・ぜひお願いします。
・一人暮らしの場合、緊急事態の場合、外部に分かるブザーなどがあると良い ・転倒した時などに必要 交通の便が悪いので“くるりんバス”を増やして欲しい
・高齢者の活動の為に、くるりんバスに変わる足の確保（ワゴンタクシー、デマンド交通）を早急をお願いしたい。
・◎健康増進・介護予防のための筋力・体力作りに、市の体育館をシニアに開放して頂ける日が月に3回程あればありがたい。 ◎広報を毎月見っていますが、月に一度だったり、人数が少なく申込み順だったり、参加しにくいです。継続して活動していける様に。 ◎ラジオ体操を地域活動にとり入れて、立川市全体が絆を強くし健康な市民になれば本当に嬉しいです。広島市・船橋市などの様に。
・問26◎センサーによる見守り、これに期待します。勝手なことばかり言って申し訳ありません。私など口ばかりで皆さんに感謝しているところです。
・老人の買物や病院へ通う為の交通手段が余りにも他市との境付近は不便で差別があると思います。駅前周辺ばかりでなく同じ税金を支払っているのに選挙の時だけ都合の良い事ばかりで予算の配分を考えて頂きたいです。
・バス便がほとんどない状態を市の補助によって何とか増やして頂きたいです タクシー代が大変なのです。
・以前にくらべて立川市も住みやすい町になっていると思います。駅から（立川駅）少し離れると交通の便が悪いと思います（バス等）よろしくお願い致します
・高齢者でも年金が少し多いだけでバスカードが1000円もらえなくて主人は2万にもなるので、使っていませんが、70才以上はみんな病院通いが多くなって、車も乗っていないから、バスしかないのに、主人は84才で病院へ行く事が多くなってます。バスカードが1000円だったらたすかります。又どうしてもタクシーを利用する事も多くなりました。タクシー代金の補助もあつたら助かります。
・車椅子を気軽に借りられる、レンタルシステムがあると有難いと思う。 ・タクシーを呼ぶ程の距離ではないが、クリニック等に行くのに大変な思いをしている人がだんだん増え

<p>て来ています。付き添う御家族の為にも、気軽に車椅子のレンタルシステムがあると良かったと思っています。（経験として）</p>
<p>・現在介護中（高齢者を）です。車いすでの車利用です。介護タクシーの台数増と、補助制度があったら…と常々思っています。</p>
<p>・〇町の国分寺市寄り、くるりんバスがなく、立川駅や市役所、災害医療センターなどに行くのに不便です。せめて、1日に数本だけでも走ってくれると助かります。（自家用車を運転することが減り、事故防止になる）</p> <p>・成年後見制度を利用した時の、デメリット（報酬が必要で、被後見人が死ぬまで、止められない等）のアナウンスも必要と思います。</p>
<p>・立川市西の外れの住まいのため買い物・外出に不便 車の運転もできなくなったら、日用品の買い物も出来ない。今はできるが介護状態になったら不安なので何か良い案があればうれしい。くるりんバスはとても助かってるのもっと充実してほしいと思う。近くにスーパーもないので住んでいくのが不安。</p>
<p>・外出がしづらい高齢者のための足の便を考えて下さい。劇場等のエレベーター、エスカレーターの完備</p>
<p>・バス停から自宅まで遠いので、コミュニティバスが一週一度でも走ってくれると良いと思う。</p>
<p>・地域により日常生活を過ごすことの利便性に差があります。くるりんバスのルートにしても、公共施設等への行きやすいルートを考えて欲しい。市境で生活しているので、同居の家族も高齢になっているので、これからの生活に不安を感じています。</p>
<p>・①足の悪い人にとって、歩道からバスに乗りやすい工事をしてほしい。 ②スマホを使って、安全確認が出来るシステムを作ってほしい。 ③団地内にスーパーの出店を誘致してほしい。 ④孤独老人の葬儀の有料請負システムを作ってほしい。</p>
<p>・健康な方を集めて各々特技などを利用出来る組織作りが必要です。その指導者を育てるべきではないか？</p>
<p>・高齢者グループの地域ボランティアをしている所に元気で生きがいを持って活動してもらえる様支援してほしい。無償ボランティアではさそいづらい。又認めてもらえてると感じられなくて参加者につながらない。活動の種類もあるが昼食代ぐらいはお願いしたい。</p>
<p>・老人会に入り独居や日中一人の方を訪問することがあります。コミュニケーション不足を痛感します。出かけられない方のお話をする訪問があればと思います。がんばってください。元気なうちは、お役に立てればと思います。</p>
<p>・介護認定がなくても、ひとり生活者等に対して何らかの支援をしてほしい（デイサービスに通う等）</p>
<p>・養母 95 歳まで 10 年間介護して感じた事。立川市のおむつ補助金は 5,000 円と他市にくらべて少ない気がします。おむつは必ず必要になってくるので、もう少し補助出来たら良いと思います。</p>
<p>・立川市の高齢者福祉について、本当にシンケンに取り組んでいるのかを、感じる時がある。対応した人が、新人だったかも、教育の仕方を考えてほしいです。</p>
<p>・妻が要介護3・・・夫（自分）が元気が為何の支援もなく風呂の手すり、外階段に手すり、歩行器借用し設置借用しているが家事へのサービスが何もない・・・何とかしてほしい。</p>
<p>・立川市はこのようなことが充実しているから、少し安心ということがあるともう少しで 80 才になる私は嬉しいです。考えても心配ばかりで心が休まりません。</p>
<p>・シルバー大学を利用させていただいて満足しております。これからも生きがいの場所を続けられるようにお願い致します。</p>
<p>・介護保険とは違いますが、立川市はシルバー大学の制度が有り、要支援を受ける位の方が足を引きずり、福祉会館に通って来ますが、福祉会館での活動を積極的に利用し頑張りぬいております。お願いとして施設の管理は大変と思いますが、私達の通っている会館はきびしすぎて、言葉づかいなど、一部ですが人材教育を働いている人に是非お願いしたいと思います。</p>
<p>・シルバー人材センターでの会費はなぜ！無料で登録しても充分だと思う。</p>

居場所づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・介護、認知症で本人（被介護者）、介護者共が、困った時、相談したい時、話したい時に、いつでも（夜間、早朝は別にして）、行ける場所が、あると良いと思う。日時限定の何々～カフェとかは、使いづらいように思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・1人で生活している高齢者が多いと思います。私も今現在1人で誰とも会わず話も出来ず買物に行ってもひとことも話をせずです。集ってお茶をのんだり話をしたりする場所をたくさん作ってほしいですし、公的な場所、図書館とか市役所の一部に作ってほしいです。人とのつながりがまったくありません。おねがいします。
<ul style="list-style-type: none"> ・会話が充実する事を期待しています。それには、集まる場所を、軽く入れる場所、音楽でもカフェでも、場所作りを考えてほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・老人の居場所が少ないと思う。遊び場もお茶する所も無し、活動場もない。市役所は遠いし選挙場も80歳過ぎたらさらさら行く気なし とくに雨の日は・・・（棄権はしたくないが・・・）囲碁、将棋、カラオケ、マージャン安心して遊ばして欲しい。戦争終戦と切り抜け若い人の遊び場は多くたくさん有るのに・・・年寄の愚痴です、悪しからず
広報・周知
<ul style="list-style-type: none"> ・まずは一目瞭然にする 介護に特化して紙面を作り、そのみにわかりやすく、絵・図面・記号など使って文字を少なくして説明する⇒昔のスゴロクのようなものにする。（順番を追って別紙に具体的説明を箇条書きで入れる）相談内容・相談場所・電話…高齢者の家に配布する。
<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい文章、かみくだいた言葉によるおしらせ。（専門用語などでの広報では内容が不明「わかりにくい」）
<ul style="list-style-type: none"> ・介護経験があり、市からの情報はあまりありませんでした。ケアマネージャーがとても親身になり、相談にのってくださりいろいろな情報も提供してもらえたので助かりました。市にはもっと気軽に相談出来る場があると良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと各種の情報を多くしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・私は立川に転居し10ヵ月です。立川の良さは全然わかりません。行政に関して。私はマンションに住んでおります。市の方がマンションに来られて一度市の行政のサービスについて説明してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・食育の大切さを、広報した方が良いと思います
<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい広報を繰り返しお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇町の福祉施策等や知りたい事を時間を作って教えて頂きに行きたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・独居者が困った時に対応（即）出来る窓口がわかるようにする（周知）（核家族化しており、家族も遠方におり、それぞれの生活があり、対応が遅れるため）
<ul style="list-style-type: none"> ・介護までいかないまでも、身体の不安及び心の不安を相談できる窓口をつくってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・改めて知らないことが多いことに気づきました。情報の発信をよろしくお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・どこに何があってどの様な活動をしているのか？健康増進活動が出来る施設や取組み内容等、広報して欲しいし利用出来る環境を整えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・かなり個人的な生活状況を明らかにしなければならない事なので、相談できる場所の確保をお願いしたいと思います。今のところ自力で生活できていますが親は無く兄弟も無く子供もいないという状況なので、夫に先立たれたら自分が動けなくなるという事に非常に不安を感じている状態です。
<ul style="list-style-type: none"> ・家族や配偶者など介護する者が、孤立することをなくすため、市からの情報提供など色々なサービスが必要
<ul style="list-style-type: none"> ・今の所健康についての不安はさほど有りません。ボランティアやサポートが参加しやすいように情報提供していただけたらと思います（気が付かなかっただけかもしれませんが…）
<ul style="list-style-type: none"> ・立川市が実施している介護サービスの実情を具体的に広報して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・情報が少ないと思います。（情報は分かりやすく）
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス、施策を知らない事が多い。周知の施策充実を要望します。

<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターは一般に知られていない。もっと広報活動を。
<ul style="list-style-type: none"> ・住民（特に高齢者）にもっとサービスや施設・施策について周知してもらう情報を、発信してほしいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報等で私達に情報の伝達をいっぱいしてください。自分なりに出来る事は自分でやって自身を守って行きたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・サービスや支援等情報発信を多くしてほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・10年ほど前、親の遠距離介護と夫の介護が重なり私も体を壊してしまいました、もし介護サービスを知っていたらどう違ったのか？常識の様に広まる事を願います。
<ul style="list-style-type: none"> ・大変なご苦労続くことありがとうございます。どの程度のサービスが受けられるのか知らない人ばかりです、どの方がいくらかかるか、口にしません。サービス事業者を選ぶのも苦労の様子、長い間保険を納めていてもそれが頼りになるのかははっきり言えない何かあるのでしょうか、決して安いと言えないと皆さん保険が使いづらだけで・・・本当にご苦勞かけて個人的に認知にもならず死にたいです、市のサービス予防があるなら日常の中で知らせて下さい。市報とか。
<ul style="list-style-type: none"> ・まだ、これから介護の必要な年齢になっていき、今後の不安も感じてくるので、市の行政の中でのこの事業の充実を希望する。市民にどのようなサービスがあり、介護生活に不自由しないよう対策を考えていって欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・普段関係の無い（知ろうとしない）市民に多くの情報等を「イヤ」でも目立つ「カタチ」で認識させる。（市にとって都合の悪い現実も細かく知らせるべき）行政は組織を作って体面を守っていないか？
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス・事業全般について、周知・広報をお願いします！！
<ul style="list-style-type: none"> ・まだ健康で仕事をしている為、今のところ真剣に考えていない。ただ、いつ必要な状況になるかもわからないので市からの情報発信は、多くお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症も含めて介護が必要になった時の相談窓口を詳細にした冊子があれば持っていたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・今は、かろうじて介護無し状態ですが、今後2～3年以内に必要になってくるので、市のお知らせ、相談窓口の充実と共に、事前に情報の発信と声かけをお願いします。
<h3>介護者への支援</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での介護は大変で限界があると思うので家族が利用できる、施設やネットワークが必要だと思う
<ul style="list-style-type: none"> ・介護を受けていないので今は思いつかないが、介護をする家族の負担を出来るだけ軽減する施策を実現してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・老老介護による不幸な事件が起こらない様、特に認知症介護の家族に対しできる限り、家族に必要以上の負担が掛からない様な市の支援を望む。
<ul style="list-style-type: none"> ・家族に介護が必要な人が出た時に、相談できる所の広報を大きく報道。周知させる。介護で疲れた人への手当。（時間・お金）
<h3>その他</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ・この様なアンケートも必要でしょうが、事は急を要すると思いますので市長様はじめとして、介護保険・高齢者福祉に対し、今まで以上の意識・予算を高めて施策して頂きますよう切にお願いいたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・ムダな施設を作ったり目の届かない組織にマル投げすることなく必要な事を努力で行ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護認定に1ヶ月もかかりすぎる。それでは、いろいろな準備が出来ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・いつまでも介護を必要ないよう健康でいたいと思いますが年を取ってくると自分ではわからない事が起きると思いますので、その時の事が心配になることがあります。自分で自分の事が何事もできなくなってしまった時に市の十分な対応が必要だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・老いは誰でもきます。甘える事なく堂々と生きていきたいです。福祉施策のより一層の頑張りに期待します。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護者の金銭的、肉体的、精神的負担は非常に大きく重たい物です。被介護者と同時に介護者へのサポートを充実させて欲しいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護全般についてのネットワークづくり

・若葉小跡地に老人館等作ってほしい。
・在宅医療を行う診療所が増えることを望む。
・今のところは介護、福祉のサービスを受けなくても日常生活に心配は有りません。皆さん、介護保険サービス高齢者福祉施策などよく見ていただいています。市はよく支援をしていると思います。
・立川市は高齢者福祉が他市より充実しています。（他市の友人の意見）日頃のご努力に感謝しております。ありがとうございます。
・介護保険制度、ありがたいことと思いますが、私は85歳まだ利用していませんが手続きなどわかりやすく安心して利用できるように思います。又、反対にこれからも保険料上がり続け少ない年金が差し引きが困ります。利用する時は、又支払うことに心配。
・介護保険についてはまだ現在会社員でまだ3年75歳までは勤める予定ですので考える余裕がありません。しかし仕事をやめると心配です。認知症になる可能性はあります。介護について良い保障を追求してもらいたいと思います。
・我が家の場合、母が身体障がい者で介護している娘の私は愛の手帳を持っている知的障がい者です。未熟児発達障がいでも背骨など曲がっていたり、手（右）がふるえたり、人並みに出来ないというハンデもあります。そういう点でどうしたら良いのかわかりやすく説明して下さると助かります。
・要支援介護サービスが市に移管されると聞きました。市の業務が大変になることが予想されますが、総力を持って推進していただきたいと存じます。
・今、住んでいる地域を見ると、一人住まいの高齢者が多いです。いざ、具合が悪くなった時、どうしようという人が多いですね。地域の見守りが大事ですね。充実した内容で、安価でおねがいしたいです。
・アンケート（内容）、結果を分析、研究され、より良い介護保険サービスの充実に活かしていただければ幸い。
・急に支援を受けたい時の為の救急支援が受けられるような制度があったら助かると思います。
・1年毎に高齢になって来ているので前年度とは又違ったやり方ではスピードが違って来ています。ライフスタイルが速く変わります。ヘルパーも年を取りますよ。
・他市に住んでいた時両親の介護をしていたのですが父親は介護認定が下りず認定が下りた時には既に他界してしまい、母親は特養に入所できたのですが五日市の山奥。立川市では介護を受けたい人がいち早く受けられるようにしてほしいです。
・他の課ですが伝えて下さい 他の意見ですが地域に民生委員が居らしいが一度も挨拶に来たことがない 誰が担当でどの様な世話をしているのかわからない 民生委員会で高齢者とのつながりをもっと密にして頂きたい ただの名誉職におさまっていないでほしい。
・高齢者が増え続けると思います。病院へ行っても高齢者ばかりで病院へ行かなくても一人住まいの人は特に何かボランティア、市職員が支え合える組織があるといいと思います。もう一步踏み込んだ支えをしても良いと思います。子供の事件でも行政がもう少し見ていたらと思うことも多々あります。高齢者も同じです。
・市の役割は、介護保険サービスが市民にゆき届くような仕組みづくりに注力し、実際に動く人は、社協、民生委員、ボランティアが行う枠組みがあるが、これがもっと生き生きとした実効性あるものとするべきと思う。
・一人暮らしの方に・・・と始まる挨拶に加えて、亡くなられた人の死因を尋ねるような民生委員は苦痛、悲痛を与える不用の訪問客。無神経で人間性を疑います。人生経験豊かな心根の優しい方に訪問されたいと思いました。しばらくその時の気持ちは癒えませんでした。民生委員の養成を希望します。
・何かあったとき（体調、事故等）すぐに対応してくれる機関があればと思います。
・国の政策に同調せず立川市としての独自の意見もどんどん取り入れてほしいと思います。
・誰もが安心して楽しく生活できる町づくりを。
・私の当面の不安は死後のことです（始末）。ある市ではすでに有る終活登録のようなあんしんセンターを立ち上げると多くの孤立している老人が助かると思います。

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が安心して暮らせる地域策作り
<ul style="list-style-type: none"> ・今のままで充分だと思います。きりが無い。私は母子家庭、4人兄弟で育ち、お金の大切さはよくわかってます。健康に注意し、食事や・・・etc（自分の体が財産）枯れるように死んでいきたいと思います。それより子供達に体・知の教育にお金をかけてやってください。私も含め今の老人は欲張りすぎ。未来の子供たちにお金をかけて・・・
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が安心して生活できるような、人的、経済的、医療的施設の応援をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・立川市は箱物を作らずに、もっと高齢者のために助成すべき。例えば補聴器の補助など！！根川とかその他の緑地のトイレベンチなどやる事！！いっぱいある。北口ばかり力をいれなくて、南口方面にも力を入れてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・1人暮らしを不安なく過せるような立川市になるように希望。
<ul style="list-style-type: none"> ・近所にスポーツ施設（地域活動的）で週1~2回運動が出来る所が欲しいと思っています
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険、調べに来る人、1時間くらいでとおり一辺倒で決めてほしくないです。強く言いたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・町の散歩は車や自転車がなくて怖い。大きな公園があるといいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の狭いところ、段差で歩きづらいところがある。又、民家の木等がはみだして歩道が確保出来ない場所がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・まだ介護保険を利用していませんので意見はありませんが、要望は上記の問47、問48のことに力を入れていただきたいと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のネットワークづくりは現実的には難しいと思う。それに代わる仕組みはどうしたら良いのか？個人ではよく分からないので市で考えていただきたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の市の取り組みの維持と更なる充実を期待します
<ul style="list-style-type: none"> ・夜、自動車や自転車などのライトがまぶしく手で目をおおったりして歩いたりします。歩道など歩道を走ってくる自転車のライトをつけてくると何とかがつきそうになります。LEDライトを少しまっすぐから歩道にダウンしてもらえると多少は良いのかと思います。LEDの光も以前より強い自分たちの道すじを灯らすだけでなく、相手も光を直接うけるということを市の方で呼びかけて頂きたいです（ライトダウンで）
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応の連絡がすみやかに出来ること。 ・病院への救急搬送のシステムの充実をお願い致します。
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会と比べると市の職員の対応が遅いと感じています。市の職員は定期的な移動があり、くだけた表現ですが人により差が大きく「当たり外れが大きい」と感じています。人材育成が遅れていると感じるところです。
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉会館の活用を60才以上と限らず、子育て世代の若い人達に開放し多世代交流の場として有効利用して欲しい！
<ul style="list-style-type: none"> ・現在、主人は介護不用ですが数年以内には介護が必要に成ります。そうなった時市の介護相談窓口、ケアマネージャーさんのお世話に成ると思います 強い味方を期待しています。市役所の対応が昔とちがいに素晴らしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護については、今後もっと大変な事業となります。一層の向上を願います。
<ul style="list-style-type: none"> ・テレビで放送されていますが「带状疱疹」について、ワクチンの接種補助金が支給されれば有難いです。1回20,000円で2回接種ですので40,000円かかります。御検討をお願いします。支援！！
<ul style="list-style-type: none"> ・立川市は充実している自治体だと思う。さらに充実するよう努力してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・細かくアンケートをとって、さも充実させようとしているかのような態度は見せかけだけだと思える。文書で資料として残せば思わせぶりはできますからネ。差しのべた手先と相手の手の間は「不可能」「しないヨ」と言う距離がある。実行しない、実行できない事を「あわれみ」と表現におかみ、上から見下す態度に腹が立つ。やるなら静かに着々とやりなさい。
<ul style="list-style-type: none"> ・立川市政に対して感謝の念と信頼感をもっていましたがコロナ第一回目の予約の件では本当に大変な思いをしました。TELはかからないしスマホなどとても使いこなせない不安のみでした。窮極の事態に

なると老人は切りすてか？と実感しました。又介護の件でも家族にだけにまかせっきりでなく、老人が安心して最後を迎えられる様な施設がほしいと思います。よろしく願い致します。

(5) 介護サービス事業所の人材について

介護サービス事業所の人材について
<ul style="list-style-type: none"> ・単身の高齢者です。介護のお仕事は大変な事だと認識しております。低年金者ではありますが介護の方々の給料なり時給、待遇を考えてあげたら～といつも感じます。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サービスと介護職員の仕事の軽減、給与アップによる定着率を上げられたら良いのになあと感じます。
<ul style="list-style-type: none"> ・両親の介護をして、ケアマネージャーさんやヘルパーさん、訪問看護の方に恵まれ助けていただきました。自分達が介護を受ける時に人材不足や施設の不足が心配です。地域包括支援センターの閉鎖など、とまどうこともあると思います。ケアマネージャーさんの変更などその様な時の相談に乗ってもらう場所がほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス事業に従事する介護者の労働対価を適切に上昇し消費税値上げと言っていた財源を充実させ実行させるべく厚労省をはじめ共に強力で圧力をかけるべきで、直接関係する自治体として絶え間なく働きかけをする力を持っていると思うので大いに期待している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネの質の向上を！！何もわからずケアマネだけがたのみの綱の時のやさしさ、色々、親身になって下さる方には、本当に頭がさがります。でも、反対にその一言で、きずつく人もいて、本当に聞きたい事も聞けず悩んでいる人もたくさんいる事も知って下さい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーの質の向上を期待します。ヘルパーさんの人間性のことなので、難しいとは思いますが、家の物を持ち出される等を聞いたことがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ・大変なお仕事だと思う。姉を見て頂いて良く分かります。介護者に資金を増やしてあげる人が足りないのは一番そこだと思う。と言ってどこからだす、利用者さんから、これもむずかしい。資格を持っていても職につかずにいる人も多い。もったいない。ほりおこしも必要！自分に何が出来るか。今 82 歳だが割と元気 他の為にかしたい ありがとうございます
<ul style="list-style-type: none"> ・主人が介護を受けてきました。訪問介護の方が洗面所を使い、又トイレも使いお茶の接待が苦になりました。最後は嫌で隠れていました。親しくなるのはいいですが、負担を感じるようになり、最後は苦痛となりましたが我慢していました。
<ul style="list-style-type: none"> ・これからホームでお世話になることが大変になると感じます。自宅で過ごせるようにサポーターを育て（収入を考えて）訪問をする回数を多くして地域で介護ができるようにしてほしいです。 ・職に就く人の給料を上げて下さい。（現場の人数が少ない）
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がいざ困った時に、しっかり対応出来る人材の育成をお願い致します。
<ul style="list-style-type: none"> ・私としては自分で行動でき、介護をまだ現実のものと感じられない。新聞やニュースで介護に関する悲しい事件などを思うと、介護職場の厳しい労働条件など感じられ、自分が払っている介護保険料を考えるとギャップを感じられる。介護に関わる人達の給与や手当をもっと良くする必要を感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・全く知識がありませんので介護される方々には（してくれる方々）、いろいろな知識をつけてほしいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・以前、介護サービスを利用した時、担当する介護者がよく代わったので心象が悪かった。
<ul style="list-style-type: none"> ・現状、周辺他市と比べ決して充実しているとは思っていません。介護にかかわる人材の育成が進んでいないように見られます（現場担当者は個人としてはよく頑張ってくださっていると思いますが）
<ul style="list-style-type: none"> ・要望として、高齢者向けの仕事にたずさわる方は（容姿、口の言い方）に差別しない様に、がんばって頂きたいです。

(6) 介護保険料について

介護保険料について
・ 今後後期高齢者の激増により介護保険サービスの利用者が増えることで市の財政ひっばくが心配です。若い人への負担が掛かりすぎないように老若バランスの取れた財政運営を何とぞよろしく願いいたします。
・ 介護保険料が高すぎる。又、年金からの天引きは良くない。詳しい説明が必要。
・ 介護が必要な人と健康で必要ない人の保険料に差をつけるべきである。
・ 高齢者保険料、もっとやすくできれば良い。保険料が高すぎる。保険、使ってなくてもとられる。
・ 介護保険料の支払が多くて困っている。皆平等に徴収されているのか？充実した制度を策定するにはそれなりの費用がかかるのはわかるが年金は金額支給されず、年間でも減額されている時に介護保険料だけは増額。国の対応が悪すぎる。介護保険料の徴収に関する質問が全くない。なぜなのか？
・ 又、反対にこれからも保険料上がり続け少ない年金が差し引きが困ります。利用する時は、又支払うことに心配
・ 介護保険料が上るばかりで大変です
・ 介護保険は年金からいや応なく差し引かれる中で、いざ自分が利用する時は、スムーズに利用出来るのかとても心配です。保険料増額、介護は低下傾向ではなんのための保険かわかりません。高齢者は増加で仕方ないのかも知れませんが国には軍拡より社会福祉に転換していただきたいです。
・ 高齢者と成ってから、介護保険料が上がるとは？収入が減るにもかかわらず、支出が増えるとは納得、理解が全く出来ません
・ 介護保険について、詳しく知らないなので、もっと身近に説明してもらえれば嬉しいです。
・ 介護保険料の引き下げを要望する
・ 健康保険料が1割から2割に変更になりました。又新聞等で介護保険料（年収規制引き下げ）がアップしそうです。反面年金は下がっています、経済面での心配が大です。自治体と国政での高齢者対策を再考すべきだと思います。昨今の物価高によりこのままではと・・・切実に感じます
・ 介護保険が高いのもう少し保険料をさげてほしいです おねがいします。
・ 設問が 50 近くあることに疲れました。重要だと思った質問「問 44」の保険料は現実には上がると見込まれるとのことですが、保険料の現在の平均的数字や、サービスの1割負担の数字の事例があると現実の問題として判断しやすいと思った。
・ 介護保険料は介護予防サービスを促進し、日々協力する高齢者を増しに行く行政の取り組みが必要である
・ 介護保険料を年金から引き落としがされているので介護保険の仕組みをもっとくわしく知りたい
・ 介護保険について詳しい事を知らない方が多く、利用できるのならアドバイスしてほしい。上から目線ではなく、優しくわかりやすい説明をしてほしいと希望します。介護保険料は高すぎます。
・ 医療保険や介護保険を使っていない人達の為に何かしてあげる事はないでしょうか 気持の問題ですので励みになると思います
・ 保険料は下げてほしい。
・ 保険料が高い！！
・ 市ではなく国への意見になるかもですが、とにかく保険料が高すぎます。少ない年金の中から毎年天引きされる額が増えています。政府のムダ使いが何も追及されておらず、その分を充当すれば日本の老人介護の費用は十分まかなえるのではないのでしょうか？今まで日本を一生けんめい支えてきてくれた高齢者（それも税収入）からこれ以上さく取するのはやめてほしいと思います。
・ 人間最後は寝た切りになり施設に入所する時がおとずれます。その時の保険料について。国民年金約1ヶ月分6万円+公的補助で毎月の支援ができれば安心して老後を過ごすことが出来ると考えている一人です。
・ 介護保険が高い？年寄りの負担が高すぎる。

<ul style="list-style-type: none"> ・市の皆さんいつもお世話になっております。本当にありがとうございます。私は今は介護ありません 元気で地域の方々と楽しくしています。ただこの先介護保険が上がるにつけ、国民年金で支払いができませんでしょうか？1ヶ月6万8000円、引き落とされてくると5万円ちょっと。生活の苦しさを……。どこに相談したら良いか？今は少し大丈夫ですが、市に相談に行きます。今77歳です。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の正しい使われ方を望みます。近くに住んでいた方で認定された時は足の（事故で）手術をしてと言う事で認定されたのでしょけれど、その後、空手着を着てさっそうと走って行く、又、自動車で出かける姿をみると、不信に思います。介護料が、増えていっている現状をみると認定後のありがたさを、考えてほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料は、前年の所得を元に算出されるが未申告者（不動産収入～借家&駐車場収入）の掘り起こしを図り、公平性を保つ様にする事。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の仕組みや運用方針は国で決め立川市はその方針によって運営しているだけなので立川市へのご意見、ご要望は運営上の課題しかかけませんが介護保険の名のもとに少ない年金より多額の保険料を天引きされた上に何の見返りもないただ収奪されるこの介護保険の仕組みは本当に必要なのか年金支給日のたびに怒りを感じさせられます。この仕組みの廃止を求めます。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料が高額過ぎる
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の保険料が2割になったのは大変である
<ul style="list-style-type: none"> ・介護を必要とする人が増えれば二か月に一回納めている保険料も当然高くなって来ると思います。年金生活者にとって日々の生活が立ち止らなくなってしまう。それを防ぐ手立てを講じて、保険料が高くない様をお願いいたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険が高いので廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・介護されない健康をありがたく思うことと介護されてないのに支払う保険料の多さに不満を持つことが本音。制度の改善を求む。（一率保険料の見直し、もしくは、りんご1コ、みかん3コ、ティッシュボックス1コでも、プレゼントしてほしい。）
<ul style="list-style-type: none"> ・現在要介護2の主人がいます。リハビリ施設・車椅子のレンタル等、介護保険を利用させてもらっています。今後利用者が増すのは目に見えていますが、保険料・利用料が増えるのは、年金生活者としては負担です。でも、必要な介護を受けられないのも困ります。
<ul style="list-style-type: none"> ・年金生活の為、介護保険料+後期高齢者保険料+健康保険料がひかれるので大変生活が苦しいです。はたして私が介護保険を受けられるのか？心配です。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料がサービスの利用が増えると上がるのはおかしいと思う。市が負担してでも利用者を増やしてほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービスの質は落とさずに、介護保険料を下げてください。他の税金の無駄遣いを無くしてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護利用者負担の原則
<ul style="list-style-type: none"> ・介護制度は予算の裏付けが必須で、年金とともに世代間の論争になりやすいもの。市なり国の予算配分等についてのアンケートも必要ではないか。聞く必要はないということではまさかないでしょうが。私は防衛費倍増などの前に社会保険制度の充実をすべきという考えです。生きる希望のない国など、守る必要はないのだから。

(7) アンケートについて

アンケートについて
<ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートについて 80代の者には細か過ぎて理解の出来ない事もあり1人ではとても大変でした苦痛なアンケートでした。
<ul style="list-style-type: none"> ・本「アンケート」を収集する事は大変良いと思いますが、1人1人が出したプライベートな項目も多い。

必ず「アンケート集計」と何の項目にどのように役立てたか結果をキチンと公表して下さい。
・設問が多すぎます。途中でまよってしまいます。
・これだけ、充実したアンケートはみごとです 今後、よろしくお願い致します ありがとうございました
・アンケート、としよりには量が多すぎ
・介護の場が必要となった経験が無くアンケート回答は難しい。
・こんなアンケートに我々の大切な税金を使うな！市の職員を各町会に派遣して生の声を吸収して市政に反映させろ！
・アンケートの結果について、どのような形で公表するんですか？興味あります。あまりの質問に、2日にかけて行いました。
・このアンケート結果について、立川市として、どの様にするかの答えを、公（おおやけ）にすることを願いたいします。
・「問い」が多すぎる。これでは年を重ねた人は答えられない。少なくすべきと思う。

(8) その他

その他
・知らないことが多すぎました。やさしく、わかりやすく介護の今後を積極的に働きかけて頂きたいと思えます。よろしくお願い致します。
・未だ経験なく的確なこと云えない。
・今現在、困っていない為意見、要望を具体的に答える事ができず申し訳ありません。
・あまり考えた事がなかった
・行政に対しての不信しかない。P8のコメント参照ください。（立川市では分譲マンション居住は納税者でありながらも、地域活動には参加できず、永遠によそ者扱いで村八分、の実情である。）
・今から出来る事は何でもお願いしたい。
・若い時はいろいろボランティア活動しましたが、認知症のサポーターはむずかしいと思いました。一人ぐらしの声かけは楽しくやらしていただきましたが最後までは見まもりができず（子供の所へ行く、施設へ入る）知らぬまに行ってしまう、ちょっとさみしい思いがあります。ボランティアの人にもきっちり知らせてあげて下さい。
・介護される人になりましたがまだまだ気付かない所が沢山ありました。頭に入れておかななくてはと思って読みましたが…これからお世話になると思います。勉強しながら読みました。ありがとうございました！！よろしくお願い致します。
・介護保険とか高齢者福祉施策はあまり実感した事がない。後期高齢保険の事もどの様に利用出来るのが良くわからない。
・全く知らない事が多いので市報、ネットで探していこうと思いました。
・よくわからなかったのでこれから勉強していきたい。
・介護に現場で機能訓練を担当させて頂き、来春退職する予定です。現場に仕事に追われる生活をしていると、外のことが解らなくなっています。これから自分が利用する側として勉強させて頂きます。
・車椅子で出掛ける時、家族が出来ない場合、すぐ車椅子を押す方をたのめるのでしょうか？
・実際、これからの事なので不安があるし、こちらに寄り添って欲しい。介護保険サービスの利用費用もどれ位必要なのか不安ある。皆さんの知恵も拝借したいです。
・立川市の介護保険サービスについてゆっくり読み返し、ご意見、ご要望が出来る様にしたいと思っています。

・遅くなりすいません。病気で寝込んでいたので。以前包活支援センターにお弁当の事で聞きに行ったら、相談をいろいろ聞いてくれて、おばをデイにかよわせることが出来て、助かりました。
・在住していながら、実態が伴わない制度であるような気がします。
・昔からくらべてみると、要介護に1.2にいかないような気がいたします。入院してから3.4になるケースがふえているのでは？
・旅行支援事業で代理店利用以外でも領収証など提出で利用できる様にしてほしい。代理店に予約して行くのも時間がかかる。
・ご意見、ご要望というよりただただ福祉保健部、介護保険料、高齢福祉課の皆様には頑張ってくださいと思っております。ありがとうございます。
・特にありません。今のところ思いつきません。☆立川市福祉保健部の皆様、お仕事大変でしょうが頑張ってください。ありがとうございました。
・今後お世話になる年齢に成るので、よりくわしい内容を勉強して行きたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。
・民生委員がいなかったら今、生きていなかった
・82歳の1人暮らしですが、いまだ民生委員が1度も来た事がない。
・民生委員という人は書面で〇〇ですという文書をポストにいただけで、会ったことも話したこともありませんが、いったい何をする人で、これはボランティアならば、来ていただかなくて（私が民生委員で担当ですなどと教えていただかなくて）結構です。
・勉強不足でおはすかしい限りでした。今後共よろしく願います。
・実の所、余りよく判らないです。
・いつも立川市民のために活動くださり感謝してます。ありがとうございます。
・すべての質問に十分な成立を望む
・特になし（ただし、インフルエンザ予防接種については無料にしてほしい）
・安楽死を認める法律を作ってもらいたい。
・一人住まいで、神経質な程健康には留意しています。理解不十分で的確な返答ができません。
・まだわからない事だらけなので意見や要望はありません
・勉強不足で良く分かりません。少しずつ、学んでいきたいと感じました。
・まだ介護を必要としていないため、要望の書きようが無く具体的に思いつかない。
・こちらこそ考える機会を与えて下さり感謝です。
・御担当者には感謝致します。老人には自由に死が選択出来ても良い時代ではないでしょうか、ありがとう
・老化は、さげられないので、悲しいですが、少子化のニュースで、経験のある高齢者を大切にしていなと感じるのは淋しいです。もっと高齢者のできることをニュースにして、敬意を払ってくださる立川市民になって欲しいと思います。
・世の中が高齢者にとって困惑する物ひとつとして、何をするにも参加してみようと思ってもスマートフォン、タブレット若者中心の世の中になっていると感じます。
・住んでいる〇〇町が昭島市、武蔵村山市に近いため、立川市に住んでいる事さえ、書類手続き以外は忘れそうになっている。今はネットの世界になっているので、私のように一人暮らしの人はスマホの操作など、丁寧に指導頂ける所があったら嬉しいと常々思う。
・問49まで一気に行き着いて自分に感心します。明日のことはわかりません！今日を一日無事にすごしたいです。（感想！！）
・今日現在、主人はシルバーで働いていますし、私も元気で過ごしていますので意見、要望は今はありません。ありがとうございます
・これからもお身体に気を付けて頑張ってください。
・幅広く奥深いアンケートの内容から立川市福祉健康、介護支援に取り組んで下さる力を嬉しく心強く感

<p>じました。日々健康寿命でいられる様心がけて参ります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・きれいではなく、食事もまずく、それが1人生活なのです。近くに参加行事など集りに男女問わず必ず近所の人をさそって一緒に行き行ける。行けば行っただけの事はあると思います。テレビと昼寝ばかりではダメです。きっとお友達が出来るとでしょう。そして話す事も出来て楽しいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・これからも高齢者の福祉活動よろしくお願い致します。いつも有りがとうございます。 <大変遅くなって申し訳ありませんでした>
<ul style="list-style-type: none"> ・立川も 20 数年住んで居ますがまあまあ住みやすい立川です
<ul style="list-style-type: none"> ・これから勉強しようと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分がいずれ施設に入ると思うので元気なうちにボランティアで自分が入りたい施設を手伝いたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分勝手な事ですが、年々この時季になると、新しい年に何かで喜んで年賀状を書いたのは何年前だろう 便りのない人…の数が多くなります。私もそろそろ仲間入りするので
<ul style="list-style-type: none"> ・私は 1940 年 6 月生まれで 4 歳の時神戸大空襲を経験、生きたまま多くの市民が性別年齢、国籍関係なく焼き殺されていく姿を子供目線で見ていました。1945 年 8 月 15 日玉音放送中は市の山の中で 2 番目の弟を焼いていました。母は 33 才。以上の経験で私は自分が生きるために医師になり、生き延びる最低要素条件は何か？本当の医療とは何か研究を続けてやっとその研究室が海外に出来上がりました。日本の進む方向で人類の運命が決まる。私は日本をこれ以上傷付けたりこわしたくない。それを祈って毎日生きています。又しばらく日本を離れます。私のホームページがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症が進んで来ると皆様にお世話になることが多くなるとは思いますがよろしくお願い致します。
<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇町、〇〇町、〇〇町と転居していますが、家具以外何でも手当たり次第もっていくストーカー空き巣。努力してきた人生を持っていく感。以前、リモコン鍵こわされ防犯カメラをつけてもダメ。警察に検証して不自由な暮らしの後始末を、ストレス疲れ、睡眠障害からぬけだすには、どこに支援を求めていけばよろしいのでしょうか。有効協力お願いします。

2 在宅介護実態調査

問 44 立川市の介護保険サービス・高齢者福祉施策について、ご意見・ご要望がありましたら、お書きください。

(1) 介護についての考え・意識について

介護についての考え・意識について
・この先どうなるのか不安 認知の人の方が元気
・介護がこんなにも大変なことなのかと、現実を知りました。
・本人が、自分の身の回りの事が出来、意思もはっきりしているので、現在は、特に問題はありますが、将来に不安はあります。
・本人は普通に生活していますが、度が進んでいる様な気がします。他人事でなく明日は我が身です。回りに迷惑をかけない様に生活していきたいと思います。
・現在は難病をかかえてもヘルパーさんの助けを借りて一人暮らしが可能ですが、症状が進んだ場合、子供達の負担にならないように対応が望めれば良いと願います。子供達には精神的に頼れて、支えてくれれば幸いです。これからも介護サービスを受けて、一人暮らしが最後まで自宅で過ごせれば充分です。宜しくお願い致します。
・よくわからない。高齢者にはシステムがわからない。図でわかるようにあったらいいかも。
・独居で年金生活、最低の預金の切り崩しての生活。昔の姥捨山があればと本人は言っています。どうか健康につとめてもお金が無いと不安で、ひもじい思いの毎日であの世からのお迎えを待っているようです。最後をむかえるまでのサービスのスムーズな手続等この状態になったら次はここというようにステップをふめるように孤独死にならないようお願いしたいです。
・できる限り自宅の生活を続けたいと思いますが、体調が悪くなった時かかりつけ医院へいけない時、(休日、夜間など)訪問していただける病院があるのか不安、自宅生活が困難になった時、年金で入れる施設がすぐ入所できるか不安。
・配偶者が高齢ですのでそこが一番問題があるのでは。他にたのんだりすると金銭的な事もおきて来る。子供達はそれぞれの家庭がありますから、頼ることはむずかしいです。このような時代は来るとわかっていたのでもっと手厚い支援というのは出来ないのか。年金は限りがありますから、生活は厳しいです。
・これから高齢化していく自分達が行政をどの程度理解できるだろうかと先々の心配をしても仕方ないと思ひ、のんきにしていますが、いざとなったら迷い不安になると思ひます。そんな時に声を荒げなくとも事前に手助けしていただけるような体制が整っていることを願ひます。
・今、認知症の検査をしています。私も出張が多い為、介護1でデイに通わせて頂ひていますが、長期出張の時、グループホームなどに、行かれると良い。被害妄想が多く、私への事が異常に多い(デイサービスより)外出する事は、自分の意志ではなく、デイのない日は誰とも会話がなひ。私自身1日に5~10回(薬のみ忘れがなひか)TELしてひます。少々耳もとおくになつてひます。
・現在は不自由なく生活をしてひるので、もう少し追いつめられたら考えると思ひます。今は、杖を借りてひます。
・父の失禁や、買い取りさぎにひっかかったり、勝手に契約するなどの奇行により、介護度を上げてくれと8月に頼むも、今のレベルだとムリと言われ止むなく仕事をやめました。その2か月後の1年毎の見直して介護度が要介護度に上がり、デイサービス等利用できるようになり仕事(再就職)につきました。が、黄だんによる再入院で、自宅でも車イス(自力で移動できず)生活になり、歩行機を使ってなんとか移動するも階段が下りれず、デイサービスにヘルパーがなひないといけなひと言われ、自費で頼むすぐには頼めなひ等々で家に居たきりになつてしまひ、やむなく仕事をやめることにしまひました。「1」のため

<p>施設に入れず自宅介護やむなく、それはいいのですが、わたしの貯金、年金がないため老後、生活保護かのため死ぬか。目先き、なんとかなってるように見え、家族ができるでしょと入所させてもらえないと介護者の老後は「0」です。子どももいなく（不妊治療したがさずからず。離婚。）国民年金が長かったため（勤め先がフルタイムなのにマイナス1時間にしてパートは厚生年金は入れない方針により）私の老後がめちゃくちゃバイです。父を施設に入れて正社員で働きたいです。</p>
<p>・ずっと年金のみで生活してきました。税金、保険料等母の方へまわす為、私自身にお金をかけています。立川市、立川警察と独居老人の為につくった会社も自シュクをいわれて3年間かかる経費100%を自分の年金でまかなってきましたが、もう無理です。</p>
<p>・夫婦二人の生活で、他に見てくれる人は、今はのぞめない。</p>

(2) 介護保険サービスについて

介護保険サービスについて
<p>・ケアマネさんには心から感謝しています。5月に本人の希望で有料のホームに入居しましたので、介護していた時に感じた事を書かせていただきました。それぞれの家族で困り事は違うと思いますが、介護者によりそう事が、当事者を救うと思っています。</p>
<p>・耳がきこえない人のために、デイサービスに行くのがいやな人もいると言う事を、もっと気付いて欲しいですネ・・・。</p>
<p>・まだ介護保険サービスを受けて日が浅いのでよくわからない。</p>
<p>・これからも独居世帯が増えていくと考えられますが、さまざまな家庭の生活状況に合わせられる介護サービスを今後も充実していきもらい実現できるような市の体制を作ってほしいです。</p>
<p>・介護サービスにいつもお世話になっております。今後も使いづらくなならないよう続けていただけたら幸いです。ありがとうございます</p>
<p>・介護施設利用料の補助・介護施設の設備、サービス内容の充実・市区町村をまたいでのサービスの利用を可能にする。</p>
<p>・長年介護を続け、且つ認知症を対象とした場合、仕事や余暇のためには介護サービスは不可欠で有り、時間の延長等も検討頂きたい。</p>
<p>・今年2月まで市内の行事でお世話になっていましたが現在は、他の市内の老人病院でお世話になっています。病院で治療後、少しずつ笑顔が戻って来た様に感じ、嬉しく思います。いろいろと介助をしていただきありがたく思っております。介護保険サービス、高齢福祉施設が少しでも進んでくれればと思います。</p>
<p>・介護保険サービスやヘルパーさん等、良くしていただいています。市の担当者の方も親切に対応してくれて、何も不満は無く、有難い介護制度に感謝しています。</p>
<p>・家族が介護することがむずかしくなった時でも食事、通院、外出などの付きそい、家事などのサービスが手厚く受けられるようにサービスを受けられる基準を現在よりも広げてほしい。家族が一人で介護をしている場合など</p>
<p>・24時間対応の緊急時へのサービスとうたってはいたが、電話をいざしてみると、対応時に待機している方が一人しかおらず、現場には来ていただく事は出来ずに、何か期待していた気持ちと安心感が、なくなった様な気持ちになった思いがある。</p>
<p>・介護サービスの充実（必要な時にショートステイが取れるようにしてほしい）</p>
<p>・不必要なサービスは出来るだけなくし、本当に必要とされている者へのサービスをきめ細かく判断して、大切な財源を有効に使うべき。所得に応じた負担、利用量に応じた負担も出来るだけ公平感のあるものにしてほしい。</p>
<p>・ひとり暮らしなので介護保険サービスとても助かっています。</p>

<p>・自身の自宅が〇〇県の為、介護の回数が限定されてしまう。緊急時には仕事を休むなどの対応になる為、緊急な時の一時的な支援サービスなどがあれば（現在はケアマネさんに情報収集をお願い）安心できる。重要書類の配送先を、本人ではなく、介護者の自分宛にして欲しい。紛失が多数あるため。</p>
<p>・介護認定が出た時に、特別障害者手当のことなどの指導がなく、新聞を見てあてはまるのではないかと市役所に電話して、必要な書類を窓口に取りに行きました。オムツの補助が以前は8000円だったのが、5000円になった為かなり負担が増えた。訪問入浴料金が安くなったら週2回から3回か夏場は4回ぐらい入れてやりたかった。当事者の移動の介護タクシー等の支援を多くして欲しい。ストレッチャーを使う場合は料金が高いので。</p>
<p>・もっとわかりやすく手頃にサービスを受けれるようにしてほしい。保険2割になり金銭的にきびしいと思う。</p>
<p>・夫は退院する時、病院から在宅医、リハビリの指導員の方を紹介いただき、本当に助かりました。家の中を歩くトイレ、シャワー等、1人で出来るようになり本当に感謝しています。このシステムがあって、本当に良かったです。</p>
<p>・私は週1回デイサービスにお世話になっておりますが楽しくて、お友達も出来て本当に感謝しております。お世話を下さる方には大変だと思いますが…これからもよろしくお願い致します。</p>
<p>・1、在宅ケア・サービスを受けており、満足しております。 2、昨年暮れ～今年の初めにかけて2階に登る手すり設置について、大トラブルとなり、結局6ヶ月を要して完成したが、利用者の立場への配慮が全くなかったように思う。</p>
<p>・通所介護施設（デイサービス）の土日休日の受け入れをお願いしたいです。</p>
<p>・昨年大ケガをして、介護サービスを利用出来、大変助かりました。現在は、大分良くなりましたので、今は、ツエを使って歩いて、バスに乗り買い物も出来ます。皆様に感謝して居ります。</p>
<p>・両親が2人暮らししており、母が父の介護をする、老々介護状態でした。母が認知症になり家事など様々な事ができなくなり、2人分の介護を考える必要がでてきました。そこで介護保険サービスを利用させて頂き、ヘルパーさんに来てもらう事で何とか生活できています。家事支援だけでなく、週何回も訪問して頂くことにより見守りサービスの意味合いもあり、家族としては安心できます。介護保険サービスのありがたさを、身に染みて感じております。本当にありがとうございます。</p>
<p>・介護サービスの充実。要介護の必要前の調査・相談を充実してもらいたい。介護資料の充実。</p>
<p>・デイサービスのサービスの内容がわるすぎる。入浴時間が短い。利用者の話を聞かない。座席の確保がない。トラブルが多すぎる。スタッフの人数が少なすぎる。入浴の回数が一週間に2回で少ない。</p>
<p>・デイサービスの料金がわかりにくい。見学に行く前に料金で選びたい。ケアマネに聞いてすこしづつおしえてくれるけど、なぜ少しずつなのか疑問。料金もお昼代おやつ代。すぐにはわからない。見学に行き決めなければいけない大変さをもっとわかってほしい。通える範囲のリストを見たい。</p>
<p>・どのようなサービスをうけられるかよくわからない。ケアマネジャーに相談しにくい</p>
<p>・緊急時、有事に訪問介護、看護が利用しにくい、又は利用できないので改善をお願いします。心配な時に訪問看護が来てくれない時がある。コロナ患者専門の訪問介護、看護を作ってほしい。</p>
<p>・一人暮らしですが、デイヘルパーの人たちに支えられて安心して生活できています。サービス継続してほしい。</p>
<p>・デイホームの場合で、利用者が多く個人の座席がない。そのためゴタゴタがある。お手洗いにも安心していけない、席がとられる。朝、夕の送迎も時間がとられ朝礼は11時近く、早い人は8:30頃来る。その時間何もせず活動無し。職員、利用者ともに入出入りが激しく、顔を覚える前にいなくなる。福祉課は現状を知っているか？指導しないのか？送迎も工夫すれば短くて済むと思う、人手不足でサービスの不手際も多い、なんとかして。</p>
<p>・介護保険サービス料金の負担をできるだけ早く高齢者の収入ではなく資産にも着目した料金負担割合を考えてもらいたいと思います。（立川市ではなく国の問題かもしれません）透析患者に対する高齢者福祉施設の啓蒙 指導をお願いいたします。</p>
<p>・小規模多機能型居宅介護という介護形態があることを長期間知りませんでした。インターネットなどで</p>

調べても簡単には見つかりにくく、このような施設があることの積極的な呼びかけと、施設を増やす、施設を充実させる等の施策を行っていただけるとありがたいと思います。介護度が上がり、市の特養を利用させていただいております。温かい施設で、たいへん感謝しております。
・現在の所立川市の介護サービスは大変ありがたく感謝しています。但しショートステイ等の施設においては1人の職員の方が食事やトイレの介護及介助を7～8人に対して行なっている現状を見てると、とても問題があると思います。今後共どうぞ宜しくお願い致します。
・みな様ことばづかいがおだやかでいいのでとても気持ちが良い。
・転居して来た時に、たどり着く迄の手配を自分でしなければならなかった。(事業所等)前の地域では、市役所で、手配してくれた。
・一部負担金を今以上に上げないようにしていただきたい。物価高、年金の引き下げ、医療保険の値上げにより生活が苦しい。デイサービスの利用ができないことにより、高齢者は暮らしていけない。
・訪看さん、ケアマネさんに大変お世話になり家での介護を続けられています。

(3) 介護保険施設・高齢者向け住宅等について

介護保険施設・高齢者向け住宅等について
・自宅での生活が困難になった時は、出来るだけ早く介護施設に入居出来るようにしてほしい。
・本人の老健入所は、私の負担減という意味で非常に助かりました。仕事をやめずにすんで、当時のケアマネさん等に非常に感謝しています。ただ本人は非常にラッキーでした。費用は本人の年金からはまかなえず、月に3～5万貯金から切り崩していますが、どうか負担減と、施設の増強をご検討下さればと思います。本人の年金でトータルトントンになる位が良いと考えます。どうぞよろしく願いいたします。
・要介護の兄をデイサービス、ショートステイ(まだ2回利用)を利用させてもらい、80代の夫(夫は現在元気)と生活。10年後には介護している私も80代半ば。その時には介護してもらい暮せる施設に安価で入所できる事を望む。この10年、デイサービスを利用させて頂き、最近ショートステイ(本人はあまり行きたがらないが)も利用させて頂き、本当に有難く思っています。さらに充実を。兄は単身者で家族はいない。
・公営住宅に入居したい。現在住んで居る孫の家
・私立の介護付老人ホームは入居代が高い。ちなみに当家は月25万円位かかります。しかし、施設サービスは良くない。そしてスタッフがすぐ変わる。正社員がいない。派遣社員が多く仲良くなれないし、物事を頼めない。→高い割に質が悪い。スタッフにやる気がない。→給料を上げて、自負心を高めてもらいたい。誇りをもってもらいたい。今後公営の質の高い老人ホームをつくってもらいたい。近所に適当な施設がないので、当人も家族がまんしています。
・本人も(家族も)安心して喜んで入居できる老人施設が増えることを望みます。
・特別養護老人ホームなど、なるべく早く入所出来るようにしてほしいです。
・多くの入居出来る特養をふやしてもらいたい
・ケア付きマンションを充実してもらいたい。市のシルバーピアなど、ふやしてほしい。
・生活保護の介護対象者が、介護保険を利用しグループホームを希望した際、入居を決めた時、今までの居宅を出ることになるが、もし、グループホームがうまくいかなかった時、戻る場所がないため、グループホームにおためし期間1週間～1ヶ月位の日数があれば安心できるが、そのような事は難しいので、なかなか行動に移せない現実がある。日中のことを考えるとすぐにでもお願いしたいが生活保護もいただいているため。無理は言えず、毎日の介護をこなしている。
・年金生活者でも入居できる特養ホームを増設してほしいです。
・特養老人ホームを増やして下さい。切にお願い致します。
・低価格帯の老人ホームを増やしてほしい

<ul style="list-style-type: none"> ・老人ホームに入る為の補助金を出してほしい ・特別養護老人ホームは、入居が難しい。入居待ちが多い
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバービアの住宅に入居していますが、LSA も看護師経験がある方がいいと思う。市の職員の方が年数回来て話をきいてほしい又、話をしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇施設での状態の把握
<ul style="list-style-type: none"> ・夫が特別養護老人ホームに入っています。施設代が高くて年金もなく 81 才になった私も働いています。施設代のために家を安く売りました。何年もつのかわかりません。これからの私の生活費、施設代のために売ったのに借金（何年か認知症のため収入がなくて）を返済して施設代を考えたら足りませんが、売った税金はごっそり取られるみたいでお金が無くなったら死ぬようですね。
<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームなどを充実し、入居しやすいようにする。
<ul style="list-style-type: none"> ・身体の重度な介護が必要な方認知症の進んでいる方が通ったり使える施設はあるが、老人の仲間に入りたくない方と、中間の老人が楽しんで行く施設がない。介護施設は重度の老人向けの扱いが多く、行くことを嫌っている段階の人が行ける所が無い。本人の身体や認知度の差があり、こんなとこに行きたくない！と思っている人が多い。施設やその仕事に携わる人はもっと老人扱いしないでほしい。親切と老人扱いは別のものである認識が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護者が老々介護で身体がわるくとも、家賃の支払い代等、経済的に支障をきたすため、現状態では施設入所も困難である。また、施設の対応にも不安がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設の設備、サービス内容の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・年金が少なくなると施設に入っていることも大変です。
<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り自宅の生活を続けたいと思いますが、体調が悪くなった時かかりつけ医院へいけない時、（休日、夜間など）訪問していただける病院があるのか不安、自宅生活が困難になった時、年金で入れる施設がすぐ入所できるか不安。

(4) 行政への要望について

行政への要望について
介護者への支援
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護になってくると、介護者の健康、（身体、精神的）サポートが必要だと思う。孤立しないようにする必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・主な介護者である同居の娘が 70 代です。今は運転をして医療関係先や（ワクチン接種会場等も含む）金融関係先へ行く事ができているが、免許返納もそう先の事ではないと思う。訪問看護等も考えながら、生活の質の維持を念頭に、これから良い方法を探すつもりです。介護者の健康が第一の重要事項と考えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護に関する行事をもっと増やしてほしい。障害者が参加できる（障害についての）勉強会の開催。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護休暇などの制度の周知。 ・介護者を支えるための意識づくりなど。
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症についての知識がとほしい。（本を読んでものみ）実際に接した人の話を聞きたい。 ・家庭での介護のし方を学ぶ所を…。
相談支援
<ul style="list-style-type: none"> ・今は満足、感謝、持続出来る事が望ましい。これからのこと（年をとってから）は相談にのって頂きたい。自分の身のまわりが出来なくなっても 1 人で生活出来る様に楽しく過ごせること介護をたよりにしています。よろしく願います。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の為、日々体調の変化等にどの様に対応していけば良いのか将来の介護への必要な手続き施設などの事も相談にのってほしいです。

<ul style="list-style-type: none"> ・相談への対応は、親切であり、大変よいと感じている。認知症の介護認定の仕組みが複雑で、家族への負担が大きく、時間もかかる。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護3になったのが最近なので、まだよくわかりません。何かあった時にここに電話すればすぐ対応してもらえる等あったらいいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・市側からも介護状況など（困ってることなど）問題はないかなど聞いてきてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・特殊な家庭の事情あり、どのように対応したら良いものか一度ご相談に乗って頂きたいと思っています。
金銭補助
<ul style="list-style-type: none"> ・今後、高齢世帯が増えてくると思いますが、家族での介護にも限界があると思います。手持ち金や、支払い（年金が少なく）が出来ず、入所できない方もいると思うので、低所得者にたいしての補助をどのようにしていくのか考えてほしいです。ギリギリの状況で家族で介護している方もいると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な支援を受けたいが、対応してもらえない。窓口の担当者に「助けてあげよう」という意識が低い、または感じられない。経済（金銭）の支援を断ることで勤務評価が上がるシステムなのでしょうか？
<ul style="list-style-type: none"> ・介護をしてくれている人に対して身内でも少しの支援料があるとよい
広報・周知
<ul style="list-style-type: none"> ・介護は、やればやるほど大変です。少しでも、楽に出来る方法などを、どんどん知らせてほしい。みなさんもがんばって下さい！！
<ul style="list-style-type: none"> ・初めて親の介護をするので、高齢になるにしたがって出来ない事が多くなる時にどうしたらいいか悩みました。人それぞれですが、年とともに何が必要で、どんな支援があり、手続きの仕方などわかりやすい冊子や講習、講演会などがあったら良かった。（あったのかも・・・）市外にいるとわからないので、ただ、私が居住している所よりも立川市の介護サービスは良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護者が知らないだけで、もっといろいろなサービスがあるのかと思います。情報発信をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の居住の方々が、介護保険の内容を良く理解されていない。パンフレットでの説明又、説明会開催など機会を増やすことが大切。介護機器レンタルの費用の低減をしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在老々介護です。親族はいません。介護者が病気、けがなどによる入院、死亡となった時の対応について詳しく知りたい。被介護者と介護者それぞれについての支援等。
<ul style="list-style-type: none"> ・施設に入れてもらう事態になったときのために施設のガイドブック等があるとたすかります。
<ul style="list-style-type: none"> ・母が転倒骨折にて入院し、地域包括へ相談に行きました。そこで事業所を探し説明を受けた際、「ご自身で探して下さい。こちらで紹介するのは事業所を不公平に扱うことになるので出来ません」と相談員の方に言われました。他県に嫁ぎ15年経ち実家近辺について詳しくないためとても大変でした。（高校の学校案内のような）各事業所の特徴で解かる資料があったらありがたいです。また、地域包括が親切丁寧に接しているか市で抜打ちチェック等行い、指導して欲しいです
<ul style="list-style-type: none"> ・立川市役所のHPに介護関連のコンテンツを増やしてほしい具体的な事例があればさらに良い
高齢者福祉施策
<ul style="list-style-type: none"> ・入院先でのオムツ代の助成。
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症者の病院受診の際に交通が不便。タクシーを使用しているがタクシー券があったら助かる。 ・家族が外出する際に1人で家にいるのが不安の事があり、安心して外出できる事ができた助かる。 ・1人で勝手に家から出てしまう不安がある。外からもカギをかけて防止策をしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー券を頂いています。紙のタクシー券をプリペイドカードに（スイカ）できませんでしょうか？介護する者が体調不良の時、介護される者が一人でタクシーを利用する時、左手が不自由なため紙のタクシー券を利用できません。お金の出し入れもできません。
<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーの割引、コミュニティバス、巡回バス、病院や食品を買う時の足
<ul style="list-style-type: none"> ・通院時、往復タクシーを利用しているが往復5000円位かかってしまうのでお金がきつい。1割負担から2割負担になったこともあり、生きていくことの大変さを痛感する。タクシー代が片道だけでも無料になる様な制度は無理ですね。
<ul style="list-style-type: none"> ・病院に通院する際、交通手段がタクシーを利用する以外に方法が無く、医療費よりも高いタクシー代が

<p>悩みです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の加速が見られていき、年金も減り、色々な物の値段も上がる中、介護サービスを受ける身としては、動きやすい街（バス、電車以外タクシーやくるりん経路や5～6人乗れるマイクロバス利用 etc）を充実して欲しい。あちこちの病院への移動や市役所行くのも難儀です。特に〇〇地域は過疎地ですから体操教室すら近くにありません。もう少し目を向けて欲しい！と願っています。 ・年金暮らしではタクシー利用はとてきついです。（特に歩き難い方にとっては。）★くるりんの行路の見直しを切に希望してやみません。宜しくお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。ゴミ出しシールサポート事業は大変いい制度で助かっています。
<ul style="list-style-type: none"> ・市の方からゴミ袋など、大変ありがたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者2人ぐらしの場合、希望者に定期的にお弁当を安く提供してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症のサロン、カフェ等、日常行ける場所を多くその時交通手段も考えて。 ・日常のサービス（入浴、爪切り、散髪）
<ul style="list-style-type: none"> ・市によってはオムツ代が無料と聞いたことがありますが立川市では予定はありませんか？。病院のための送迎タクシーなど無料サービスなどがあると助かります。その他、話し相手や見守りなど定期的な訪問サービスがあると尚ありがたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・おむつの給付が受けられると聞いても、使用している物と同じ物を選べない。もっと自由に選べるようにはならないのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・おむつの支給を受けていますが、おむつの質が悪い。単価が高い。今一度おむつのメーカーを検討してほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・要介護1ですが、おむつ、ゴミ袋、タクシー代の助成があるとありがたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・金銭的負担が少ない施策を望みます。
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なデイサービスやデイケアというよりは、もう少し単発的な感じで気軽に参加できるような行事をしていただけるとありがたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策の為か高齢者福祉の集会（老人会、町会）が無く、人との交流は殆どありません。近くの公園で体操でもあれば行きたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・夫婦2人暮らしです。自宅で介護をしています。要介護3で妻一人では留守番できません。認知症ありです。私が外出するときは妻の見守りをお願いします。1時間当たり4700円かかります。かなり家計に負担が大きいです。ぜひ介護保険の対象にして頂きたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・病院等に出かける時の車代がほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者でも運動（筋トレ）ができる場所を増やしてほしい。フレイル予防のために。コロナで体育館の運動教室がいきなり閉鎖された。人数制限等ではなく、空気清浄機等予算をかけてほしい。この先もコロナウィルスとはつきあっていくのだから。
<p>居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとっての児童館のような施設があると良いです。世の中に増えつつある「ちょっとだけおかしい人」が安心してくらすたら、みんな幸せですね。「児童館のような」とは、自由来館、自分のことは自分でできる人、見守りていどの職員がいる・・・などです。軽い認知症の人は自分がおかしいことはわかっています。ふつうの人とのふれあいにちゅうちょしてしまい、孤立、症状悪化・・・と悪循環になりがちです。おかしな人前提の集える居場所があると介護者も安心です。
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P3 問10のサービス（今まで6年間やって大変だった。）があることを初めて知った。介護される人とする人との介護内容に違いがあり、介護される人の意見を聞いていると、する人は負担になったり、体調が悪くなる。また、お金のかかることなので、介護される人が支出を望まなければ、勝手に介護する側の間人がヘルパーなど依頼することができない。結局、無職の嫁がやることになる。書類記入が多く、提出も手間もかかるが本人はできないので介護する人の負担になる。冊子も字が細かく、読むだけでも時間がかかる。しかしケアマネさんや市役介護窓口の方々は皆さん優しい。冊子とかちらしなどだ

<p>くさんありすぎて伝わらない。介護する人のためのやすらぎの場、ショートステイがほしい。家出もしたいが行くあてもお金もない。オンラインや返信用封筒を添付してくれると助かる。</p>
<p>・近所の人のケースですが、医療や介護の必要な両親を、社会とほぼつながりのない息子が1人で見ていて、相当悪化するまで地域包括センターにつながれなかったことがありました。私が地域包括センターを教えただけで息子がなかなか連絡をしなかった。このような、介護保険のことを全く知らない住民に、なにかこう、市のほうから、プッシュ型で支援が届けられないものでしょうか。</p>
<p>・（本人+介護者）家族単位で助け合えるコミュニティ。（ワンオペにならない様に…）</p>
<p>・認知症に対するケアやフォロー体制が整っていない。認定基準やその方法も実態に合っていない気がする。身体機能低下への基準だけではなく、認知に対する市からのサービスや福祉施策に加えて基準や親族へのフォローなどを実態に合わせた方法にするべき。</p>
<p>・仕事をしながら、親を介護してもらっています。とても感謝しております。仕事で留守にした時、何かあったらと心配しております。介護保険のサービス福祉施策の充実、経済的支援等希望いたします。</p>
<p>・介護調査員、現状をよくみてほしい。</p>
<p>・認定調査の際、対象者評価が現実の生活とそぐわない事多くあります。日によって体調変化の波があり、評価に反映されずらいように思う。訪問看護、介護等に関わる方々の意見をもう少し参考にしたら良いかと思う。国の制度の問題ですが、在宅介護をすすめています。介護度の高い利用者が介護保険サービスのみで在宅で、大変難しい制度と思う。今後に期待したいと思います。</p>
<p>・あつてないもの 立川市の介護保険サービス・高齢者福祉施策</p>
<p>・老人が手続きできるのか、①できなければ放置②家族が手続き 柔軟な対応をして頂いていると思うが、残った家族が死没したりして、手続きできなくなった場合①になるのはどうか回避するよう尽力願いたい。</p>
<p>・各種手続きが毎年の様にあり、平日手続きの為に会社を休む必要がある。運転免許並みに3～5年に1回ぐらいにして欲しい。</p>
<p>・立川市に限らずですが、高齢者や介護についての書類が多いのがストレスです。提出が大変でそれだけでつかれてしまう。ひとり暮らしや老人世帯の場合はさぞ大変かと思えます。何か対策をしてほしい。</p>
<p>・母を介護している時に市の福祉事務所に伺って受付のカウンターで職員を待っていても対応なし、掃除の方が大きな声で職員を呼ばないところで待っていても一日いても対応ないよと。職員の方から声掛けをまっていたのですが、ちらちら見てもカウンターへ出てくる職員なし。福祉の心をもった職員は立川市にはいないのよね。私は仕事で小平市の福祉には良く行きましたが、職員がすぐに出て対応してくれているが、年月が過ぎたので、少しはかわったかしら。</p>
<p>・介護保険、医療保険、また介護保険の中でも係が幾つも分かれていて、振込口座の連絡やその他の連絡も5～6部署に同じ話を伝えなければならない。立川市役所の中で要介護者の情報を共有して、家族の事務的な対応を軽減して欲しい。提出物の効率的な削減は可能です。</p>
<p>・〇〇市は、子供や老人が居なく（迷子含め）なった時は、市内全域に、アナウンスを放送し、流してくれます。立川市はないです。老人、徘徊などどこかに家から出ていないとき、（何時ごろ、こんな色の上下きて何才位、男性女性子供の年齢など、放送して下さると誰かしらが、気付いて、市の方に連絡して、見つかった場合は、又、何時ごろ、いましたと、放送して下さると「聞いてた人が、ああ見つかった良かった」と知らない人でも安心するので、是非やって欲しいです。個人の名前出す訳でなし、認知症の人の場合は特に助かったと聞いてます。</p>
<p>・ケアマネジャーと連携し、市の制度がその要介護者の状態が合致した時に共有し、行政サービス利用申請に必要な書類等を介護者等に送ってほしい。介護者がフルタイムで勤務していると、平日に市役所に行って、ゆっくり話を聞いてもらえない。ケアマネジャー以外の事業所スタッフと連絡ツールを自由に使えるようにしてほしい</p>
<p>・ここに書くのはちょっと違うと思いますが、車椅子生活になってきがつきました。歩道が走り（押し）にくく大変です。散歩するのに一苦勞です。</p>
<p>・家の近くにある包括支援センターを利用できるようにしてほしいです。現在の支援センターは遠く行き</p>

<p>にくいため、地区割りをもっと弾力化して下さい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・散歩をさせる際、ちょっと休めるベンチやいすが公園以外にあるとよい、スマホ利用の若者に占拠されるかもしれないけども。
<ul style="list-style-type: none"> ・今の所母親の認知症もレベルが安定しているので心配はなく、どうにか介護できているが今後動けなくなった時に大丈夫なのか心配です。立川市でもっとITのインフラを整えて24時間対応していただける様なある意味サービス業と同様な体制にしていてもらいたい。24時間対応の意味はインターネットで見守り、役所との連絡手続きなどがリモートでできるようにしていただきたい。もっとITを役立ててください。役所のITは20年は遅れています。
<ul style="list-style-type: none"> ・80歳を過ぎて働かないと生活が成り立たない事は当たり前ですか？国や立川市は、無駄な事はしてないですか。心当たりがありますよね、お役人さん。自分を守る事だけの、口先だけの方は、もううんざりですね。誰かヒーローは、出てこないかな。
<ul style="list-style-type: none"> ・心臓のペースメーカーを入れるので医費が無料なので助かります。今の所は元気で暮してますが腰が痛く歩くのが不自由なので子供達に助けてもらってます。
<ul style="list-style-type: none"> ・立川市内の施設が満床のため、〇〇市にうつりました、充分にあれば・・・。「立川市民のままでいたい」という事で住民票はそのままで。自宅もそのままにしています。そのため各種書類等は転送されています。「転送無用」と表示されていると市役所に取りに行かなければならず、とても手間がかかっています。施設の介護には満足している様でもう動く気はないのですが、立川の受診券などは利用できず残念です。
<ul style="list-style-type: none"> ・なんでもお金なんだとおもいました。こんな一人の意見は通らないでしょ。なんの意味もないアンケートだと思います。こんなことで紙、印刷の無駄を使うより貧乏人を助けてほしい。立川市の職員さんには貧乏人の実態はわからないでしょう。

(5) 介護サービス事業所の人材について

<p>介護サービス事業所の人材について</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・現在デイサービスを週三回利用しているがスタッフの対応心配りもキメ細かく親切で満足している。デイサービスの利用者が増えておりスタッフの増員が必要と思います（スタッフの待遇はどうか、介護にかかわる人の給与面の配慮を国、自治体に考えてほしい。スタッフの充実のため）
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーさんはじめ介護職にあたる方々の賃金を上げて、よりよい職場環境になるよう政治の力で変革してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・以前、デイサービスに通っていましたが、1ヶ所目は、食後薬の取り違い（辛い飲まず）、他人のを持ち帰って来ました。2ヶ所目は、マージャンを目的に通っていたのに何日も、仲間外れにされ、その事についての報告が、何も無かったです。本人が精神的にストレスを受け、行く日に具合が悪くなる程になって2ヶ所目のデイサービス所に尋ねたところ、「実は、仲間外れでずっとマージャンをしていない」と聞かされました。デイの職員の質向上を望みます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーさん、ケアマネさんはとてもレベルが高く安心して生活できるようにみまもりして下さい感謝しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在有料老人ホームに入所していますが、本当にケアマネジャーその他の介護にたずさわっている方々に頭が下がります。電話して日々の生活を日誌に記録されていて報告助かります。介護保険サービス、立川市役所に相談に行くつもりです。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険、デイケア・サービスなど受けるにあたり、何も知識がなかったのも、ケアマネさんからもっと情報を与えてほしかった。（施設の情報やサービスを受けられる条件など）電話で相談しても早口で済ませようとする印象、明らかに嫌がっている声色の時もあります。相談しにくいです。親身になって下さる感じはない。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスに関わる方、ケアマネさんの負担が気になります。手厚くていねいに仕事されているので、

支えていただける方たちの給料アップなどあるとよいと思います。
・担当ケアマネさんの交代がひん繁になっていることが不安に感じています。新しくご担当下さる方からのご連絡がなく、不安です。
・調査対象（要介護者）がコロナになり、ケアマネに相談しましたが、結局家族が全てを行い、介護者がコロナに罹患してしまい、今も後遺症と共存しながら介護を続けています。普段ケアマネは「すぐに何かあったら連絡して下さいね」と親切ですが、今回コロナにかかってから、介護者1人で車イスの要介護者を入院させるまで猫の手もかりたいくらい大変でした。ケアマネさんは実際動くことはなく、ご家族がやる誘導の説明でした。一人で背負う介護者はやはり負担が多く、ましてやコロナ後遺症で悩まされ、役に立つことは一つもありませんでした。
・どのようなサービスをうけられるかよくわからない。ケアマネジャーに相談しにくい
・ケアマネさんを中心にネットワークが機能し、大変助かっています。ありがとうございます。
・現在は入院中の為、直接の介護はない。ただ、体調は悪化しているので、病院には定期的に相談に行っている（面会はほぼできない）。相談したいことはいろいろあるが、ソーシャルワーカーとケアマネジャーの方達が、良くやっています。ありがたいです。

（6）介護保険料について

介護保険料について
・介護保険を安くしてほしい。障害者に対していろいろと助けてほしい。
・介護保険割合の引き下げ
・介護保険料を少しでも安くして頂けたらと思います。
・少ない年金からの介護保険料、後期高齢者保険料の負担です。
・年金は下がり、保険料は上がり、経済的に不安

（7）アンケートについて

アンケートについて
・尚、本アンケートの質問の主語が分らない。85才の母なのか、息子である私（記入者）なのか、封筒の宛先は息子（私）になっていました。誰に向けた質問なのか。もっと分かりやすく表記するべき
・アンケートの内容には市で分かる事も多く含まれていて、介護者の負担を感じる項目も多い。その点もふまえ、市では分からない事については仕方ないがアンケート項目も考えてほしい。
・このアンケートは在宅介護のアンケートなので、施設に入所している場合は、回答がしにくかった。是非とも、次回より改善していただきたい。

（8）その他

その他
・タクシーは最初は親切でしたが、現在は同行者がいないと無理といわれ困っています。最初からできないサービスはしない事。
・利用当初、ケアマネさんが見つからず苦慮しました。母（対象者）の介護や見守りはフルタイムで働いている私と弟（母に対して子の2人）であるため仕事をやめるわけにもいかず、現在サ高住に仮に入居しています。地域包括の担当者（以前ご担当）とても親切にして頂き、精神的にも安心ができました。
・介護保険 在宅介護認定は受けましたが、まだ利用した事がないのでよくわかりません。これから利用

<p>する事になると思いますが、よろしくお願い致します。</p>
<p>・現状以下にならない様に願います。</p>
<p>・だいたい感謝申し上げます。よろしくお願い致します。ありがとうございました。</p>
<p>・長男が海外赴任になり次男は都外在住で出張も多く月に1～2度しか来れない フェイスタイムでは毎週話す</p>
<p>・要望したことがないので、よくわかりませんが、その時はよろしく御指導お願い致します。ありがとうございました。</p>
<p>・ますます苦しい生活になります。</p>
<p>・高齢者が増えて大変だと思いますが、頑張ってください。コロナ禍皆様もご自愛くださいませ。</p>
<p>・要介護3の私が一番助けて頂いたのはセコムの方々です。とても早くて親切でした。(車椅子使用の為、転倒が多かったのです。) たいへん安心できます。こんな負担で良いのでしょうか。</p>
<p>・特養入居中のため支援サービスは必要ありません。</p>
<p>・充実したものとなりますように！お願いいたします。</p>
<p>・1人暮らしにも、やさしい立川福祉でいて下さい。</p>
<p>・いろいろご支援ありがとうございます。介護受けるようになって数ヶ月につき、特にありません。</p>
<p>・現在は1人ですが、何か高齢者の出来ることがあれば良い。</p>
<p>・現状では実態がよく分からない。</p>
<p>・主人は今87歳です。デイサービス～老健～特養と皆様に助けて頂いて、何とか老々介護をのり切って参りました。本当にありがたい事です。心から感謝しております。</p>
<p>・現在、助かっています。これから先もよろしくお願い致します。</p>
<p>・公共機関にお世話になることと思っています。その時が来ましたらよろしくお願い致します。</p>

3 介護保険事業所向けアンケート調査

問 35 最後に、介護保険事業、保健・福祉サービス、経営に関することなど、どのようなことでも結構ですので、立川市などに対する要望がありましたら、お書きください。

(1) 介護保険事業について

介護保険事業について
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症通所介認の運営が難しい。サービスの質を上げてもケアマネジャーは一般通所介認に利用をすすめる。限度額内のサービス提供をするためと考える。PR不足とも考えられるが、このコロナ禍の中で見学も思うように出来なかった。当法人はグループホームを運営しているので、建物の構造等一部変更して共用型グループホームが出来ないか検討していただきたい。人員確保が難しいなか、人員配置も厳しい。一時的3人程度の利用者に人員配置3名を確保している。
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時や感染症の拡大など、事業所でもBCPを作成し対応していくが、甚大な被害が発生した際には、1事業所では対応できないことが予測される。平時から、行政や事業所で災害発生時に備え、対応方法の検討、訓練が必要だと考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員とその基礎資格である介護福祉士等との賃金の逆転現象が是正されなければ、今後も居宅介護支援事業所に明るい未来が訪れるとは思えない。 報酬を上げるためには加算を取得する方法もあるが、業務量の増加が加算と見合っていないため現実的ではない。 ・住宅改修の理由書作成など、居宅介護支援費に係るもの以外の業務負担の軽減についても、よりつつこんだ議論の必要性があると考えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・今年には訪問介護事業も追加しサービスの充実を図っていきますので、宜しくお願いいたします。

(2) 経営について

経営について
<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰の影響が大きく、昨年は自社で用意していたレンタルシーツサービスは廃止し、今後も、自社で用意しているタオル類も廃止する意向で会社が動いている状態となり、サービスの中身でお客様にご迷惑がかかる場面が増えてきました。

(3) 人材確保・育成について

人材確保・育成について
<ul style="list-style-type: none"> ・2024年改訂の介護保険にむけて審議されている要介護1、2に対する通所介護・訪問介護が総合事業へ移行する点や、利用者の原則2割負担に変更される点は、実現すると利用者はもちろんのこと事業者にとっても現在同様の運営は困難になります。それらを見越して人員を安定的に確保・育成していくことをどうやって成し遂げようというのでしょうか。人材ありきの介護事業における見通しの困難さは結果的に福祉サービスが弱体化することにならないか、危惧するところです。
<ul style="list-style-type: none"> ・通所介護は市内に十分に事業所はあると思う。しかし、介護業界全般としては人材不足が課題としてある。単体の事業所でも努力していくが、それでは限界があり、行政や事業所と連携協働して課題解決に向けた取り組みが必要である。

<p>・介護スタッフの不足は大きな課題だと思います。事業所ごとの努力は今後も行っていますが、立川市もそのことを受けとめ、立川市とともにこの問題を解決していく必要があると思います。</p>
<p>・ヘルパー不足は大きな課題であり、事業所も引き続き努力していくが、立川市と共にこの課題を解決していく必要がある。生活支援サポーターももっと活躍できると思っているのでPRも含めひろげていきたい。大規模災害が発生した際でもヘルパーを必要とする利用者は多くいる。一事業者だけでは対応できないことも多くあると思っている。そのため平時より立川市、他事業所、民生委員、自治会、企業、地域との関係性を持てる機会や合同訓練などを行っていくことが求められると思う。</p>
<p>・現在、人材確保に悩んでいます。人手不足です。立川市の方で資格を取得する為の資金の援助のアナウンスがありました。それは現時点で雇用している人へのものであったと認識しています。新たに採用する人採用したい人への資格取得への援助もして頂けると本当に助かります。何とか人材確保という大きな課題を少しでも解消していきたいです。</p>
<p>・介護人材不足について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新たな介護人材の創出 「介護職員初任者研修」の資格を取得した方が、市内の介護事業所に就業した場合の「補助」を、事業所が申請するのではなく、市民個人が、立川市に申請できるようにすれば、資格取得者が増えてくると思う。 2. 介護従事者のスキルアップ 施設介護や在宅サービスで働く介護職員を対象に、スキルアップ研修を市役所が主催して実施して頂きたい。 「事故防止」「虐待防止」「感染症」「救急対応」「食中毒」「認知症」「個人情報・プライバシー」「接待マナー」「BPC」など… 3. 離職防止 介護のお仕事に長く勤務して頂けるように、「育児休業」「介護休業」「ダブルケア」「ヤングケアラー」「メンタルケア」などの問題に関心を持って頂き、離職を防ぐ取り組みをして頂きたい。 4. 総合事業の改革 市の事業である「新しい介護予防日常生活支援総合事業」を、定期的に見直し、市民が利用しやすく、事業者がサービスを提供しやすい事業にして頂きたい。
<p>・ヘルパー不足です。ヘルパーの算定時間も生活援助 45 分～以上も同じ単位数、これでは若い方も在宅ヘルパーに魅力を感じないのでは。今後訪問介護事業所では経営していきません。訪問看護師さんが担当しなくてもヘルパーさんでできる援助を作ってほしいです。</p>
<p>・訪問介護はヘルパーがいなくて、新規の依頼があった時ヘルパーを探すのが大変で、断る場合もあり困っています。（登録人数は 25 人～26 人ですが、実動できる方は 10 人にもなりません。ヘルパーも高齢化している為、人材確保が、ハローワークちらしなど募集を一年中していますが、中々できません。</p>
<p>・ヘルパーの応募もなく若い人がいない</p> <p>・現在のヘルパーの高齢化に伴い、ヘルパー自身の配偶者も高齢になり労働日数、曜日、労働時間、仕事内容等についての希望があり、思うように人員の配置や、新規の受入れに苦慮しています。40 代の意欲あるヘルパーさんが欲しいです。</p> <p>・訪問看護は移動、天候の悪い日等ありとても大変ですがやりがいのある仕事と思っています。</p> <p>・現在の状況が続いていくと、小さな事業所なのでいつも閉鎖も視野に考えています。</p>
<p>・サービス提供責任者を募集していますが、応募がありません。ヘルパーも常に募集していますが、応募がなく困っています。</p>
<p>・私たち訪問介護は人材不足で苦しんでいます。採用しても定着率が低く、継続してサービスを提供することが難しいです。賃金の見直し、労働時間の要望をなるべく聞くようにしていますが、そうすると収支が合わず、赤字に近い数字になってしまいます。結局はご利用者様の為、地域の為といった個人のモチベーションに頼ることになっています。何とかその気持ちに応えるとともにそれなりの報酬を渡せるようになればと模索しています。</p>

<p>・福祉・介護人材の不足は深刻である。当法人では早くから外国人人材の導入に努めて来たことから何とか凌いでいるが、中核となる日本人の正規職員の割合が年々減っており、将来的に現在の施設規模を維持していくことへの不安を感じる。若い人が将来への夢を持ってこの業界に入って来てもらえるために、この仕事への社会的な評価、特に収入面（介護報酬）での処遇改善を大幅に図っていく必要がある。その際、併せて処遇改善加算などという、手続きが煩雑で事業者側の報酬体系を混乱させる手法は廃止し、本体報酬に取り組むべきである。市に対しては、事業者の声を国に上げていくことを求めたい。</p>
<p>・コロナウイルスによる一時的な減収を補い安定的に運営していただくだけの介護報酬ではなく、物価上昇や最低賃金の上昇もあり、人員不足が年々顕著になっています。見通しは明るくなく、厳しい状況です。</p>
<p>・介護職員不足が深刻化しております。外国人採用を進めても追いつかない状況です。特に夜勤業務がある施設への就職支援（資格取得支援、家賃補助など）を拡充して頂けると助かります。</p>
<p>・当施設の管轄は立川市ではありませんので、特にご要望などはありません。以下は一個人の意見です。不適切であったら申し訳ありません。</p> <p>介護職員の離職防止や新規雇用のために、給与ばかりがクローズアップされているが、自分自身も長年現場で介護職員として働いた経験からも、またこの業界に25年以上様々な立場から携わり、現場の人の直の意見を多く聞いていることなどから総合的に考えると、「給与も大事ですが、現場で働く人員配置の見直しによりもっと多くの職員で利用者様のケアを行い、精神的に肉体的負担が減り、心にゆとりを持って働ける環境が一番望まれている。」と常々感じます。</p> <p>ITの活用などで人員基準を柔軟にしていましようなどの方向性が議論されていますが、そんなことは現場で働く職員の離職に拍車をかける内容だと感じます。ITの活用はあくまでも「人が十分にいて、なおかつより安全に、より良いサービスを提供するためのツール」であるはずなのに、「IT活用すれば人件費がもっと削れる。そうしたらその人件費で優秀な人材に高い報酬が払える。」という、一見すると介護職員の処遇が改善されるような話に見え、実際は今のIT技術にできることはまだまだ限られており現場の負担や増していき、介護に情熱を持っている人ほど、この業界を去るという図式が加速するように感じます。</p>
<p>・職員の多くが人材紹介を利用するようになってきた。介護報酬には紹介料は含まれていないことから、事業所の負担は大きい。当事業者は開設当初から人材派遣や紹介業者を利用しないことを明言している。高額な紹介料を払うのであれば、それは給料に還元すべきあると考えているからである。しかしながら求職者自身が直接応募を避け、コンサルタントを介してでない自らを紹介できない状況が当たり前になってきている現状がある。悲しい気持ちを隠し切れない。</p>

(4) 行政への要望について

行政への要望について
<ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉課との連携がとりづらい
<ul style="list-style-type: none"> ・何でもそうですが、書類が多いです。集中して利用者様の対応をした（してますが）書類の多さで書類がたまってくる。
<ul style="list-style-type: none"> ・都など、立川市より上の機関からの情報・通知が事業所に降りてくるのが遅い（コロナ抗原検査の更新手続き（2022.10月更新の分です。）の際、必要なパスワードが届いていなかった事があります。
<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得のための費用の補助の継続 ・新事業立上げのサポート（訪問型サービスB実施のための勉強会の開催） ・BCP策定のためのサポート
<ul style="list-style-type: none"> ・水道光熱費やガソリン代を補助してほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・○少子化対策 <ul style="list-style-type: none"> ○介護報酬是正について都・国への提言 ○身体障害・精神障害・知的障害等について

<p>高齢介護との連携→ゆくゆくは児童福祉も含めた 社会福祉の結合 ↓ 地域包括ケアとはそういうものであり 災害対策等とも密接に関係する ○地域における自助グループ網の構築 ○地域包括支援センターの抜本的な見直し</p>
<p>・事業運営上、支障となる事柄（クレマー対応含）等について相談日を設ける等の対応をお願いしたいです。</p>
<p>・居宅介護支援のケアマネ業務は年々確認事項が増えて複雑化してきていると感じております。他市区町村ではサービス事業所に向けて集団指導という形をとり、支援事業所が返還とならないよう指導をとられている行政もあります。適宜、所内でケアマネ業務等は確認している所ではありますが、集団指導の実施に向けて検討頂けますと安心して運営に励めると考えております。よろしくお願い致します。</p>
<p>・介護区分申請において必要な援助があるが、認定区分によってサービス量を調整しなくてはならなくなってしまふ。最近、特に厳しくなってきたと感じます。在宅の定期巡回は、月額（単位）が決まっている為、訪問回数を増やしても大丈夫と思われることがあります。要介護区分が低くなくてもサービス継続して欲しいと言われる時があるので、認定審査が厳しくなると運営が難しくなってきます。</p>
<p>・介護・福祉に携わるサービス事業者に対しての支援をしていただきたい。介護事業所は煩雑な書類管理やルールも厳しく、本当にこのままで5年後、10年後介護サービスが継続できるか不安しかありません。事業者に対しての評価も現状はケアマネージャーになっていると思われ、本来は利用者様が評価するものと思います。立川市独自に利用者様からの評価をできるような評価制度などあればと思います。</p>
<p>・ご利用者様からの生活支援についての要望が多いため、ボランティアの方やサービス事業所での対応を広くお願いしたい。通所事業所では対応に限界があり、少人数でも他利用者様への影響などが大きいことを承知してほしい。又、介護職員の離職率が高いのはケアマネージャー、家族、利用者本人からの言葉や無理な要望によるストレスが大きいと感じる。施設だけの問題ではないため、市中心に介護職員の実際の業務内容を調査して全体的に改善できるような取り組みをしてほしい。</p>
<p>・立川市は柔軟な対応をして下さっているの、非常に助かっております。当施設では生活保護受給者の方が大半をしめており、身寄りのない方も受け入れている為資産申告や調査票、おむつ代、移送費等の申請書類が非常に多く感じます。簡潔にできるようになれば良いと思います。</p>
<p>・介護保険サービスの範囲として、ご利用者宅の電球の交換を含めてほしい。</p>
<p>・住宅改修に関して、多摩エリアの中で、立川市の許可の基準が圧倒的に厳しいです。他の自治体の方と立川在住の方でサービスの質が変わります。一度ご検討頂けると幸いです。</p>
<p>・現場の状況をリアルに把握し運営について寄り添って考えていただくと心強いです。</p>
<p>・夜間対応型訪問介護の事業所が休止してしまっており、利用したい方がいても提案できなくなっています。経営状況もあると思うのですが、立川市で手を上げる事業所がなければ、近隣の市町村と協定を結ぶなど、何か利用できる方法を検討してほしいです。</p>
<p>・小規模多機能や定期巡回では、立川市内にあっては事業所からの距離が遠く、受けしてもらえないこともあります。特に小規模多機能型居宅介護は、同じ地域に複数あるより、まんべんなく日常生活圏域に1つはあるとありがたいです。</p>
<p>・以前軽微な変更や軽度者申請など、立川市での見解をまとめていただいたと思いますが、そのような形でよくある問い合わせや実施指導であまり理解されていない部分など、まとめて全体に周知していただくとありがたいです。</p>
<p>・2024年度の介護保険改正に伴う、事業者向けの説明会をオンライン含めて行って頂きたいです(オンラインであればアーカイブにも残してほしい)</p>
<p>・総合事業について、もともとの介護予防事業では利用者の事業所への滞在時間に制限はなかったが、立</p>

<p>川市はレスパイト機能を優先したために、3時間以上のサービス提供が必須となっている。当方のような機能訓練主体の事業所では自分のメニューが終われば後はその日の時間を有効に活かして過ごしたいという希望者が多い。以前のように利用時間の縛りをなくしていただけるとありがたい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 立川市への要望ではないが、国が働き方改革を提唱するなら、国保連請求をせめて1月と5月くらいは10日締め切りを15日締め切りに延長してもらい、職員が休みをとれるようにしてほしい。福祉用具もほかのサービスと同じく人件費がかかっており、福祉用具の値上がり、車両費や保険、ガソリン代、訪問先でのパーキング料金が東京都が一番高いので、報酬を1単位10円ではなく、全国の最低賃金の比率をもとに算出してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 現在の物価高騰による固定費の高騰、最低賃金の引き上げによる人件費の圧迫、特に電気料金については、今後もさらなる上昇が予想される状況です。支出においては、前年比で10月現在1ヶ月100万くらいは上昇しており、利用者負担への転嫁が困難な社会福祉施設の運営に影響が生じないよう、財政的支援を図っていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 災害時の協力関係を立川市、事業所、企業、自治会、地域等と組めるような訓練等を行うことが災害時には役に立つと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 立川市のご高齢者が安心して生活するために、これからも立川市と協力して少しでも貢献できるようにしたいです。そのためには、職員が「この職場、この職種ですっと働きたい」と思えることが大切だと思います。そのために、事業所と立川市とで同じベクトルを向くことが重要と考えます。
<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャーに対する処遇改善加算が欲しいです
<ul style="list-style-type: none"> 2年程前に「指導・監査」がありました。その際に感じた事があります。私共事業所は順番が最後の方になり、最初の方の事業所に対しての指導内容より「〇〇〇の書き方の方が望ましい」「〇〇〇の内容は別の事業所は〇〇〇のように記入してあった」など要求が多くなってきている気がし、不公平感が否めませんでした。指導内容は公平にお願いしたいです。
<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型通所介護事業所ですが、今後の感染対策として運営推進会議のご参加を非接触のリモートに切り替えし開催したらよいか？大変困惑しています。そのような、運営に関して相談させて頂きたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 会議など給付管理請求事務の時と重なる事が多いので日程を考慮していただけたらと思います。

(5) その他

<p>その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> 保険者の方々にはいつも速やかな連携を取って頂き、大変務めやすく有難く思っております。高齢者人口が増える中で対応が難しくなるケースも増えてくると思いますが、共に”立川市で暮らせてよかった”と思って頂けるよう努めて参りたいと思っております。引き続きよろしく願いいたします。
<ul style="list-style-type: none"> 立川市の地域会議や訪問介護連絡会等開催いただきありがとうございます。ヘルパーの現場や勤務時間の関係でなかなか出席することができない状況になります。良い案はないですが状況的には参加困難で悩んでおります。
<ul style="list-style-type: none"> 物価高騰に対する補助金を受給できたことは、大変有難かったです また、市内施設でクラスター発生時など、人的資源、物的資源の配分調整等にご尽力下さったことも、大変心強かったです。

参考資料

1 調査票

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

日ごろより、立川市の高齢者福祉行政の推進につきまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、立川市では、令和6年度～8年間に取り組むべき施策を明示した「立川市高齢者福祉介護計画(第9次高齢者福祉・第9期介護保険事業計画)」を策定するにあたり、アンケート調査を実施いたします。

このアンケートは、国の指導により全国的に実施する「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」(問3～問10)に、立川市独自の「65歳以上の市民に対する調査」(問1、問2、問11～問49)を加えたもので、皆様を取り巻く環境の変化や問題点などを把握し、計画の策定に向けての基礎資料を作成することを目的としています。対象は、要介護1～5の方を除く65歳以上の方の中から、無作為に選ばせていただいた3,000人の方です。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年11月 立川市

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
 なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

記

【個人情報の保護及び活用目的について】

この調査は、立川市高齢者福祉介護計画の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、立川市高齢者福祉介護計画策定と効果評価の目的以外には活用いたしません。また当該情報については、市において適切に管理いたします。ただし、立川市高齢者福祉介護計画策定時及び効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

【アンケート調査の改善内容の取扱いについて】

アンケート調査にご回答いただいた内容(被保険者番号を含む)は、集計・分析を委託する株式会社グリーンエコーに委託していますが、情報は適切に管理いたします。
 以上



株式会社グリーンエコーは、一般社団法人日本情報経済社会推進協会より「プライバシーマーク」の付与認定を受けております。調査の進捗にあたりましては、個人情報の取扱いに十分留意し、情報の保護を徹底いたします。

番号記載欄

次期『立川市高齢者福祉介護計画』策定に向けた
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
アンケートご協力をお願い

立川市の今後を考えるための基礎資料です。
 回答のご協力をお願いします。

同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、

令和4年12月13日（火） までに

郵便ポストに投函してくださいませようお願いします。

回答に当たってのお願い

- ※ アンケートの回答は、鉛筆またはボールペンなどをお使いいただきこの調査票に直接ご記入ください。
- ※ 封筒の裏に名前がアンケートの対象者となっています。
- ※ 記入日押印の状況をご回答ください。
- ※ アンケートに調査対象者ご本人様が記入できない場合は、代理の方（ご家族・知人・介護従事者等）がご本人の意思を反映して、ご記入くださるようお願いいたします。
- ※ 回答は無記名でお願いいたします。
- ※ 返信用封筒に、調査票以外のものを入れないでください。申請書等を同封されても対応できません。
- ※ インターネットでご回答いただいた方は調査票をお送りいただく必要はありません。

スマートフォン等をお持ちの方は、インターネットでもご回答いただけます。

▶東京共同電子申請・届出サービスのホームページで「WEBアンケート」も実施しています。
 下記アドレスが、右のQRコードから回答フォームにアクセスできます。（注：インターネットでご回答いただいた方は調査票をお送りいただく必要はありませんのでご注意ください）



【URL】
<https://www.shinsei.eip-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?acc=ka-isyoubokumini-chousa>

【アンケートについてのお問い合わせ先】

立川市 福祉保健部 介護保険課 介護給付係・高齢福祉課 業務係
 電話：(042)523-2111 (内線1457・1474) FAX：(042)522-2481

■まず、はじめに記入日や調査票を記入された方についてお教えください。

記 入 日	令和4年 月 日
-------	----------

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入
 2. ご家族が記入
 (あて名のご本人からみた続柄)

3. その他 (友人知人、訪問介護員 等)

1. 配偶者 2. 子 3. 孫 4. 兄弟姉妹 5. 親 6. 親戚)

■あなた (あて名の方) ご自身について、おたずねします。

問1 あなた (あて名ご本人) の性別・年齢をお選びください。

(1) 性別

1. 男性 2. 女性

(2) 年齢 (○は1つ)

1. 65～69歳 4. 80～84歳 7. 95歳以上
 2. 70～74歳 5. 85～89歳
 3. 75～79歳 6. 90～94歳

問2 お住まいの町名は次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 富士見町 7. 緑町 13. 砂川町
 2. 柴崎町 8. 栄町 14. 上砂町
 3. 錦町 9. 若葉町 15. 一番町
 4. 羽衣町 10. 幸町 16. 西砂町
 5. 理町 11. 柏町 17. 立川市内だが町名がわからない
 6. 高松町 12. 泉町 18. 立川市外 ()

問3 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えください。(○は1つ)

1. 1人暮らし 4. 子ども家族との2世帯同居
 2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) 5. 子ども (単身者) との同居
 3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) 6. その他 (具体的に:)

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない
 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
 3. 現在、何らかの介護を受けている
 (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

▶【問3-(2)で「2」「3」とお答えになった方におたずねします。】
 ①介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(○はいくつでも)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 9. 腎疾患 (透析)
 2. 心臓病 10. 視覚・聴覚障害
 3. がん (悪性新生物) 11. 骨折・転倒
 4. 呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等) 12. 骨格損傷
 5. 関節の病気 (リウマチ等) 13. 高齢による衰弱
 6. 認知症 (アルツハイマー病等) 14. その他 (具体的に:)
 7. パーキンソン病 15. 不明
 8. 糖尿病

▶【問3-(2)で「3」とお答えになった方におたずねします。】
 ②主にどなたの介護、介助を受けていますか。(○はいくつでも)

1. 配偶者 (夫・妻) 5. 孫
 2. 息子 6. 兄弟・姉妹
 3. 娘 7. 介護保険サービスのヘルパー
 4. 子の配偶者 8. その他 (具体的に:)

▶【問3-(2)②で「1」～「6」とお答えになった方におたずねします。】
 ③主な介護者の方の年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 20歳未満 4. 40代 7. 70代
 2. 20代 5. 50代 8. 80歳以上
 3. 30代 6. 60代 9. わからない

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ぶつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 持家 (一戸建て)
2. 持家 (集合住宅)
3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)
5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)
6. 借家 (賃貸借契約がない場合を含む)
7. その他 (具体的に:)

問4 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけれどしていない
3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけれどしていない
3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけれどしていない
3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安ではない
4. 不安ではない

(6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2~4回
4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

→【問4-(7)で「1」「2」とお答えになった方におたずねします。】
①外出の回数が減っている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 病気
2. 障害 (脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配 (失禁など)
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)
6. 目の障害
7. 外での楽しみがない
8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない
10. その他 (具体的に:)

(8) 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 自動車 (自分で運転)
5. 自動車 (人に乗せてもらう)
6. 電車
7. 路線バス
8. 病院や施設のバス
9. 車いす
10. 電動車いす (カート)
11. 歩行器・シルバーカー
12. タクシー
13. その他 (具体的に:)

問5 食べることについて

(1) 身長・体重をご記入ください。(小数点以下は四捨五入)

身長		cm		体重		kg
----	--	----	--	----	--	----

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(4) 口の渾きが気になりますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○は1つ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(6) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(7) どなたかと食事をともにする機会はありますか。(○は1つ)

1. 毎日ある	3. 月に何度かある	5. ほとんどない
2. 週に何度かある	4. 年に何度かある	

問6 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(2) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(3) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)
(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけれどしていない	3. できない
--------------	----------------	---------

(4) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけれどしていない	3. できない
--------------	----------------	---------

(5) 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけれどしていない	3. できない
--------------	----------------	---------

(6) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけれどしていない	3. できない
--------------	----------------	---------

(7) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけれどしていない	3. できない
--------------	----------------	---------

(8) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(9) 趣味はありますか。(○は1つ)

1. 趣味あり ⇒ (具体的に:)	2. 思いつかない
--------------------	-----------

(10) 生きがいはありますか。(○は1つ)

1. 生きがいあり ⇒ (具体的に:)	2. 思いつかない
----------------------	-----------

問7 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか。
(①～⑧それぞれに○は1つずつ)

	週4回 以上	週2 ～3回	週1回 ～3回	月に 1回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係の グループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (健康体操自主グループなど) 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. 既に参加している

問8 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他(具体的に:)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は誰ですか。
(○はいくつでも)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他(具体的に:)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間入院したときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。
(○はいくつでも)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他(具体的に:)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(4) 反対に、(あなたが)看病や世話をしてあげる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他(具体的に:)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(○はいくつでも)

1. 自治会・町内会・老人クラブ	5. 地域包括支援センター・役所
2. 社会福祉協議会・民生委員	6. その他
3. 介護支援専門員(ケアマネジャー)	7. そのような人はいない
4. 医師・歯科医師・看護師	

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 4. 年に何度かある |
| 2. 週に何度かある | 5. ほとんどない |
| 3. 月に何度かある | |

(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 5. 趣味や関心が同じ友人 |
| 2. 幼なじみ | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 3. 学生時代の友人 | 7. その他 |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 8. いない |

問9 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. とてもよい | 3. あまりよくない |
| 2. まあよい | 4. よくない |

(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか。「(とても不幸)を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○をお付けください。(○は1つ)



(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) お酒は飲みますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日飲む | 3. ほとんど飲まない |
| 2. 時々飲む | 4. もともと飲まない |

(6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 3. 吸っていたがやめた |
| 2. 時々吸っている | 4. もともと吸っていない |

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. ない | 11. 外傷 (転倒・骨折等) |
| 2. 高血圧 | 12. がん (悪性新生物) |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 13. 血液・免疫の病気 |
| 4. 心臓病 | 14. うつ病 |
| 5. 糖尿病 | 15. 認知症 (アルツハイマー病等) |
| 6. 高脂血症 (脂質異常) | 16. パーキンソン病 |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 17. 目の病気 |
| 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 18. 耳の病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 19. その他 (具体的に:) |
| 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) | |

問10 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

■普段の外出について、おたずねします。

問19 立川市内へのお出かけは、どのような場所へ行かれますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 仕事場・職場 | 12. スポーツ施設 (民間) |
| 2. 食料品・日用品の買い物 | 13. ウォーキング・散歩 |
| 3. デパートや専門店 | 14. 神社仏閣 |
| 4. 飲食店 | 15. ボランティア活動 |
| 5. 美容院・理髪店 | 16. 競輪・競馬・パチンコなど |
| 6. 病院・クリニック | 17. その他 (具体的に:) |
| 7. 公共施設 (市の施設) | 18. 地域包括支援センターのイベント |
| 8. 友人・知人の住まい | 19. 社会福祉協議会のイベント |
| 9. 孫・子ども・親の住まい | 20. 市外が多い () |
| 10. 習い事・映画館・カルチャースペース | 21. 外出は、ほとんどしない |
| 11. 本・CD・DVDの購入やレンタル | |

問20 立川市では、高齢者の皆さんの生きがいづくりの支援や健康増進及び介護予防、見守り等のために、次のようなサービスや施設があります。1年以内に利用したことがあるものに、〇を付けてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 福祉会館 | 8. たちかわ市民交流大学 |
| 2. シルバー大学 | 9. サロン、認知症カフェ |
| 3. 体操教室 | 10. 出張暮らしの保健室 |
| 4. 地域学習館・市民体育館 | 11. 地域包括支援センターの介護予防教室 |
| 5. シルバー人材センター | 12. その他 (具体的に:) |
| 6. 老人クラブ活動 | 13. 利用したことはない |
| 7. 市の旅行助成 | |

問21 これから新たに生きがいや楽しみにしていきたいことは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1. 収入のある仕事 | 9. 旅行 |
| 2. 町内会・自治会・子ども会・老人クラブなど地域活動 | 10. パソコン・インターネット |
| 3. ボランティア活動・奉仕 | 11. テレビ・ビデオ |
| 4. 寺社仏閣 | 12. 家族、親族つきあい |
| 5. 趣味・習い事 | 13. 家事 |
| 6. 学習・文化活動 | 14. 孫の世話 |
| 7. スポーツ・レクリエーション | 15. その他 (具体的に:) |
| 8. 友人・仲間と過ごすこと | 16. 特にない |
| | 17. 今は思いつかない |

■就労について、おたずねします。

問22 現在、仕事をしたい又は続けたいお気持ちがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------|----------------|
| 1. はい | 2. いいえ (→問23へ) |
|-------|----------------|

→【問22で「1. はい」とお答えになった方におたずねします。】

(1) その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 収入を得たいから | 5. 持っている能力を生かしたいから |
| 2. 年金だけでは生活できないから | 6. 生きがいを得たいから |
| 3. 健康に良いから | 7. 社会とつながっていたいから |
| 4. 生活のリズムが得られるから | 8. その他 (具体的に:) |

【問22で「1. はい」とお答えになった方におたずねします。】

(2) 就労先を探すとしたら、どこを探しますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. ハローワーク | 4. 暮らし・しごとサポートセンター |
| 2. 商工会議所 | 5. 求人誌 |
| 3. シルバー人材センター | 6. その他 (具体的に:) |

■生活の心配や相談先について、おたずねします。

問23 今後の暮らしについて不安に感じていることはありませんか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 家族との人間関係 | 10. 認知症になった時の介護のこと |
| 2. 自分又は配偶者の健康 | 11. 落たきり、又は健康状態が悪化した時の介護のこと |
| 3. 急病などの緊急時の対応 | 12. 買い物やゴミ出しなど日常生活に関すること |
| 4. 失業など雇用に関する事 | 13. 頼りになる家族がいらないこと |
| 5. 犯罪や交通事故 | 14. 身近な相談相手がいらないこと |
| 6. 地震や火災などの災害 | 15. 近隣住民との付き合いがなくなること |
| 7. 特殊詐欺 (振り込め詐欺) に関する事 | 16. 身元保証人がいないこと |
| 8. 今後の生活費など経済的なこと | 17. 緊急時の連絡先がないこと |
| 9. 財産管理のこと | 18. その他 (具体的に:) |
| | 19. 特にない |

問24 地域支え合いネットワーク事業[※]を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

※ 地域支え合いネットワーク事業とは、高齢者の方々と地域全体で支え合い、いつまでも安心して暮らしていただけるために、地域に住居同士による見守りのネットワークを構築、支え合いと見守りの活動を広げ、安否確認を行うことを主軸とした事業です。

問25 あなたは、社会的な孤立[※]を身近に感じますか。(○は1つ)

1. とても感じる	3. あまり感じない
2. やや感じる	4. 全く感じない

※ 社会的な孤立とは、家族や地域社会との交流が著明的にみて著しく乏しい状態のことです。

問26 社会的な孤立を防ぐのに必要なことは何だと思えますか。(○はいくつでも)

1. 近隣の住民によるあいさつ等、声かけ	5. 民生委員・ボランティアなどの訪問運動
2. 地域住民との交流を深める	6. 機械（センサー）による見守り
3. 地域見守りネットワーク事業の活用	7. その他（具体的に：_____）
4. 定期的な健康教室や趣味活動への参加	

問27 あなたにご近所の方を見守る、見守りボランティアを頼んだら協力していただけますか。(○は1つ)

1. 協力したい	2. 内容によっては協力したい	3. 協力したくない
----------	-----------------	------------

問28 あなたは、下記①から⑥の窓口をご存知ですか、又利用したことがありますか。
(①～⑥それぞれに○は1つずつ)

	利用したことがある	利用したことはないが知っている	知らない
① 地域包括支援センター	1	2	3
② 福祉相談センター	1	2	3
③ 総合福祉センター (地域あんしんセンター、ボランティア・市民活動センター)	1	2	3
④ 福祉会館	1	2	3
⑤ 健康会館	1	2	3
⑥ 消費生活相談コーナー	1	2	3

問29 成年後見制度についてご存知ですか。(○は1つ)

1. 知っている	3. 知らない
2. 聞いたことはあるが内容は知らない	

問30 スマートフォンまたはタブレットをお持ちですか。また、お持ちの方は以下のいずれの機能を利用していますか。(○はいくつでも)

1. 持っていない	7. Instagram (インスタグラム)
2. 電話	8. Facebook (フェイスブック)
3. インターネットでの検索	9. YouTube 等で動画をみる
4. 地図を見る	10. TikTok (ティックトック)
5. LINE (ライン)	11. 持っているが2～10までいずれも利用していない
6. Twitter (ツイッター)	

■今後の暮らしについて、おたずねします。

問31 普段の生活で、次のような困ることはありますか。(○はいくつでも)

1. 足腰が痛い	9. 食事を作ることができない
2. 段差などでつまづきやすい	10. 掃除ができない
3. 風呂に入りにくい	11. 買い物やゴミ出しを誰かに頼む必要がある
4. トイレが間に合わない	12. 外出の際に付き添いや運転手がない
5. 病気がある	13. 外出のための交通手段がない
6. 食べ物が飲み込みにくい、むせる	14. 耳が遠く、会話しづらい
7. 歯が痛い、入れ歯が合わない	15. ペットの世話が大変である
8. もの忘れがある	16. その他（具体的に：_____）
	17. 特に困ることはない

問32 介護が必要になったときの生活について、ご希望に最も近いものはどれですか。
(○は1つ)

1. 自宅での生活を続けたい
2. 子ども、親族の家で生活したい
3. 高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム等）で生活したい
4. 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などの介護保険施設で生活したい
5. 家族の意向に任せる
6. その他（具体的に：_____）
7. わからない

問33 介護が必要になったときの生活について、ご家族やご親族と話し合ったことはありますか。(○は1つ)

1. 話し合ったことがあり、だいたい決めてある
 2. 話し合ったことがあるが、決まっていない
 3. 話し合ったことはない

問34 あなたが人生の最後を迎えたい場所として、ご希望に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 自宅
 2. 子ども、親族の家
 3. 高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム等）
 4. 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などの介護施設
 5. ホスピス（緩和ケア病棟）
 6. ホスピス以外の医療施設（病院等）
 7. その他（具体的に：)
 8. わからない

(→問 35 へ)

【問34で「1. 自宅」「2. 子ども、親族の家」とお答えになった方におたずねします。】
 (1) あなたの希望はかなうと思いますか。(○は1つ)

1. 難しいと思う (→問 34-(2)へ)
 2. かなうと思う
 3. その他（具体的に：) (→問 35 へ)
 4. わからない

【問34-(1)で「1. 難しいと思う」とお答えになった方におたずねします。】
 (2) その理由はどれですか。(○は3つまで)

1. 家族や親族に肉体的・精神的な負担をかけるから
 2. 家族や親族に経済的な負担をかけるから
 3. 介護してくれる家族や親族がいらないから
 4. 病状が急に変わった場合の対応に不安があるから
 5. 訪問診療をしてくれる医師がいらないから
 6. 訪問看護をしてくれる看護士がいらないから
 7. 介護サービスが不足しているから
 8. 自宅療養できる住環境ではないから
 9. 在宅で受けられる医療・介護の内容がわからないから
 10. その他（具体的に：)

■認知症の支援について、おたずねします。

問35 認知症についてどのような印象を持っていますか。あなたのお気持ちに最も近いものを1つお答えください。(○は1つ)

1. 認知症にはなりたくない
 2. 自分も認知症になるのではないかと不安である
 3. 認知症は誰でもなり得るので受け入れられる
 4. わからない

問36 あなたは今までにあなた自身や家族が認知症になった時にどうしたらいいのか、考えたことがありますか。(○は1つ)

1. 考えたことがある
 2. 考えたことはない (→問 36-(3)へ)

【問36で「1. 考えたことがある」とお答えになった方におたずねします。】
 (1) どのようなことを考えましたか。(○はいくつでも)

1. 介護のこと
 2. 経済的なこと
 3. 病氣のこと
 4. 地域との関係
 5. その他（具体的に：)

【問36で「1. 考えたことがある」とお答えになった方におたずねします。】
 (2) もし、あなたが認知症になった時どうしたいと考えますか。(○はいくつでも)

1. 家族に任せたい
 2. 成年後見制度を利用したい
 3. 治療などをして、進行を遅らせたい
 4. すでにエンディングノートを作成している
 5. わからない
 6. その他（具体的に：)

→問 37 へ



がんばってください！
あと 16 問です。

問38 あなたは認知症サポーター養成講座があれば受講したいと思いますか。(○は1つ)

- 1. 受講したい
- 2. 受講したくない
- 3. わからない
- 4. 受講済み

問39 認知症について知りたいと思ったとき、何を利用しますか。(○は3つまで)

- 1. インターネット
- 2. 広報
- 3. 書籍
- 4. 認知症の情報紙
- 5. 認知症サポーター養成講座の受講
- 6. 町内会、自治会の回覧
- 7. 郵便局、銀行などのポスター掲示
- 8. その他 (具体的に:)

■ぜひごに、介護保険制度について、おたずねします。

問40 あなた自身が介護保険を使わず健康でいるために普段していることは何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 散歩等こまめな運動を心がけている
- 2. 栄養等、食事に注意する
- 3. 健康教室やトレーニングへの参加
- 4. 特定健康診査や使期高齢者医療健康診査の受診
- 5. 人間ドックの受診
- 6. 社会活動 (自治会・ボランティア等)
- 7. その他 (具体的に:)
- 8. 特にしていない

問41 あなたの同居家族で、介護施設に入所したり、介護保険のサービスを利用している人がいますか。(○は1つ)

- 1. 利用している人がいる
- 2. 現在は利用していないが、利用する予定がある
- 3. 利用している人はいない

問42 介護保険に関する情報は、どこから得ていますか。(○はいくつでも)

- 1. 家族・親族
- 2. 友人・知人
- 3. 市役所の窓口
- 4. 市の広報・ちらしなどの資料
- 5. 地域包括支援センター
- 6. 福祉相談センター
- 7. 施設・事業所・関係団体に相談
- 8. 施設・事業所・関係団体が発行する印刷物
- 9. インターネット
- 10. 福祉サービス第三者評価 (福ナビ) *
- 11. 新聞・テレビ・ラジオ
- 12. その他 (具体的に:)
- 13. 特でない

* 評価機関が福祉施設・事業所と契約を締結し、サービスの内容等を評価し、公表する制度です。

【問36で「2. 考えたことはない」とお答えになった方におたずねします。】

(3) その理由は何か。(○はいくつでも)

- 1. 私や私の家族は認知症にならないと思うから
- 2. 私や私の家族が認知症になるかどうか、考えたこともないから
- 3. その他 (具体的に:)

問37 あなたは認知症高齢者が生活するために、地域住民の協力は必要だと思いませんか。(○は1つ)

- 1. 思う
- 2. 思わない (→問37-(3)へ)

【問37で「1. 思う」とお答えになった方におたずねします。】

(1) その理由を教えてください。(○はいくつでも)

- 1. 家族の支えや介護保険の利用だけでは不十分なので、必要だと思う
- 2. 家族の支えや介護保険の利用とは違った役割を期待できるので必要だと思う
- 3. その他 (具体的に:)

【問37で「1. 思う」とお答えになった方におたずねします。】

(2) 地域住民のどのような協力が必要だと思いませんか。(○はいくつでも)

- 1. 認知症高齢者の見守り (徘徊認知症高齢者への支援)
- 2. 認知症高齢者の居場所づくり (認知症カフェ等)
- 3. 認知症高齢者の地域活動 (商店街、町内会、自治会、地域のサロン等)
- 4. 認知症介護者のための支援 (家族会等)
- 5. 認知症への理解促進 (認知症サポーター養成講座等)
- 6. わからない
- 7. その他 (具体的に:)

→問38へ

【問37で「2. 思わない」とお答えになった方におたずねします。】

(3) その理由を教えてください。(○はいくつでも)

- 1. 介護保険を利用すればよいので、必要だと思わない
- 2. 家族が支えればよいので、必要だと思わない
- 3. 地域住民は何もすることができないので、必要だと思わない
- 4. わからない
- 5. その他 (具体的に:)

問43 介護保険制度についてどのようなことを知りたいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 介護保険制度のしくみなどの全般	5. サービス利用にかかる費用負担
2. 介護保険サービスの具体的な内容	6. 事業所の選び方や詳しい情報
3. 市の介護保険事業の財政状況	7. その他(具体的に:)
4. 介護保険料	8. 特に知りたいことはない

問44 介護保険は、サービスの利用が増えると保険料も上がる仕組みです。国の試算によれば、サービスの利用者の増加により、保険料は今後も上がる事が見込まれています。介護保険のサービスと保険料について、あなたのお考えに一番近いものは次のうちどれですか。(〇は1つ)

1. 保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである
2. サービスの利用時の自己負担額を増やして、必要サービス量を維持すべきである
3. サービス量は低下しても、保険料の負担を増やさないようにすべきである
4. サービス量を抑制して、保険料の負担を下げるべきである
5. わからない

問45 介護予防に関する事業についておたずねします。
市が主催する介護予防に関する事業(地域体操クラブ、認知症予防教室など)に参加したことはありませんか。(〇は1つ)

1. 参加したことがある	3. 知らなかった
2. 知っているが参加したことはない	

問46 介護保険サービス以外の高齢者福祉サービスについておたずねします。
このサービスは、家具転倒防止器具取付事業、グループ旅行高齢者支援など、介護保険以外で、市高齢福祉課が行っている高齢者サービスです。
高齢者福祉サービスを利用したことはありますか。(〇は1つ)

1. 利用したことがある	3. 知らなかった
2. 知っているが利用したことはない	

問47 介護保険制度をよりよくするため、立川市に期待することは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1. 介護保険制度の普及、啓発をさらに図ること
2. 要介護状態にならないよう、介護予防サービスに力を入れること
3. 介護についての相談窓口を充実すること
4. ボランティアなど地域の社会資源を活用し、介護を支援する仕組み作りを行うこと
5. 介護人材を確保し育成すること
6. サービス事業者の質の向上を図るため、市の支援を充実すること
7. 介護サービス事業者への指導検査を充実すること
8. 訪問介護や通所介護(デイサービス)などの在宅サービスを充実すること
9. 特別養護老人ホームなどの施設サービスを充実すること
10. 市独自の公的サービスを充実すること
11. 高齢者のための権利擁護の仕組みづくり(成年後見制度の充実・金融管理サービスなど)
12. その他(具体的に:)

問48 介護をする家族の皆さんへの支援として、立川市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 介護全般についての相談窓口の充実	8. 地域住民のネットワークづくり
2. 介護者が気分転換できる行事の実施	9. 介護サービスの事業者や施設の確保
3. 家庭での介護のしかたを学ぶ講習の実施	10. 介護者を支えるための意識づくり
4. 介護者同士で集まって話せる場の確保	11. 経済的支援(手当の交付など)
5. ボランティアや支援組織の育成	12. サービス付き高齢者向け住宅などの施設の情報提供
6. 認知症サポート者養成講座の推進	13. その他(具体的に:)
7. 認知症カフェなどの認知症高齢者の居場所づくり	14. 特になし

問49 立川市の介護保険サービス・高齢者福祉施策について、ご意見・ご要望がありましたら、お書きください。

アンケートは以上です。長時間にわたり、ご協力いただきありがとうございました。
記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れて、

令和4年12月13日(火)までに郵便ポストに投函してください

(2) 在宅介護実態調査

冊子記載場所

次期『立川市高齢者福祉介護計画』策定に向けた
在宅介護実態調査
アンケートご協力をお願い

立川市の今後を考えるための基礎資料です。
 回答のご協力をお願いします。

同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、

令和4年12月13日（火）までに

郵便ポストに投函してくださいませようお願いします。

回答に当たってのお願い

- ※ アンケートの回答は、鉛筆またはボールペンなどをお使いいただきこの調査票に直
 接ご記入ください。
- ※ 封筒のあて名の方がアンケートの対象者となっております。
- ※ 記入日現在の状況をご回答ください。
- ※ アンケートに調査対象者ご本人様が記入できない場合は、代筆の方（ご家族・知人・
 介護従事者等）がご本人の意思を反映して、ご記入くださるようお願いいたします。
- ※ 回答は匿名でお願いたします。
- ※ 返信用封筒に、調査票以外のものを入れないでください。申請書等を同封されても
 対応できません。
- ※ インターネットでご回答いただいた方は調査票をお送りいただく必要はありません。

スマートフォン等をお持ちの方は、インターネットでもご回答いただけます。

▶東京共同電子申請・届出サービスのホームページで「WEBアンケート」も実施しています。
 下記アドレスか、右のQRコードから回答フォームにアクセスで
 きます。（注：インターネットでご回答いただいた方は調査票をお送り
 いただく必要はありませんのでご注意ください。）

【URL】

<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/wetsuke/form.do?acs=zaitakugaichousa>

【アンケートについてのお問い合わせ先】

立川市 福祉保健部 介護保険課 介護給付係

電話：(042)523-2111（内線1458） FAX：(042)522-2481

日ごろより、立川市の高齢者福祉行政の推進につきまして、ご理解とご協力をいただき
 ありがとうございます。

さて、立川市では、令和6年度～8年度に取り組むべき施策を明示した「立川市高齢者
 福祉介護計画（第9次高齢者福祉・第9期介護保険事業計画）」を策定するにあたり、アン
 ケート調査を実施いたします。

このアンケートは、利用されている介護サービスの状況や今後の利用量等、計画の策定
 に向けての基礎資料を作成することを目的としています。

対象は、立川市において介護保険の委託を受けている方の中から、無作為に
 選ばせていただいた1,500人の方です。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、何卒ご協
 力くださいますようお願いいたします。

令和4年11月 立川市

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
 なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

記

【個人情報の保護及び活用目的について】
 ・この調査は、立川市高齢者福祉介護計画の立案と効果評価のために行うものです。本調
 査で得られた情報は、立川市高齢者福祉介護計画策定と効果評価の目的以
 外には活用いたしません。また当該情報については、市において適切に管理いたします。
 ・ただし、立川市高齢者福祉介護計画策定時及び効果評価時に本調査で得られたデータを
 活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、
 必要に応じて集計・分析することがあります。

【要介護認定データの活用目的について】
 ・要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）は、要介護認定及び当市にお
 ける立川市高齢者福祉介護計画の検討の際の基礎資料とすることを目的に活用されてい
 きます。ご本人のご同意なく、目的以外の活用はいたしません。

【アンケート調査の回答内容の取扱いについて】
 ・アンケート調査でご回答いただいた内容（被保険者番号を含む）は、集計・分析を委託
 する株式会社グリーンエゴに委託していただきますが、情報は適切に管理いたします。
 以上



株式会社グリーンエゴは、一般財団法人日本情報経済社会推進協会よりプライバシーマークの
 付与認定を受けております。調査の実施にあたりましては、個人情報保護方針にしたがい、
 情報の管理を徹底いたします。

■まず、はじめに記入日や調査票を記入された方についてお教えください。

記 入 日	令和4年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. 調査対象者 (あて名の方) 本人	3. 主な介護者以外の家族・親族
2. 主な介護者となっている家族・親族	4. その他 (友人知人 等)

■調査対象者様ご本人について、おたずねします。

問1 あなた (調査対象者ご本人) の性別をお答えください。(どちらかに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2 あなた (調査対象者ご本人) の年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 65～69 歳	4. 80～84 歳	7. 95 歳以上
2. 70～74 歳	5. 85～89 歳	
3. 75～79 歳	6. 90～94 歳	

問3 あなた (調査対象者ご本人) のお住まいの町名は、どちらですか。(○は1つ)

1. 富士見町	7. 緑町	13. 砂川町
2. 紫崎町	8. 栄町	14. 上砂町
3. 鈴町	9. 若葉町	15. 一番町
4. 羽衣町	10. 幸町	16. 西砂町
5. 曙町	11. 柏町	17. 立川市内だが町名がわからない
6. 高松町	12. 栄町	18. 立川市外 ()

問4 あなた (調査対象者ご本人) は、どなたかと住んでいますか。(○は1つ)

1. 1人暮らし	4. 子供家族との2世帯同居
2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	5. 子供 (単身者) との同居
3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	6. その他 (具体的に:)

問5 あなた (調査対象者ご本人) のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 持家 (一戸建て)	6. 借家
2. 持家 (マンションなどの集合住宅)	7. 特別養護老人ホームなど介護保険施設
3. 公営賃貸住宅 (都営・市営)	8. サービス付高齢者向け住宅
4. 民間の賃貸住宅 (一戸建て)	9. その他 (具体的に:)
5. 民間の賃貸住宅 (アパートなどの集合住宅)	

問6 あなた (調査対象者ご本人) の要介護度は次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 要支援1	4. 要介護2	7. 要介護5
2. 要支援2	5. 要介護3	8. わからない
3. 要介護1	6. 要介護4	

問7 あなた (調査対象者ご本人) が、現在抱えている病気やけがについて、お答えください。(○はいくつでも)

1. 脳血管疾患 (脳卒中)	9. 認知症
2. 心疾患 (心臓病)	10. パーキンソン病
3. 悪性新生物 (がん)	11. 難病 (パーキンソン病を除く)
4. 呼吸器疾患	12. 糖尿病
5. 腎疾患 (透析)	13. 眼科・耳鼻科疾患
6. 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、骨髄質減少症)	(視覚・聴覚障害を伴うもの)
7. 膠原病 (関節リウマチ含む)	14. その他 (具体的に:)
8. 変形性関節疾患	15. なし
	16. わからない

問8 昨年のあなた (調査対象者ご本人) の年収 (年金を含む) はいくらでしたか。(○は1つ)

1. 80 万円未満	6. 400～600 万円未満
2. 80～120 万円未満	7. 600～1,000 万円未満
3. 120～200 万円未満	8. 1,000 万円以上
4. 200～300 万円未満	9. わからない
5. 300～400 万円未満	10. 答えたくない

問9 あなた(調査対象者ご本人)は、現在、訪問診療を利用していますか。
(どちらかに○)

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

※ 訪問診療や介護保険サービスの在宅療養管理指導は含みません。

問10 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、お答えください。(○はいくつでも)

1. 配食	7. 移送サービス(介護・福祉タクシーなど)
2. 調理	8. 見守り、声かけ
3. 掃除・洗濯	9. サロンなどの定期的な通いの場
4. 買い物(宅配は含まない)	10. その他(具体的に:)
5. ゴミ出し	11. 利用していない
6. 外出同行(通院、買い物など)	

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含まれます。

問11 現在、今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、お答えください。(○はいくつでも)

1. 配食	7. 移送サービス(介護・福祉タクシーなど)
2. 調理	8. 見守り、声かけ
3. 掃除・洗濯	9. サロンなどの定期的な通いの場
4. 買い物(宅配は含まない)	10. その他(具体的に:)
5. ゴミ出し	11. 特になし
6. 外出同行(通院、買い物など)	

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含まれます。

問12 介護に関係することで「介護保険サービス以外」ではどのようなことにお金がかかっていますか。(○はいくつでも)

1. 医療費・医薬品代	5. 緊急通報システム
2. おむつ代	6. その他(具体的に:)
3. タクシー代・送迎代	7. 特になし
4. 本人用の飲み物・食べ物	

問13 現在支払っている介護保険料について、どのようにお感じになっていますか。
(○は1つ)

1. 特に負担とは思わない	3. 負担が大きく、支払うことが困難
2. 負担であるが、支払うことが可能	4. わからない

問14 介護保険は、サービスの利用が増えるのと保険料も上がる仕組みです。国の試算によれば、サービスの利用者の増加により、保険料は今後も上がることが見込まれています。介護保険のサービスと保険料について、あなた(調査対象者ご本人)のお考えに一番近いものは次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである
2. サービスの利用時の自己負担額を増やして、必要なサービス量を維持すべきである
3. サービス量は低下しても、保険料の負担を増やさないようにすべきである
4. サービス量を抑制して、保険料の負担を下げるべきである
5. わからない

問15 令和4年10月1日～31日の1か月間に、介護保険サービスを利用しましたが、
【住宅改修、福祉用具貸与、福祉用具購入以外】(どちらかに○)

1. 利用した	(→問16へ)
2. 利用していない	(→7ページの問22へ)

【問15で「1. 利用した」とお答えした方にお伺いします。】

問16 現在、下記のサービスの利用状況について、それぞれはまるものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

(※回答例)	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
① 訪問介護 (ホームヘルプサービス) (ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴、排せつ、食事などの身体介護や調理、洗濯などの生活援助をします。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
② 訪問入浴介護 (介護職員が居宅まで訪問し、浴槽を提供しての入浴介護を行います。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上

	1. 週間あたりの利用回数 (それぞれ1つに○)					
	利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度	週5回 以上
③ 訪問看護 (疾病などを抱えている人に対し、医師の指示を踏襲して、療養上のアドバイスや、診療の補助を行います。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
④ 訪問リハビリテーション (自宅で生活行為を向上させるために、理学療法士や作業療法士、言語療法士が訪問によるリハビリテーションを行います。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
⑤ 通所介護 (デイサービス) (通所介護 (デイサービス) 施設で、食事、入浴などの日常生活上の支援や生活行為向上のための支援を日曜日でを行います。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
⑥ 通所リハビリテーション (デイケア) (老人保健施設や医療機関などで、食事、入浴などの日常生活上の支援や生活行為向上のために、医師の指示のもとでづくりハビリテーションを日曜日でを行います。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
⑦ 夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答) (夜間に、定期的な巡回訪問または随時の連絡により、入浴、排せつ、食事などの介護や、その他日常生活上の緊急時の対応などを行います。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上

1. 1か月あたりの利用の有無 (それぞれどちらかに○)	
⑧ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (定期的な巡回訪問により、又は随時的な巡回訪問により、医師の指示を踏襲しながら、日常生活上の緊急、療養生活を支援します。)	1. 利用していない 2. 利用した
⑨ 小規模多機能型居宅介護 (通所を中心として、利用者の改善や希望に応じて、訪問や宿泊を組み合わせ、入浴、排せつ、食事などの介護や、その他日常生活上の世話などを行い、在宅での生活の継続を支援します。)	1. 利用していない 2. 利用した

	1. 1か月あたりの利用の有無 (それぞれどちらかに○)	
	利用して いない	2. 利用した
⑩ 看護小規模多機能型居宅介護 (小規模多機能型居宅介護のサービス内容に加えて、必要に応じて訪問看護が組み合わされたサービスが提供されます。)	0回	2. 利用した
⑪ ショートステイ (短期入所生活介護・療養介護) (介護老人保健施設などに短期間入所して、食事、入浴などのサービスや生活行為向上のための機能訓練が受けられます。)	0回	15~21日 22日以上
⑫ 居宅療養管理指導 (医師、歯科医師、薬剤師、看護師などから構成される介護上の支援や指導を行います。)	0回	2日 3回 4回

問17 【問16】の介護保険サービスの利用料について、どのようにお感じになっていますか。(○は1つ)

1か月あたりの利用回数 (1つに○)				
利用して いない	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度	月4回 程度
1. サービス内容に比べて安いと思う				
2. 適当な利用料と思う	0回	1回	2日	3回
3. どちらともいえない				
4. やや負担が大きい				
5. 負担が大きい				
6. わからない				

問18 【問16】の介護保険サービスについて、利用回数等を増やしたい、または新規に利用を始めたいものはありますか。(○はいくつでも)

1か月あたりの利用の有無 (それぞれどちらかに○)	
1. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
2. 訪問入浴介護	9. 小規模多機能型居宅介護
3. 訪問看護	10. 看護小規模多機能型居宅介護
4. 訪問リハビリテーション	11. ショートステイ (短期入所生活介護・療養介護)
5. 通所介護 (デイサービス)	12. 居宅療養管理指導
6. 通所リハビリテーション (デイケア)	13. 特になし
7. 夜間対応型訪問介護	

問19 介護保険サービスを利用する上で困っていることはありますか。(○はいくつでも)

1. サービス時間や回数などが少ないこと	
2. 定員超のため、希望するものを利用できないこと	
3. 利用料金が高いこと (どのサービスですが、具体的に:)	
4. 制度が複雑でわかりにくいこと	
5. 介護支援専門員(ケアマネジャー)や地域包括支援センター担当者の対応がよくないこと	
6. 介護保険サービス事業者の対応がよくないこと	
7. その他(具体的に:)	
8. 特になし	

問20 あなた(調査対象者ご本人)と同居されている方で、ほかに介護保険サービスを利用している人がいますか。(○は1つ)

1. 利用している	
2. 現在は利用していないが、利用する予定がある	
3. 利用していない	

問21 現在の介護保険サービスに、満足していますか。(○は1つ)

1. 満足している	4. どちらかといえば不満である
2. どちらかといえば満足している	5. 不満である
3. どちらともいえない	

↳ 問21を回答した方は8ページの問23へお進みください

【問15で「2. 利用していない」とお答えした方にお伺いします。

問22 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	
2. 本人にサービス利用の希望がない	
3. 家族が介護をするため必要ない	
4. 以前、利用していたサービスに不満があった	
5. 利用料を支払うのが難しい	
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない	
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	
9. その他(具体的に:)	

問23 介護支援専門員(ケアマネジャー)に求めることは、どのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 自分や家族の要望を聞いてくれる	6. サービス事業者と連絡がとれている
2. 自分に合ったプランを提案してくれる	7. 主治医と連携がとれている
3. 説明がわかりやすい	8. 不満、苦情を伝えやすい
4. 言葉遣いや態度が丁寧である	9. その他(具体的に:)
5. 定期的に連絡を入れてくれる	10. 特になし

問24 介護保険制度をよりよくするため、立川市に期待することは、次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1. 介護保険制度の普及、啓発をさらに回ること	
2. 要介護状態にならないよう、介護予防サービスに力を入れること	
3. 介護についての相談窓口を充実すること	
4. ボランティアなど地域の社会資源を活用し、介護を支援する仕組みづくりを行うこと	
5. ホームヘルパー(訪問介護員)などの人材を育成すること	
6. 介護支援専門員(ケアマネジャー)の質の向上に努めること	
7. サービス事業者の質の向上に努めること	
8. 訪問介護や通所介護(デイサービス)などの在宅サービスを充実すること	
9. 特別養護老人ホームなどの施設サービスを充実すること	
10. 高齢者のための権利擁護の仕組みづくり(成年後見制度の充実・金融管理サービスなど)	
11. 医療と介護の連携を充実すること	
12. 介護サービス事業所への指導検査を充実すること	
13. その他(具体的に:)	
14. 特になし	

問25 現時点での、施設などへの入所・入居の検討状況について、お答えください。(○は1つ)

1. 入所・入居は検討していない	
2. 入所・入居を検討している	
3. すでに入所・入居申し込みをしている	

問26 これからの生活について、あなた(調査対象者ご本人)のご希望に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

1. できるならば施設に入りたい	(→問27へ)	
2. できる限り自宅の生活を続けたい	}	
3. 家族の意向に任せている		(→問28へ)
4. その他(具体的に:)		

【問26で「1. できるならば施設に入りたい」とお答えした方にお伺いします。】

問27 あなたが入りたいと希望する施設は、どのような施設ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設 (自宅での生活が困難な方の施設) | |
| 2. 有料老人ホームなど (介護度が高くなっても住み続けられる施設) | |
| 3. サービス付高齢者向け住宅 (相談や見守りなどのサービスがある施設) | |
| 4. 認知症高齢者グループホーム | |
| 5. その他 (具体的に:) | |

問28 ご家族やご親族の方 (同居していない子どもや親族も含む) からの介護は、週にどのくらいありますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1. ない | |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週1日より少ない | (→問44へ) |
| 3. 週1~2日ある | |
| 4. 週3~4日ある | (→問29へ) |
| 5. ほぼ毎日ある | |

→問28を回答した方で、「1. ない」「2. 家族・親族の介護はあるが、週1日より少ない」を回答した方は、14ページ最後の問44へお進みください。
・それ以外の方は問29へお進みください。

■調査対象者様をご自宅で介護されている方について、お伺いします。

問29 ご自宅で主に介護を行っているのはどなたですか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. 配偶者 | 4. 孫 |
| 2. 子 | 5. 兄弟・姉妹 |
| 3. 子の配偶者 | 7. その他 (具体的に:) |

問30 主な介護者(おひとり)の方の性別をお答えください。(どちらかに〇)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問31 主な介護者の方の年齢をお答えください。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|--------|----------|
| 1. 20歳未満 | 4. 40代 | 7. 70代 |
| 2. 20代 | 5. 50代 | 8. 80歳以上 |
| 3. 30代 | 6. 60代 | 9. わからない |

問32 主な介護者の方が調査対象者様の介護を始めて、どのくらいですか。(〇は1つ)

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| 1. 半年未満 | 4. 3年~5年未満 | 7. 10年以上 |
| 2. 半年~1年未満 | 5. 5年~7年未満 | |
| 3. 1年~3年未満 | 6. 7年~10年未満 | |

問33 主な介護者の方の一日あたりの介護時間は、どのくらいですか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 必要ときに手を貸す程度 | 3. 半日程度 |
| 2. 2~3時間程度 | 4. ほとんど終日 |

※ 在宅で訪問介護などの介護保険サービスを受けている時間を聞いてお答えください。

問34 現在、主な介護者の方が行っている介護などについて、お答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 【身体介護】 | |
| 1. 日中の排泄 | 7. 屋内の移乗・移動 |
| 2. 夜間の排泄 | 8. 外出の付き添い、送迎など |
| 3. 食事の介助 (食べる時) | 9. 服薬 |
| 4. 入浴・洗身 | 10. 認知症兆候への対応 |
| 5. 身だしなみ (洗面・歯磨きなど) | 11. 医薬面での対応 (経管栄養・ストーマなど) |
| 6. 衣服の着脱 | |
| 【生活援助】 | |
| 12. 食事の準備 (調理など) | 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き |
| 13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物など) | |
| 【その他】 | |
| 15. その他 (具体的に:) | 16. 主な介護者に確認しないと、わからない |

問35 現在の生活を継続していくにあたって、**主な介護者の方**が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

【身体介護】	7. 屋内の移乗・移動
1. 日中の排泄	8. 外出の付き添い、送迎など
2. 夜間の排泄	9. 服薬
3. 食事の介助（食べる時）	10. 認知症状への対応
4. 入浴・洗身	11. 医療面での対応（経管栄養・ストーマなど）
5. 身だしなみ（洗面・歯磨きなど）	6. 衣服の着脱
【生活援助】	12. 食事の準備（調理など）
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）	14. 金銭管理や生活面に必要な手続き
【その他】	15. その他（具体的に： ）
16. 不安に感じていることは、特にない	17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問36 ご家族やご親族の中で、調査対象者様の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。）（○はいいくつでも）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問37 **主な介護者の方**の現在の勤務形態について、お答えください。（○は1つ）

1. フルタイムで働いている	→ (→問 38 へ)
2. パートタイムで働いている	→ (→13 ページの間 41 へ)
3. 働いていない	
4. 主な介護者に確認しないと、わからない	

※ 「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」などの方をさします。自営業・フリーランスなどの場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問37で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」とお答えした方にお伺いします。】

問38 **主な介護者の方**は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などをしていきますか。（○はいいくつでも）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、短時間勤務、退出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2.～4.以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問39 **主な介護者の方**は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（○は3つまで）

1. 介護休業・介護休暇などの制度の充実
2. 制度を利用しやすい職場づくり
3. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
4. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
5. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
6. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
7. 介護をしている従業員への経済的な支援
8. 自営業・フリーランスなどのため、勤め先はない
9. その他（具体的に： ）
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問40 **主な介護者の方**は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○は1つ）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問41 主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。(○はいくつでも)

1. 家族・親族	9. 介護保険サービス事業者
2. 友人・知人	10. 医師
3. 近所の人、ボランティアの人など	11. 病院の医療ソーシャルワーカー
4. 介護が必要な本人	12. 民生委員
5. 介護支援専門員(ケアマネジャー)	13. 勤務先
6. 地域包括支援センター	14. その他(具体的に:)
7. 市役所	15. 誰にも相談していない
8. 保健所	16. 主な介護者に確認しないと、わからない

問42 介護に関してお困りのことは、何ですか。(○はいくつでも)

1. 介護についての相談相手・相談場所がわからないこと
2. 制度が複雑でわかりにくいこと
3. 困った時に頼れる相手がいないこと
4. 以前のように仕事ができなくなったこと
5. 自分の体調が悪いこと
6. 自分が病院に行くことができないこと
7. 自分のための時間がないこと
8. 休養を取れないこと
9. 買い物やゴミ出しを誰かに頼む必要があること
10. 外出の際に付き添いや運転手がいらないこと
11. 外出のための交通手段がないこと
12. その他(具体的に:)
13. 特になし

問43 介護や付き添いをする家族の皆さんへの支援として、立川市はどのようなことにか
を入れるべきだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 介護や介護保険についての相談
2. 介護者が気分転換できる行事
3. 家庭での介護のしかたを学ぶ講習
4. 介護者同士で集まって話せる場
5. 認知症のサロンやカフェへの活動の育成
6. 認知症の方を地域で支える仕組み
7. 認知症サポーター養成講座の推進
8. ボランティアや支援組織の育成
9. 制度やサービスを紹介する配布資料
10. 介護保険サービスの事業者や施設の確保
11. 介護者を支えるための意識づくり
12. 経済的支援(手当の交付など)
13. サービス付高齢者向け住宅などの情報提供
14. その他(具体的に:)
15. 特になし

問44 立川市の介護保険サービス・高齢者福祉施策について、ご意見・ご要望がありま
したら、お書きください。

アンケートは以上です。長時間にわたり、ご協力いただきありがとうございました。
記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れて、

令和4年12月13日(火)までに

郵便ポストに投函してください

(3) 介護保険事業所向けアンケート調査

次期『立川市高齢者福祉介護計画』策定に向けた
介護保険事業所向けアンケート調査
 アンケートご協力をお願い

立川市の今後を考えるための基礎資料です。
 回答のご協力をお願いします。

同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、
令和4年12月13日（火） までに
 郵便ポストに投函してくださいませようお願いします。

回答に当たってのお願い

- ※ アンケートの回答は、結果またはボールペンなどをお使いいただきこの調査票に直接ご記入ください。
- ※ 封筒のあて名の事業所名がアンケートの対象事業所区分となっております。
- ※ 各調査項目について、特に指定がない場合は、記入日現在の状況を記入してください。
- ※ インターネットでご回答いただいた方は調査票をお送りいただく必要はありません。

スマートフォン等をお持ちの方は、インターネットでもご回答いただけます。

▶東京共同電子申請・届出サービスのホームページで「WEBアンケート」も実施しています。

下記アドレスか、右のQRコードから回答フォームにアクセスできます。（注：インターネットでご回答いただいた方は調査票をお送りいただく必要はありませんのでご注意ください。）

【URL】

<https://www.shinsei.eig-front.jp/tokyo2/uketisuke/form.do?acs=jigousyamakehousa>



【アンケートについてのお問い合わせ先】

立川市 福祉保健部 介護保険課 介護給付係

電話：(042)523-2111（内線1458）

FAX：(042)522-2481

日ごろより、立川市の高齢者福祉行政の推進につきまして、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。

さて、立川市では、令和6年度～8年度に取り組みべき施策を明示した「立川市高齢者福祉介護計画（第9次高齢者福祉・第9期介護保険事業計画）」を策定するにあたり、事前アンケートを実施いたします。

このアンケートは、皆様を取り巻く環境の変化や問題点などを把握し、計画の策定に向けての基礎資料を作成することを目的としています。

対象は、市内の全事業所（約250か所）及び市外の事業所（約50か所）の合計約300事業所です。同一の法人で複数の事業所を運営している場合は、事業所ごとに調査を行いますので、ご回答くださいますようお願いいたします。また、この調査票にご記入いただいた内容は、統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年11月 立川市

■まず、はじめに法人名・事業所名をご記入ください。

運営法人名	
事業所（施設）名	
所在地 (どちらなのかに○)	1. 立川市内 2. 立川市外
介護保険事業所番号	
サービス種類	

■貴事業所・法人の概況について、おたずねします。

問1 貴事業所が開設されたのはいつですか。(○は1つ)

1. 介護保険制度開始（平成12年4月）以前
2. 平成・令和（ ）年

問2 貴法人が開設されたのはいつですか。(○は1つ)

1. 介護保険制度開始（平成12年4月）以前
2. 平成・令和（ ）年

問3 貴法人の組織形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 社会福祉法人（社協以外）
2. 社会福祉法人（社協）
3. 社団法人
4. 財団法人
5. 医療法人
6. 農協
7. 生協
8. 営利法人
9. NPO法人
10. その他（具体的に： ）

問4 貴事業所及び併設事業所において提供している介護保険サービス（総合事業を含む）は何ですか。(○はいくつでも)

※ この設問では「予防」サービスと区別しなくても構いません

1. 居宅介護支援
2. 訪問介護
3. 訪問看護
4. 訪問入浴介護
5. 訪問リハビリテーション
6. 通所介護
7. 通所リハビリテーション
8. 短期入所生活介護
9. 短期入所療養介護
10. 居宅療養管理指導
11. 福祉用具の貸与・販売
12. 住宅改修
13. 訪問型サービス（総合事業）
14. 通所型サービス（総合事業）
15. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
16. 夜間対応型訪問介護
17. 地域密着型通所介護
18. 認知症対応型通所介護
19. 小規模多機能型居宅介護
20. 看護小規模多機能型居宅介護
21. 認知症対応型共同生活介護
22. 特定施設入居者生活介護
23. 地域密着型特定施設入居者生活介護
24. 介護老人福祉施設
25. 地域密着型介護老人福祉施設
26. 介護老人保健施設
27. 介護療養型医療施設
28. 介護医療院
29. その他（具体的に： ）

問5 貴事業所及び併設事業所では、高齢者向けに介護保険サービス（総合事業を含む）以外の事業も実施していますか。当てはまるものをお答えください。(○はいくつでも)

1. 通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流など）
2. 通いの場への送迎
3. 通院・福祉施設・役所の送迎前後の付き添い
4. 見守り・安否確認
5. 緊急時の通報システム
6. ごみ出し
7. 家事代行
8. 話し相手
9. 訪問による理美容
10. 歯科などの訪問診療
11. 介護等が必要になった場合の住宅改修
12. 紙おむつの配送
13. 配食サービス
14. ペットの世話
15. その他（具体的に： ）
16. 特になし

■ 貴事業所のサービス提供体制について、おたずねします。

問6 貴事業所のスタッフの人員構成についてお教えください。(令和4年11月1日現在)
注1) 2つ以上に当てはまる方については、主に従事している業務を1つ選んでください。

	常勤	非常勤
1. 介護支援専門員 (うち 主任介護支援専門員)	人	人
2. 社会福祉士	人	人
3. 介護福祉士	人	人
4. 介護福祉士実務者研修修了者	人	人
5. 介護職員初任者研修修了者 (ヘルパー2級)	人	人
6. 生活支援サポーター	人	人
7. 医師・歯科医師	人	人
8. 保健師	人	人
9. 看護師・准看護師	人	人
10. 作業療法士・理学療法士、 言語聴覚士・柔道整復師等	人	人
11. 栄養士	人	人
12. 福祉用具専門相談員	人	人
13. 管理職・事務職	人	人
14. その他	人	人
15. 合計	人	人

■ サービスの質の向上のための取り組みについて、おたずねします。

問8 貴事業所における過去1か月間の苦情受付件数は、何件くらいですか。(〇は1つ)

1. 月平均 () 件くらい
2. 特に苦情等は受けていない (→問9へ)

▶ 【問8で「1」とお答えになった方におたずねします。】

問8-1 苦情はどのような内容が多いですか。下記項目より当てはまる番号をご記入ください。(〇はいくつでも)

1. サービス内容	4. 施設・設備
2. 利用手続き	5. 介護保険外負担(その他日常生活費など)
3. 職員の対応	6. その他(具体的に)

お直し支えなければ項目の番号に〇をつけ、内容をご記入ください。

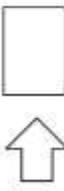
サービス種別	項目	内容
(記載例) 地域入所 某所介護	①	
	2	(記載例)
	3	「施設に預ける前に比べ健康状態が悪化していく方が、入所中の健康管理は どうなっているのか。」といった問い合わせ
	4	
	5	
	6	
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	

問7 貴事業所のスタッフの年齢構成についてお教えください。(令和4年11月1日現在)

	介護職員	介護職員以外
1. 19歳以下	人	人
2. 20~29歳	人	人
3. 30~39歳	人	人
4. 40~49歳	人	人
5. 50~59歳	人	人
6. 60~69歳	人	人
7. 70~79歳	人	人
8. 80~89歳	人	人
9. 90歳以上	人	人
10. 合計	人	人

問9 貴事業所における介護保険サービス（総合事業を含む）の提供にあたり、サービスの質の向上のための取り組みとして力を入れていることは次のうちどれですか。（〇は3つまで）

1. 福祉サービス第三者評価の結果をうけての改善
2. 職員・スタッフの研修、育成
3. 職員・スタッフの健康管理
4. 利用者個別のサービス計画の充実と見直し
5. 利用者ご家族の意思の尊重
6. 個々の利用者の状況に配慮したケアの実施
7. 利用者の生活に楽しみが得られるような食事メニューや行事の実施
8. 地域社会との連携（地元小学校、町内会などとの交流）
9. ボランティアの受け入れ
10. 事業所間・施設間や行政との情報の共有
11. ご家族とのコミュニケーションを図る機会づくり
12. サービスの質の向上のためのサービス評価の実施
13. 衛生管理の徹底化
14. 理解を広げるための幅広い広報、相談の実施
15. 第三者委員会の設置など、利用者からの苦情に対応する体制づくり
16. 透明性の高い経営（経営・収支状況の公開など）
17. 利用者の人権やプライバシーへの配慮
18. 医療と介護の連携
19. その他（具体的に：)
20. 特になし



問9-1 上記のうち、質の向上のために最も力を入れている項目を一つ、お選びください。

問10 貴事業所において地域包括ケアシステムの構築のために取り組んでいることは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 地域包括支援センターとの連携（具体的に：)
2. 福祉相談センターとの連携（具体的に：)
3. 医療機関との連携（具体的に：)
4. 社会貢献活動（具体的に：)
5. 小地域ケア会議への参加
6. 地域包括支援センターが行う連絡会、研修会への参加
7. 地域包括支援センターが行う介護予防教室などへの参加
8. 介護保険課、高齢福祉課が行う各種研修、連絡会への参加
9. その他（具体的に：)

問11 貴事業所における、ボランティアの受け入れ状況をお答えください。（〇は1つ）

1. ほぼ毎日受け入れている
2. 週1回程度受け入れている
3. 月2回程度受け入れている
4. 月1回程度受け入れている
5. 年数回程度受け入れている
6. ほとんど受け入れていない

問12 自立支援・介護予防・重度化防止等について、貴事業所で取り組んでいることがあれば、その内容を記載してください。

■近年の制度改正の影響や職員処遇について、おたずねします。

問13 貴事業所では、介護職員処遇改善加算を取得（届出）されていますか。（〇は1つ）

1. 介護職員処遇改善加算（Ⅰ）を取得（届出）している
2. 介護職員処遇改善加算（Ⅱ）を取得（届出）している
3. 介護職員処遇改善加算（Ⅲ）を取得（届出）している
4. 取得（届出）していない（→問13-2へ）
7. 処遇改善加算の対象サービスでない

【問13で「1」～「3」をお答えになった方におたずねします。】

問13-1 加算により、職員の採用や定着につながりましたか。（〇はいくつでも）

1. 職員採用につながった
2. 職員定着につながった
3. 職員採用にはつながらなかった
4. 職員定着にはつながらなかった
5. わからない
6. その他（具体的に：)

【問13で「4」とお答えになった方におたずねします。】

問13-2 取得（届出）していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 算定要件の理解が困難
2. 事務作業が煩雑
3. 事業者負担の発生
4. 利用者負担の増加
5. 費金改善の必要性がない
6. 算定要件を達成できない
7. その他（具体的に：)

問14 貴事業所では、介護職員等特定処遇改善加算を取得（届出）されていますか。（〇は1つ）

1. 介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）を取得（届出）している
2. 介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ）を取得（届出）している
3. 取得（届出）していない（→問14-2へ）
4. 特定処遇改善加算の対象サービスでない

→ 【問14で「1」「2」とお答えになった方におたずねします。】
問14-1 加算により、職員の採用や定着につながりましたか。（〇はいくつでも）

1. 職員採用につながった
2. 職員定着につながった
3. 職員採用にはつながらなかった
4. 職員定着にはつながらなかった
5. わからない
6. その他（具体的に：）

【問14で「3」とお答えになった方におたずねします。】
問14-2 取得（届出）していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 算定要件の理解が困難
2. 事務作業が煩雑
3. 事業者負担の発生
4. 利用者負担の増加
5. 資金改善の必要性がない
6. 算定要件を達成できない
7. 処遇改善加算を算定していない
8. その他（具体的に：）

問15 貴事業所では、介護職員等ベースアップ等支援加算を取得（届出）されていますか。（〇は1つ）

1. 介護職員等ベースアップ等支援加算を取得（届出）している
2. 取得（届出）していない（→問15-2へ）
3. 特定処遇改善加算の対象サービスでない

→ 【問15で「1」とお答えになった方におたずねします。】
問15-1 加算により、職員の採用や定着につながりましたか。（〇はいくつでも）

1. 職員採用につながった
2. 職員定着につながった
3. 職員採用にはつながらなかった
4. 職員定着にはつながらなかった
5. わからない
6. その他（具体的に：）

【問15で「2」とお答えになった方におたずねします。】
問15-2 取得（届出）していない理由は何か。（〇はいくつでも）

1. 算定要件の理解が困難
2. 事務作業が煩雑
3. 事業者負担の発生
4. 利用者負担の増加
5. 資金改善の必要性がない
6. 算定要件を達成できない
7. 処遇改善加算を算定していない
8. その他（具体的に：）

問16 貴事業所では、介護報酬の改定に伴う影響や変化としてどのようなものがありましたか。（〇はいくつでも）

1. 利用者への関心が強まった
2. 従事者の生活支援に苦慮する
3. サービス内容を見直した
4. 勤務体系、人材確保策を見直した
5. 人件費以外の経費を見直した
6. 利用者数・回数が増えた
7. 利用者数・回数が減った
8. 影響や変化は、特に感じない
9. その他（具体的に：）
10. 当事業所には関係ない

→ 【問16で「3」とお答えになった方におたずねします。】

問16-1 具体的にどのような見直しですか。（〇はいくつでも）

1. 加算の取得
2. 加算の取りやめ
3. サービスを充実させた（具体的に：）
4. サービスをスリム化した（具体的に：）
5. その他（具体的に：）

■介護人材の確保・育成について、おたずねします。

問17 介護報酬の改定に伴う影響や人材確保・育成のための取り組みについて、(1)～(3)の各項目についてお答えください。

(1) 職員の募集はどのように行っていますか。(〇はいくつでも)

1. ハローワーク（公共職業安定所）に求人票を出している
2. 看護系大学に求人票を出している
3. 薬科系大学に求人票を出している
4. 専門学校に求人票を出している
5. 新聞の折り込み広告等に求人掲載している
6. 職業紹介雑誌等に求人掲載している
7. 就職相談会等の機会にブースを設けている
8. インターネット媒体を介して募集
9. 人材派遣会社の活用
10. 人材紹介会社の活用
11. その他（具体的に：）

(2) 職員の時間外勤務時間は増えましたか。(〇は1つ)

1. 増えた
2. 減った
3. 変わらない

(3) 職員の研修や資格取得のための支援として、以下の取り組みを行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 事業所で研修を実施している
2. 外部の研修機関に委託して実施している（費用は事業所負担）
3. 外部の研修への参加を奨励している（費用は事業所負担）
4. 外部の研修への参加費（自己負担）の補助を行っている
5. その他（具体的に：）
6. 特に行っていない

問18 貴事業所では、現場職員（介護・看護等に携わる職員）の昇進・昇給等に際して、どのような内容・項目で評価を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 貴事業所での在職期間（勤続年数）
2. 貴事業所以外を含めた通算での経験年数
3. 所有する資格の種類
4. 介護技術面の能力
5. 管理能力
6. 利用者からの評価・評判（顧客満足度調査結果など）
7. 研修等の受講状況
8. 業務への取り組み意欲
9. その他（具体的に：）
10. 昇進・昇給に関する評価制度はない

問19 企業などから「転職者」を雇用する際の壁（支障）は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

1. 賃金が低い
2. 夜間勤務がある
3. 休みが少ない
4. 福祉について知識やスキルが足りない（研修の機会が少ない）
5. 意識がなかなか変わらない（福祉になじめない）
6. 体力や年齢
7. 専門性（資格）がない
8. 以前のキャリア・経験を生かせない
9. 障害者への偏見や理解不足（権利意識の希薄さ）
10. 事業所側に抵抗感がある・なじめない
11. 労務管理が難しい
12. その他（具体的に：）

■介護保険サービスの経営状況について、おたずねします。

※非営利法人の場合は、収支の状況についてお答えください。

問20 貴事業所の経営状況（収支）は。(〇は1つ)

1. 黒字
2. 赤字
3. 収支均衡

▶【問20で「2. 赤字」とお答えになった方におたずねします。】
問20-1 赤字の主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 利用者数の低迷
2. 人件費の高騰
3. 人件費以外の経費の高騰
4. 人材不足によるサービス供給量の低下
5. 競合する事業所・施設の増加
6. 介護報酬の設定
7. 把握していない
8. その他（具体的に：）

問21 貴事業所が実施している介護保険サービス（総合事業を含む）の将来性について、どのようにお考えですか。(〇は1つ)

1. 見通しがある
2. やや見通しがある
3. あまり見通しはない
4. 見通しはない
5. わからない

問22 農業者を含む法人全体の今後の事業予定について、お聞かせください。

(1) 立川市内で拡大予定の事業はありますか。(〇はいくつでも)

※ この設問では「予防」サービスと区別しなくても構いません

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 居宅介護支援 | 16. 夜間対応型訪問介護 |
| 2. 訪問介護 | 17. 地域密着型通所介護 |
| 3. 訪問看護 | 18. 認知症対応型通所介護 |
| 4. 訪問入浴介護 | 19. 小規模多機能型居宅介護 |
| 5. 訪問リハビリテーション | 20. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 6. 通所介護 | 21. 認知症対応型共同生活介護 |
| 7. 通所リハビリテーション | 22. 特定施設入居者生活介護 |
| 8. 短期入所生活介護 | 23. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 9. 短期入所療養介護 | 24. 介護老人福祉施設 |
| 10. 居宅療養管理指導 | 25. 地域密着型介護老人福祉施設 |
| 11. 福祉用具の貸与・販売 | 26. 介護老人保健施設 |
| 12. 住宅改修 | 27. 介護療養型医療施設 |
| 13. 訪問型サービス(総合事業) | 28. 介護医療院 |
| 14. 通所型サービス(総合事業) | 29. 拡大の予定はない |
| 15. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | |

(2) 拡大の理由、および具体的に、いつ頃、どのような拡大を図る計画か、差しつかえない範囲で構いませんので、お書きください。

(3) 立川市内で縮小・廃止予定の事業はありますか。(〇はいくつでも)

※ この設問では「予防」サービスと区別しなくても構いません

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 居宅介護支援 | 16. 夜間対応型訪問介護 |
| 2. 訪問介護 | 17. 地域密着型通所介護 |
| 3. 訪問看護 | 18. 認知症対応型通所介護 |
| 4. 訪問入浴介護 | 19. 小規模多機能型居宅介護 |
| 5. 訪問リハビリテーション | 20. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 6. 通所介護 | 21. 認知症対応型共同生活介護 |
| 7. 通所リハビリテーション | 22. 特定施設入居者生活介護 |
| 8. 短期入所生活介護 | 23. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 9. 短期入所療養介護 | 24. 介護老人福祉施設 |
| 10. 居宅療養管理指導 | 25. 地域密着型介護老人福祉施設 |
| 11. 福祉用具の貸与・販売 | 26. 介護老人保健施設 |
| 12. 住宅改修 | 27. 介護療養型医療施設 |
| 13. 訪問型サービス(総合事業) | 28. 介護医療院 |
| 14. 通所型サービス(総合事業) | 29. 縮小・廃止の予定はない |
| 15. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | |

(4) 縮小・廃止の理由、および具体的に、いつ頃、どのような縮小・廃止を図る計画か、差しつかえない範囲で構いませんので、お書きください。

■新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響について、おたずねします。

問23 新型コロナウイルス感染症の影響はありましたか。(〇は1つ)

- | |
|------------------------|
| 1. 影響あり |
| 2. 現時点では影響はないが、今後ある見込み |
| 3. 影響はない |

▶ 【問23で「1」「2」とお答えになった方におたずねします。】

問23-1 新型コロナウイルスの影響により、経営への影響はありましたか。(〇はいくつでも)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 衛生資材の不足 |
| 2. 利用者の心身の不調への対応による職員負担増 |
| 3. 職員が感染対策等に手を取られることによる利用者サービスの質の低下 |
| 4. 利用者に面会できない家族の不調等への対応 |
| 5. 職員のメンタルヘルスの不調 |
| 6. 福祉の仕事における感染懸念から求職者の減少 |
| 7. 利用自費等による収益の低下 |
| 8. 職員採用計画の遅れ |
| 9. 研修に参加できないことによる人材育成計画の遅れ |
| 10. 利用者の他自治体への転居が困難 |
| 11. 特に影響はない |
| 12. その他(具体的に:) |

問24 物価高騰の影響はありましたか。(○は1つ)

1. 影響あり
 2. 現時点では影響はないが、今後ある見込み
 3. 影響はない

▶【問24で「1」「2」とお答えになった方におたずねします。】

問24-1 物価高騰の影響について、サービス活動費用増加への影響が大きいと見込まれる勘定科目についてお書きください。(○は3つまで)

1. 水道光熱費
 2. 車輦費(ガソリン代等)
 3. 給食費
 4. 介護用品費(おむつ等)
 5. 保健衛生費(消毒液等)
 6. 消耗器具備品費(歯ブラシ、洗濯用洗剤等)
 7. 日用品費(介護用品を除く身の回りの品)
 8. 被服費(衣類、寝具等)
 9. その他(具体的に：)

■居宅介護支援事業者に、おたずねします。

※他の事業者の方は、P15の問28へお進みください

問25 居宅サービス計画書(ケアプラン)担当件数は何人ですか。令和4年10月末現在について、要介護度別にお答えください。

	費事業所全体	立川市被保険者
1. 要支援1	人	人
2. 要支援2	人	人
3. 要介護1	人	人
4. 要介護2	人	人
5. 要介護3	人	人
6. 要介護4	人	人
7. 要介護5	人	人
8. 介護予防事業対象者	人	人
9. 合計	人	人

問26 ケアプラン作成にあたり、費事業所の介護支援専門員にとって、問題・課題となっていることはありますか。(○はいくつでも)

1. 家族や本人の利用意向とケアマネジャーの考え方の違いが調整できないこと
 2. 介護保険(総合事業含む)サービスが不足していること
 3. 介護保険サービス以外の地域資源が不足していること
 (具体的に：)
 4. どこにどのようなサービスがあるのかという情報が少ないこと
 5. 病状などのため、利用者や家族との意思確認が十分にできないこと
 6. ケアプランの作成が難しい困難ケースが多いこと
 7. 業務が繁忙なため、利用者又はご家族との面接や連絡が難しいこと
 8. 作成・保存等しなければならぬ書類の量が多いこと
 9. 職員のスキルアップ研修等の実施が難しいこと
 10. 医療関係者との連携、調整が十分にできないこと
 11. サービス事業者との連携、調整が十分にできないこと
 12. その他(具体的に：)
 13. 特にない

問27 市内で不足していると思う介護保険サービス(総合事業を含む)はどれですか。(○はいくつでも)

※この設問では「予防」サービスと区別しなくても構いません

1. 居宅介護支援
 2. 訪問介護
 3. 訪問看護
 4. 訪問入浴介護
 5. 訪問リハビリテーション
 6. 通所介護
 7. 通所リハビリテーション
 8. 短期入所生活介護
 9. 短期入所療養介護
 10. 居宅療養管理指導
 11. 福祉用具の貸与・販売
 12. 住宅改修
 13. 訪問型サービス(総合事業)
 14. 通所型サービス(総合事業)
 15. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
 16. 夜間対応型訪問介護
 17. 地域密着型通所介護
 18. 認知症対応型通所介護
 19. 小規模多機能型居宅介護
 20. 看護小規模多機能型居宅介護
 21. 認知症対応型共同生活介護
 22. 特定施設入居者生活介護
 23. 地域密着型特定施設入居者生活介護
 24. 介護老人福祉施設
 25. 地域密着型介護老人福祉施設
 26. 介護老人保健施設
 27. 介護療養型医療施設
 28. 介護医療院
 29. その他(具体的に：)

■すべての事業者の皆さんに、おたずねします。

問28 貴事業所が、介護保険サービス（総合事業を含む）を実施する上で、課題や改善が必要と考えていることはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

1. 介護職員等の人員の確保が難しいこと
2. 介護職員等の研修など、人材育成が難しいこと
3. 経営経費・活動資金が不足していること
4. 介護報酬が実態と合わないこと
5. 利用者に対する継続的な確保が難しいこと
6. 利用者に対する情報提供が難しいこと
7. 利用者のニーズの把握が困難であること
8. 情報の入手や活用の仕方が十分でないこと
9. 作成・保存等しなければならぬ書類の量が多いこと
10. 客観的な視点からのサービス評価が難しいこと
11. 行政や事業者間の連携が十分でないこと
12. 医療と介護の連携が十分でないこと
13. その他（具体的に：)
14. 特に問題・課題はない

15

問29 貴事業所では、介護職員等の早期離職防止や定着促進を図るために、どのような方策をとっていますか。（〇はいくつでも）

1. 賞金・労働時間等の労働条件（休暇をとりやすくすることも含める）を改善している
2. 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している
3. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している
4. キャリアに応じた給与体系を整備している
5. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている
6. 能力開発を充実させている（社内研修実施、社外講習等の受講・支援等）
7. 労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞いている
8. 仕事に係る悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス対策を含む）
9. 非常勤職員含め、健診受診勧奨など、健康対策や健康管理に力を入れている
10. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている
（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）
11. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている
（カラオケ、ボウリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む）
12. 職場環境を整えている（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）
13. 子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）
14. その他（具体的に：)
15. 特に方策はとっていない

問30 貴事業所では、介護職員等の早期離職防止や定着促進を図るために、どのような方策が必要と考えますか。（〇はいくつでも）

1. 賞金・労働時間等の労働条件（休暇をとりやすくすることも含める）を改善する
2. 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映する
3. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示する
4. キャリアに応じた給与体系を整備する
5. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設ける
6. 能力開発を充実させる（社内研修実施、社外講習等の受講支援等）
7. 労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞く
8. 仕事に係る悩み、不満、不安などの相談窓口を設ける（メンタルヘルス対策を含む）
9. 非常勤職員含め、健診受診勧奨など、健康対策や健康管理に力を入れる
10. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図る
（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）
11. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深める
（カラオケ、ボウリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む）
12. 職場環境を整える（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）
13. 子育て支援を行う（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）
14. その他（具体的に：)
15. 特に方策はない

問31 現在行っている非常災害時の対策について当てはまるものに〇をつけてください。（〇はいくつでも）

1. 非常災害対策の具体的計画を定めている
2. 定期的に避難訓練等を実施している
3. 自治会等の防災訓練等に参加している
4. 非常用備蓄をしている
5. 新たな感染症の発生に備えている
6. 市と災害時防災協定を結んでいる
7. 他法人との連携・ネットワークを構築している
8. 非常用自家発電装置（照明・冷蔵庫等に電力を供給するもの）を備えている
9. その他（具体的に：)
10. 特に対策はとっていない

16

立川市高齢者福祉介護計画改定事前調査報告書
概要版

令和5（2023）年5月

立川市 福祉保健部 介護保険課

〒190-8666 東京都立川市泉町1156番地の9
TEL 042-528-4370
FAX 042-522-2481